

グローバル就業実態・成長意識調査(2022年)

パーソル総合研究所
シンクタンク本部

2022年11月



引用について

本調査を引用いただく際は出所を明記してください。出所の記載例：パーソル総合研究所「グローバル就業実態・成長意識調査（2022年）」

2019年（2-3月）、パーソル総合研究所では、**アジア太平洋地域（APAC）14カ国・地域の主要都市**において、就労者の働き方や意識についての実態調査*1を実施しました。調査結果からは、**日本の上昇志向や自己研鑽意欲の低さ、ダイバーシティ受容度の低さ**といった特徴的な日本の就業実態が確認され、政府機関*2をはじめ企業・団体、メディアの方々から多くの反響を頂きました。

*1 APAC就業実態・成長意識調査（2019年）：<https://rc.persol-group.co.jp/news/201908270001.html> *2 引用例：経済産業省「未来人材ビジョン」：<https://www.meti.go.jp/press/2022/05/20220531001/20220531001-1.pdf>

この度は、前回調査から3年を経て、就労者の意識や職業生活の実態はどのように変化したのか、新型コロナウイルス（COVID-19）パンデミックは就労者の意識や働き方にどのような影響を与えたのかという問いを立て、新たに欧米地域も加えた**世界18カ国・地域の主要都市に調査範囲を拡大**して実態調査を実施致しました。

2022年調査結果からは、APACや欧米諸国との多角的な比較分析により、**日本の就労者の内向き志向やキャリア自律性の低さ**といったキャリア意識、組織文化に関する特徴などがより鮮明に確認されました。また、**コロナ禍を経て各国・地域において働き方や価値観が変化（多様化）している実態や就労先として「日本」や「日本企業」を選択する割合がタイ、フィリピン、ベトナム、台湾において低下している傾向**などが確認されました。

【詳細はサマリ・本編参照】

本調査結果は、少子化・労働力不足が懸念され、外国人材へも期待を寄せている日本にあっては耳障りのよい結果ばかりではありませんでした。多様な人材が活躍しやすい労働環境や企業風土を整備することは、外国人材のみならず労働価値観の多様化が進む日本の就労者一人ひとりにとっても職業生活のWell-beingを向上させる事にもつながると考えます。多くの就労者が働くことを通じて、喜びや楽しみを感じ、公正な評価と魅力的な処遇が得られる社会の実現を目指し、日本の雇用組織も変革が求められています。本調査結果がその一助となりますと幸いです。

調査名称	パーソル総合研究所「グローバル就業実態・成長意識調査（2022年）」
調査目的	世界18カ国・地域の主要都市の人々の働く実態や働く意識、Well-being、働くことを通じた成長、グローバルな就業意向などを明らかにする。また、コロナ禍の影響による働く実態や意識の変化についても把握する。
調査手法	調査モニターを対象としたインターネット定量調査
調査期間	2022年2月10日～3月14日
調査対象 エリア	18カ国・地域（調査都市） 【東アジア】日本（東京、大阪、愛知）、中国（北京、上海、広州）、韓国（ソウル）、台湾（台北）、香港 【東南アジア】タイ（グレートバンコク）、フィリピン（メトロマニラ）、インドネシア（グレートジャカルタ）、マレーシア（クアラルンプール）、シンガポール、ベトナム（ハノイ、ホーチミンシティ） 【南アジア】インド（デリー、ムンバイ） 【オセアニア】オーストラリア（シドニー、メルボルン、キャンベラ） 【北米】アメリカ（ニューヨーク、ワシントン、ロサンゼルス） 【ヨーロッパ】イギリス（ロンドン）、ドイツ（ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ）、フランス（パリ）、スウェーデン（ストックホルム）
サンプル数	各国・地域 約1,000サンプル
割付	性・年齢による均等割付、収入による緩やかな割付（ソフトクォータ）
対象条件	<ul style="list-style-type: none"> ・20～69歳男女 ・就業している人（休職中除く） ・対象国に3年以上在住
実施主体	株式会社 パーソル総合研究所

0	回答者属性サマリ、調査結果サマリ	P.5-16
I	現在の働き方 現在の就労環境、1日あたりの労働時間、週あたりの勤務日数、週あたりの労働時間	P.17-24
II	働く環境と働く意識 組織文化、上司のマネジメント行動、個人の仕事についての考え方、管理職になりたい人の割合、希望する働き方、仕事選択重視点、就労年齢	P.25-63
III	Well-being 仕事に対する現在の状況、職場のダイバーシティ&インクルージョン、総合満足度	P.64-81
IV	勤続意向と転職 勤続年数、勤続意向、転職意向、独立・起業意向、転職回数、前勤務先からの変化、転職理由	P.82-102
V	自己成長と自己研鑽 成長志向度 & 成長実感度、社外の学習・自己啓発、自己投資	P.103-127
VI	グローバル就業意向 働いてみたい国・地域、日本選択理由、日本企業での就労意向、グローバル就業意向	P.128-151
VII	コロナ禍の影響による働く実態と意識変化 コロナ禍の影響による働く実態変化、コロナ禍の影響による働く意識変化	P.152-167
VIII	回答者の基本属性（詳細）	P.168-194

全体的に、既婚、高学歴、正社員、フルタイムの割合が高い。主要都市が調査対象のため平均年収が高い傾向の国・地域もある。

※18カ国・地域全体平均よりも大きい数値に色付け

	東アジア					東南アジア						南アジア	オセアニア	北米	ヨーロッパ				
	日本	中国	韓国	台湾	香港	タイ	フィリピン	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ベトナム	インド	オーストラリア	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン	
(回答者数)	(18223)	(1000)	(1002)	(1005)	(1001)	(1002)	(1059)	(1010)	(1002)	(1000)	(1002)	(1002)	(1119)	(1003)	(1010)	(1003)	(1000)	(1001)	(1002)
平均年齢(歳)	43.8	44.8	43.5	44.5	44.1	44.2	44.5	43.7	43.5	41.5	44.3	43.7	43.2	44.2	44.0	44.0	43.7	44.0	43.7
既婚率(%)	67.5	47.0	81.0	64.9	67.2	68.5	67.6	70.0	85.4	74.2	69.1	86.5	85.6	57.9	57.5	57.5	54.3	61.2	57.1
子供がいる割合(%)	67.3	42.1	77.8	60.1	61.9	54.7	63.9	78.6	84.0	71.3	61.6	86.2	80.8	62.7	64.8	63.4	60.3	67.1	68.6
最終学歴 大卒以上の割合(%)	63.7	58.9	65.3	77.0	70.9	58.9	65.7	76.8	60.8	63.4	67.5	74.0	83.8	61.9	70.6	54.4	36.4	54.8	41.8
正社員比率(%)	66.0	55.6	62.3	63.7	77.1	80.5	49.7	53.4	46.2	66.9	81.1	60.7	77.0	63.2	67.9	64.5	71.5	70.1	76.8
※ベース：正社員(回答者数)	(12033)	(556)	(624)	(640)	(772)	(807)	(526)	(539)	(463)	(669)	(813)	(608)	(862)	(634)	(686)	(647)	(715)	(702)	(770)
フルタイム勤務者比率(%)	93.3	94.8	94.9	93.9	93.3	95.5	88.6	93.5	86.8	94.8	96.7	91.9	95.2	93.7	94.9	92.4	91.6	90.5	92.1
※ベース：正社員・公務員・団体職員・専門家・自営業(回答者数)	(14891)	(729)	(816)	(801)	(864)	(906)	(731)	(782)	(768)	(864)	(891)	(776)	(1041)	(768)	(846)	(804)	(815)	(852)	(837)
管理職の割合(%)	36.8	12.4	37.0	31.5	45.1	40.1	29.0	30.3	32.9	48.2	49.9	50.7	53.2	36.7	37.9	36.6	37.8	33.3	17.8
平均年収*(USD)	40,055	45,468	33,303	46,818	37,920	50,277	13,713	10,334	26,964	19,478	65,963	19,364	25,887	60,050	81,191	49,155	47,565	50,537	40,000

*2022年1月4日時点のレートで各国現地通貨をUSDへ換算

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

全体的に、製造業、間接部門や事務職、自国企業勤務の割合が高い。転職2回以上の割合も高い。

※18か国・地域の全体平均以上の数値、および最多業種・最多職種に色付け

	全体 (回答者数)	東アジア					東南アジア						南 アジア	オセア ニア	北米	ヨーロッパ			
		日本	中国	韓国	台湾	香港	タイ	フィリピン	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ベトナム	インド	オーストラリア	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン
	(18223)	(1000)	(1002)	(1005)	(1001)	(1002)	(1059)	(1010)	(1002)	(1000)	(1002)	(1002)	(1119)	(1003)	(1010)	(1003)	(1000)	(1001)	(1002)
最多業種	製造業	製造業				卸売業、 小売業	製造業	卸売業、小売業		製造業			情報通信 業	卸売業、小売業		教育、 学習 支援業	卸売業、 小売業	金融業、 保険業	医療、 福祉
最多職種(*)	事務職	事務職	間接部門	事務職	間接部門	事務職	生産工 程・管理・ 製造	事務職	間接部門			事務職	間接部門	事務職	サービス職	事務職			間接部門
従業員1000人以上 規模の比率(%)	24.3	33.1	14.8	15.8	18.9	22.8	14.7	19.3	21.2	14.5	39.5	17.7	31.1	29.7	28.8	27.5	28.9	37.1	22.0
自国の企業勤務比率 (%)	-	90.6	91.9	91.6	85.5	69.1	78.3	63.6	80.8	74.8	58.4	72.7	72.8	73.2	72.5	60.4	64.3	79.0	71.3
勤続年数平均(年)	9.9	11.3	13.4	8.1	11.2	9.9	9.5	7.7	10.1	9.5	8.9	9.9	9.8	8.8	9.4	8.7	10.3	12.8	9.3
転職回数平均(回)	2.2	2.0	1.2	1.9	1.9	2.5	2.0	2.2	2.0	2.0	2.5	1.6	1.8	2.8	2.4	2.8	2.3	2.3	2.5
転職2回以上の 人の割合(%)	59.2	48.3	36.7	54.8	51.9	65.5	55.9	65.8	59.1	59.6	65.5	51.9	52.0	69.7	64.1	71.9	61.0	65.1	67.0

(*)職種詳細：間接部門(人事、総務、経理など)、事務職(一般事務・受付・秘書など)、生産工程・管理・製造(生産工程作業者など)、サービス職(顧客サービス、理美容師、調理師、接客業など)

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

I .

現在の働き方

- 現在の就労環境（正社員）を2019年調査*と比較すると、APAC各国・地域の「在宅勤務」実施率は大幅に増加するなど働く場所の多様化が進んでいる傾向が確認された（下図）。「副業・兼業」は、日本（5.6%）をはじめインドネシア（8.2%）、マレーシア（6.0%）、フィリピン（5.8%）が、全体平均（2.9%）を上回り増加傾向。「時短勤務」も増加傾向にあり、台湾やベトナムでは大幅に増加。

*APAC就業実態・成長意識調査（2019年） https://rc.persol-group.co.jp/thinktank/data/apac_2019.html

調査結果本編
P.18-20参照

<現在の就労環境（正社員）>

Q. あなたの現在の働き方について、以下の中であてはまるものをすべてお選びください。（複数回答／2022年は選択肢11項目、2019年は9項目）

ベース | 正社員

※±5pt以上値が変動した項目に矢印を付記

	東アジア										東南アジア								南アジア		オセアニア		%				
	日本		中国		韓国		台湾		香港		タイ		フィリピン		インドネシア		マレーシア		シンガポール		ベトナム			インド		オーストラリア	
	2022	2019	2022	2019	2022	2019	2022	2019	2022	2019	2022	2019	2022	2019	2022	2019	2022	2019	2022	2019	2022	2019		2022	2019	2022	2019
(回答者数)	(556)	(473)	(624)	(574)	(640)	(590)	(772)	(712)	(807)	(732)	(526)	(574)	(539)	(613)	(463)	(582)	(669)	(667)	(813)	(755)	(608)	(527)	(862)	(735)	(634)	(644)	
フルタイム	94.8	94.3	94.9	96.5	93.9	95.1	93.3	97.3	95.5	97.7	88.6	95.8	93.5	98.7	86.8	93.1	94.8	97.0	96.7	98.8	91.9	97.2	95.2	97.3	93.7	96.4	
短時間勤務 - 1日6時間以上 8時間未満勤務	3.2	1.7	3.2	1.4	4.5	3.4	13.2	3.8	3.8	1.6	9.9	5.9	6.7	2.9	15.3	15.3	6.7	4.0	3.7	1.3	9.7	2.3	7.2	3.8	4.6	3.1	
在宅勤務ができる	18.5	4.4	4.6	1.7	9.4	1.9	3.6	0.8	9.4	1.6	9.5	1.7	22.3	5.1	12.7	6.5	18.4	2.4	16.5	2.6	13.5	0.9	14.5	5.0	12.6	5.0	
副業・兼業ができる	5.6	3.0	0.3	1.6	1.7	1.0	1.2	1.0	0.9	1.0	2.9	3.0	5.8	4.7	8.2	10.7	6.0	2.8	2.5	1.3	0.8	1.9	3.2	1.8	2.8	0.9	

- 週あたりの労働時間は、全体平均41.8時間。最長はベトナムの46.5時間、最短はオーストラリアの36.9時間。イギリス、ドイツ、スウェーデンは40時間を下回り、日本は41時間と平均並み。週当たりの勤務日数は「週5日」が主流だが、ベトナムでは「週6日」が48.5%。

調査結果本編
P.21-24参照

II

働く環境と働く意識

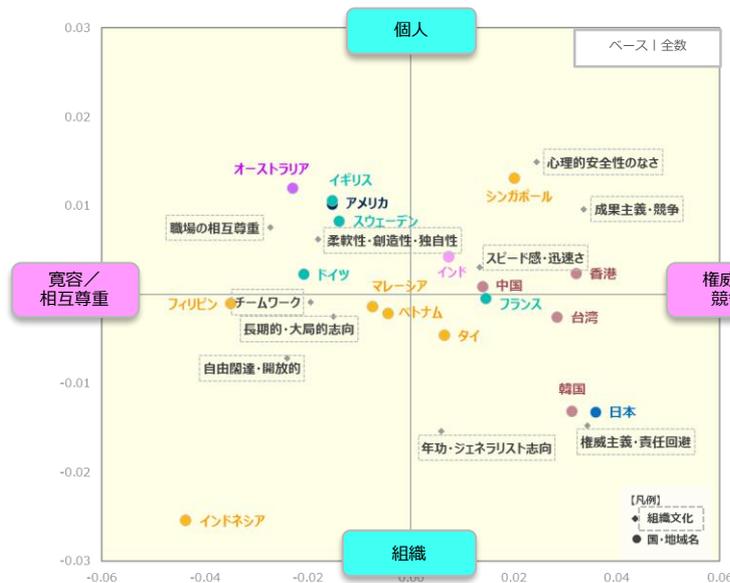
■ 組織文化の類似度で各国・地域をマッピング（右図）すると、日本は韓国と並び「権威主義・責任回避」に特徴づけられる。オーストラリア、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデンは個人を尊重した柔軟なマネジメント、インドネシア、フィリピン、マレーシア、ベトナムは組織の調和を重視した自由闊達な風土に特徴づけられる傾向があった。

■ 各国・地域ごとの組織文化のランキングトップ10では、以下のような傾向が見られた。
（本編P.31-33参照）

- 東アジア（日本、中国、韓国、台湾、香港）は、組織内の秩序や調和を重視する傾向が強い。また、成果主義やスピード感・迅速さを求める傾向も見られる。日本は「定年までの雇用が前提」など組織文化としての特徴が確認された。
- 東南アジア（タイ、フィリピン、インドネシア、マレーシア、シンガポール、ベトナム）とインドは、互いを尊重しチームワークを大切にしながら、柔軟性・創造性・独自性を重視する傾向が見られる。シンガポールでは、成果主義やスピード感・迅速さを求める傾向があり東アジアに近い。
- オーストラリア、アメリカ、ヨーロッパ（イギリス、ドイツ、フランス、スウェーデン）は、職場の相互尊重を重視し、上司・部下の分け隔てないフラットな組織文化が特徴的であった。フランスでは、権威主義や成果主義、スピード重視など、やや異なる傾向が見られる。

調査結果本編
P.26-33参照

＜組織文化の類似度によるマッピング＞



※図の見方

・特徴のない項目は原点付近にプロットされ、特徴の大きい項目は原点から遠くにプロットされる。

・関連の強い項目同士は、原点からみて同一方向にプロットされる。

※軸の名称は、分析結果から解釈して命名。

II

働く環境と働く意識

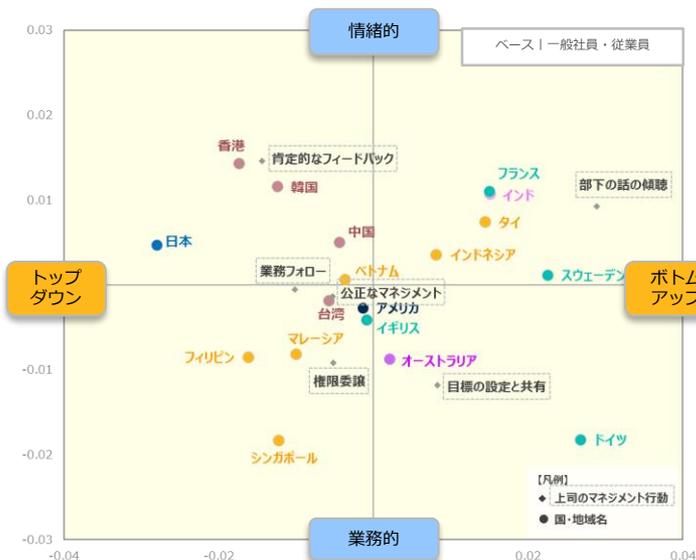
■ **上司のマネジメント行動の類似度で各国・地域をマッピング（右図）すると、日本や韓国、香港、中国は「肯定的なフィードバック」に特徴づけられる。**フランスやスウェーデン、インド、タイ、インドネシアでは「部下の話の傾聴」、フィリピンやマレーシア、シンガポールでは「権限委譲」、ドイツやオーストラリアでは「目標の設定と共有」に特徴づけられる傾向があった。

■ **各国・地域ごとの上司のマネジメント行動のランキングトップ10では、以下のような傾向が見られた。**（本編P.38-40参照）

- **東アジア**（日本、中国、韓国、台湾、香港）は、**日常的な感謝やねぎらいなどの肯定的なフィードバック**を行いながら、部下のモチベーション向上を図る傾向が確認された。
- **東南アジア**（タイ、フィリピン、インドネシア、マレーシア、シンガポール、ベトナム）は、**責任ある役割／スキルや能力が身につく仕事の付与・任命**などにより部下に成長機会を与え、必要に応じて業務をサポートする傾向が見られる。
- **インド**は、「**ビジョンや目標の共有**」「**仕事上の悩みや不満の傾聴**」を行いながら部下を導く傾向が見られる。
- **オーストラリア、アメリカ、ヨーロッパ**（イギリス、ドイツ、フランス、スウェーデン）は、**フェアな態度で部下に接することを重視し、仕事の相談しやすい関係性を構築する**傾向が見られる。

調査結果本編
P.34-40参照

＜上司のマネジメント行動の類似度によるマッピング＞



※図の見方

- 特徴のない項目は原点付近にプロットされ、特徴の大きい項目は原点から遠くにプロットされる。
- 関連の強い項目同士は、原点からみて同一方向にプロットされる。

※軸の名称は、分析結果から解釈して命名。

II .

働く環境と働く意識

- **仕事についての考え方を**尋ねると、「成果による評価」を求める傾向が全ての国・地域で高い。また、中国、東南アジア※1、インド、アメリカ、フランスでは上昇志向が強い傾向。一方、日本は「出世意欲」や「プライベートを犠牲にしてまで働く意欲」の低さが際立つ。 調査結果本編 P.41-42参照

- **管理職になりたい人の割合**（右図）は、全体平均で58.6%。最も高いインドは90.5%、日本は19.8%と最も低い。

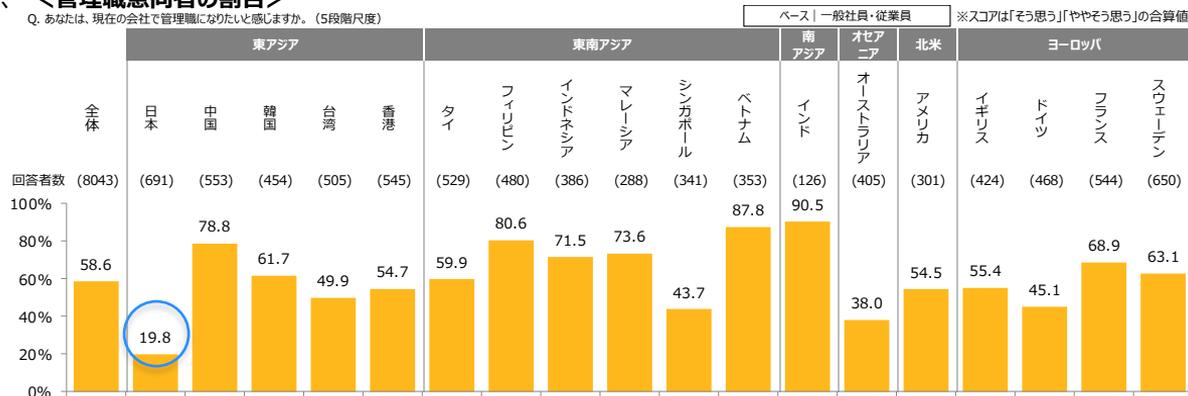
男女差（男性の方が高い）は、ヨーロッパ※2、アメリカ、

オーストラリア、日本、マレーシアで大きい。

東南アジア（マレーシア除く）、東アジア※3（日本除く）、

インドでは男女差が比較的小さいが、インドネシアとシンガポールについては女性の管理職意向が僅かに男性を上回る。 調査結果本編 P.43-46参照

Q. あなたは、現在の会社で管理職になりたいと感じますか。（5段階尺度）



- **仕事選択時に重視する点は、「希望する収入」と「仕事とプライベートのバランス」の優先順位が全ての国・地域で高く、「雇用の安定」も重視。** 調査結果本編 P.50-59参照

東南アジアでは「スキル向上や能力活用」、オーストラリア、アメリカ、ヨーロッパでは「働く時間や場所の選択」も重視する傾向。東アジア※3では「自律的に自分の判断で仕事を進める」が仕事選択重視点のランキングトップ10に入らないのが特徴的であった。日本は、「人間関係」や「休みの取りやすさ」が、「やりたい仕事」よりも上位に入る。 調査結果本編 P.50-59参照

※1 東南アジア＝タイ・フィリピン・インドネシア・マレーシア・シンガポール・ベトナム、※2 ヨーロッパ＝イギリス・ドイツ・フランス・スウェーデン、※3 東アジア＝日本・中国・韓国・台湾・香港

III.

Well-being

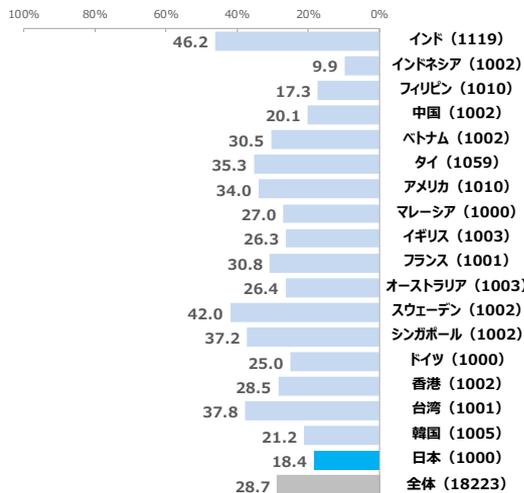
調査結果本編
P.65-73参照

- 「はたらくことを通じて、幸せを感じている」就業者の割合は、全体平均は74.7%。最も高いのはインドの92.6%であった（下図）。次いでインドネシア、フィリピン、中国、ベトナムでも9割前後と高い。日本、韓国、台湾、香港では、はたらくことを通じた幸福度が低い傾向。**日本は49.1%と最も低く、年代別で見ると20代が最も低い。**

<はたらくことを通じた幸せ・不幸せ実感>

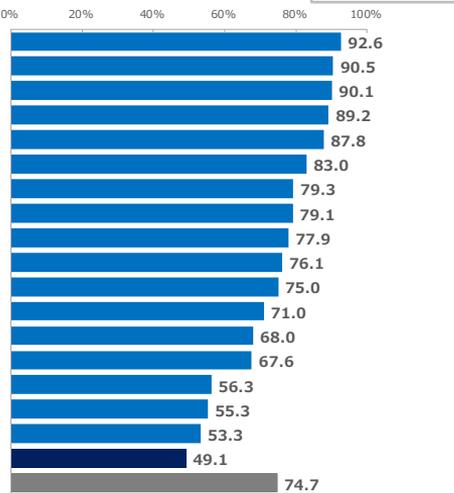
Q. 仕事に対するあなたの現在の状況として、最もあてはまる項目を一つお選びください。（5段階尺度/項目数2）

▼【私は、はたらくことを通じて、不幸せを感じている】

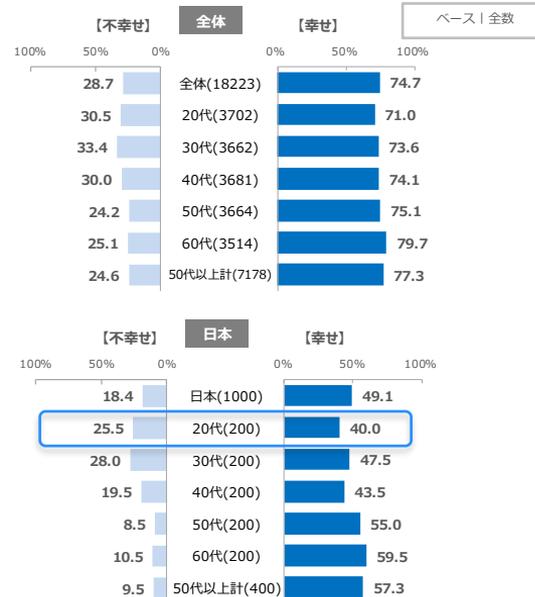


※【あてはまる】「ややあてはまる」合計値の高い順

▼【私は、はたらくことを通じて、幸せを感じている】



<はたらくことを通じた幸せ・不幸せ実感（年代別）>



※ () 内は回答者数

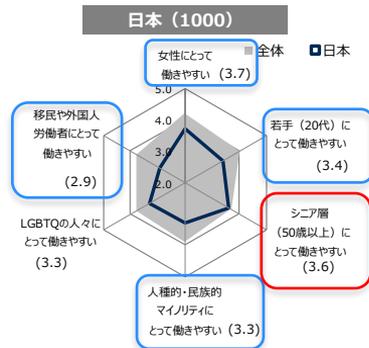
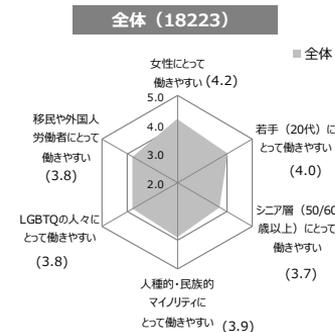
III. Well-being

- **職場におけるダイバーシティ&インクルージョンは、日本と韓国で低い傾向**（下図）。一方、中国やインド、フィリピン、ベトナム、アメリカでは高い。日本と韓国では、特に「女性」「若手」「人種的・民族的マイノリティ」「移民や外国人労働者」についての働きやすさが、全体平均を大幅に下回る。また、日本は「シニア層」の働きやすさが「若手」の働きやすさを上回るのが特徴的であった。

調査結果本編
P.74-77参照

<職場のダイバーシティ・インクルージョン>

Q. あなたが働いている職場は、〇〇にとって働きやすいですか、それとも働きにくいですか？（5段階尺度/項目数6）



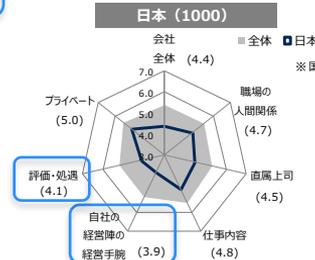
※スコアは、5段階尺度の平均値

※国・地域名横の()内は回答者数

<総合満足度>

- **仕事とプライベートに関する総合満足度は、中国、インド、フィリピン、ベトナム、インドネシア、アメリカで高いが、日本、韓国、台湾、香港、シンガポールでは低い傾向。日本は特に「経営陣の経営手腕」や「評価・処遇」への満足度が低い。**

調査結果本編
P.78-81参照



※国・地域名横の()内は回答者数

※スコアは、7段階尺度の平均値

IV.

勤続意向と転職

- 全体平均は、勤続意向は約7割、転職意向と独立・起業意向は3割半ば（下図）。日本は、現在の勤務先で働き続けたい割合が56.0%で18カ国・地域の中で最も低い。また、転職意向は25.9%で2番目に低く、独立・起業意向は20.0%で最も低い。日本では、現在の勤務先で働き続けたい意欲は低いが、積極的に転職や独立・起業したいとは考えていない様子が見える。

調査結果本編
P.83-87参照

<勤続に関する意向>

Q. あなたの今後の勤続に関する意向をお知らせください。(5段階尺度)

※スコアはともそう思う「ややそう思う」の合算値

	ベース 全数	東アジア						東南アジア					南アジア	オセアニア	北米	ヨーロッパ			
	全体	日本	中国	韓国	台湾	香港	タイ	フィリピン	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ベトナム	インド	オーストラリア	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン
(回答者数)	(18223)	(1000)	(1002)	(1005)	(1001)	(1002)	(1059)	(1010)	(1002)	(1000)	(1002)	(1002)	(1119)	(1003)	(1010)	(1003)	(1000)	(1001)	(1002)
現在の勤務先で継続して働きたい	71.2	56.0	85.7	64.1	58.7	68.7	70.9	74.3	58.8	69.3	66.0	73.3	88.5	71.1	79.3	71.6	74.6	77.1	72.3
他の会社に転職したい	35.2	25.9	37.3	28.4	42.7	34.0	33.6	31.1	20.2	35.6	45.2	32.0	56.8	32.9	41.8	31.9	30.4	34.5	36.6
会社を辞めて独立・起業したい	35.1	20.0	40.4	27.0	37.3	24.8	38.9	43.8	52.1	36.7	33.7	35.8	57.9	26.8	40.7	27.0	23.4	31.0	31.9

※項目別に各国・地域の得点の高低で色付け（高得点：赤、低得点：グレー）

- 転職により年収がアップした転職者は、全体平均は5割程度であったが、インドは最も高く70.0%、日本は最も低く41.1%であった。一方、転職による年収ダウンは、全体平均は1割半ばだが、日本は最も高い33.7%。日本は、年収ダウンや会社規模を下げての転職が他国・地域と比較して多い傾向。
- 転職理由として「給料に不満」は各国・地域共通。昇進や評価に対する不満も上位に挙がる。その他の理由として、東アジア*1では「会社の将来性への不安」や「休みに関する不満」、東南アジア*2とインドでは「経験や知識・専門性の習得」、オーストラリアやアメリカ・ヨーロッパ*3では「ほかにやりたい仕事がある」が上位に挙がる。日本では、「経験や知識・専門性の習得」、「やりたい仕事」などのキャリアに関する項目がトップ10に入らず、「人間関係が上手いれない」「尊敬できる人がいない」「社員を育てる環境がない」といった人間関係の不満が多いのが特徴的であった。

調査結果本編
P.88-94参照調査結果本編
P.95-102参照

*1 東アジア = 日本・中国・韓国・台湾・香港、*2 東南アジア = タイ・フィリピン・インドネシア・マレーシア・シンガポール・ベトナム、*3 ヨーロッパ = イギリス・ドイツ・フランス・スウェーデン

V.

自己成長と自己研鑽

■ 「**成長志向度**」：働くことを通じた成長が重要だと考える人の割合は、全体平均で93.2%。日本は79.5%で最も低い。

調査結果本編
P.104-109

「**成長実感度**」：仕事を通じた成長を実感できている人の割合は、全体平均で81.3%。日本は52.6%で最も低い。

日本は「**成長実感度**」の低さが際立ち、特に40代以降の中高齢で急激に低下する傾向が見られる。

■ **勤務先以外で自分の成長を目的に行っている学習・自己啓発**：各国・地域共通で高い学習・自己啓発は、「読書」「研修・セミナー、勉強会」。

フィリピン、インドネシア、マレーシア、ベトナム、インドは勤務先以外での自己研鑽に意欲的な傾向。一方、「**とくに何もおこなっていない**」割合は、全体平均で18.0%、日本は**52.6%**で最も高く、自己研鑽意欲の低さが際立つ。

調査結果本編
P.110-121

■ **勤務先以外での学習・自己啓発に対する「自己投資」**：

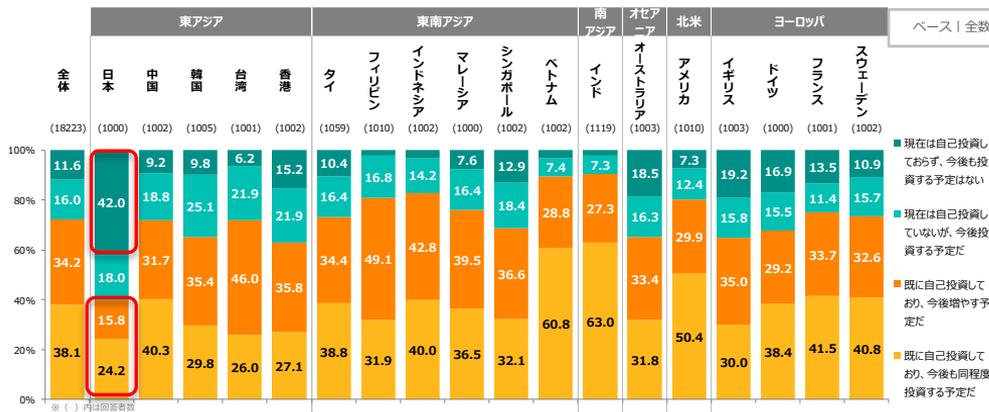
「既に自己投資している」割合は、全体平均で7割超（右図）。インド、ベトナム、インドネシア、フィリピン、アメリカでは、8割を超え自己研鑽に意欲的。

一方、日本は「既に自己投資している」割合は**40.0%**で最も低い。また「**現在投資しておらず、今後予定はない**」割合も**42.0%**であり、他国・地域と比較して自己投資意欲の低さが際立つ。

調査結果本編
P.122-127

<学習・自己啓発に対する自己投資>

Q. ご自身の勤務先以外での学習や自己啓発への投資について、あてはまるものをお選びください。（4段階尺度）



VI. グローバル就業意向

- 働いてみたい国・地域の全体平均1位は「アメリカ」、次いで「日本」、「イギリス」、「カナダ」、「シンガポール」が続く(下図)。**東南アジア※1**や**台湾・香港**では、「日本」は働いてみたい国・地域の上に挙がる。ただし、**2019年調査と比べると、タイ、ベトナム、台湾では日本希望率が10pt以上低下している。**また、「働きたい地域はない(自国のみで働きたい)」は、**日本が最も高く約5割。**

<働いてみたい国・地域>

Q. あなたは、世界のどの場所でも働けるとしたら、働いてみたい国・地域はありますか。(複数回答/選択肢31項目)

働いてみたい国・地域(各国Top5)

ベース | 全数

調査結果本編
P.129-134

	全体 (18223)	居住国																												
		東アジア					東南アジア					南アジア	オセアニア	北米	ヨーロッパ															
		日本	中国	韓国	台湾	香港	タイ	フィリピン	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ベトナム	インド	オーストラリア	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン											
第1位	アメリカ 30.2	アメリカ 29.0	シンガポール 18.2	アメリカ 45.7	アメリカ 29.0	イギリス 31.4	日本 46.6	アメリカ 55.4	日本 55.3	シンガポール 39.7	アメリカ 30.6	日本 45.8	アメリカ 39.2	イギリス 27.7	アメリカ 25.6	イギリス 30.8	アメリカ 24.7	カナダ 27.1	アメリカ 26.6											
第2位	日本 26.5	オーストラリア 21.5	香港 16.0	カナダ 25.2	日本 28.5	日本 29.3	アメリカ 33.4	日本 54.5	日本 41.3	日本 38.8	オーストラリア 29.6	アメリカ 40.3	シンガポール 30.7	ニュージーランド 26.4	カナダ 21.3	カナダ 22.7	スイス 20.2	アメリカ 24.5	イギリス 18.8											
第3位	イギリス 22.5	シンガポール 18.3	日本 15.4	オーストラリア 24.1	台湾 23.6	台湾 28.0	イギリス 29.9	カナダ 53.9	シンガポール 40.2	イギリス 34.7	日本 24.4	シンガポール 31.4	オーストラリア 28.7	アメリカ 24.1	日本 19.9	イギリス 17.7	スウェーデン 16.3	スイス 21.7	ルウェー 18.5											
第4位	カナダ 21.2	イギリス 18.1	フランス 14.6	シンガポール 22.3	シンガポール 19.6	アメリカ 24.5	スイス 28.1	シンガポール 40.6	イギリス 35.1	オーストラリア 34.6	スイス 24.4	韓国 25.9	イギリス 26.2	カナダ 20.9	フランス 18.7	ドイツ 14.8	オーストラリア 16.2	イギリス 18.0	オーストラリア 16.5											
第5位	シンガポール 20.7	カナダ 15.9	ドイツ 14.0	日本 22.2	カナダ 16.7	シンガポール 24.0	韓国 25.1	オーストラリア 36.4	ドイツ 31.0	アメリカ 29.2	ニュージーランド 23.5	イギリス 24.9	カナダ 25.9	シンガポール 18.7	オーストラリア 16.1	フランス 14.4	カナダ 15.7	日本 17.3	ニュージーランド/カナダ 12.9											
働きたい地域はない(自国のみで働きたい)	19.0	47.2	39.8	16.8	11.9	18.1	6.6	2.5	5.8	8.2	12.9	3.1	4.6	27.6	31.3	30.1	28.1	19.4	30.8											

- 働きたい企業の国籍は、全ての国・地域において「自国企業」が1位で、中国と日本では8割超。「アメリカ企業」の気は高く、最も高いフィリピンでは5割超。「日本企業」での就労意向は東南アジアで高いが、2019年調査に比べると低下傾向で、中でもタイ、フィリピン、ベトナムでは10pt以上低下。
- グローバルなキャリア形成やグローバルビジネス、自国以外での処遇改善などに関心が高い国・地域は香港、東南アジア、インド。一方、日本は全ての項目で全体平均を下回り、グローバルな就業に対する意欲の低さが目立つ。

※1 東南アジア = タイ・フィリピン・インドネシア・マレーシア・シンガポール・ベトナム

VII. コロナ禍の影響による働く実態と意識変化

- コロナ禍の影響による働く実態変化について聞いたところ、「テレワーク増加」と「所得減少」の変化は多くの国・地域で上位に入る。

日本は、「将来のキャリアに関する不安増」「仕事の生産性低下」が他国・地域と比べ最も低く、雇用や業務への影響が比較的少ない。一方、「上司や同僚とのコミュニケーションの減少」と「部下マネジメントの複雑化/負担増」の両方がトップ5に入り、マネジメントへの影響がうかがえる。

調査結果本編
P.153-160

- コロナ禍で高まった意識変化の全体トップは、「現在の会社で安定して働きたい」（下図）。日本では、「労働時間を減らしたい」、「副業・兼業を行いたい」という意識変化が他国・地域に比べて高く、「独立・起業したい」、「業務のデジタル化を進めたい」は低い傾向であった。

調査結果本編
P.161-167

<コロナ禍の影響による働く意識変化> Q. コロナ禍の影響で、意識が高まったものはありますか。上位3位まで順にクリックしてください。（優先度の高いものから上位3位まで/選択肢14項目【3位まで選択率】トップ10「全体」と「各国・地域」の差分
(全体平均との差分) ※「各国・地域」のスコアは前頁の各スコアから「全体」の値を引き算した差分（+は全体よりも高く、-は全体よりも低い）。

全体 (%)	東アジア					東南アジア					南アジア	オセアニア	北米	ヨーロッパ			ベース！全数		
	日本	中国	韓国	台湾	香港	タイ	フィリピン	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ベトナム	インド	オーストラリア	アメリカ	イギリス	ドイツ		フランス	スウェーデン
(18223)	(1000)	(1002)	(1005)	(1001)	(1002)	(1059)	(1010)	(1002)	(1000)	(1002)	(1119)	(1003)	(1010)	(1003)	(1000)	(1001)	(1002)	(pt)	
現在の会社で安定して働きたい	0.7	2.6	7.4	- 6.7	- 0.5	- 2.2	0.5	1.0	3.6	1.9	0.4	- 7.0	5.3	- 1.3	4.8	0.0	- 2.5	- 5.5	
仕事の生産性を上げたい	- 3.8	9.2	3.7	- 0.3	- 3.2	-12.6	9.2	11.0	6.7	0.5	0.3	0.7	- 1.6	- 1.2	0.2	- 4.3	- 8.1	- 9.4	
業務のデジタル化を進めたい	- 6.3	2.7	7.4	- 4.3	- 4.4	9.1	0.8	0.5	5.8	7.5	0.9	3.9	- 3.8	- 4.9	- 4.9	- 3.3	- 9.3	- 2.5	
労働時間を減らしたい	8.6	- 1.6	7.8	0.4	9.7	- 4.0	- 5.3	-11.8	0.4	7.3	-10.5	- 4.3	4.2	0.2	5.9	3.6	- 1.9	- 2.0	
テレワークを継続したい	24.9	0.1	3.9	-10.4	0.8	10.3	0.6	- 8.8	- 3.7	- 4.9	1.3	2.8	- 5.9	- 1.0	2.2	- 5.3	5.8	9.6	6.0
副業・兼業を行いたい	21.8	7.0	- 3.4	8.5	5.0	4.4	8.1	- 6.0	10.9	- 0.7	- 6.7	- 4.6	- 4.6	- 4.3	- 2.1	- 4.8	- 3.6	- 2.6	- 1.8
独立・起業したい（フリーランス含む）	20.9	- 9.3	- 6.0	- 2.2	- 0.8	- 1.1	10.3	13.6	17.5	2.8	- 4.9	2.9	0.4	- 5.8	- 2.6	- 3.3	- 8.4	- 7.7	- 3.2
上司や同僚とのコミュニケーションを増やしたい	19.1	- 2.4	- 1.2	- 1.6	- 3.5	- 4.1	- 1.0	- 1.0	- 4.4	- 0.9	- 2.2	4.7	5.1	- 0.3	1.8	0.4	2.7	5.5	1.5
仕事と育児や介護を両立させたい	18.3	- 4.8	- 5.6	- 8.2	0.9	- 5.5	- 4.9	3.9	6.8	3.9	- 3.6	19.1	3.7	- 4.0	- 3.2	- 2.9	- 1.4	2.2	- 1.6
学び直しをしたい	18.2	0.2	2.2	- 0.2	3.0	0.0	8.7	7.5	- 4.7	- 1.0	0.4	-10.1	2.1	1.5	1.9	0.0	- 3.6	- 7.5	- 1.6

※「各国・地域」から「全体」の値を引き算した差分の大小で色付け（差分大：赤、差分小：グレー）

※（ ）内は回答者数

I .現在の働き方

現在の
就労環境
(正社員)

「フルタイム勤務」は18カ国・地域の全体平均で9割以上。2019年調査^{※1}と比較すると、APAC各国・地域では「在宅勤務」の他にも働く場所の多様化が進んでいる傾向が確認された。時短勤務（6時間以上8時間未満）も増加傾向。

- 現在の就労環境について正社員に聞いたところ、「フルタイム勤務」は18カ国・地域の全体平均93.3%。
- 「在宅勤務」は全体平均11.9%。最も高いフィリピンで22.3%、次いで日本18.5%、マレーシア18.4%、シンガポール16.5%、インド14.5%と続く。中国、韓国、台湾、香港、タイ、ドイツ、スウェーデンでは1割未満。なお2019年調査と比較すると、APAC各国・地域の「在宅勤務」は大幅に増加しており、日本は14.1pt増加している。また、時短勤務（6時間以上8時間未満）も増加傾向にあり、台湾やベトナムでは大幅に増加。
- 東南アジア^{※2}、インド、フランスでは、「在宅勤務」「モバイルワーク」「サテライトオフィス勤務」「遠隔地勤務」で全体平均を上回る傾向が見られるなど、働く場所が多様化している様子が見られる。
- 「副業・兼業できる」は全体平均2.9%。最も高いインドネシアで8.2%、次いでマレーシア6.0%、フィリピン5.8%、日本5.6%と続く。
- 「長期休暇（連続2週間以上）が取得できる」は全体平均4.6%。インド、オーストラリア、ヨーロッパ^{※3}は、東アジア^{※4}や東南アジアよりも高いものの、1割未満にとどまる。

^{※1}「APAC就業実態・成長意識調査（2019年）」 https://rc.persol-group.co.jp/thinktank/data/apac_2019.html

^{※2}東南アジア=タイ・フィリピン・インドネシア・マレーシア・シンガポール・ベトナム、^{※3}ヨーロッパ=イギリス・ドイツ・フランス・スウェーデン、^{※4}東アジア=日本・中国・韓国・台湾・香港

1. 現在の就労環境

Q. あなたの現在の働き方について、以下の中であてはまるものをすべてお選びください。（複数回答／選択肢11項目）

※項目別に各国・地域の得点の高低で色付け（高得点：赤、低得点：グレー）

	全体	東アジア					東南アジア						南アジア	オセアニア	北米	ヨーロッパ			
		日本	中国	韓国	台湾	香港	タイ	フィリピン	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ベトナム	インド	オーストラリア	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン
回答者数	(12033)	(556)	(624)	(640)	(772)	(807)	(526)	(539)	(463)	(669)	(813)	(608)	(862)	(634)	(686)	(647)	(715)	(702)	(770)
フルタイム	93.3	94.8	94.9	93.9	93.3	95.5	88.6	93.5	86.8	94.8	96.7	91.9	95.2	93.7	94.9	92.4	91.6	90.5	92.1
短時間勤務 - 1日6時間以上8時間未満勤務	6.4	3.2	3.2	4.5	13.2	3.8	9.9	6.7	15.3	6.7	3.7	9.7	7.2	4.6	3.8	5.4	5.7	5.0	5.7
短時間勤務 - 1日6時間未満勤務	2.1	1.4	1.1	0.8	3.5	1.5	2.7	2.8	1.1	4.0	1.1	1.8	6.3	1.1	1.5	1.1	1.1	2.6	1.3
週あたり、もしくは月あたり勤務日数を選択できる	3.6	2.0	2.1	2.3	2.6	2.1	2.5	4.3	3.9	5.1	3.2	2.0	12.1	2.2	3.8	3.4	2.9	4.1	2.5
サテライトオフィスで勤務できる	3.8	5.0	3.4	3.1	1.9	4.2	3.0	8.0	5.0	4.0	2.5	3.0	8.4	3.2	2.8	3.1	1.5	4.8	1.4
モバイルワーク(カフェ等での外ワーク)で勤務できる	6.1	5.9	1.8	1.7	3.2	3.8	9.5	9.5	5.8	10.2	6.6	6.4	13.1	3.9	6.0	5.9	4.8	7.3	4.0
在宅勤務ができる	11.9	18.5	4.6	9.4	3.6	9.4	9.5	22.3	12.7	18.4	16.5	13.5	14.5	12.6	10.3	13.3	9.1	12.7	6.2
遠隔地勤務(勤務する事業所の通勤圏外に居住しリモートワークを中心とした業務を行う)ができる	6.7	2.3	2.2	2.5	3.2	3.8	8.9	10.2	5.4	12.0	9.6	6.6	13.0	5.7	6.9	9.0	3.2	11.0	3.5
長期休暇(連続2週間以上)が取得できる	4.6	4.0	2.4	1.9	1.4	2.7	1.7	5.6	3.7	4.6	5.4	1.5	7.2	7.9	4.8	7.9	6.0	6.8	6.2
副業・兼業できる	2.9	5.6	0.3	1.7	1.2	0.9	2.9	5.8	8.2	6.0	2.5	0.8	3.2	2.8	4.7	2.6	2.9	1.1	2.6
あてはまるものはない	0.1	0.4	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.3	0.4	0.0

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレーターバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレータージャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

1.現在の就労環境 (時系列)

Q. あなたの現在の働き方について、以下の中であてはまるものをすべてお選びください。(複数回答/2022年は選択肢11項目、2019年は9項目)

※±5pt以上値が変動した項目に矢印を付記

	東アジア										東南アジア						南アジア		オセアニア		(%)						
	日本		中国		韓国		台湾		香港		タイ		フィリピン		インドネシア		マレーシア		シンガポール			ベトナム		インド		オーストラリア	
	2022 (556)	2019 (473)	2022 (624)	2019 (574)	2022 (640)	2019 (590)	2022 (772)	2019 (712)	2022 (807)	2019 (732)	2022 (526)	2019 (574)	2022 (539)	2019 (613)	2022 (463)	2019 (582)	2022 (669)	2019 (667)	2022 (813)	2019 (755)		2022 (608)	2019 (527)	2022 (862)	2019 (735)	2022 (634)	2019 (644)
フルタイム	94.8	94.3	94.9	96.5	93.9	95.1	93.3	97.3	95.5	97.7	88.6	95.8	93.5	98.7	86.8	93.1	94.8	97.0	96.7	98.8	91.9	97.2	95.2	97.3	93.7	96.4	
短時間勤務 - 1日6時間以上 8時間未満勤務	3.2	1.7	3.2	1.4	4.5	3.4	13.2	3.8	3.8	1.6	9.9	5.9	6.7	2.9	15.3	15.3	6.7	4.0	3.7	1.3	9.7	2.3	7.2	3.8	4.6	3.1	
短時間勤務 - 1日6時間未満勤務	1.4	0.2	1.1	0.9	0.8	0.5	3.5	0.3	1.5	0.7	2.7	1.4	2.8	0.2	1.1	1.2	4.0	0.3	1.1	0.4	1.8	0.6	6.3	1.1	1.1	1.4	
週あたり、もしくは月あたり勤務日数を 選択できる	2.0	1.1	2.1	0.7	2.3	1.2	2.6	0.4	2.1	0.7	2.5	1.2	4.3	1.6	3.9	2.6	5.1	1.2	3.2	0.8	2.0	0.4	12.1	2.4	2.2	2.5	
サテライトオフィスで勤務できる	5.0	2.1	3.4	1.4	3.1	3.7	1.9	1.0	4.2	0.8	3.0	1.6	8.0	4.1	5.0	3.1	4.0	1.6	2.5	1.2	3.0	2.3	8.4	2.0	3.2	1.2	
モバイルワーク(カフェ等での外ワーク)で 勤務できる	5.9	2.3	1.8	1.7	1.7	1.2	3.2	1.4	3.8	1.5	9.5	3.0	9.5	4.1	5.8	7.4	10.2	3.4	6.6	3.7	6.4	1.7	13.1	5.6	3.9	4.3	
在宅勤務ができる	18.5	4.4	4.6	1.7	9.4	1.9	3.6	0.8	9.4	1.6	9.5	1.7	22.3	5.1	12.7	6.5	18.4	2.4	16.5	2.6	13.5	0.9	14.5	5.0	12.6	5.0	
遠隔地勤務(勤務する事業所の通勤圏外に居住し リモートワークを中心とした業務を行う)ができる	2.3	-	2.2	-	2.5	-	3.2	-	3.8	-	8.9	-	10.2	-	5.4	-	12.0	-	9.6	-	6.6	-	13.0	-	5.7	-	
長期休暇(連続2週間以上)が取得できる	4.0	-	2.4	-	1.9	-	1.4	-	2.7	-	1.7	-	5.6	-	3.7	-	4.6	-	5.4	-	1.5	-	7.2	-	7.9	-	
副業・兼業できる	5.6	3.0	0.3	1.6	1.7	1.0	1.2	1.0	0.9	1.0	2.9	3.0	5.8	4.7	8.2	10.7	6.0	2.8	2.5	1.3	0.8	1.9	3.2	1.8	2.8	0.9	
あてはまるものはない	0.4	1.3	0.2	0.7	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.2	

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

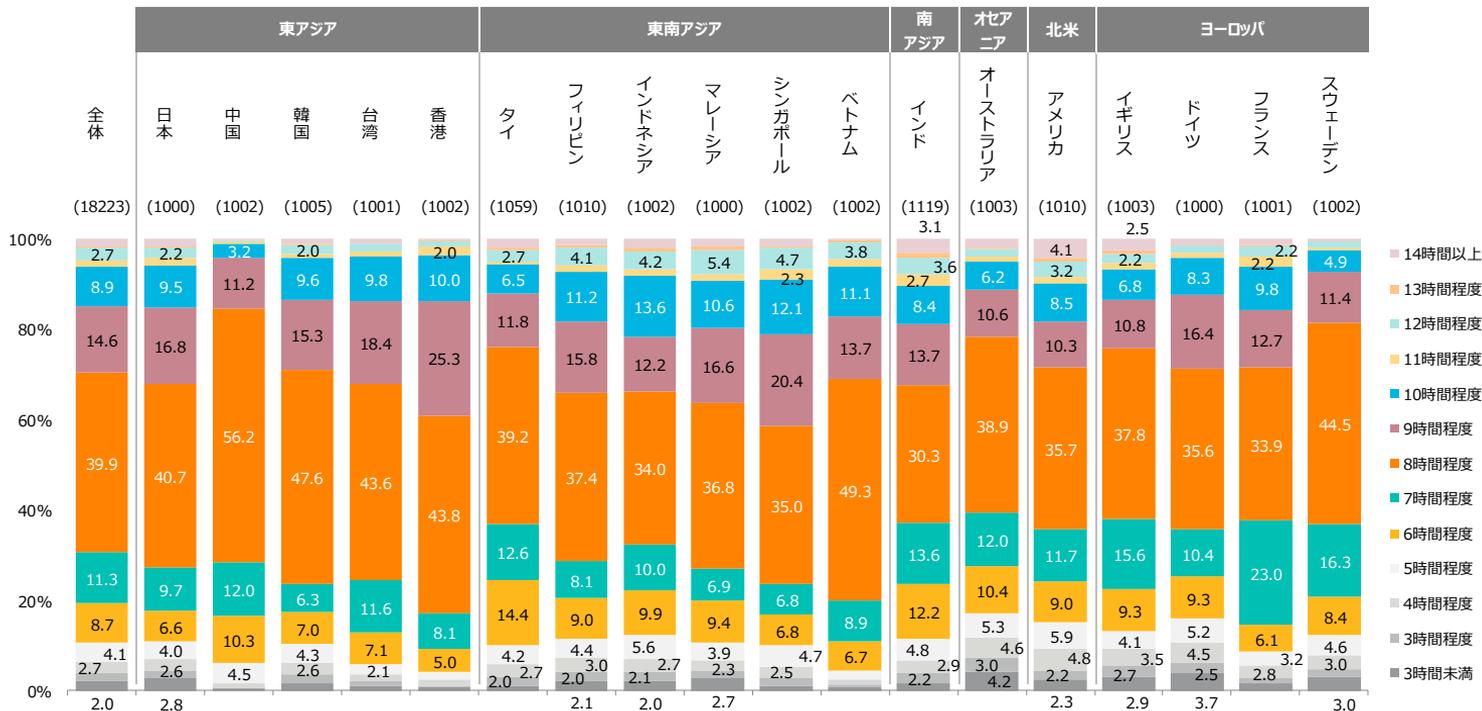
労働時間・
日数

週あたりの労働時間の全体平均は41.8時間。最長はベトナムの46.5時間、最短はオーストラリアの36.9時間。イギリス、ドイツ、スウェーデンは40時間を下回り、日本は41時間と平均並み。
週当たりの勤務日数は「週5日」が主流だが、ベトナムは「週6日」が約5割。

- 1日あたりの労働時間（残業も含む）の全体平均は、「7時間程度」11.3%、「8時間程度」39.9%、「9時間程度」14.6%。香港とシンガポールは、「9時間程度」以上の合計が約4割と高い。
- 週あたりの勤務日数の全体平均は「週5日」が60.1%、「週6日」は20.3%。「週6日」はベトナムで48.5%と高く、タイ、フィリピン、インドネシア、インドでは3割台。
- 週あたりの平均労働時間の全体平均は41.8時間。最長はベトナムの46.5時間、最短はオーストラリアの36.9時間。日本は41時間で11位（長い順）。ベトナムは勤務日数の影響が考えられる。
- 週あたりの平均労働時間を男女で比較すると、最も差が大きいのはオーストラリアで男性の方が7.5時間長い。一方、中国、台湾、タイ、シンガポール、ベトナムでは男女差はほとんどなく1時間未満。

2. 1日あたりの労働時間

Q. あなたの1日の平均勤務時間をお知らせください。※残業時間も含めた勤務時間をお答えください。



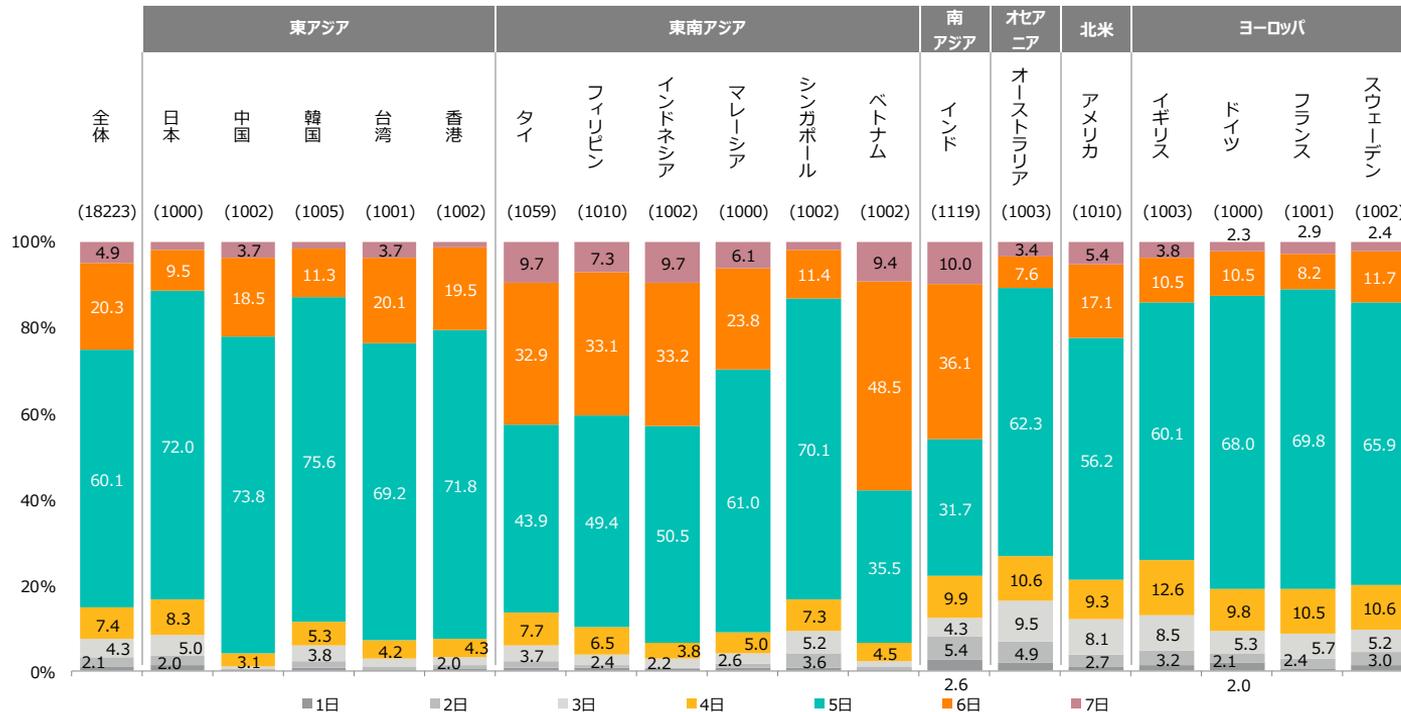
平均時間	7.9	7.9	7.7	7.9	8.0	8.2	7.7	7.9	7.9	8.1	8.2	8.2	7.9	7.4	7.8	7.6	7.5	7.9	7.5
順位	-	6位	13位	6位	5位	1位	13位	6位	6位	4位	1位	1位	6位	18位	12位	15位	16位	6位	16位

※ () 内は回答者数 ※得点の高低で色付ナ (高得点: 赤, 低得点: グレー)

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

3. 週あたりの勤務日数

Q. あなたの1週間の平均勤務日数をお知らせください。



平均日数	5.0	4.8	5.2	4.9	5.2	5.1	5.3	5.3	5.4	5.2	5.6	5.1	4.6	4.9	4.7	4.8	4.8	4.8	
順位	-	12位	5位	10位	5位	8位	3位	3位	2位	5位	12位	1位	8位	18位	10位	17位	12位	12位	12位

※ () 内は回答者数 ※得点の高低で色付け (高得点: 赤、低得点: グレー)

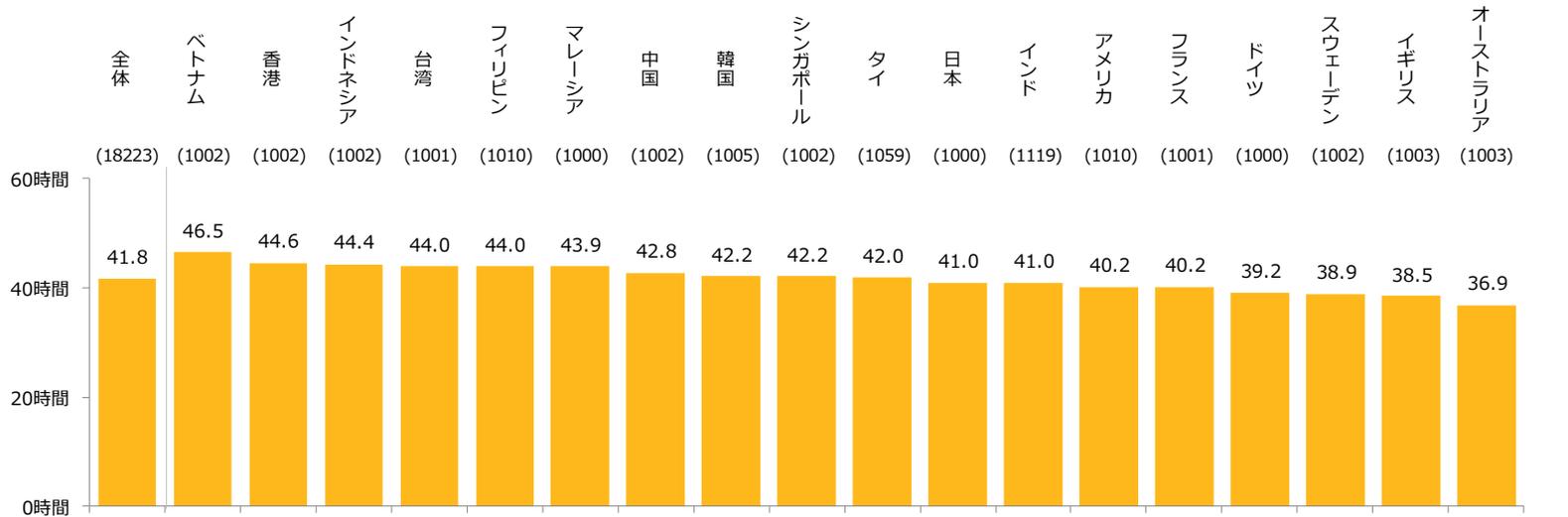
※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

4. 週あたりの労働時間

Q. 週あたり勤務時間

▼週あたりの平均労働時間(時間)

※ 日あたりの勤務時間と週当たりの勤務日数をかけ合わせて算出
 ※国・地域は左から長い順



	全体	ベトナム	香港	インドネシア	台湾	フィリピン	マレーシア	中国	韓国	シンガポール	タイ	日本	インド	アメリカ	フランス	ドイツ	スウェーデン	イギリス	オーストラリア
男性	(9000) 43.1	(500) 46.3	(500) 45.5	(500) 45.1	(500) 44.4	(500) 46.4	(500) 44.8	(500) 42.8	(500) 43.9	(500) 42.0	(500) 42.2	(500) 43.1	(500) 43.1	(500) 41.4	(500) 42.0	(500) 40.6	(500) 40.5	(500) 41.2	(500) 40.7
女性	(9000) 40.6	(500) 46.6	(500) 43.6	(500) 43.7	(500) 43.7	(500) 41.7	(500) 43.0	(500) 42.9	(500) 40.4	(500) 42.5	(500) 41.7	(500) 38.9	(500) 40.6	(500) 38.9	(500) 38.5	(500) 37.7	(500) 37.3	(500) 35.8	(500) 33.2
男性-女性	2.5	- 0.3	1.9	1.4	0.7	4.7	1.8	- 0.1	3.5	- 0.5	0.5	4.2	2.5	2.5	3.5	2.9	3.2	5.4	7.5

※ () 内は回答者数。ただし、回答者合計には「男女以外」「答えたくない」を者含む。詳細はP.170 参照

※得点の高低で色付け(高得点:赤、低得点:グレー)

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
 【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

Ⅱ.働く環境と働く意識

組織文化
(ランキング)

全体傾向として「職場の相互尊重」と「チームワーク」を重視。
その他に、東アジアでは「権威主義・責任回避」「成果主義」「スピード・迅速さ」、
東南アジアとインドでは「柔軟性・創造性・独自性」「長期的思考」、オーストラリア
とアメリカ、ヨーロッパは「上司・部下分け隔てない」「フラットな組織文化」が特徴的。

- 組織文化の全体平均トップ5は、「いろいろな立場の人が職場の一員として尊重されている」「お互いに理解し認め合う」「チームとしてひとつにまとまっている」「一致団結して目標に向かう」「自分勝手に仕事を進める人よりも和を重視する人の方が評価される」。
- 東アジア（日本、中国、韓国、台湾、香港）では、「上層部の決定にはとやがて従う」「波風を立てないことが何よりも重要」「和を重視する人のほうが評価される」などが上位に入り、組織内の秩序や調和を重視する傾向が強い。また、成果主義的な項目やスピード感・迅速さを求める項目も上位に入る。
- 日本は「定年までの雇用が前提」が10位に入り、組織文化としての特徴が確認された。
- 中国では「メンバー間の競争に勝つことが評価対象」が3位で、他国・地域には見られない特徴。また、「過去の慣習・既存のルールにとらわれることなく柔軟に考えることを推奨」「まず行動し進めながら考える」「多少粗くても迅速な意思決定が尊重される」がトップ10に入り、臨機応変・スピード重視の傾向がある。
- 韓国のトップ3は「波風を立てない」「上層部の決定に従う」「和を重視する」で9割前後。組織の秩序と調和を重視する傾向が強く見られる。
- 台湾と香港では「仕事のプロセスよりも最終的な結果が重視される」が1位だが、台湾は「目先の成果よりも長期的成果の追求」、香港は「時間をかけて検討することよりもタイミングやスピード」がトップ10に入る点で異なる傾向が見られる。

組織文化
(ランキング)

- 東南アジア (タイ、フィリピン、インドネシア、マレーシア、シンガポール、ベトナム) とインドでは、互いを尊重しチームワークを大切にしながら、柔軟性・創造性・独自性を重視する傾向が見られる。
- タイとインドネシアでは、「社内では波風を立てないこと」がトップ3に入るのが特徴的。一方、ベトナムでは「上の者に対しても言いたいことが言える」「職場のメンバーに対して間違っていることやできていないことを指摘しやすい職場だ」がトップ10に入る。
- タイ、フィリピン、インドネシア、マレーシア、インドでは「利益と同じくらい社会的な責任を重視」「長期的な視点や成果の重視」がトップ10に入る。
- シンガポールでは、「成果主義」や「スピード感・迅速さ」が上位に入り、東アジアに近い傾向が見られる。
- オーストラリア、アメリカ、ヨーロッパ (イギリス、ドイツ、フランス、スウェーデン) では、職場の相互尊重とチームワークに関する項目が上位を占める。また「上司でも部下でも分け隔てなく仲が良い」「職場ではいつも活発な意見交換が行われておりにぎやか」「他人に合わせるのではなく、自分の意思を明確に伝えることが歓迎されている」など柔軟でフラットな組織文化が特徴的であった。
- アメリカでは「多少粗くても迅速な意思決定が尊重される」スピード重視の傾向が見られる。
- イギリス、ドイツ、スウェーデンは「社会的な責任」「長期的な視点や成果」など長期的・大局的志向もトップ10に入る。
- 一方、フランスは「上層部の決定に従う」権威主義、「結果を出さないと評価されない」成果主義、「多少粗くても迅速な意思決定が尊重される」スピード重視が上位に入り、他のヨーロッパとは異なる傾向が見られる。

組織文化 (類似度マッピング)

組織文化の類似度で各国・地域をマッピングすると、日本は韓国と並び「権威主義・責任回避」に特徴づけられる。オーストラリア、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデンは個人を尊重した柔軟なマネジメント、インドネシア、フィリピン、マレーシア、ベトナムは組織の調和を重視した自由闊達な風土に特徴づけられる。

「組織文化」の特徴（10分類）を用いて、類似度により18カ国・地域をマッピングしたところ、以下の傾向がみられた。

- 日本と韓国は「権威主義・責任回避」に特徴づけられ、類似度が高い。
- アメリカ、イギリス、スウェーデン、オーストラリア、ドイツは、「職場の相互尊重」「柔軟性・創造性・独自性」に特徴づけられる。
- フランスと中国は、「スピード感・迅速さ」に特徴づけられる。香港と台湾も類似した傾向。
- 東南アジア※¹は、シンガポールが大きく異なる傾向を示し「心理的安定性のなさ」に近く、「成果主義」にも近いのが特徴的であった。
フィリピン、マレーシア、ベトナムは比較的類似度が高く、「チームワーク」「長期的・大局的志向」「自由闊達・開放的」に特徴づけられる。

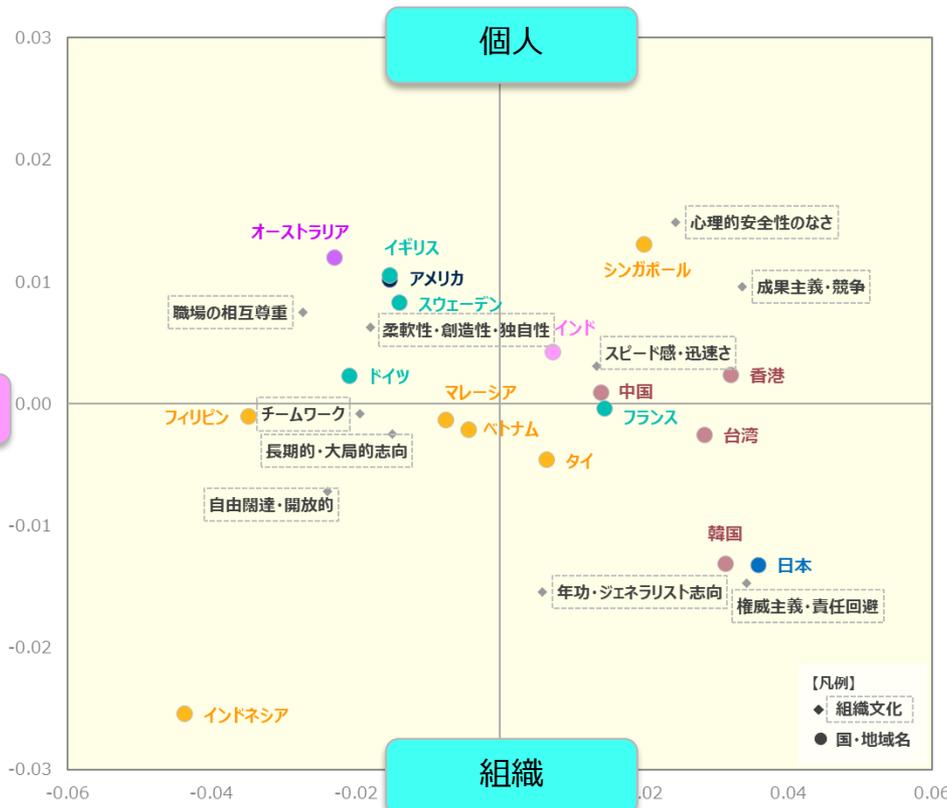
※東南アジア＝タイ・フィリピン・インドネシア・マレーシア・シンガポール・ベトナム

1.組織文化

分類	設問
権威主義・責任回避	上層部の決定にはとやまず従うという雰囲気がある 社内では波風を立てないことが何よりも重要とされる 物事は、オープンな議論ではなく、事前の根回しによって決定される
自由闊達・開放的	上司でも部下でも、分け隔てなく仲が良い 上の者に対しても言いたいことが言える 職場では、いつも活発な意見交換が行われておりにぎやかだ
長期的・大局的志向	目先の業務に縛られず、長期的視点で考えていくことが奨励されている 目先の成果よりも、長期的成果の追求を重視するところがある 利益と同じくらい「社会的な責任」が重視されている
年功・ジェネラリスト志向	年齢・勤続年数で給与・待遇が決められている 定年まで雇用されることが前提になっている 特定分野のスペシャリストよりも、ジェネラリストを育てようとしている
柔軟性・創造性・独自性	独自性・創造性に富んだ意見・考えを持つことが求められる 過去の慣習・既存のルールにとらわれることなく、柔軟に考えることが推奨されている 他人に合わせるのではなく、自分の意思を明確に伝えることが歓迎されている
スピード感・迅速さ	まず行動をおこし、進めながら考えていくことが奨励される 多少粗くても、迅速な意思決定が尊重される 時間をかけて検討することよりも、タイミングやスピードが重視される
成果主義・競争	仕事のプロセスよりも、最終的な結果が重視される メンバー間の競争に勝つことが、評価の対象になる 努力しても、結果を出せないと評価されない
チームワーク	チームとしてひとつにまとまっている 自分勝手に仕事を進める人よりも、和を重視する人のほうが評価される 一致団結して目標に向かっていく雰囲気がある
心理的安全性のなさ	失敗した人がいると、その人が責められる傾向がある 職場のメンバーは、異なった考えを持つ人を受け入れないところがある 職場のメンバーに対して、間違っていることや、できていないことを指摘しやすい職場だ
職場の相互尊重	一人ひとりの価値観を大事にしてくれる職場だ 職場では、(正規、非正規、アルバイトなど) いろいろな立場の人が職場の一員として尊重されている 私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている

※各設問について、「6：全くその通りだ～1：全くその反対だ」の6件法で聴取。
各分類の得点は、構成設問の得点（選択肢番号）の平均得点を算出。

1.組織文化 類似度マッピング (コレスポネンス分析)



※図の見方

- ・特徴のない項目は原点付近にプロットされ、特徴の大きい項目は原点から遠くにプロットされる。
- ・関連の強い項目同士は、原点からみて同一方向にプロットされる。

※軸の名称は、分析結果から解釈して命名。

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

1.組織文化 各国・地域ランキングTOP10

Q. 以下の内容は、あなたの職場にどの程度あてはまりますか。最もあてはまる選択肢をそれぞれ一つずつお選びください。（6段階尺度／項目数30）

※スコアは「全くその通りだ」「かなりその通りだ」「ややその通りだ」の合算値

【東アジア】

※10分類による色付け（分類はP.29参照）

	全体 (18223)	%	日本 (1000)	%	中国 (1002)	%	韓国 (1005)	%	台湾 (1001)	%	香港 (1002)	%
1位	職場では、(正規、非正規、アルバイトなど) いろいろな立場の人が職場の一員として尊重されている	88.7	上層部の決定にはりあえず従うという雰囲気がある	84.4	自分勝手に仕事を進める人よりも、和を重視する人のほうが評価される	96.9	社内では波風を立てないことが何よりも重要とされる	90.5	仕事のプロセスよりも、最終的な結果が重視される	84.0	仕事のプロセスよりも、最終的な結果が重視される	89.4
2位	私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている	88.1	自分勝手に仕事を進める人よりも、和を重視する人のほうが評価される	80.0	一致団結して目標に向かっていく雰囲気がある	96.9	上層部の決定にはりあえず従うという雰囲気がある	90.3	自分勝手に仕事を進める人よりも、和を重視する人のほうが評価される	83.2	上層部の決定にはりあえず従うという雰囲気がある	89.3
3位	チームとしてひとつにまとまっている	87.4	職場では、(正規、非正規、アルバイトなど) いろいろな立場の人が職場の一員として尊重されている	76.8	メンバー間の競争に勝つことが、評価の対象になる	96.8	自分勝手に仕事を進める人よりも、和を重視する人のほうが評価される	88.4	チームとしてひとつにまとまっている	82.8	社内では波風を立てないことが何よりも重要とされる	88.2
4位	一致団結して目標に向かっていく雰囲気がある	87.4	仕事のプロセスよりも、最終的な結果が重視される	73.4	社内では波風を立てないことが何よりも重要とされる	96.6	仕事のプロセスよりも、最終的な結果が重視される	82.4	物事は、オープンな議論ではなく、事前の根回しによって決定される	82.6	自分勝手に仕事を進める人よりも、和を重視する人のほうが評価される	87.8
5位	自分勝手に仕事を進める人よりも、和を重視する人のほうが評価される	86.0	利益と同じくらい「社会的な責任」が重視されている	72.4	私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている	96.6	私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている	81.9	社内では波風を立てないことが何よりも重要とされる	82.4	チームとしてひとつにまとまっている	87.1
6位	一人ひとりの価値観を大事にしてくれる職場だ	85.3	社内では波風を立てないことが何よりも重要とされる	70.8	利益と同じくらい「社会的な責任」が重視されている	96.1	一致団結して目標に向かっていく雰囲気がある	81.8	特定分野のスペシャリストよりも、ジェネラリストを育てようとしている	81.9	職場では、(正規、非正規、アルバイトなど) いろいろな立場の人が職場の一員として尊重されている	86.2
7位	利益と同じくらい「社会的な責任」が重視されている	84.3	時間をかけて検討することよりも、タイミングやスピードが重視される	70.4	過去の慣習・既存のルールにとらわれることなく、柔軟に考えることが推奨されている	96.1	職場では、(正規、非正規、アルバイトなど) いろいろな立場の人が職場の一員として尊重されている	77.0	職場では、(正規、非正規、アルバイトなど) いろいろな立場の人が職場の一員として尊重されている	81.3	一致団結して目標に向かっていく雰囲気がある	85.9
8位	上司でも部下でも、分け隔てなく仲が良い	83.7	私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている	69.5	職場では、(正規、非正規、アルバイトなど) いろいろな立場の人が職場の一員として尊重されている	96.1	職場では、いつも活発な意見交換が行われておりにぎやかだ	76.9	上層部の決定にはりあえず従うという雰囲気がある	81.2	私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている	84.5
9位	職場では、いつも活発な意見交換が行われておりにぎやかだ	83.5	努力しても、結果を出せないと評価されない	67.5	チームとしてひとつにまとまっている	96.0	努力しても、結果を出せないと評価されない	76.4	目先の成果よりも、長期的成果の追求を重視するところがある	80.9	時間をかけて検討することよりも、タイミングやスピードが重視される	84.4
10位	過去の慣習・既存のルールにとらわれることなく、柔軟に考えることが推奨されている	82.8	定年まで雇用されることが前提になっている	66.4	まず行動をおこし、進めながら考えていくことが奨励される	95.6	時間をかけて検討することよりも、タイミングやスピードが重視される	75.5	一人ひとりの価値観を大事にしてくれる職場だ	80.7	一人ひとりの価値観を大事にしてくれる職場だ	83.7
10位					多少粗くても、迅速な意思決定が尊重される	95.6	チームとしてひとつにまとまっている	75.5				

※()内は回答者数

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(マニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

1.組織文化 各国・地域ランキングTOP10

Q. 以下の内容は、あなたの職場にどの程度あてはまりますか。最もあてはまる選択肢をそれぞれ一つずつお選びください。（6段階尺度／項目数30）

※スコアは「全くその通りだ」「かなりその通りだ」「ややその通りだ」の合算値

※10分類による色付け（分類はP.29参照）

【東南アジア／南アジア】

	タイ (1059)	%	フィリピン (1010)	%	インドネシア (1002)	%	マレーシア (1000)	%	シンガポール (1002)	%	ベトナム (1002)	%	インド (1119)	%
1位	利益と同じくらい「社会的な責任」が重視されている	94.3	チームとしてひとつにまとまっている	96.6	社内では波風を立てないことが何よりも重要とされる	97.4	チームとしてひとつにまとまっている	94.1	職場では、(正規、非正規、アルバイトなど) いろいろな立場の人が職場の一員として尊重されている	86.6	一致団結して目標に向かっていく雰囲気がある	96.0	一致団結して目標に向かっていく雰囲気がある	95.8
2位	社内では波風を立てないことが何よりも重要とされる	94.1	一致団結して目標に向かっていく雰囲気がある	96.0	私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている	96.3	私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている	92.8	私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている	85.3	チームとしてひとつにまとまっている	95.5	他人に合わせるのではなく、自分の意思を明確に伝えることが歓迎されている	95.3
3位	職場では、(正規、非正規、アルバイトなど) いろいろな立場の人が職場の一員として尊重されている	94.1	職場では、(正規、非正規、アルバイトなど) いろいろな立場の人が職場の一員として尊重されている	96.0	一致団結して目標に向かっていく雰囲気がある	95.9	一致団結して目標に向かっていく雰囲気がある	92.5	自分勝手に仕事を進める人よりも、和を重視する人のほうが評価される	84.8	一人ひとりの価値観を大事にしてくれる職場だ	95.5	チームとしてひとつにまとまっている	95.3
4位	チームとしてひとつにまとまっている	93.4	一人ひとりの価値観を大事にしてくれる職場だ	95.8	チームとしてひとつにまとまっている	95.5	職場では、(正規、非正規、アルバイトなど) いろいろな立場の人が職場の一員として尊重されている	92.4	仕事のプロセスよりも、最終的な結果が重視される	84.7	私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている	95.5	独自性・創造性に富んだ意見・考えを持つことが求められる	95.1
5位	一致団結して目標に向かっていく雰囲気がある	93.1	私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている	95.3	利益と同じくらい「社会的な責任」が重視されている	95.1	独自性・創造性に富んだ意見・考えを持つことが求められる	90.9	チームとしてひとつにまとまっている	84.5	上の者に対しても言いたいことが言える	94.8	私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている	94.6
6位	私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている	92.7	他人に合わせるのではなく、自分の意思を明確に伝えることが歓迎されている	94.9	上の者に対しても言いたいことが言える	94.9	一人ひとりの価値観を大事にしてくれる職場だ	89.9	上層部の決定にはとやみかみ従うという雰囲気がある	83.9	職場では、(正規、非正規、アルバイトなど) いろいろな立場の人が職場の一員として尊重されている	94.7	一人ひとりの価値観を大事にしてくれる職場だ	94.5
7位	自分勝手に仕事を進める人よりも、和を重視する人のほうが評価される	92.5	利益と同じくらい「社会的な責任」が重視されている	94.5	独自性・創造性に富んだ意見・考えを持つことが求められる	94.7	職場では、いつも活発な意見交換が行われておりにぎやかだ	89.1	一致団結して目標に向かっていく雰囲気がある	83.3	職場では、いつも活発な意見交換が行われておりにぎやかだ	94.4	職場では、(正規、非正規、アルバイトなど) いろいろな立場の人が職場の一員として尊重されている	94.2
8位	一人ひとりの価値観を大事にしてくれる職場だ	92.1	独自性・創造性に富んだ意見・考えを持つことが求められる	94.2	一人ひとりの価値観を大事にしてくれる職場だ	94.5	目先の成果よりも、長期的成果の追求を重視するところがある	89.1	多少粗くても、迅速な意思決定が尊重される	82.4	自分勝手に仕事を進める人よりも、和を重視する人のほうが評価される	94.4	目先の成果よりも、長期的成果の追求を重視するところがある	94.0
9位	目先の成果よりも、長期的成果の追求を重視するところがある	91.4	職場では、いつも活発な意見交換が行われておりにぎやかだ	93.5	特定分野のスペシャリストよりも、ジェネラリストを育てようとしている	93.9	自分勝手に仕事を進める人よりも、和を重視する人のほうが評価される	89.1	他人に合わせるのではなく、自分の意思を明確に伝えることが歓迎されている	82.2	職場のメンバーに対して、間違っていることや、できていないことを指摘しやすい職場だ	94.0	利益と同じくらい「社会的な責任」が重視されている	94.0
10位	独自性・創造性に富んだ意見・考えを持つことが求められる	91.2	目先の業務に縛られず、長期的視点で考えていくことが奨励されている	92.4	職場では、(正規、非正規、アルバイトなど) いろいろな立場の人が職場の一員として尊重されている	93.8	社内では波風を立てないことが何よりも重要とされる	88.8	一人ひとりの価値観を大事にしてくれる職場だ	80.7	独自性・創造性に富んだ意見・考えを持つことが求められる	93.9	上司でも部下でも、分け隔てなく仲が良い	93.6
10位			目先の成果よりも、長期的成果の追求を重視するところがある	92.4			上司でも部下でも、分け隔てなく仲が良い	88.8						

※()内は回答者数

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(マニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、フランクフルト)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

1.組織文化 各国・地域ランキングTOP10

Q. 以下の内容は、あなたの職場にどの程度あてはまりますか。最もあてはまる選択肢をそれぞれ一つずつお選びください。（6段階尺度／項目数30）

※スコアは「全くその通りだ」「かなりその通りだ」「ややその通りだ」の合算値

※10分類による色付け（分類はP.29参照）

【オセアニア／北米／ヨーロッパ】

	オーストラリア（1003）	%	アメリカ（1010）	%	イギリス（1003）	%	ドイツ（1000）	%	フランス（1001）	%	スウェーデン（1002）	%
1位	職場では、（正規、非正規、アルバイトなど）いろいろな立場の人が職場の一員として尊重されている	88.2	職場では、（正規、非正規、アルバイトなど）いろいろな立場の人が職場の一員として尊重されている	89.5	私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている	86.9	職場では、（正規、非正規、アルバイトなど）いろいろな立場の人が職場の一員として尊重されている	85.6	職場では、（正規、非正規、アルバイトなど）いろいろな立場の人が職場の一員として尊重されている	85.3	職場では、（正規、非正規、アルバイトなど）いろいろな立場の人が職場の一員として尊重されている	90.3
2位	私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている	87.0	私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている	88.6	職場では、（正規、非正規、アルバイトなど）いろいろな立場の人が職場の一員として尊重されている	86.8	チームとしてひとつにまとまっている	84.1	私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている	84.4	一致団結して目標に向かっていく雰囲気がある	89.1
3位	チームとしてひとつにまとまっている	86.3	チームとしてひとつにまとまっている	87.4	チームとしてひとつにまとまっている	86.4	私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている	83.5	上層部の決定にはりあえず従うという雰囲気がある	83.8	私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている	88.4
4位	一致団結して目標に向かっていく雰囲気がある	84.8	一致団結して目標に向かっていく雰囲気がある	86.6	一致団結して目標に向かっていく雰囲気がある	84.2	上司でも部下でも、分け隔てなく仲が良い	83.4	他人に合わせるのではなく、自分の意思を明確に伝えることが歓迎されている	83.2	チームとしてひとつにまとまっている	87.8
5位	一人ひとりの価値観を大事にしてくれる職場だ	83.6	一人ひとりの価値観を大事にしてくれる職場だ	85.2	一人ひとりの価値観を大事にしてくれる職場だ	83.5	一致団結して目標に向かっていく雰囲気がある	83.0	一致団結して目標に向かっていく雰囲気がある	83.0	一人ひとりの価値観を大事にしてくれる職場だ	87.2
6位	自分勝手に仕事を進める人よりも、和を重視する人のほうが評価される	83.2	他人に合わせるのではなく、自分の意思を明確に伝えることが歓迎されている	84.8	上司でも部下でも、分け隔てなく仲が良い	82.3	一人ひとりの価値観を大事にしてくれる職場だ	80.5	過去の慣習・既存のルールにとらわれることなく、柔軟に考えることが推奨されている	81.7	他人に合わせるのではなく、自分の意思を明確に伝えることが歓迎されている	85.8
7位	上司でも部下でも、分け隔てなく仲が良い	82.3	上司でも部下でも、分け隔てなく仲が良い	84.0	他人に合わせるのではなく、自分の意思を明確に伝えることが歓迎されている	81.3	職場のメンバーに対して、間違っていることや、できていないことを指摘しやすい職場だ	79.0	職場では、いつも活発な意見交換が行われておりにぎやかだ	81.6	上司でも部下でも、分け隔てなく仲が良い	85.6
8位	他人に合わせるのではなく、自分の意思を明確に伝えることが歓迎されている	82.0	多少粗くても、迅速な意思決定が尊重される	83.0	職場では、いつも活発な意見交換が行われておりにぎやかだ	81.1	利益と同じくらい「社会的な責任」が重視されている	78.7	努力しても、結果を出せないと評価されない	81.5	目先の業務に縛られず、長期的視点で考えていくことが奨励されている	84.0
9位	職場では、いつも活発な意見交換が行われておりにぎやかだ	80.7	職場では、いつも活発な意見交換が行われておりにぎやかだ	82.7	利益と同じくらい「社会的な責任」が重視されている	79.9	目先の成果よりも、長期的成果の追求を重視するところがある	78.3	多少粗くても、迅速な意思決定が尊重される	81.2	利益と同じくらい「社会的な責任」が重視されている	83.7
10位	過去の慣習・既存のルールにとらわれることなく、柔軟に考えることが推奨されている	79.8	自分勝手に仕事を進める人よりも、和を重視する人のほうが評価される	81.2	過去の慣習・既存のルールにとらわれることなく、柔軟に考えることが推奨されている	79.9	職場では、いつも活発な意見交換が行われておりにぎやかだ	78.2	チームとしてひとつにまとまっている	80.6	過去の慣習・既存のルールにとらわれることなく、柔軟に考えることが推奨されている	82.8

※（ ）内は回答者数

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(マニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

上司の
マネジメント行動
(ランキング)

東アジアでは「良い仕事に対する賞賛」「日常的に感謝やねぎらいの言葉をかける」、東南アジアでは「責任ある役割／スキルや能力が身につく仕事の付与・任命」、インドでは「ビジョンや目標の共有」、オーストラリアやアメリカ・ヨーロッパでは「平等な接し方」「仕事上の悩みや不満の傾聴」が多い傾向が見られる。

- 東アジア（日本、中国、韓国、台湾、香港）では、「良い仕事に対する賞賛」「日常的な感謝やねぎらい」などの肯定的なフィードバックを行いながら、部下のモチベーション向上を図る傾向が確認された。また中国と香港では「納得できる注意や叱り方」が1位で、日本では「メンバーへの平等な接し方」が1位。
- 東南アジア（タイ、フィリピン、インドネシア、マレーシア、シンガポール、ベトナム）では、「スキルや能力が身につく仕事」や「責任ある役割」の付与・任命といった権限移譲に関する項目が上位にあがる。また、「スムーズな業務進捗への支援」「ミス発生時の十分なフォロー」も上位に入る。部下に成長機会を与え、必要に応じてサポートする傾向が見られる。
- インドでは、「ビジョンや方向性の明示」「職場全体の目標の伝達・共有」がトップ3に入っており、「仕事上の悩みや不満の傾聴」も高い。組織の方向性を示し部下を導く傾向が見られる。
- オーストラリア、アメリカ、ヨーロッパ（イギリス、ドイツ、フランス、スウェーデン）各国では、「メンバーへの平等な接し方」がトップ3に入り、イギリス以外では「仕事上の悩みや不満の傾聴」がトップ10に入っているのが特徴的であった。フェアな態度で部下に接することを重視し、仕事の相談をしやすい関係性を構築する傾向が見られる。

上司の マネジメント行動 (類似度マッピング)

上司のマネジメント行動の類似度で各国・地域をマッピングし、傾向を確認した。日本や韓国、香港、中国は「肯定的なフィードバック」に特徴づけられる。一方で、フランスやスウェーデン、インド、タイ、インドネシアでは「部下の話の傾聴」、フィリピンやマレーシア、シンガポールでは「権限委譲」、ドイツでは「目標の設定と共有」に特徴づけられる傾向があった。

「上司のマネジメント行動」の特徴（6分類）を用いて、類似度により18か国・地域をマッピングしたところ、以下の傾向がみられた。

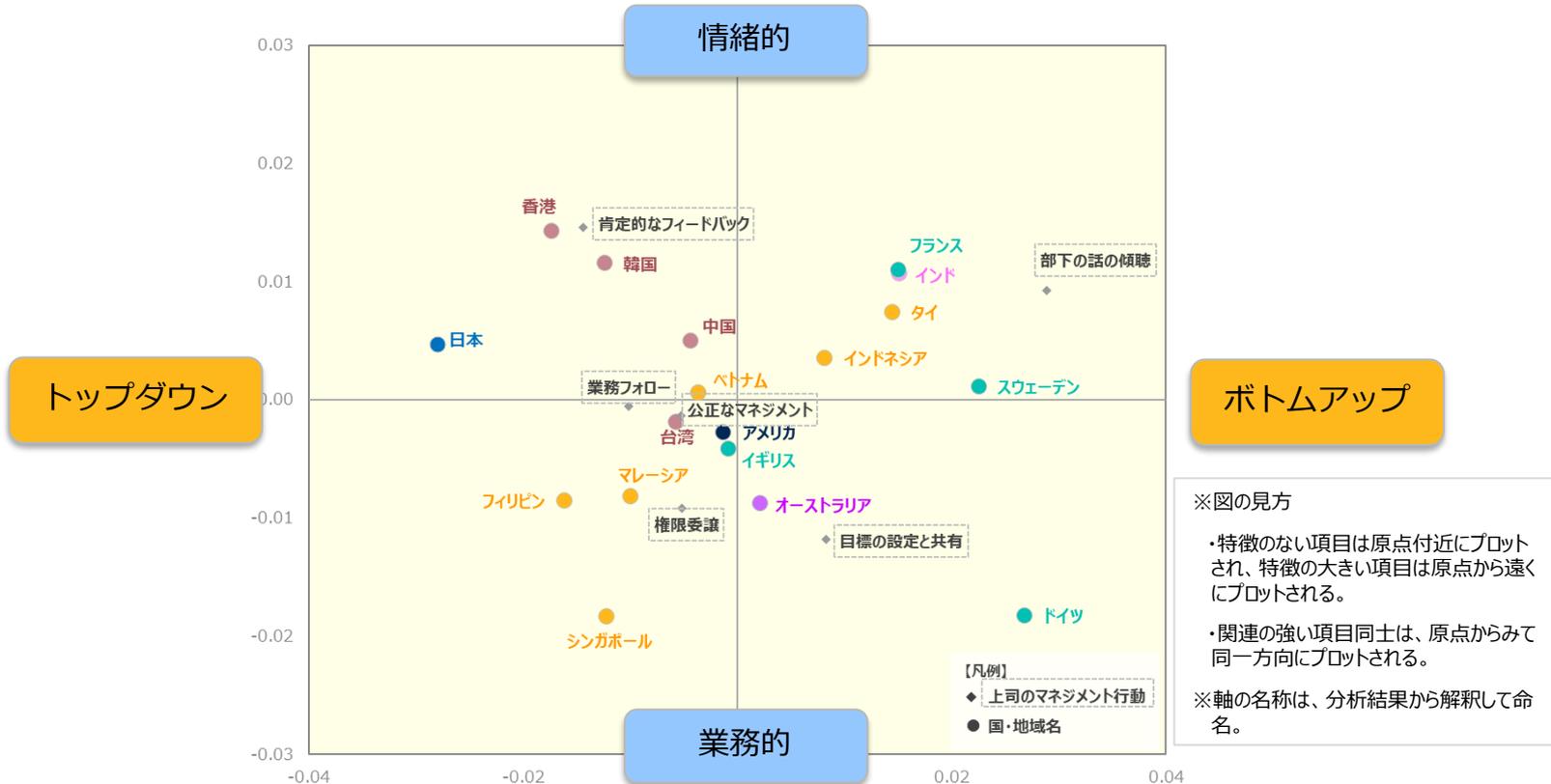
- 日本や韓国、香港、中国は、「肯定的なフィードバック」に特徴づけられる。
- フランスやスウェーデンでは「部下の話の傾聴」に特徴づけられる。一方、ドイツは「部下の話の傾聴」もランキング上位だが、「目標の設定と共有」の方が特徴的であった。
- フィリピンやマレーシア、シンガポールでは、「権限委譲」に特徴づけられる。一方、タイやインドネシアは「部下の話の傾聴」に近く、同じ東南アジアでも違いがみられた。
- オーストラリアは「目標の設定と共有」に特徴づけられる傾向があった。
- アメリカ、台湾、イギリス、ベトナムは原点付近に付置され、特徴が少ない。

2.上司のマネジメント行動

分類	設問
公正なマネジメント	上司は納得できる注意やしかり方をしている
	上司から、他のメンバーと平等に接してもらえている
	上司から、仕事ぶりに見合った評価を受けている
業務フォロー	ミスが発生したときは、上司から十分なフォローがある
	上司が仕事がスムーズに進捗するように支援してくれる
権限委譲	上司から、責任のある役割を任せてもらっている
	上司からスキルや能力が身につくような仕事を任されている
	上司が自分の意見を仕事に取り入れてくれる
部下の話の傾聴	上司に仕事上の悩みや不満を聞いてもらっている
	上司にプライベートな話も聞いてもらっている
目標の設定と共有	上司から職場全体の目標がしっかり伝えられている
	上司がビジョンや方向性を示してくれる
	上司と一緒に個人的な仕事の目標を設定できている
肯定的なフィードバック	上司から日常的に感謝やねぎらいの言葉をかけられている
	良い仕事をしたときは上司から褒められている

※各設問について、「5：とてもあてはまる～1：まったくあてはまらない」の5件法で聴取。
各分類の得点は、構成設問の得点（選択肢番号）の平均得点を算出。

2. 上司のマネジメント行動 類似度マッピング (コレスポネンス分析)



トップダウン

ボトムアップ

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

2.上司のマネジメント行動 各国・地域ランキングTOP10

Q. あなたと現在の上司との関係について、最も近いと思うものを各ひとつお選びください。(5段階尺度/項目数15)

※スコア「とてもあてはまる」「ややあてはまる」の合算値

※6分類の色付け(分離はP.36参照)

【東アジア】

	全体(8043)	%	日本(691)	%	中国(553)	%	韓国(454)	%	台湾(505)	%	香港(545)	%
1位	スムーズな業務進捗への支援	72.3	メンバーに対する平等な接し方	54.3	納得できる注意や叱り方	87.2	良い仕事に対する称賛	70.3	自分の意見の仕事への採用	66.1	納得できる注意や叱り方	71.6
2位	良い仕事に対する称賛	72.2	良い仕事に対する称賛	51.7	良い仕事に対する称賛	86.6	スムーズな業務進捗への支援	63.7	スムーズな業務進捗への支援	61.6	スムーズな業務進捗への支援	71.6
3位	職場全体の目標の伝達・共有	71.2	ミス発生時の十分なフォロー	49.3	仕事ぶりに合った評価	86.1	自分の意見の仕事への採用	61.2	良い仕事に対する称賛	60.2	仕事ぶりに合った評価	67.9
4位	メンバーに対する平等な接し方	71.1	自分の意見の仕事への採用	48.8	職場全体の目標の伝達・共有	85.7	職場全体の目標の伝達・共有	59.3	ビジョンや方向性の明示	60.2	良い仕事に対する称賛	67.7
5位	仕事ぶりに合った評価	71.0	日常的な感謝やねぎらい	47.3	日常的な感謝やねぎらい	85.7	責任ある役割の付与・任命	58.8	職場全体の目標の伝達・共有	60.0	日常的な感謝やねぎらい	64.8
6位	ビジョンや方向性の明示	70.0	責任ある役割の付与・任命	47.0	ビジョンや方向性の明示	85.7	仕事ぶりに合った評価	58.6	仕事ぶりに合った評価	59.2	自分の意見の仕事への採用	63.3
7位	責任ある役割の付与・任命	69.7	スムーズな業務進捗への支援	46.7	メンバーに対する平等な接し方	85.4	納得できる注意や叱り方	56.2	納得できる注意や叱り方	56.8	ミス発生時の十分なフォロー	62.8
8位	自分の意見の仕事への採用	69.1	職場全体の目標の伝達・共有	44.6	スムーズな業務進捗への支援	84.1	日常的な感謝やねぎらい	56.2	日常的な感謝やねぎらい	54.7	ビジョンや方向性の明示	61.1
9位	スキルや能力が身につく仕事の付与・任命	68.4	仕事ぶりに合った評価	43.0	ミス発生時の十分なフォロー	82.8	ミス発生時の十分なフォロー	55.7	スキルや能力が身につく仕事の付与・任命	54.3	スキルや能力が身につく仕事の付与・任命	58.9
10位	ミス発生時の十分なフォロー	67.9	ビジョンや方向性の明示	40.5	責任ある役割の付与・任命	82.1	メンバーに対する平等な接し方	55.5	ミス発生時の十分なフォロー	51.5	メンバーに対する平等な接し方	57.6

※()内は回答者数

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(マニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

2.上司のマネジメント行動 各国・地域ランキングTOP10

Q. あなたと現在の上司との関係について、最も近いと思うものを各ひとつお選びください。(5段階尺度/項目数15)

※スコアは「とてもあてはまる」「ややあてはまる」の合算値
※6分類の色付け(分類はP.36参照)

【東南アジア/南アジア】

	タイ(529)	%	フィリピン(480)	%	インドネシア(386)	%	マレーシア(288)	%	シンガポール(341)	%	ベトナム(353)	%	インド(126)	%
1位	良い仕事に対する称賛	81.5	責任ある役割の付与・任命	90.4	スキルや能力が身につく仕事の付与・任命	82.4	責任ある役割の付与・任命	79.2	スムーズな業務進捗への支援	70.1	スムーズな業務進捗への支援	84.7	メンバーに対する平等な接し方	88.1
2位	スキルや能力が身につく仕事の付与・任命	81.3	職場全体の目標の伝達・共有	89.8	納得できる注意や叱り方	81.9	スキルや能力が身につく仕事の付与・任命	78.5	責任ある役割の付与・任命	69.5	スキルや能力が身につく仕事の付与・任命	84.4	ビジョンや方向性の明示	87.3
3位	スムーズな業務進捗への支援	81.3	スキルや能力が身につく仕事の付与・任命	89.6	ビジョンや方向性の明示	81.1	良い仕事に対する称賛	78.5	ミス発生時の十分なフォロー	66.6	良い仕事に対する称賛	84.4	職場全体の目標の伝達・共有	86.5
4位	ミス発生時の十分なフォロー	80.9	仕事ぶりに見合った評価	89.4	職場全体の目標の伝達・共有	80.8	仕事ぶりに見合った評価	78.1	仕事ぶりに見合った評価	66.3	職場全体の目標の伝達・共有	84.1	仕事上の悩み・不満の傾聴	85.7
5位	ビジョンや方向性の明示	80.7	スムーズな業務進捗への支援	89.4	ミス発生時の十分なフォロー	80.1	スムーズな業務進捗への支援	76.4	ビジョンや方向性の明示	65.4	納得できる注意や叱り方	82.4	責任ある役割の付与・任命	85.7
6位	責任ある役割の付与・任命	80.3	良い仕事に対する称賛	89.0	スムーズな業務進捗への支援	79.0	職場全体の目標の伝達・共有	76.0	職場全体の目標の伝達・共有	64.8	仕事ぶりに見合った評価	82.4	良い仕事に対する称賛	83.3
7位	部下との共同による個人の目標設定	80.2	ビジョンや方向性の明示	88.8	責任ある役割の付与・任命	78.5	メンバーに対する平等な接し方	75.7	メンバーに対する平等な接し方	63.6	メンバーに対する平等な接し方	81.3	仕事ぶりに見合った評価	83.3
8位	職場全体の目標の伝達・共有	79.6	メンバーに対する平等な接し方	87.3	良い仕事に対する称賛	77.2	ビジョンや方向性の明示	73.3	自分の意見の仕事への採用	63.6	自分の意見の仕事への採用	81.3	スムーズな業務進捗への支援	82.5
9位	仕事ぶりに見合った評価	79.2	ミス発生時の十分なフォロー	86.3	仕事ぶりに見合った評価	77.2	部下との共同による個人の目標設定	69.8	スキルや能力が身につく仕事の付与・任命	62.2	ビジョンや方向性の明示	79.6	日常的な感謝やねぎらい	81.7
10位	日常的な感謝やねぎらい	78.4	自分の意見の仕事への採用	83.1	仕事上の悩み・不満の傾聴	76.7	自分の意見の仕事への採用	69.8	良い仕事に対する称賛	61.3	責任ある役割の付与・任命	79.3	自分の意見の仕事への採用	79.4

※()内は回答者数

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

2.上司のマネジメント行動 各国・地域ランキングTOP10

Q. あなたと現在の上司との関係について、最も近いと思うものを各ひとつお選びください。(5段階尺度/項目数15)

※スコアは「とてもあてはまる」「ややあてはまる」の合算値

※6分類の色付け(分類p.36参照)

【オセアニア/北米/ヨーロッパ】

	オーストラリア(405)	%	アメリカ(301)	%	イギリス(424)	%	ドイツ(468)	%	フランス(544)	%	スウェーデン(650)	%
1位	仕事ぶりに見合った評価	72.6	責任ある役割の付与・任命	79.1	責任ある役割の付与・任命	78.1	職場全体の目標の伝達・共有	73.1	メンバーに対する平等な接し方	76.3	メンバーに対する平等な接し方	77.4
2位	責任ある役割の付与・任命	72.3	スムーズな業務進捗への支援	74.1	メンバーに対する平等な接し方	76.2	メンバーに対する平等な接し方	73.1	良い仕事に対する称賛	75.2	仕事ぶりに見合った評価	75.8
3位	メンバーに対する平等な接し方	71.9	メンバーに対する平等な接し方	73.1	職場全体の目標の伝達・共有	74.3	ビジョンや方向性の明示	73.1	スムーズな業務進捗への支援	75.2	職場全体の目標の伝達・共有	75.2
4位	職場全体の目標の伝達・共有	71.6	良い仕事に対する称賛	72.1	良い仕事に対する称賛	74.3	仕事上の悩み・不満の傾聴	69.0	ミス発生時の十分なフォロー	74.8	仕事上の悩み・不満の傾聴	75.1
5位	スムーズな業務進捗への支援	69.9	職場全体の目標の伝達・共有	71.8	仕事ぶりに見合った評価	73.1	責任ある役割の付与・任命	69.0	職場全体の目標の伝達・共有	74.6	自分の意見の仕事への採用	75.1
6位	良い仕事に対する称賛	69.4	自分の意見の仕事への採用	71.1	スキルや能力が身につく仕事の付与・任命	71.7	自分の意見の仕事への採用	65.2	仕事ぶりに見合った評価	74.4	スムーズな業務進捗への支援	75.1
7位	仕事上の悩み・不満の傾聴	66.4	ビジョンや方向性の明示	70.8	スムーズな業務進捗への支援	70.8	スムーズな業務進捗への支援	65.2	ビジョンや方向性の明示	72.6	ビジョンや方向性の明示	74.3
8位	自分の意見の仕事への採用	66.2	仕事ぶりに見合った評価	70.4	ビジョンや方向性の明示	70.5	部下との共同による個人の目標設定	64.7	スキルや能力が身につく仕事の付与・任命	72.2	良い仕事に対する称賛	73.5
9位	ビジョンや方向性の明示	66.2	日常的な感謝やねぎらい	67.8	部下との共同による個人の目標設定	70.0	スキルや能力が身につく仕事の付与・任命	63.7	日常的な感謝やねぎらい	71.7	部下との共同による個人の目標設定	71.1
10位	ミス発生時の十分なフォロー	65.9	仕事上の悩み・不満の傾聴	67.4	自分の意見の仕事への採用	70.0	仕事ぶりに見合った評価	63.2	仕事上の悩み・不満の傾聴	71.7	ミス発生時の十分なフォロー	70.5

※()内は回答者数

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(マニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

個人の
仕事についての
考え方

1. 「成果による評価」を求める傾向は全体的に高い傾向。 「上昇志向」は中国、東南アジア、インド、アメリカ、フランスで高い傾向。 日本は、「出世意欲」や「プライベートを犠牲にしてまで働く意欲」は低い。

- 「仕事の成果によって評価してほしいと思う」が全体平均8割超で、全体的に高い傾向。
- 「会社で出世したい」は、中国、東南アジア※¹、インド、アメリカ、フランスで高い傾向。
- 日本は、「出世意欲」と「プライベートを犠牲にしても仕事は完了させるべき」の低さが特徴。

2. 多様性への受容度は、日本や韓国、台湾で低い傾向。

- 「女性上司」「年下上司」「外国人」に抵抗がなく、「自分の考え方や好み、やり方が異なる人とも積極的に関わる」など多様性に関する項目が万遍なく高いのは、中国、香港、東南アジア（シンガポール除く）、インド、アメリカ、イギリス、フランス。
- 日本、韓国、台湾は全ての項目が全体平均よりも低く、多様性の受容度が低い傾向。韓国は「年下上司」への抵抗が高く、日本は「自分の考え方や好み」が異なる人と積極的に関わろうとしない傾向。

3. 働き方の柔軟さを求める中国、東南アジア、インド、アメリカ。

- 「固定席でなくオフィスのフリースペースや社外などの好きな場所」「決められた時間ではなく好きな時間」に働きたい割合は、中国、東南アジア、インド、アメリカで高い傾向。

※¹東南アジア = タイ・フィリピン・インドネシア・マレーシア・シンガポール・ベトナム

3. 個人の仕事についての考え方

Q. 仕事に関する意識としてあなたの考えに最も近いものを各ひとつお選びください。(5段階尺度/項目数11)

※スコアは、「とてもそう思う」「ややそう思う」の合算値

	全体 (18223)	東アジア					東南アジア						南 アジア	オセ ア ニア	北米	ヨーロッパ				
		日本 (1000)	中国 (1002)	韓国 (1005)	台湾 (1001)	香港 (1002)	タイ (1059)	フィリ ピン (1010)	インド ネシア (1002)	マレー シア (1000)	シンガ ポール (1002)	ベト ナム (1002)	インド (1119)	オース トラ リア (1003)	アメリ カ (1010)	イギ リス (1003)	ドイ ツ (1000)	フラン ス (1001)	スウェ ーデン (1002)	
上昇 志向	仕事の成果によって評価してほしいと思う	83.1	73.5	87.8	79.0	68.1	78.6	88.4	91.9	87.8	84.3	83.6	89.3	92.9	83.5	85.0	82.6	76.7	83.1	77.4
	会社で出世したい	71.4	28.2	78.5	57.3	63.6	68.0	88.4	86.6	78.7	80.7	71.5	86.5	89.7	62.0	74.0	66.1	60.7	77.3	64.1
	プライベートを多少犠牲にしても仕事は完了させるべきだと思う	68.1	33.0	75.0	59.5	59.4	66.2	85.6	72.3	72.2	72.6	70.8	82.0	87.9	63.7	72.5	63.7	54.1	67.2	65.4
	仕事を選ぶときに会社の規模や知名度は関係ない	65.9	53.4	74.3	43.7	57.4	65.4	75.4	77.1	57.0	62.0	70.2	68.8	81.1	67.4	71.5	65.4	61.9	65.4	66.5
多様性	女性の上司のもとで働くことに抵抗はない	79.5	69.7	80.0	73.3	72.9	77.6	86.3	77.7	86.0	72.7	75.9	83.8	86.2	80.3	81.2	82.2	80.2	82.8	81.5
	外国人と一緒に働くことに抵抗はない	78.3	64.6	76.1	70.4	70.3	78.5	83.8	77.3	86.6	73.7	79.7	83.9	85.0	77.5	81.6	79.8	79.3	79.8	80.1
	年下の上司のもとで働くことに抵抗はない	75.8	62.9	79.4	58.1	69.5	74.9	84.8	75.5	84.5	73.7	72.9	83.6	84.8	71.9	78.7	74.0	73.6	80.8	79.7
	自分とは考え方や好み、やり方が違う人とも積極的に関わる	73.3	44.4	84.2	59.9	69.2	76.1	81.9	78.1	83.0	74.1	66.6	80.5	88.7	68.7	77.3	72.3	67.1	77.2	68.3
働き方	固定席ではなく、オフィスのフリースペースや社外などの好きな場所で働きたい	68.3	38.8	76.6	64.8	59.1	66.8	86.7	77.2	69.8	73.0	70.6	80.2	84.0	63.2	72.7	67.5	51.3	62.7	62.2
	毎日決められた時間ではなく、好きな時間に働きたい	68.2	52.7	78.3	62.8	64.0	71.2	78.7	68.3	52.5	69.3	68.8	66.8	84.6	68.4	71.4	68.3	60.5	70.6	68.1
	チームより個人で進められる仕事の方を好む	57.8	50.0	68.4	57.9	60.2	67.8	60.4	47.3	39.2	49.2	55.2	68.5	77.7	54.7	63.3	54.7	49.6	51.7	61.8

※ () 内は回答者数 ※得点の高低で色付け (高得点: 赤、低得点: グレー)

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

管理職に
なりたい人の
割合

管理職になりたい人の割合は、インドが最も高く90.5%、次いでベトナム、フィリピンと続く。日本は19.8%と最も低い。男女差（男性の方が高い）は、ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリア、日本、マレーシアで大きい。東南アジア（マレーシア除く）、東アジア（日本除く）、インドでは男女差が比較的小さく、インドネシアとシンガポールは女性の管理職意向が僅かに男性を上回る。

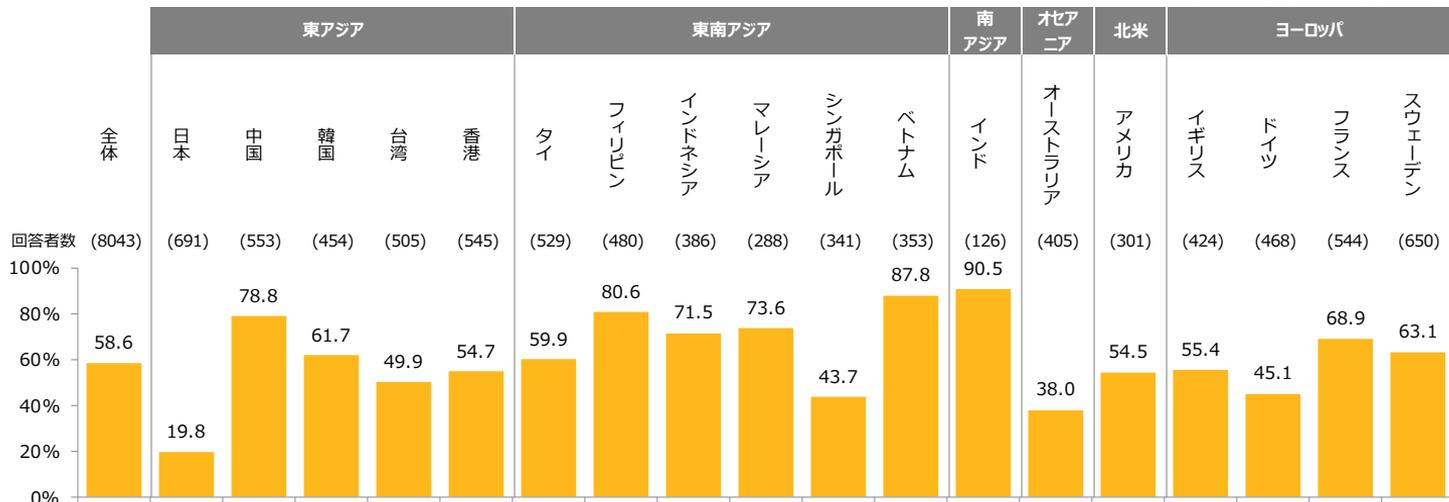
- 一般社員・従業員に「管理職」になりたいと思うかを聞いたところ、1位はインド90.5%、次いでベトナム87.8%、フィリピン80.6%と続く。最下位は日本の19.8%。
- 男女差が最も大きいのはスウェーデン（24.4pt）で男性が女性を大きく上回る。2位はアメリカ（17.3pt）、3位はマレーシア（17.0pt）で、ヨーロッパ※¹、日本、オーストラリアでも10pt以上の差がある。
- 東南アジア※²（マレーシア除く）、東アジア※³（日本除く）、インドでは男女差が比較的小さく、インドネシアとシンガポールでは女性の管理職意向が男性を僅かに上回る。
- 全体的に年齢の上昇とともに管理職になりたい人の割合は減少していく傾向だが、中国、フィリピン、ベトナムでは全ての年代で7割以上と高く、年代による差は見られない。
- 日本は、全ての年代が他国・地域よりも大幅に低い。最も高い20代においても33.7%であった（20代の全体平均は69.0%）。
- 時系列でみると、タイの管理職意向は2019年調査から16.6pt低下している。また、中国とシンガポールでは男女差が10pt以上減少している。

※¹ ヨーロッパ=イギリス・ドイツ・フランス・スウェーデン、※² 東南アジア=タイ・フィリピン・インドネシア・マレーシア・シンガポール・ベトナム、※³ 東アジア=日本・中国・韓国・台湾・香港

4.管理職になりたい人の割合（年代別）

Q. あなたは、現在の会社で管理職になりたいと感じますか。（5段階尺度）

※スコアは「そう思う」「ややそう思う」の合算値



年代	日本	中国	韓国	台湾	香港	タイ	フィリピン	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ベトナム	インド	オーストラリア	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン	
20代	(2034) 69.0	(175) 33.7	(190) 75.8	(146) 71.2	(136) 66.2	(166) 63.3	(127) 55.9	(120) 84.2	(126) 79.4	(72) 79.2	(98) 64.3	(88) 89.8	(27) 92.6	(83) 66.3	(61) 72.1	(85) 82.4	(104) 64.4	(129) 82.2	(101) 62.4
30代	(1526) 65.1	(161) 25.5	(106) 79.2	(108) 69.4	(129) 42.6	(116) 62.9	(99) 51.5	(112) 88.4	(75) 77.3	(63) 79.4	(36) 50.0	(61) 88.5	(7) 85.7	(50) 66.0	(41) 75.6	(60) 85.0	(73) 69.9	(117) 83.8	(112) 58.0
40代	(1548) 58.4	(138) 17.4	(150) 80.0	(72) 63.9	(116) 36.2	(97) 42.3	(90) 63.3	(106) 76.4	(75) 70.7	(59) 55.9	(53) 32.1	(56) 85.7	(24) 91.7	(68) 39.7	(51) 82.4	(87) 58.6	(82) 54.9	(97) 71.1	(127) 67.7
50代	(1432) 44.4	(113) 8.0	(57) 84.2	(64) 45.3	(75) 58.7	(94) 44.7	(82) 53.7	(83) 73.5	(50) 52.0	(43) 60.5	(71) 31.0	(55) 85.5	(11) 90.9	(102) 25.5	(64) 45.3	(102) 29.4	(116) 31.0	(113) 46.0	(137) 40.1
60代	(1503) 52.0	(104) 3.8	(50) 80.0	(64) 40.6	(49) 42.9	(72) 51.4	(131) 64.8	(59) 76.3	(60) 65.0	(51) 94	(83) 34.9	(83) 88.2	(57) 89.5	(102) 12.7	(84) 21.4	(90) 36.7	(93) 12.9	(88) 56.8	(173) 81.5
50代以上計	(2935) 48.3	(217) 6.0	(107) 82.2	(128) 43.0	(124) 52.4	(166) 47.6	(213) 64.8	(142) 74.6	(110) 59.1	(94) 76.6	(154) 33.1	(148) 87.2	(68) 89.7	(204) 19.1	(148) 31.8	(192) 32.8	(209) 23.0	(201) 50.7	(310) 63.2

*()内は回答者数

※70%以上太字 年代別30s未満 灰色塗つぶし

※得点の高低で色付け (高得点: 赤, 低得点: グレー)

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

4. 管理職になりたい人の割合（男女別）

Q. あなたは、現在の会社で管理職になりたいと感じますか。（5段階尺度）

▼管理職になりたいと思っている人の割合（％）

※スコアは「そう思う」「ややそう思う」の合算値

	全体 (%)	回答者数*	男性 (%)	回答者数	女性 (%)	回答者数	男女差(pt) (男性-女性)
1位 インド	90.5	(126)	91.8	(73)	88.5	(52)	3.3
2位 ベトナム	87.8	(353)	89.0	(181)	86.5	(170)	2.5
3位 フィリピン	80.6	(480)	81.8	(242)	79.1	(235)	2.7
4位 中国	78.8	(553)	79.3	(271)	78.4	(282)	0.9
5位 マレーシア	73.6	(288)	82.3	(141)	65.3	(147)	17.0
6位 インドネシア	71.5	(386)	70.7	(198)	72.7	(187)	-2.0
7位 フランス	68.9	(544)	74.5	(243)	64.5	(301)	10.0
8位 スウェーデン	63.1	(650)	76.0	(304)	51.6	(345)	24.4
9位 韓国	61.7	(454)	64.2	(176)	59.6	(275)	4.6
10位 タイ	59.9	(529)	59.0	(239)	56.7	(238)	2.3
11位 イギリス	55.4	(424)	64.9	(174)	49.2	(248)	15.7
12位 香港	54.7	(545)	59.4	(254)	50.5	(289)	8.9
13位 アメリカ	54.5	(301)	65.7	(105)	48.4	(192)	17.3
14位 台湾	49.9	(505)	52.4	(191)	48.6	(313)	3.8
15位 ドイツ	45.1	(468)	51.0	(202)	40.6	(266)	10.4
16位 シンガポール	43.7	(341)	43.2	(139)	44.5	(200)	-1.3
17位 オーストラリア	38.0	(405)	46.1	(154)	33.1	(251)	13.0
18位 日本	19.8	(691)	27.0	(315)	13.8	(376)	13.2
全体	58.6	(8043)	64.3	(3602)	53.8	(4367)	10.5

*全体の回答者には、性別「男女以外」「答えたくない」との回答者含む。詳細はP.170 参照

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

4.管理職になりたい人の割合（時系列）

Q. あなたは、現在の会社で管理職になりたいと感じますか。（5段階尺度）

▼管理職になりたいと思っている人の割合（%）

※スコアは「そう思う」「ややそう思う」の合算値

		全体(%)				男性(%)				女性(%)				男女差(pt) (男性-女性)	
		2022		2019		2022		2019		2022		2019		2022	2019
		割合	回答者数*	割合	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数		
1位	インド	90.5	(126)	86.2	(94)	91.8	(73)	87.0	(46)	88.5	(52)	85.4	(48)	3.3	1.6
2位	ベトナム	87.8	(353)	86.1	(360)	89.0	(181)	88.2	(170)	86.5	(170)	84.2	(190)	2.5	4.0
3位	フィリピン	80.6	(480)	82.6	(402)	81.8	(242)	79.8	(183)	79.1	(235)	84.9	(219)	2.7	- 5.1
4位	中国	78.8	(553)	74.2	(383)	79.3	(271)	81.6	(179)	78.4	(282)	67.6	(204)	0.9	14.0
5位	マレーシア	73.6	(288)	69.0	(294)	82.3	(141)	77.3	(128)	65.3	(147)	62.7	(166)	17.0	14.6
6位	インドネシア	71.5	(386)	75.6	(361)	70.7	(198)	73.3	(176)	72.7	(187)	77.8	(185)	-2.0	-4.5
7位	フランス	68.9	(544)	-	-	74.5	(243)	-	-	64.5	(301)	-	-	10.0	-
8位	スウェーデン	63.1	(650)	-	-	76.0	(304)	-	-	51.6	(345)	-	-	24.4	-
9位	韓国	61.7	(454)	60.2	(410)	64.2	(176)	62.7	(169)	59.6	(275)	58.5	(241)	4.6	4.2
10位	タイ	59.9	(529)	76.5	(417)	59.0	(239)	76.7	(193)	56.7	(238)	76.3	(224)	2.3	0.4
11位	イギリス	55.4	(424)	-	-	64.9	(174)	-	-	49.2	(248)	-	-	15.7	-
12位	香港	54.7	(545)	51.3	(577)	59.4	(254)	57.9	(273)	50.5	(289)	45.4	(304)	8.9	12.5
13位	アメリカ	54.5	(301)	-	-	65.7	(105)	-	-	48.4	(192)	-	-	17.3	-
14位	台湾	49.9	(505)	52.2	(580)	52.4	(191)	57.6	(243)	48.6	(313)	48.4	(337)	3.8	9.2
15位	ドイツ	45.1	(468)	-	-	51.0	(202)	-	-	40.6	(266)	-	-	10.4	-
16位	シンガポール	43.7	(341)	49.6	(419)	43.2	(139)	58.1	(172)	44.5	(200)	43.7	(247)	-1.3	14.4
17位	オーストラリア	38.0	(405)	44.8	(487)	46.1	(154)	51.9	(187)	33.1	(251)	40.3	(300)	13.0	11.6
18位	日本	19.8	(691)	21.4	(387)	27.0	(315)	26.8	(209)	13.8	(376)	15.2	(178)	13.2	11.6

*2022年：全体には性別「男女以外」「答えたくない」との回答者含む（詳細はP.170参照）。2019年：性別は男女のみで聴取

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

希望する
働き方

コロナ禍で注目された「在宅勤務」の希望率は、フィリピン、マレーシア、シンガポールが約4割と高い。一方、中国では約15%と最も低い。日本は「長期休暇取得」と「副業・兼業」を希望する割合が高い。

- 希望する働き方の全体平均トップ3は、「フルタイム勤務（60.6%）」、「在宅勤務（26.9%）」、「1日6時間以上8時間未満勤務（20.0%）」
- 「在宅勤務」の希望率は、最も高いフィリピンでは42.9%。次いで、マレーシア、シンガポールも約4割。一方、中国とスウェーデンでは2割未満。また、「遠隔地勤務」や「モバイルワーク」といった場所を選ばない働き方を希望する割合は、台湾、タイ、フィリピン、マレーシア、シンガポール、ベトナムで2割弱から3割。
- 日本は「長期休暇取得」23.7%、「副業・兼業」23.0%で、18か国・地域の中で最も高いのが特徴的であった。
- 正社員に着目して、「希望する働き方」と「実態*¹」との差を確認したところ、「在宅勤務」を希望する割合が実態を10pt以上上回っている国・地域は多く、中でも韓国、台湾、マレーシア、シンガポールでは20pt以上上回っていた。なお、「フルタイム勤務」を希望する割合は、全ての国・地域で実態を下回っていた。

*¹実態は、「現在の就労環境」P.18-19を参照

5.希望する働き方

Q. あなたが希望する働き方について、以下の中であてはまるものをすべてお選びください。（複数回答／選択肢11項目）

	全体 (18223)	東アジア					東南アジア						南 アジア	オセア ニア	北米	ヨーロッパ				(%)
		日本 (1000)	中国 (1002)	韓国 (1005)	台湾 (1001)	香港 (1002)	タイ (1059)	フィリピン (1010)	インドネシア (1002)	マレーシア (1000)	シンガポール (1002)	ベトナム (1002)	インド (1119)	オーストラリア (1003)	アメリカ (1010)	イギリス (1003)	ドイツ (1000)	フランス (1001)	スウェーデン (1002)	
勤務 時間・ 日数	フルタイム	60.6	60.7	65.7	64.0	52.4	65.6	43.1	55.5	54.7	59.9	60.2	68.1	76.6	54.8	66.4	52.4	60.6	70.9	58.8
	短時間勤務－1日6時間以上8時間未満勤務	20.0	15.1	19.8	19.0	18.8	16.6	26.4	22.2	30.9	23.2	14.2	23.5	14.7	22.4	17.9	23.7	19.1	10.8	21.2
	短時間勤務－1日6時間未満勤務	12.8	13.9	9.8	12.4	19.9	13.9	15.6	15.7	10.1	13.6	11.3	9.4	10.4	15.0	9.2	14.8	12.5	8.0	14.8
	週あたり、もしくは月あたり勤務日数を選択できる	18.8	20.4	14.4	12.8	20.3	23.5	18.6	21.7	8.2	21.6	24.5	15.1	16.0	20.7	18.4	23.6	17.5	23.9	18.2
勤務 場所	在宅勤務ができる	26.9	28.2	15.1	30.0	26.2	29.3	24.2	42.9	20.5	39.8	39.3	29.1	20.6	26.0	24.7	26.6	22.3	21.7	19.5
	遠隔地勤務(勤務する事業所の通勤圏外に居住しリモートワークを中心とした業務を行う)ができる	16.1	12.4	5.9	10.0	19.0	18.5	19.2	19.9	11.1	24.4	27.0	20.8	16.0	13.5	16.3	16.9	8.8	18.3	12.4
	モバイルワーク(カフェ等での外ワーク)で勤務できる	14.6	13.2	9.8	7.8	17.0	13.3	20.3	21.0	14.3	22.4	20.4	19.4	15.3	10.1	12.4	11.2	10.6	13.2	11.8
	サテライトオフィスで勤務できる	7.3	7.7	3.9	4.2	9.0	9.9	8.7	13.9	6.5	9.4	9.5	6.5	9.6	5.4	5.7	7.0	3.0	6.5	5.2
その他	長期休暇(連続2週間以上)が取得できる	14.2	23.7	8.1	16.0	9.1	19.7	12.7	13.2	5.2	15.9	21.3	9.4	8.9	17.1	13.1	16.5	14.0	16.6	16.7
	副業・兼業できる	11.0	23.0	5.5	10.3	10.9	16.6	12.7	18.6	13.8	15.9	12.8	6.8	4.7	8.9	8.5	8.4	6.9	5.4	8.3
	あてはまるものはない	0.6	2.5	0.3	1.4	0.5	0.0	0.8	0.5	0.2	0.9	0.2	0.2	0.2	0.6	1.2	0.5	0.6	0.3	0.3

* ()内は回答者数 ※項目別に、各国・地域の得点の高低で色付け（高得点：赤、低得点：グレー）

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

5. 希望する働き方と実態との差分

※ スコアは「希望する就労環境」から「現在の就労環境」のスコアを引き算した差分

	全体 (12033)	東アジア					東南アジア						南 アジア	オセア ニア	北米	ヨーロッパ			
		日本 (556)	中国 (624)	韓国 (640)	台湾 (772)	香港 (807)	タイ (526)	フィリピン (539)	インドネシア (463)	マレーシア (669)	シンガポール (813)	ベトナム (608)	インド (862)	オーストラリア (634)	アメリカ (686)	イギリス (647)	ドイツ (715)	フランス (702)	スウェーデン (770)
フルタイム	-21.0	-24.8	-20.5	-20.5	-39.3	-26.7	-32.7	-19.3	-14.4	-25.0	-27.8	-16.7	-9.8	-15.8	-10.1	-22.1	-15.9	-12.3	-22.5
短時間勤務- 1日6時間以上8時間未満勤務	8.2	9.2	12.5	10.2	4.0	10.3	12.3	7.2	7.2	12.9	6.9	7.4	3.8	8.8	4.8	9.0	9.4	4.4	10.9
短時間勤務- 1日6時間未満勤務	6.9	8.1	5.0	8.1	16.4	10.8	12.1	6.7	3.2	7.1	7.0	5.8	1.2	4.7	2.0	7.4	5.1	2.7	9.1
週あたり、もしくは月あたり勤務日数を選択できる	13.3	15.8	13.0	9.6	17.9	18.7	14.0	14.8	5.6	15.1	19.1	12.3	3.2	11.2	10.3	15.9	10.2	19.5	11.5
在宅勤務ができる	14.6	16.4	10.3	21.9	21.3	18.9	13.1	19.4	6.1	20.5	21.3	17.3	5.7	14.7	12.4	9.6	10.9	11.4	10.6
遠隔地勤務(勤務する事業所の通勤圏外に居住しリモートワークを中心とした業務を行う)ができる	10.6	14.1	3.2	9.4	15.8	14.3	10.7	13.5	8.2	13.9	17.6	15.6	4.5	9.4	8.3	9.7	5.8	10.7	6.8
モバイルワーク(カフェ等での外ワーク)で勤務できる	8.5	10.3	7.0	7.7	13.9	8.5	9.1	12.2	9.3	12.8	13.4	13.0	3.1	6.8	6.0	4.3	5.5	6.1	6.5
サテライトオフィスで勤務できる	3.8	4.4	0.3	2.2	6.8	4.7	7.1	8.3	2.6	6.2	7.6	4.7	1.9	3.0	1.9	3.4	1.2	1.0	3.4
長期休暇(連続2週間以上)が取得できる	10.5	22.3	5.9	15.8	7.0	15.3	11.6	11.5	4.5	12.9	17.0	9.0	2.5	9.6	7.9	7.7	8.1	11.1	9.3
副業・兼業できる	6.8	18.3	4.5	6.9	7.9	13.4	9.1	10.2	5.2	8.3	9.9	5.6	1.3	4.9	2.3	4.4	3.3	4.6	4.7
あてはまるものはない	0.2	1.0	0.0	0.4	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.3	0.0	0.2	0.1	0.1	0.3	0.2	0.3	-0.4	0.3

*()内は回答者数

※項目別に、各国・地域の得点の高低で色付け(高得点:赤、低得点:グレー)

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

仕事選択
重視点

いずれの国・地域も、仕事選択では「希望する収入」「仕事とプライベートのバランス」「雇用の安定」が上位。

東南アジアでは「スキル向上や能力活用」、オーストラリア、アメリカ、ヨーロッパは「働く時間や場所の選択」も重視する傾向。東アジアでは「自律的に自分の判断で仕事を進める」がトップ10に入らないのが特徴。

日本は、「人間関係」や「休みの取りやすさ」が、「やりたい仕事」よりも上位。

- 仕事を選ぶ上で重視することの全体平均トップ3は、1位「希望する収入」、2位「仕事とプライベートのバランス」、3位「雇用の安定」であり、いずれの国・地域も上位。
- 東南アジア※¹とインドでは、「色々な知識やスキルを得られる」「能力や個性を活かせる」がトップ10に入り、「職場の人間関係が良いこと」も重視する傾向。
- オーストラリア、アメリカ、ヨーロッパ※²では、「働く時間を選択できること」や「働く場所を選択できること」も重要なポイント。
- インド、シンガポール、タイ、オーストラリア、アメリカ、ヨーロッパでは「自律的に自分の判断で仕事を進められること」がトップ10入に入るが、東アジア※³ではトップ10に入らないのが特徴的であった。
- 東アジアや東南アジアでは、「会社の将来性」を重視する傾向。一方、オーストラリアや欧米ではトップ10に入らない。

※¹東南アジア=タイ・フィリピン・インドネシア・マレーシア・シンガポール・ベトナム、※²ヨーロッパ=イギリス・ドイツ・フランス・スウェーデン、※³東アジア=日本・中国・韓国・台湾・香港

仕事選択 重視点

- 日本では、働きやすさを重視する傾向。「職場の人間関係がよいこと」や「休みの取りやすさ」が、「やりたい仕事」や「やりがい」よりも上位に入るのが特徴的であった。
- 中国は、「希望する収入」の重視度が突出して高い。
- ベトナムは唯一、「雇用の安定」がトップ10に入っていない。「キャリアを活かせる」「自分の能力や個性が生かせる」「入社後のキャリアコースが明確に示されている」「社会的な成功が得られること」などキャリア志向の高さがうかがえる。その一方で、「仕事と育児や介護のバランスがとれること」といった家族を重視する側面も見られる。
- フィリピンは、「企業の理念、ビジョンに共感できること」がトップ10に入る。

仕事選択 重視点 (時系列比較)

- 日本では、2022年に2位の「仕事とプライベートのバランス」は、2019年調査の6位から順位を上げている。
- 中国は、2019年調査ではいずれもトップ10圏外であった「やりがい」「社会的な成功」「社会貢献」がトップ10に入るのが特徴。
- 香港では、「働く時間や場所の選択」の順位が上昇。マレーシアやシンガポールでは「働く時間の選択」、オーストラリアでは「働く場所の選択」の順位が上昇。
- フィリピン、インドネシア、マレーシア、インドでは「職場の人間関係」の重視度が上昇。一方でタイやベトナムでは下降し、タイでは「自律性」や「やりがい」、ベトナムでは「社会的成功」の重視度が上昇。

6.仕事選択重視点 各国・地域ランキングTOP10

Q. あなたが仕事を選ぶ上で重視することは何ですか。(優先度の高いものから上位5位まで/選択肢26項目)

※スコアは「加重スコア」(1位×5、2位×4、3位×3、4位×2、5位×1と加重をかけ、項目ごとに合算)

※18か国・地域の全体TOP3と同色の色付け

【東アジア】

	全体 (18223)	pt	日本 (1000)	pt	中国 (1002)	pt	韓国 (1005)	pt	台湾 (1001)	pt	香港 (1002)	pt
1位	希望する収入が得られること	22777	希望する収入が得られること	1604	希望する収入が得られること	1167	希望する収入が得られること	1425	希望する収入が得られること	1438	希望する収入が得られること	2119
2位	仕事とプライベートのバランスがとれること	19616	仕事とプライベートのバランスがとれること	1357	会社に将来性があること	795	雇用が安定していること	1315	通勤の便がよいこと	893	自分のやりたい仕事であること	1122
3位	雇用が安定していること	16951	職場の人間関係がよいこと	1324	雇用が安定していること	773	自分のやりたい仕事であること	1054	自分のやりたい仕事であること	883	仕事とプライベートのバランスがとれること	1105
4位	自分のやりたい仕事であること	16001	休みが取れる/取りやすいこと	1245	自分の能力や個性が生かせること	732	仕事とプライベートのバランスがとれること	1051	雇用が安定していること	783	通勤の便がよいこと	1082
5位	やりがいを感じられること	13276	自分のやりたい仕事であること	1177	自分のやりたい仕事であること	660	通勤の便がよいこと	887	やりがいを感じられること	692	雇用が安定していること	756
6位	職場の人間関係がよいこと	13173	やりがいを感じられること	1080	仕事とプライベートのバランスがとれること	650	自分の能力や個性が生かせること	859	仕事とプライベートのバランスがとれること	669	働く時間を選択できること	727
7位	通勤の便がよいこと	13124	通勤の便がよいこと	925	やりがいを感じられること	593	やりがいを感じられること	818	会社に将来性があること	661	職場の人間関係がよいこと	698
8位	働く時間を選択できること	11285	雇用が安定していること	855	社会的な成功が得られること	592	職場の人間関係がよいこと	812	色々な知識やスキルが得られること	623	会社に将来性があること	649
9位	自分の能力や個性が生かせること	11197	自分の能力や個性が生かせること	677	社会に貢献できること	583	キャリアを活かせること	789	自分の能力や個性が生かせること	602	働く場所を選択できること	582
10位	色々な知識やスキルが得られること	10267	働く時間を選択できること	487	入社後のキャリアコースが明確に示されていること	560	会社に将来性があること	682	働く時間を選択できること	584	やりがいを感じられること	579

※ () 内は回答者数

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(マニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

6. 仕事選択重視点 各国・地域ランキングTOP10

Q. あなたが仕事を選ぶ上で重視することは何ですか。(優先度の高いものから上位5位まで/選択肢26項目)

※スコアは「加重スコア」(1位×5、2位×4、3位×3、4位×2、5位×1)加重をかけ、項目ごとに合算
※18か国・地域の全体TOP3と同色の色付け

【東南アジア/南アジア】

		1位		2位		3位								
順位	タイ (1059)	pt	フィリピン (1010)	pt	インドネシア (1002)	pt	マレーシア (1000)	pt	シンガポール (1002)	pt	ベトナム (1002)	pt	インド (1119)	pt
1位	希望する収入が得られること	1203	仕事とプライベートのバランスがとれること	1368	希望する収入が得られること	1360	仕事とプライベートのバランスがとれること	1320	希望する収入が得られること	1520	希望する収入が得られること	1214	仕事とプライベートのバランスがとれること	1038
2位	雇用が安定していること	1032	希望する収入が得られること	1218	職場の人間関係がよいこと	1029	希望する収入が得られること	1274	仕事とプライベートのバランスがとれること	1474	仕事とプライベートのバランスがとれること	916	希望する収入が得られること	916
3位	仕事とプライベートのバランスがとれること	885	雇用が安定していること	1204	仕事とプライベートのバランスがとれること	1003	雇用が安定していること	1049	雇用が安定していること	1172	キャリアを活かせること	909	職場の人間関係がよいこと	773
4位	通勤の便がよいこと	836	職場の人間関係がよいこと	980	仕事と育児や介護のバランスがとれること	897	色々な知識やスキルが得られること	742	自分のやりたい仕事であること	873	自分の能力や個性が生かせること	894	自分のやりたい仕事であること	762
5位	自分のやりたい仕事であること	833	自分のやりたい仕事であること	895	入社後のキャリアコースが明確に示されていること	852	自分のやりたい仕事であること	739	やりがいを感じられること	856	会社に将来性があること	780	雇用が安定していること	758
6位	自分の能力や個性が生かせること	673	色々な知識やスキルが得られること	824	雇用が安定していること	796	やりがいを感じられること	670	職場の人間関係がよいこと	717	仕事と育児や介護のバランスがとれること	718	働く時間を選択できること	749
7位	やりがいを感じられること	655	やりがいを感じられること	705	やりがいを感じられること	764	職場の人間関係がよいこと	654	通勤の便がよいこと	661	社会的な成功が得られること	697	色々な知識やスキルが得られること	664
8位	自律的に自分の判断で仕事を進められること	640	自分の能力や個性が生かせること	603	会社に将来性があること	723	通勤の便がよいこと	629	色々な知識やスキルが得られること	622	通勤の便がよいこと	645	通勤の便がよいこと	654
9位	会社に将来性があること	636	働く時間を選択できること	570	色々な知識やスキルが得られること	690	会社に将来性があること	618	働く時間を選択できること	593	職場の人間関係がよいこと	644	入社後のキャリアコースが明確に示されていること	635
10位	職場の人間関係がよいこと	602	企業の理念、ビジョンに共感できること	569	自分の能力や個性が生かせること	613	働く時間を選択できること	589	自律的に自分の判断で仕事を進められること	554	入社後のキャリアコースが明確に示されていること	606	自律的に自分の判断で仕事を進められること	630

※ () 内は回答者数

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

6.仕事選択重視点 各国・地域ランキングTOP10

Q. あなたが仕事を選ぶ上で重視することは何ですか。(優先度の高いものから上位5位まで/選択肢26項目)

※スコアは「加重スコア」(1位×5、2位×4、3位×3、4位×2、5位×1と加重をかけ、項目ごとに合算)
※18か国・地域の全体TOP3と同じ色色付け

【オセアニア/北米/ヨーロッパ】

1位 2位 3位

	オーストラリア (1003)	pt	アメリカ (1010)	pt	イギリス (1003)	pt	ドイツ (1000)	pt	フランス (1001)	pt	スウェーデン (1002)	pt
1位	仕事とプライベートのバランスがとれること	1454	希望する収入が得られること	1124	希望する収入が得られること	1280	仕事とプライベートのバランスがとれること	1043	希望する収入が得られること	1224	仕事とプライベートのバランスがとれること	1039
2位	雇用が安定していること	1228	仕事とプライベートのバランスがとれること	1067	仕事とプライベートのバランスがとれること	1176	自分のやりたい仕事であること	965	雇用が安定していること	1140	希望する収入が得られること	877
3位	希望する収入が得られること	1117	雇用が安定していること	1058	雇用が安定していること	1156	雇用が安定していること	922	自分のやりたい仕事であること	1061	働く時間を選択できること	863
4位	自分のやりたい仕事であること	1028	自分のやりたい仕事であること	921	自分のやりたい仕事であること	1124	働く時間を選択できること	844	仕事とプライベートのバランスがとれること	1001	自分のやりたい仕事であること	814
5位	通勤の便がよいこと	938	やりがいを感じられること	855	通勤の便がよいこと	966	自律的に自分の判断で仕事を進められること	826	やりがいを感じられること	889	やりがいを感じられること	707
6位	やりがいを感じられること	827	通勤の便がよいこと	818	やりがいを感じられること	843	職場の人間関係がよいこと	739	職場の人間関係がよいこと	836	職場の人間関係がよいこと	666
7位	働く時間を選択できること	825	働く時間を選択できること	755	働く時間を選択できること	798	やりがいを感じられること	697	働く時間を選択できること	643	休みが取れる/取りやすいこと	649
8位	働く場所を選択できること	701	働く場所を選択できること	628	自律的に自分の判断で仕事を進められること	601	希望する収入が得られること	697	働く場所を選択できること	620	自律的に自分の判断で仕事を進められること	647
9位	自律的に自分の判断で仕事を進められること	619	自律的に自分の判断で仕事を進められること	583	色々な知識やスキルが得られること	541	自分の能力や個性が活かせること	645	自分の能力や個性が活かせること	559	働く場所を選択できること	634
10位	職場の人間関係がよいこと	559	自分の能力や個性が活かせること	562	職場の人間関係がよいこと	539	休みが取れる/取りやすいこと	645	自律的に自分の判断で仕事を進められること	520	雇用が安定していること	624

※ () 内は回答者数

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

6.仕事選択重視点 各国・地域ランキングTOP10（時系列）

Q. あなたが仕事を選ぶ上で重視することは何ですか。（優先度の高いものから上位5位まで／選択肢26項目）

※2つ以上順位が変動した項目に矢印を付記

※スコアは「加重スコア」（1位×5、2位×4、3位×3、4位×2、5位×1と加重をかけ、項目ごとに合算）

※2022年18ヶ国・地域の全体平均TOP3と同色の色付け

【東アジア】

	日本		中国		韓国							
	2022 (1000)	pt	2019 (1000)	pt	2022 (1005)	pt	2019 (1000)	pt				
1位	希望する収入が得られること	1604	希望する収入が得られること	1254	希望する収入が得られること	1167	希望する収入が得られること	1451	希望する収入が得られること	1425	希望する収入が得られること	1545
2位	仕事とプライベートのバランスがとれること	1357	職場の人間関係がよいこと	1230	会社に将来性があること	795	会社に将来性があること	953	雇用が安定していること	1315	雇用が安定していること	1348
3位	職場の人間関係がよいこと	1324	休みが取れる／取りやすいこと	1136	雇用が安定していること	773	自分の能力や個性が生かせること	890	自分のやりたい仕事であること	1054	仕事とプライベートのバランスがとれること	1180
4位	休みが取れる／取りやすいこと	1245	やりがいを感じられること	1121	自分の能力や個性が生かせること	732	自分のやりたい仕事であること	887	仕事とプライベートのバランスがとれること	1051	自分のやりたい仕事であること	1150
5位	自分のやりたい仕事であること	1177	自分のやりたい仕事であること	1094	自分のやりたい仕事であること	660	仕事とプライベートのバランスがとれること	833	通勤の便がよいこと	887	通勤の便がよいこと	995
6位	やりがいを感じられること	1080	仕事とプライベートのバランスがとれること	1087	仕事とプライベートのバランスがとれること	650	雇用が安定していること	788	自分の能力や個性が生かせること	859	自分の能力や個性が生かせること	909
7位	通勤の便がよいこと	925	通勤の便がよいこと	1044	やりがいを感じられること	593	入社後のキャリアコースが明確に示されていること	717	やりがいを感じられること	818	やりがいを感じられること	836
8位	雇用が安定していること	855	雇用が安定していること	945	社会的な成功が得られること	592	色々な知識やスキルが得られること	700	職場の人間関係がよいこと	812	職場の人間関係がよいこと	766
9位	自分の能力や個性が生かせること	677	自分の能力や個性が生かせること	727	社会に貢献できること	583	仕事と育児や介護のバランスがとれること	627	キャリアを活かせること	789	会社に将来性があること	602
10位	働く時間を選択できること	487	働く時間を選択できること	583	入社後のキャリアコースが明確に示されていること	560	職場の人間関係がよいこと	602	会社に将来性があること	682	キャリアを活かせること	537

※（ ）内は回答者数

※対象地域 【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(マニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

6.仕事選択重視点 各国・地域ランキングTOP10（時系列）

Q. あなたが仕事を選ぶ上で重視することは何ですか。（優先度の高いものから上位5位まで／選択肢26項目）

※2つ以上順位が変動した項目に矢印を付記

※スコアは「加重スコア」（1位×5、2位×4、3位×3、4位×2、5位×1と加重をかけ、項目ごとに合算）

※2022年18ヶ国・地域の全体平均TOP3と同色の色付け

1位 2位 3位

【東アジア】

	台湾		香港	
	2022 (1001)	pt	2019 (1000)	pt
1位	希望する収入が得られること	1438	希望する収入が得られること	1878
2位	通勤の便がよいこと	893	自分のやりたい仕事であること	1227
3位	自分のやりたい仕事であること	883	通勤の便がよいこと	1060
4位	雇用が安定していること	783	雇用が安定していること	945
5位	やりがいを感じられること	692	会社に将来性があること	854
6位	仕事とプライベートのバランスがとれること	669	自分の能力や個性が生かせること	826
7位	会社に将来性があること	661	職場の人間関係がよいこと	729
8位	色々な知識やスキルが得られること	623	やりがいを感じられること	697
9位	自分の能力や個性が生かせること	602	仕事とプライベートのバランスがとれること	599
10位	働く時間を選択できること	584	働く時間を選択できること	591

※（ ）内は回答者数

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ (ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス (ロンドン)、ドイツ (ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス (パリ)、スウェーデン (ストックホルム)

6.仕事選択重視点 各国・地域ランキングTOP10（時系列）

Q. あなたが仕事を選ぶ上で重視することは何ですか。（優先度の高いものから上位5位まで／選択肢26項目）

※2つ以上順位が変動した項目に矢印を付記

※スコアは「加重スコア」（1位×5、2位×4、3位×3、4位×2、5位×1と加重をかけ、項目ごとに合算）

※2022年18ヶ国・地域の全体平均TOP3と同色の色付け

1位 2位 3位

【東南アジア】

	タイ		フィリピン		インドネシア	
	2022 (1059) pt	2019 (1000) pt	2022 (1010) pt	2019 (1000) pt	2022 (1002) pt	2019 (1000) pt
1位	希望する収入が得られること 1203	希望する収入が得られること 1488	仕事とプライベートのバランスがとれること 1368	希望する収入が得られること 1569	希望する収入が得られること 1360	希望する収入が得られること 1303
2位	雇用が安定していること 1032	雇用が安定していること 1190	希望する収入が得られること 1218	仕事とプライベートのバランスがとれること 1514	職場の人間関係がよいこと ↑ 1029	入社後のキャリアコースが明確に示されていること 959
3位	仕事とプライベートのバランスがとれること ↑ 885	通勤の便がよいこと 1169	雇用が安定していること 1204	雇用が安定していること 1496	仕事とプライベートのバランスがとれること 1003	仕事と育児や介護のバランスがとれること 939
4位	通勤の便がよいこと 836	自分のやりたい仕事であること 895	職場の人間関係がよいこと ↑ 980	自分のやりたい仕事であること 1010	仕事と育児や介護のバランスがとれること 897	仕事とプライベートのバランスがとれること 932
5位	自分のやりたい仕事であること 833	仕事とプライベートのバランスがとれること 790	自分のやりたい仕事であること 895	色々な知識やスキルが得られること 783	入社後のキャリアコースが明確に示されていること ↓ 852	職場の人間関係がよいこと 911
6位	自分の能力や個性が生かされること ↑ 673	会社に将来性があること 717	色々な知識やスキルが得られること 824	職場の人間関係がよいこと 734	雇用が安定していること ↑ 796	やりがいを感じられること 828
7位	やりがいを感じられること ↑ 655	職場の人間関係がよいこと 700	やりがいを感じられること 705	通勤の便がよいこと 661	やりがいを感じられること 764	会社に将来性があること 823
8位	自律的に自分の判断で仕事を進められること ↑ 640	自分の能力や個性が生かされること 627	自分の能力や個性が生かされること ↑ 603	やりがいを感じられること 580	会社に将来性があること 723	色々な知識やスキルが得られること 736
9位	会社に将来性があること ↓ 636	キャリアを活かせること 597	働く時間を選択できること 570	働く時間を選択できること 553	色々な知識やスキルが得られること 690	雇用が安定していること 702
10位	職場の人間関係がよいこと ↓ 602	やりがいを感じられること 587	企業の理念、ビジョンに共感できること ↑ 569	入社後のキャリアコースが明確に示されていること 490	自分の能力や個性が生かされること ↑ 613	自分のやりたい仕事であること 678
10位		様々な仕事を体験できること 587				

※（ ）内は回答者数

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

6.仕事選択重視点 各国・地域ランキングTOP10（時系列）

Q. あなたが仕事を選ぶ上で重視することは何ですか。（優先度の高いものから上位5位まで／選択肢26項目）

※2つ以上順位が変動した項目に矢印を付記

※スコアは「加重スコア」（1位×5、2位×4、3位×3、4位×2、5位×1と加重をかけ、項目ごとに合算）

※2022年18ヶ国・地域の全体平均TOP3と同色の色付け

1位 2位 3位

【東南アジア】

	マレーシア		シンガポール				ベトナム					
	2022 (1000)	pt	2019 (1000)	pt	2022 (1002)	pt	2019 (1000)	pt	2022 (1002)	pt	2019 (1000)	pt
1位	仕事とプライベートのバランスがとれること	1320	雇用が安定していること	1351	希望する収入が得られること	1520	仕事とプライベートのバランスがとれること	1673	希望する収入が得られること	1214	希望する収入が得られること	1384
2位	希望する収入が得られること	1274	仕事とプライベートのバランスがとれること	1313	仕事とプライベートのバランスがとれること	1474	希望する収入が得られること	1631	仕事とプライベートのバランスがとれること	916	仕事とプライベートのバランスがとれること	1081
3位	雇用が安定していること	1049	希望する収入が得られること	1283	雇用が安定していること	1172	雇用が安定していること	1353	キャリアを活かせること	909	キャリアを活かせること	889
4位	色々な知識やスキルが得られること	742	色々な知識やスキルが得られること	905	自分のやりたい仕事であること	873	自分のやりたい仕事であること	1077	自分の能力や個性が生かせること	894	会社に将来性があること	877
5位	自分のやりたい仕事であること	739	自分のやりたい仕事であること	849	やりがいを感じられること	856	やりがいを感じられること	860	会社に将来性があること	780	自分の能力や個性が生かせること	854
6位	やりがいを感じられること	670	通勤の便がよいこと	744	職場の人間関係がよいこと	717	通勤の便がよいこと	798	仕事と育児や介護のバランスがとれること	718	仕事と育児や介護のバランスがとれること	711
7位	職場の人間関係がよいこと	654	自分の能力や個性が生かせること	708	通勤の便がよいこと	661	職場の人間関係がよいこと	683	社会的な成功が得られること	697	職場の人間関係がよいこと	667
8位	通勤の便がよいこと	629	会社に将来性があること	670	色々な知識やスキルが得られること	622	色々な知識やスキルが得られること	673	通勤の便がよいこと	645	通勤の便がよいこと	623
9位	会社に将来性があること	618	仕事と育児や介護のバランスがとれること	637	働く時間を選択できること	593	自律的に自分の判断で仕事を進められること	602	職場の人間関係がよいこと	644	自分のやりたい仕事であること	615
10位	働く時間を選択できること	589	やりがいを感じられること	623	自律的に自分の判断で仕事を進められること	554	自分の能力や個性が生かせること	542	入社後のキャリアコースが明確に示されていること	606	色々な知識やスキルが得られること	603

※（ ）内は回答者数

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(マニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ (ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス (ロンドン)、ドイツ (ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス (パリ)、スウェーデン (ストックホルム)

6.仕事選択重視点 各国・地域ランキングTOP10（時系列）

Q. あなたが仕事を選ぶ上で重視することは何ですか。（優先度の高いものから上位5位まで／選択肢26項目）

※2つ以上順位が変動した項目に矢印を付記

※スコアは「加重スコア」（1位×5、2位×4、3位×3、4位×2、5位×1と加重をかけ、項目ごとに合算）

※2022年18ヶ国・地域の全体平均TOP3と同色の色付け

1位 2位 3位

【南アジア／オセアニア】

	インド		オーストラリア	
	2022 (1119) pt	2019 (1000) pt	2022 (1003) pt	2019 (1000) pt
1位	仕事とプライベートのバランスがとれること 1038	仕事とプライベートのバランスがとれること 1116	仕事とプライベートのバランスがとれること 1454	仕事とプライベートのバランスがとれること 1514
2位	希望する収入が得られること 916	雇用が安定していること 978	雇用が安定していること 1228	雇用が安定していること 1379
3位	職場の人間関係がよいこと 773 ↑	希望する収入が得られること 908	希望する収入が得られること 1117	希望する収入が得られること 1255
4位	自分のやりたい仕事であること 762	自分のやりたい仕事であること 723	自分のやりたい仕事であること 1028	自分のやりたい仕事であること 1167
5位	雇用が安定していること 758 ↓	入社後のキャリアコースが明確に示されていること 676	通勤の便がよいこと 938	通勤の便がよいこと 1031
6位	働く時間を選択できること 749	色々な知識やスキルが得られること 666	やりがいを感じられること 827	やりがいを感じられること 780
7位	色々な知識やスキルが得られること 664	働く時間を選択できること 636	働く時間を選択できること 825	働く時間を選択できること 754
8位	通勤の便がよいこと 654	通勤の便がよいこと 626	働く場所を選択できること 701 ↑	自律的に自分の判断で仕事を進められること 734
9位	入社後のキャリアコースが明確に示されていること 635 ↓	やりがいを感じられること 619	自律的に自分の判断で仕事を進められること 619	自分の能力や個性が生かせること 604
10位	自律的に自分の判断で仕事を進められること 630	自律的に自分の判断で仕事を進められること 602	職場の人間関係がよいこと 559	色々な知識やスキルが得られること 547
10位		職場の人間関係がよいこと 602		

※（ ）内は回答者数

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(マニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ (ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス (ロンドン)、ドイツ (ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス (パリ)、スウェーデン (ストックホルム)

就労年齢

「働きたい年齢」と「働かねばならないと感じている年齢」ともに、東アジア、オーストラリア、ヨーロッパで高い傾向。

必須年齢から希望年齢を引いたギャップは、全体平均1.2歳、最大はドイツの3.8歳。日本の希望年齢は61.2歳、必須年齢は62.8歳、ギャップ1.6歳。

- 全体平均は、「働きたい年齢（希望年齢）」58.7歳、「働かないといけないと感じている年齢（必須年齢）」59.9歳。東アジア※¹（香港除く）、オーストラリア、ヨーロッパ※²は、必須年齢が全体平均を上回り、60歳以上。希望年齢も高い。一方、東南アジア※³、インド、アメリカは希望年齢・必須年齢ともに50歳代。中でもマレーシアとインドは希望年齢・必須年齢いずれも53歳と若い。
- 年代別でみると、年代が上がるごとに希望年齢も必須年齢も高年齢化していく傾向が見られる。20代では40歳～50歳代半ばが多いが、50代以上ではいずれの国・地域でも60歳代となる。
- 必須年齢から希望年齢を引いたギャップ（差分）の全体平均は1.2歳。最大はドイツの3.8歳。オーストラリア、イギリス、フランス、スウェーデンは2歳以上のギャップ。日本、韓国、台湾、シンガポール、アメリカは1歳以上2歳未満。ギャップが1歳未満と小さいのは東南アジア、インド、香港、中国。
- 日本の希望年齢は61.2歳、必須年齢は62.8歳、ギャップは1.6歳。年代別でみると、希望年齢は、20代の52歳に対し、50代以上計では67歳（15歳高年齢化）。必須年齢は、20代は55.8歳、50代以上計は66.3歳（10.5歳高年齢化）。

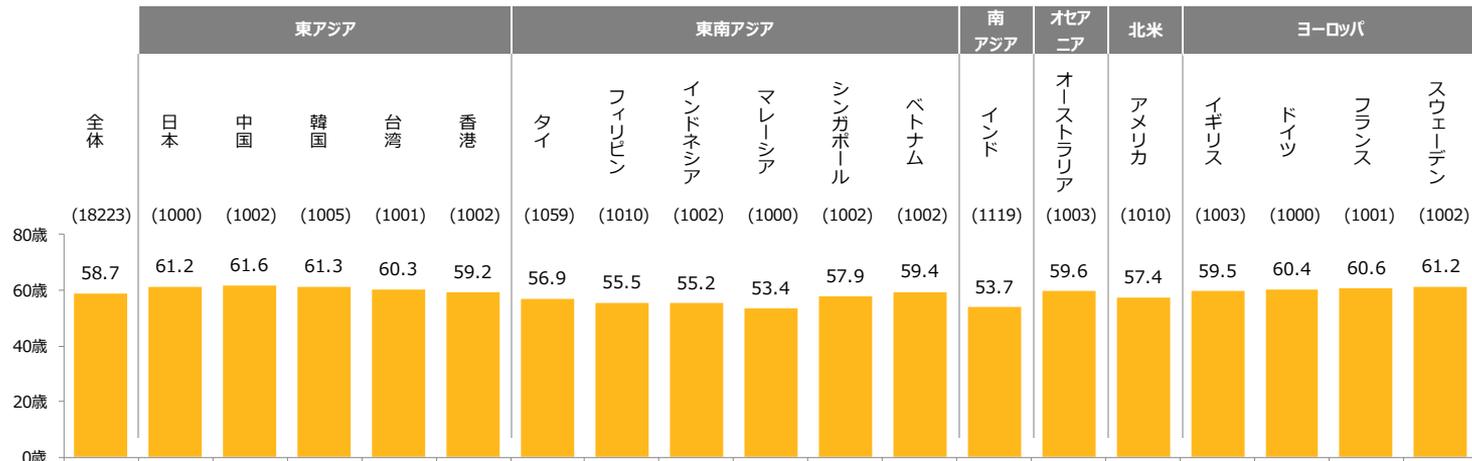
※¹東アジア=日本・中国・韓国・台湾・香港、 ※²ヨーロッパ=イギリス・ドイツ・フランス・スウェーデン、 ※³東南アジア=タイ・フィリピン・インドネシア・マレーシア・シンガポール・ベトナム

7.就労年齢（希望）

Q. あなたは人生で何歳まで働きたいと思いますか。また、何歳まで働かなくてはいけないと感じていますか。

▼【希望する年齢】 実数回答（単位：歳）

※スコアは「平均年齢」



年齢	全体	日本	中国	韓国	台湾	香港	タイ	フィリピン	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ベトナム	インド	オーストラリア	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン
20代	(3702) 50.4	(200) 52.0	(200) 57.6	(200) 51.7	(200) 53.0	(200) 53.0	(203) 47.7	(206) 43.2	(202) 45.9	(230) 45.0	(202) 53.0	(201) 54.2	(252) 42.9	(200) 51.1	(203) 48.0	(201) 49.6	(200) 56.0	(201) 54.9	(201) 54.5
30代	(3662) 54.6	(200) 57.1	(201) 57.6	(205) 55.9	(200) 58.0	(202) 55.8	(204) 52.6	(204) 53.9	(200) 50.6	(231) 49.6	(200) 51.6	(200) 53.5	(211) 50.6	(200) 56.5	(203) 49.9	(200) 56.5	(200) 57.3	(200) 58.4	(201) 58.7
40代	(3681) 58.6	(200) 62.5	(200) 57.7	(200) 62.3	(200) 59.1	(200) 59.3	(221) 58.0	(200) 57.1	(200) 55.1	(200) 55.9	(221) 57.9	(200) 56.8	(221) 53.7	(203) 58.8	(201) 56.1	(200) 58.9	(214) 60.1	(200) 60.9	(200) 61.3
50代	(3664) 62.7	(200) 65.6	(200) 61.0	(200) 64.3	(201) 62.4	(200) 62.1	(218) 61.3	(192) 61.5	(200) 60.2	(182) 60.5	(202) 62.4	(200) 65.1	(228) 60.8	(207) 63.6	(201) 63.5	(215) 62.4	(213) 63.7	(205) 61.7	(200) 63.8
60代	(3514) 68.1	(200) 68.4	(201) 68.7	(200) 72.2	(200) 68.1	(200) 68.1	(213) 68.5	(208) 68.7	(200) 68.1	(136) 67.3	(198) 67.6	(201) 68.1	(207) 67.7	(193) 67.7	(202) 68.4	(187) 68.0	(173) 65.3	(195) 65.4	(200) 69.8
50代以上計	(7178) 65.1	(400) 67.0	(401) 64.4	(400) 68.2	(401) 66.0	(400) 64.6	(431) 64.2	(400) 64.9	(400) 63.9	(318) 62.5	(400) 64.8	(401) 66.4	(435) 63.5	(400) 65.5	(403) 65.8	(402) 64.9	(386) 64.4	(400) 63.5	(400) 66.2

* ()内は回答者数 ※得点の高低で色付け (高得点：赤、低得点：グレー)

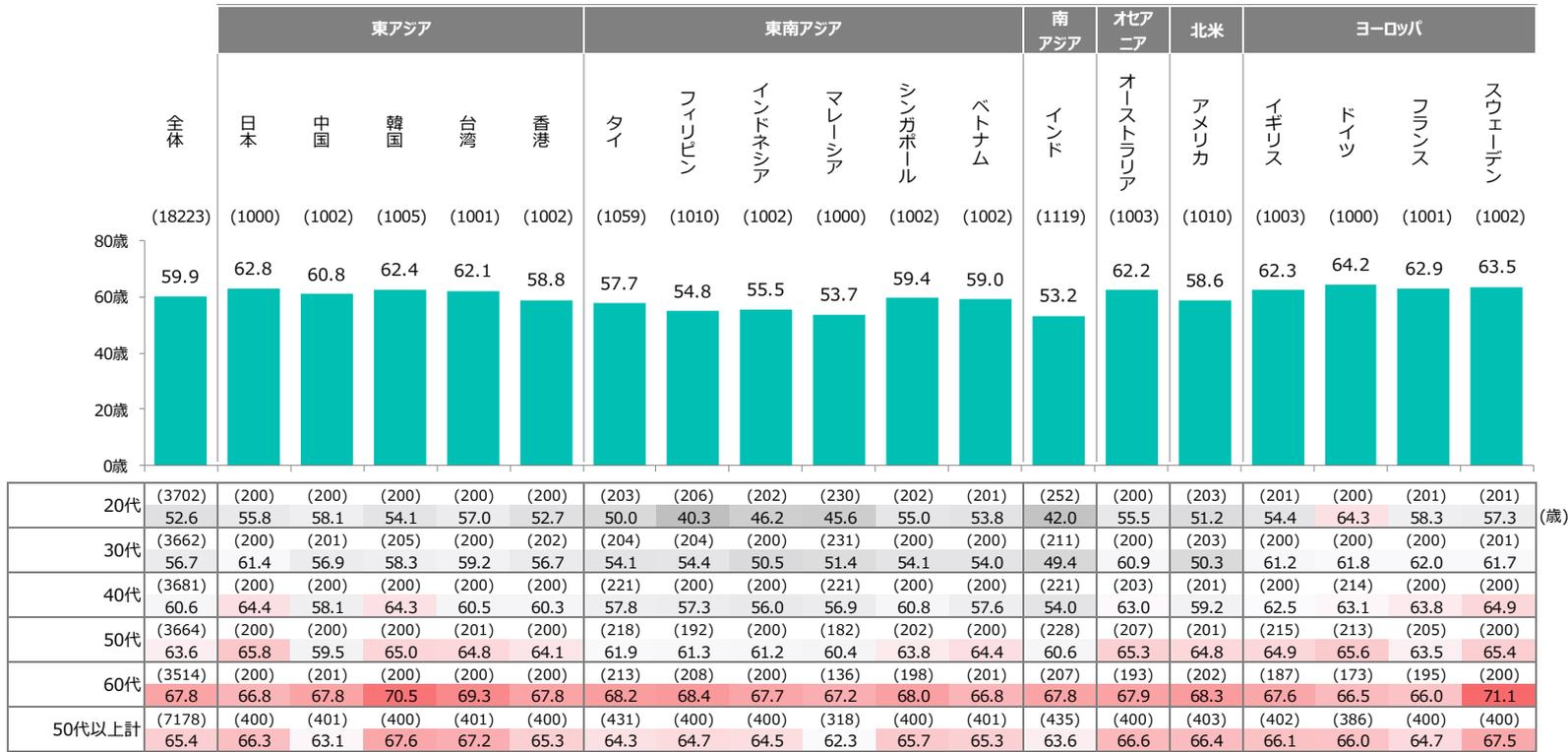
※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

8.就労年齢 (必須)

Q. あなたは人生で何歳まで働きたいと思いますか。また、何歳まで働かなくてはいけなく感じていますか。

▼【働かなくてはいけなく感じている年齢】 (単位: 歳)

※スコアは平均年齢



*()内は回答者数 ※得点の高低で色付け (高得点: 赤, 低得点: グレー)

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(マニラ)、インドネシア(ジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ (ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、 【ヨーロッパ】 イギリス (ロンドン)、ドイツ (ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス (パリ)、スウェーデン (ストックホルム)

9.就労年齢（希望年齢と必須年齢のギャップ）

Q. あなたは人生で何歳まで働きたいと思いますか。また、何歳まで働かなくてはいけないと感じていますか。

※左からギャップの大きい順

	1位	2位	3位	4位	4位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位	12位	14位	14位	16位	17位	18位	
	全体	ドイツ	イギリス	オーストラリア	フランス	スウェーデン	台湾	日本	シンガポール	アメリカ	韓国	タイ	マレーシア	インドネシア	ベトナム	香港	インド	フィリピン	中国
回答者数	(18223)	(1000)	(1003)	(1003)	(1001)	(1002)	(1001)	(1000)	(1002)	(1010)	(1005)	(1059)	(1000)	(1002)	(1002)	(1002)	(1119)	(1010)	(1002)
希望年齢	58.7	60.4	59.5	59.6	60.6	61.2	60.3	61.2	57.9	57.4	61.3	56.9	53.4	55.2	59.4	59.2	53.7	55.5	61.6 (歳)
必須年齢	59.9	64.2	62.3	62.2	62.9	63.5	62.1	62.8	59.4	58.6	62.4	57.7	53.7	55.5	59	58.8	53.2	54.8	60.8
ギャップ (必須 - 希望)	1.2	3.8	2.8	2.6	2.3	2.3	1.8	1.6	1.5	1.2	1.1	0.8	0.3	0.3	-0.4	-0.4	-0.5	-0.7	-0.8

年代別 ギャップ	20代	2.2	8.3	4.8	4.4	3.4	2.8	4.0	3.8	2.0	3.2	2.4	2.3	0.6	0.3	-0.4	-0.3	-0.9	-2.9	0.5
	30代	2.1	4.5	4.7	4.4	3.6	3.0	1.2	4.3	2.5	0.4	2.4	1.5	1.8	-0.1	0.5	0.9	-1.2	0.5	-0.7
40代	2.0	3.0	3.6	4.2	2.9	3.6	1.4	1.9	2.9	3.1	2.0	-0.2	1.0	0.9	0.8	1.0	0.3	0.2	0.4	
50代	0.9	1.9	2.5	1.7	1.8	1.6	2.4	0.2	1.4	1.3	0.7	0.6	-0.1	1.0	-0.7	2.0	-0.2	-0.2	-1.5	
60代	-0.3	1.2	-0.4	0.2	0.6	1.3	1.2	-1.6	0.4	-0.1	-1.7	-0.3	-0.1	-0.4	-1.3	-0.3	0.1	-0.3	-0.9	
50代以上計	0.3	1.6	1.2	1.1	1.2	1.3	1.2	-0.7	0.9	0.6	-0.6	0.1	-0.2	0.6	-1.1	0.7	0.1	-0.2	-1.3	

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

Ⅲ. Well-being

※Well-beingとは、肉体的、精神的、社会的にすべてが満たされた状態を指す。
近年、日本政府の政策目標（KPI）に位置づけられるなど注目される。

仕事に対する
現在の状況

就業者のジョブパフォーマンス、ワーク・エンゲイジメント、クリエイティビティ、理念共感は、ともにインドと東南アジア（シンガポール除く）で高い傾向。はたらくことを通じて幸せを感じている割合は、日本が49.1%と最も低い。

- シンガポールを除く東南アジア※¹とインドでは、ジョブパフォーマンス、ワーク・エンゲイジメント、クリエイティビティ、理念共感がともに高い。次いで、アメリカも比較的高い傾向。
- 中国はワーク・エンゲイジメント、クリエイティビティ、理念共感が高いが、ジョブパフォーマンスは平均的。特に、理念共感はその他の東アジア※²では低い。中国では高く、差が大きい。
- 日本はジョブパフォーマンス、ワーク・エンゲイジメント、理念共感ともに低い。特にクリエイティビティの低さが顕著。
- 「はたらくことを通じて、幸せを感じている」就業者の割合は、インドで92.6%と最も高く、次いでインドネシア、フィリピン、中国、ベトナムで9割前後と高い。一方、中国を除く東アジアでは低い傾向で、日本は49.1%と最も低い。
- 年代別でみると、中国を除く東アジアでは20～40代のはたらくことを通じた幸福度が低い傾向があり、日本や韓国、香港では20代若手で最も低い。アメリカでは20代のみで幸福度が低い。

※¹ 東南アジア = タイ・フィリピン・インドネシア・マレーシア・シンガポール・ベトナム、 ※² 東アジア = 日本・中国・韓国・台湾・香港

1.仕事に対する現在の状況

Q. 仕事に対するあなたの現在の状況として、それぞれ最もあてはまる項目を一つお選びください。(5段階尺度/項目数12)

※スコアは、5段階尺度の平均値

	全体 (回答者数)	東アジア					東南アジア					南 アジア	オセ アニア	北米	ヨーロッパ					
		日本	中国	韓国	台湾	香港	タイ	フィリピン	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ベトナム	インド	オーストラリア	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン	
	(18223)	(1000)	(1002)	(1005)	(1001)	(1002)	(1059)	(1010)	(1002)	(1000)	(1002)	(1002)	(1119)	(1003)	(1010)	(1003)	(1000)	(1001)	(1002)	
ジョブ パフォーマンス	1 任された役割を果たしている	4.3	3.7	4.3	3.9	3.8	4.0	4.4	4.6	4.5	4.3	4.3	4.5	4.5	4.3	4.4	4.4	4.2	4.2	4.3
	2 担当業務の責任を果たしている	4.3	4.0	4.3	4.1	3.9	4.0	4.4	4.7	4.6	4.4	4.3	4.5	4.5	4.4	4.5	4.5	4.3	4.3	4.4
	3 仕事でパフォーマンスを発揮している	4.3	3.5	4.3	3.8	3.8	3.9	4.4	4.7	4.5	4.4	4.3	4.5	4.5	4.4	4.5	4.5	4.3	4.3	4.4
	4 会社から求められる仕事の成果を出している	4.3	3.7	4.3	3.9	3.9	4.1	4.4	4.6	4.4	4.4	4.3	4.4	4.5	4.4	4.4	4.5	4.3	4.2	4.4
	5 仕事の評価に直接影響する活動には関与している	4.1	3.4	4.2	3.7	3.6	3.7	4.4	4.4	4.4	3.9	4.1	4.4	4.4	4.1	4.2	4.1	3.8	4.0	4.1
ワーク エンゲージメント	6 仕事をしていると、活力がみなぎるように感じる	4.1	3.3	4.2	3.9	3.7	3.7	4.4	4.5	4.3	4.2	3.9	4.5	4.5	4.0	4.2	4.1	3.9	4.0	4.0
	7 仕事に熱心である	4.1	3.5	4.3	3.9	3.7	3.8	4.5	4.5	4.4	4.2	3.9	4.5	4.5	4.0	4.2	4.1	3.9	4.0	4.0
	8 仕事をしていると、つい夢中になってしまう	4.1	3.4	4.1	4.1	3.8	3.7	4.4	4.4	4.1	4.2	4.0	4.5	4.4	4.0	4.2	4.1	4.0	4.1	4.0
クリエイティビティ	9 アイデアや考えをじっくり練れている	4.1	3.0	4.2	3.7	3.8	3.8	4.4	4.5	4.3	4.2	4.0	4.4	4.5	4.0	4.2	4.0	4.0	4.0	4.1
	10 新しい企画やアイデアを提案できている	4.0	3.0	4.2	3.7	3.7	3.7	4.3	4.4	4.3	4.2	4.0	4.4	4.5	4.0	4.1	4.1	4.0	4.0	4.2
	11 挑戦的な仕事、思い切った仕事ができている	4.1	2.9	4.2	3.5	3.8	3.7	4.4	4.5	4.3	4.2	4.0	4.4	4.5	4.1	4.3	4.1	4.2	4.0	4.1
理念共感	12 勤め先の企業理念に共感できる	4.0	3.2	4.3	3.6	3.8	3.6	4.3	4.4	4.2	4.0	3.9	4.3	4.4	4.0	4.1	4.0	3.9	3.9	4.0

※項目別に、各国・地域の差分得点の高低で色付け（高得点：赤、低得点：グレー）

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

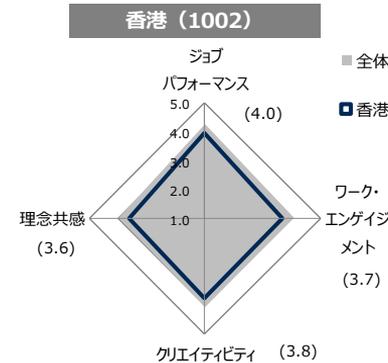
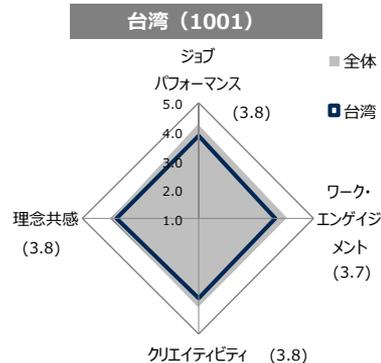
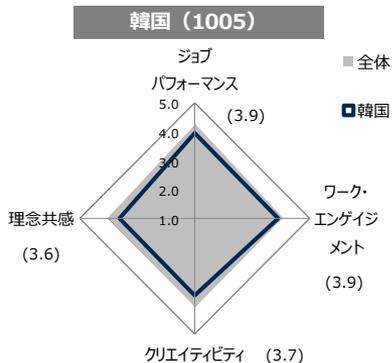
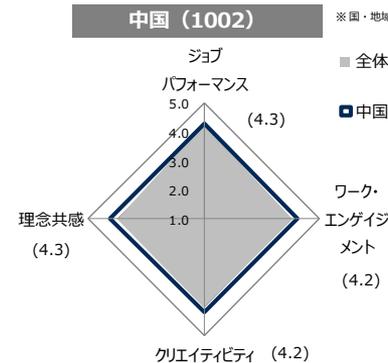
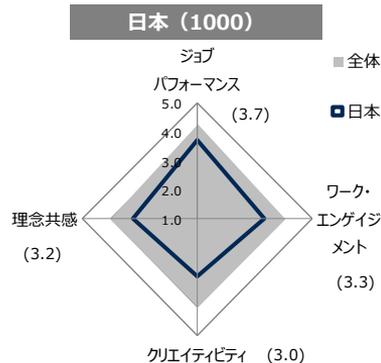
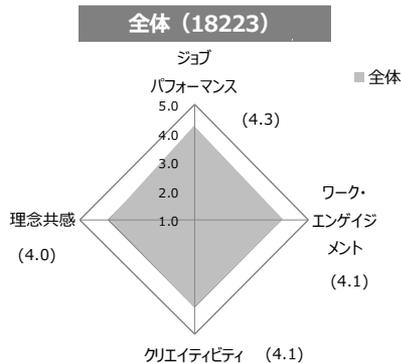
1.仕事に対する現在の状況【東アジア】

Q. 仕事に対するあなたの現在の状況として、それぞれ最もあてはまる項目を一つお選びください。(5段階尺度/項目数12)

※スコアは5段階尺度の平均値

18カ国・地域平均	
ジョブパフォーマンス	4.3
ワーク・エンゲイジメント	4.1
クリエイティビティ	4.1
理念共感	4.0

※国・地域名横の()内は回答者数



※対象地域【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(マニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

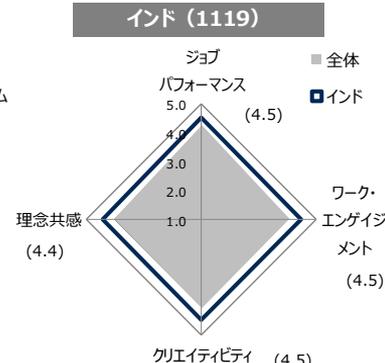
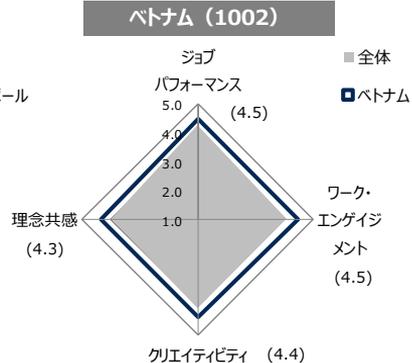
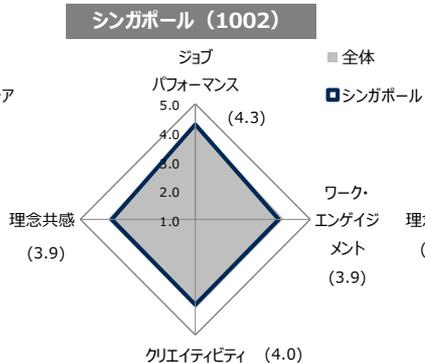
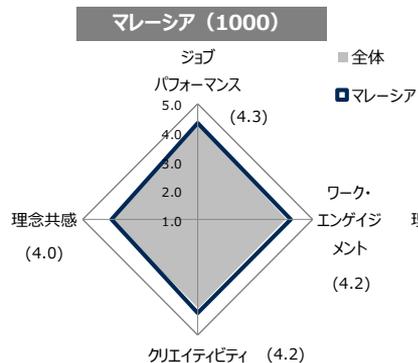
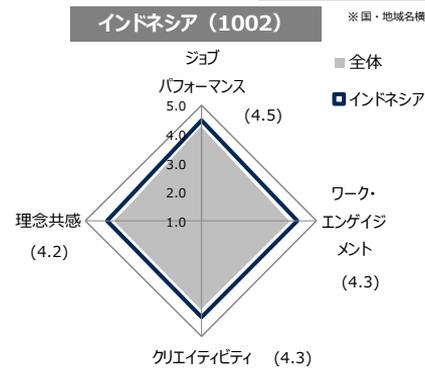
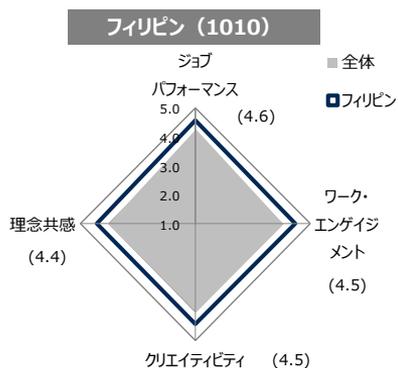
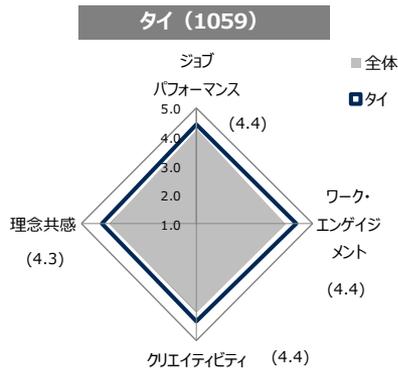
1.仕事に対する現在の状況【東南アジア・南アジア】

Q. 仕事に対するあなたの現在の状況として、それぞれ最もあてはまる項目一つを選びください。(5段階尺度／項目数12)

※スコアは5段階尺度の平均値

18カ国・地域平均	
ジョブパフォーマンス	4.3
ワーク・エンゲイジメント	4.1
クリエイティビティ	4.1
理念共感	4.0

※国・地域名横の()内は回答者数



※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

1.仕事に対する現在の状況【オセアニア・北米・ヨーロッパ】

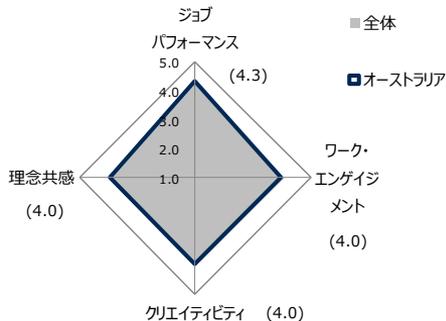
Q. 仕事に対するあなたの現在の状況として、それぞれ最もあてはまる項目を一つお選びください。(5段階尺度/項目数12)

※スコアは5段階尺度の平均値

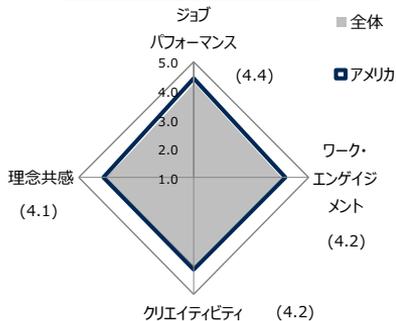
18カ国・地域平均	
ジョブパフォーマンス	4.3
ワーク・エンゲイジメント	4.1
クリエイティビティ	4.1
理念共感	4.0

※国・地域名横の()内は回答者数

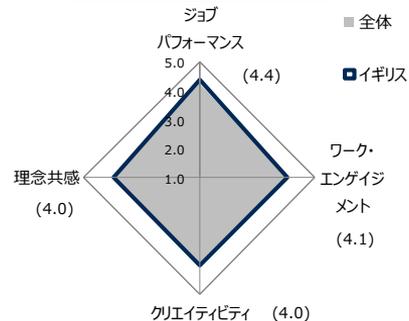
オーストラリア (1003)



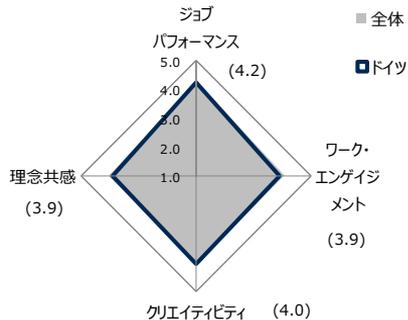
アメリカ (1010)



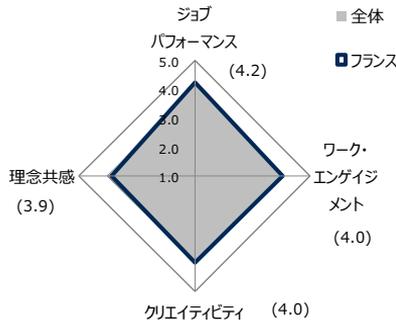
イギリス (1003)



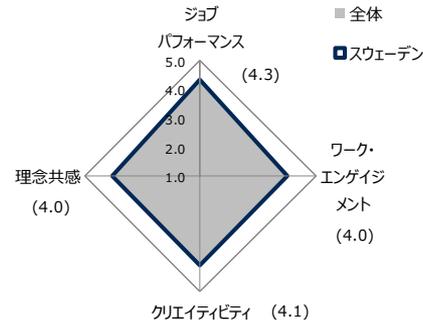
ドイツ (1000)



フランス (1001)



スウェーデン (1002)



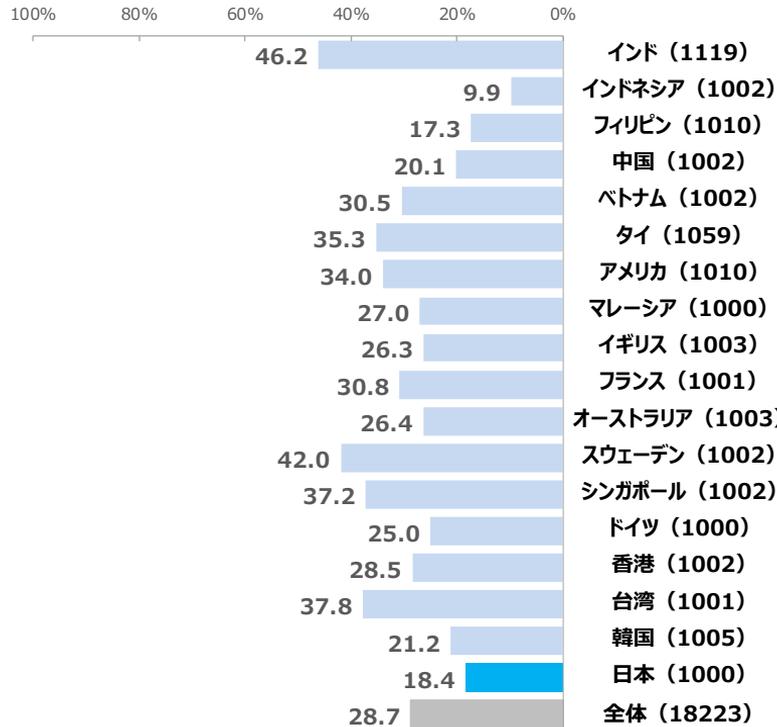
※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

1.仕事に対する現在の状況

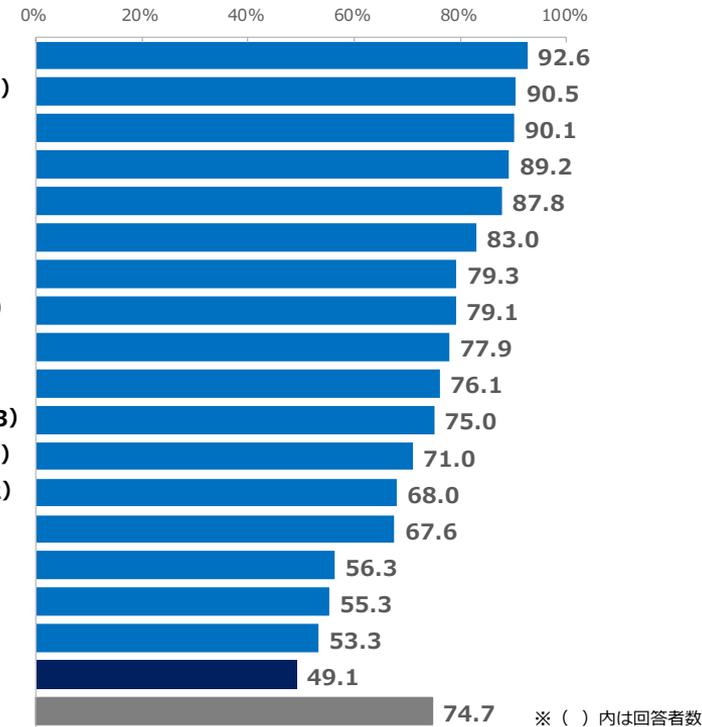
Q. 仕事に対するあなたの現在の状況として、最もあてはまる項目を一つお選びください。(5段階尺度/項目数2)

※「あてはまる」「ややあてはまる」合計値の高い順

▼【私は、はたらくことを通じて、不幸せを感じている】



▼【私は、はたらくことを通じて、幸せを感じている】



※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

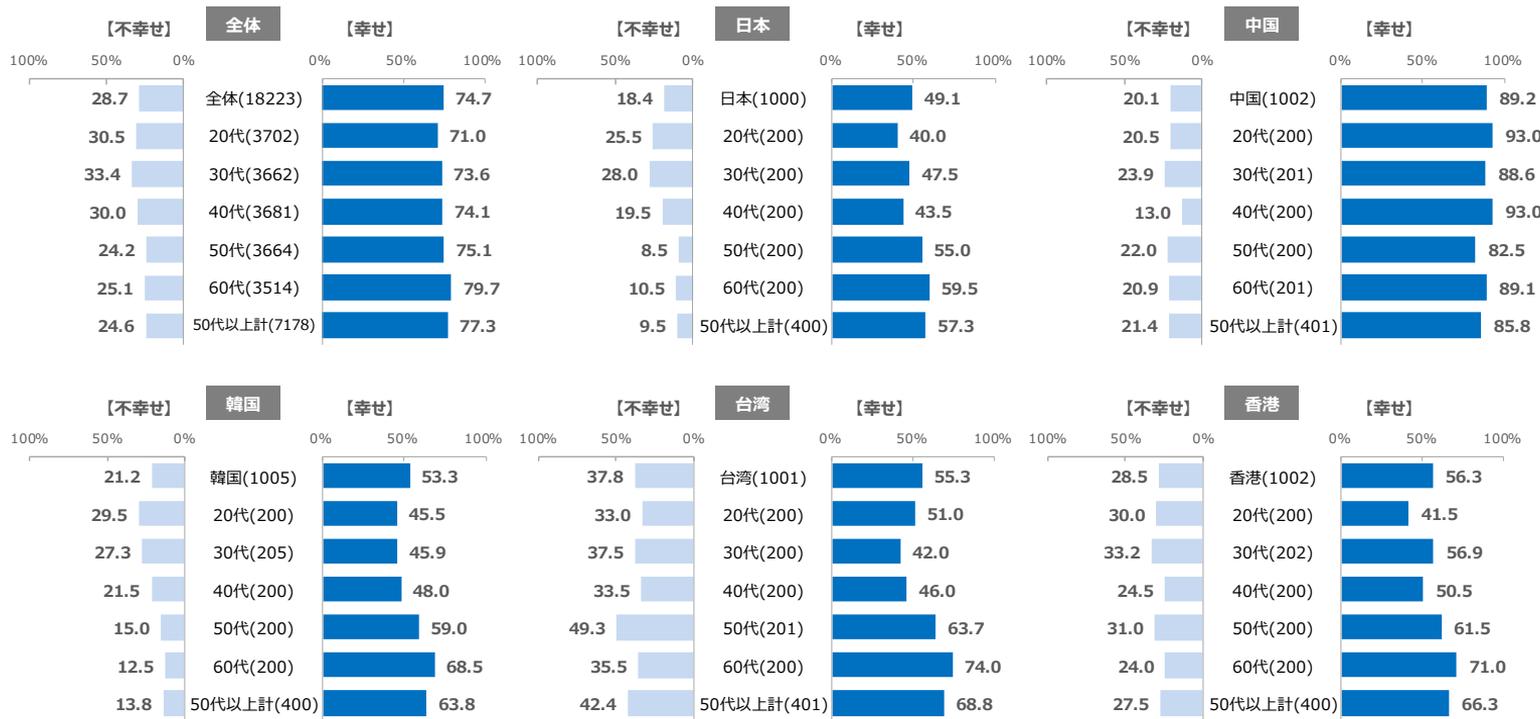
1.仕事に対する現在の状況（年代別）

Q. 仕事に対するあなたの現在の状況として、それぞれ最もあてはまる項目を一つお選びください。（5段階尺度／項目数2）

▼左グラフ：【私は、はたらくことを通じて、不幸せを感じている】

▼右グラフ：【私は、はたらくことを通じて、幸せを感じている】

※「あてはまる」「ややあてはまる」合計値



* () 内は回答者数

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ (ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス (ロンドン)、ドイツ (ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス (パリ)、スウェーデン (ストックホルム)

1.仕事に対する現在の状況（年代別）

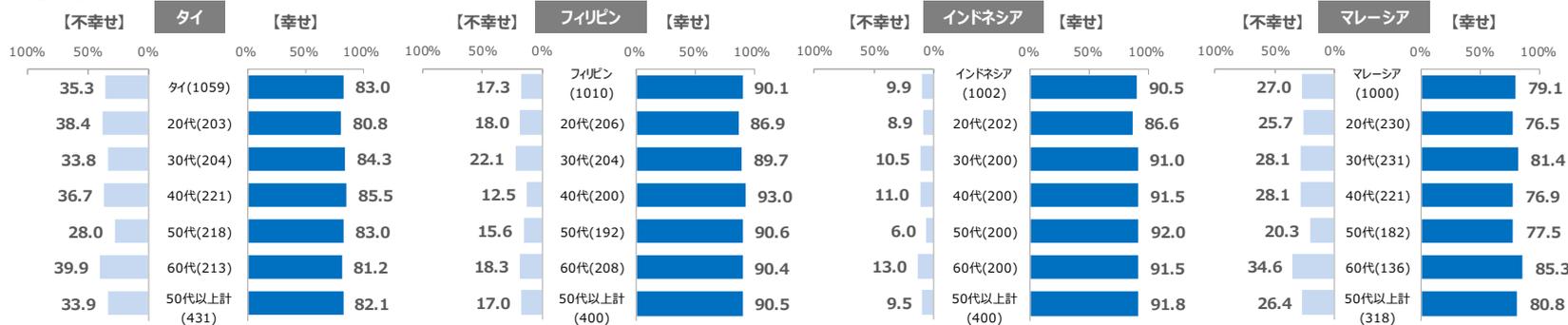
Q. 仕事に対するあなたの現在の状況として、最もあてはまる項目の一つをお選びください。（5段階尺度／項目数2）

▼左グラフ：【私は、はたらくことを通じて、不幸せを感じている】

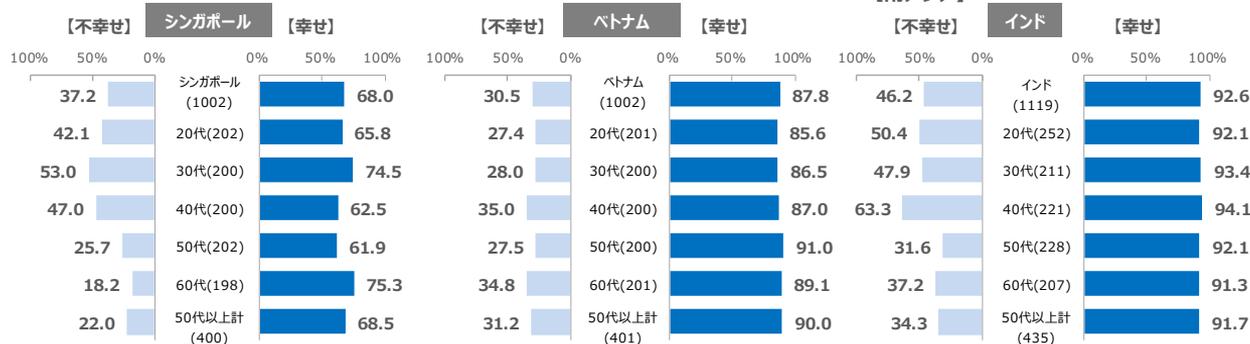
▼右グラフ：【私は、はたらくことを通じて、幸せを感じている】

※「あてはまる」「ややあてはまる」合計値

【東南アジア】



【南アジア】



* () 内は回答者数

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

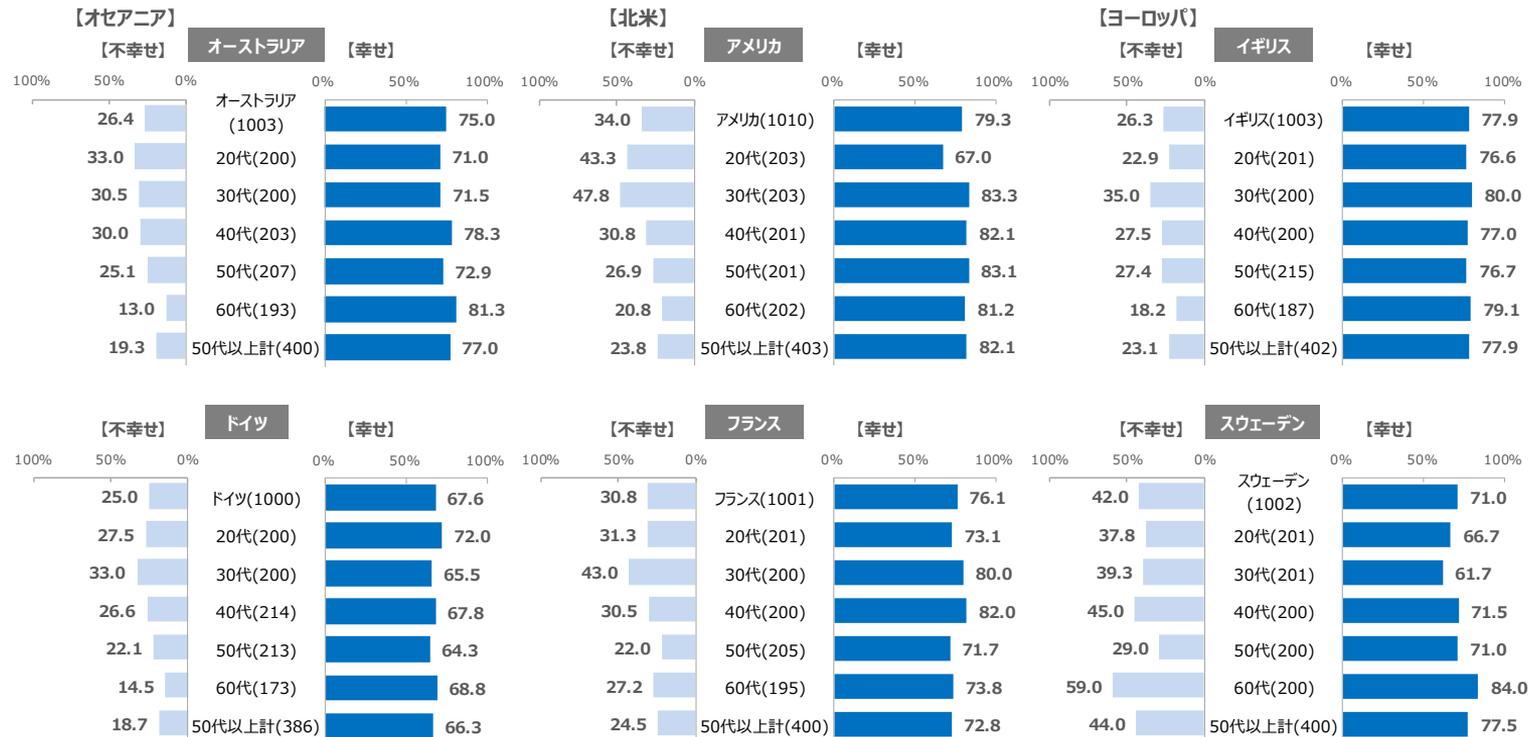
1.仕事に対する現在の状況（年代別）

Q. 仕事に対するあなたの現在の状況として、最もあてはまる項目を一つお選びください。（5段階尺度／項目数2）

▼左グラフ：【私は、はたらくことを通じて、不幸せを感じている】

▼右グラフ：【私は、はたらくことを通じて、幸せを感じている】

※「あてはまる」「ややあてはまる」合計値



※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

* () 内は回答者数

職場の ダイバーシティ & インクルージョン

職場におけるダイバーシティ&インクルージョンは、日本と韓国で低い傾向。一方、中国やインド、フィリピン、ベトナム、アメリカでは高い。日本は「シニア層」の働きやすさが、「若手」の働きやすさを上回る。

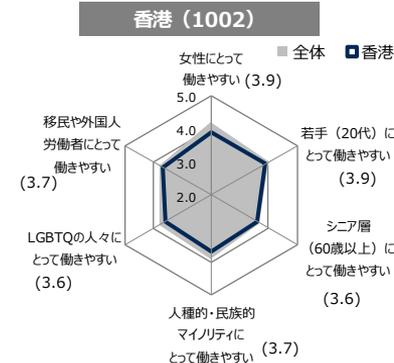
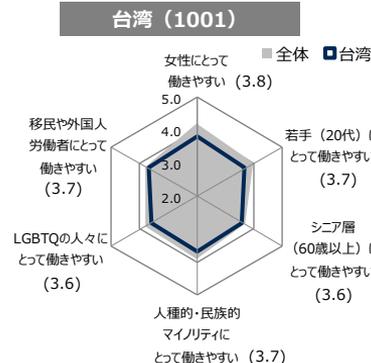
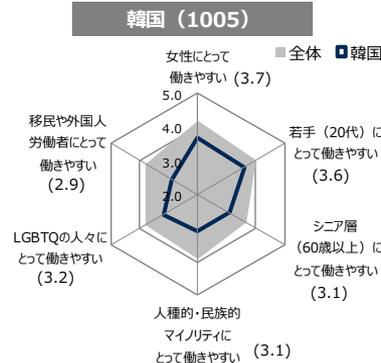
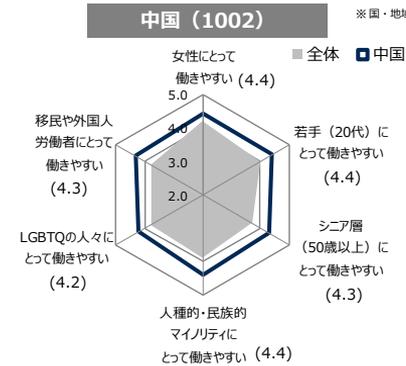
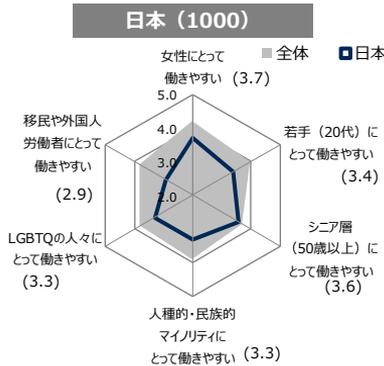
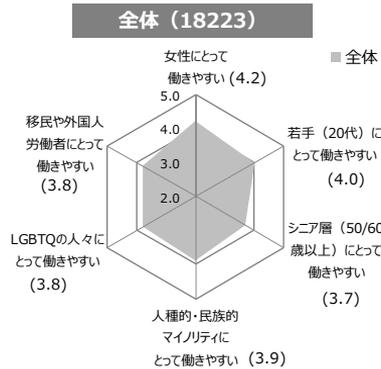
- 職場のダイバーシティ&インクルージョンの18か国・地域平均（5段階尺度の平均値）は、「女性にとって働きやすい」4.2が最も高い。次いで「若手（20代）にとって働きやすい」4.0、「人種的・民族的マイノリティにとって働きやすい」3.9、「LGBTQの人々にとって働きやすい」と「移民や外国人労働者にとって働きやすい」3.8、「シニア層（50/60歳以上）にとって働きやすい」3.7と続く。
- 中国、インドではいずれの項目も平均を大幅に上回る。フィリピン、ベトナム、アメリカでも高い傾向。
- インドネシアとマレーシアでは、「LGBTQ」や「シニア層」にとっての働きやすさが低い傾向。
- 日本、韓国では、「女性」「若手」「人種的・民族的マイノリティ」「移民や外国人労働者」を中心に平均を大幅に下回る。次いで、台湾、香港、ドイツでも低い傾向。
- 日本は、「シニア層」の働きやすさが、「若手」の働きやすさを上回るのが特徴。

2. 職場のダイバーシティ & インクルージョン 【東アジア】

Q. あなたが働いている職場は、○●にとって働きやすいですか、それとも働きにくいですか？（5段階尺度/項目数6）

※スコアは、5段階尺度の平均値

※国・地域名横の（ ）内は回答者数

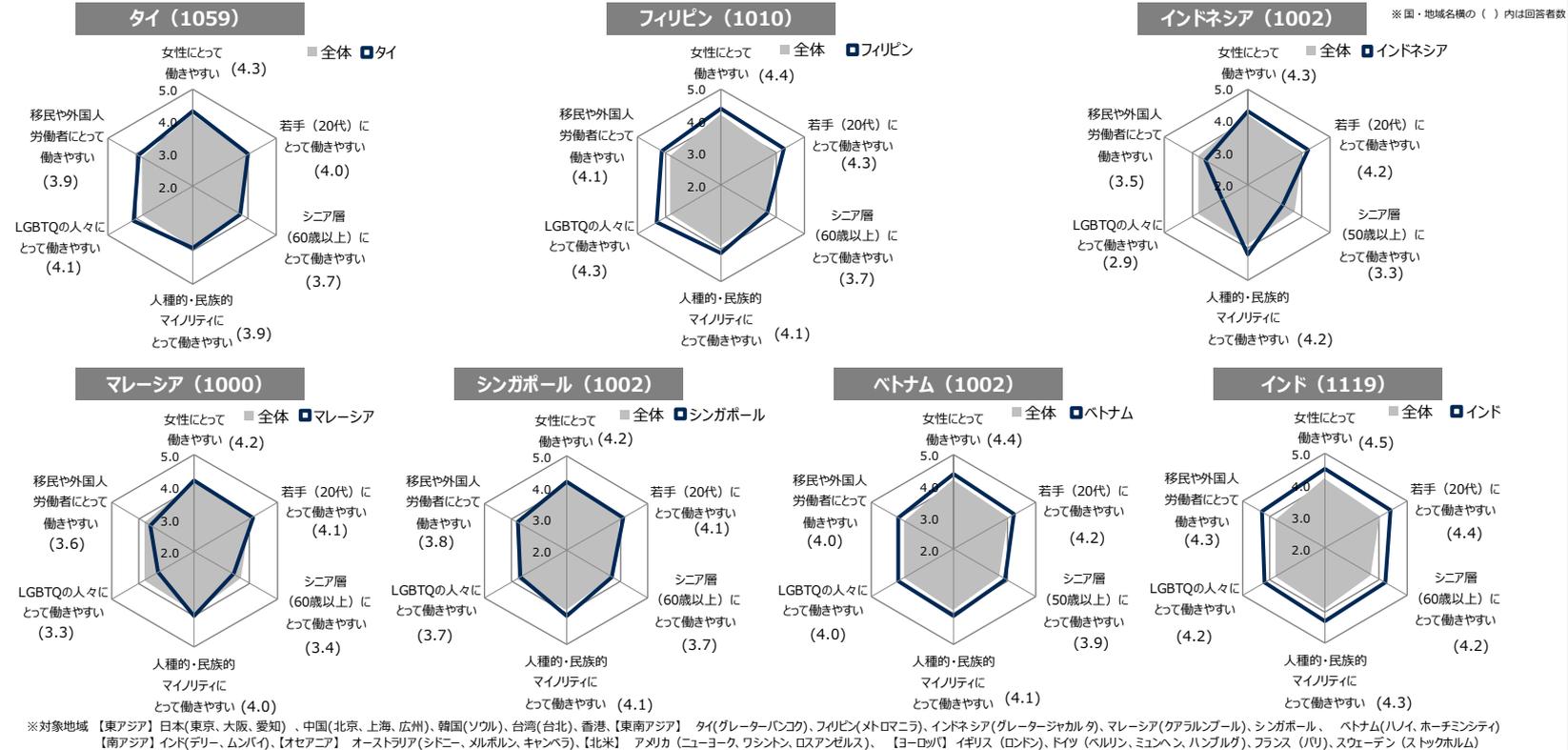


※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレーターバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレータージャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

2. 職場のダイバーシティ & インクルージョン 【東南アジア・南アジア】

Q. あなたが働いている職場は、○○にとって働きやすいですか、それとも働きにくいですか？（5段階尺度/項目数6）

※スコアは、5段階尺度の平均値

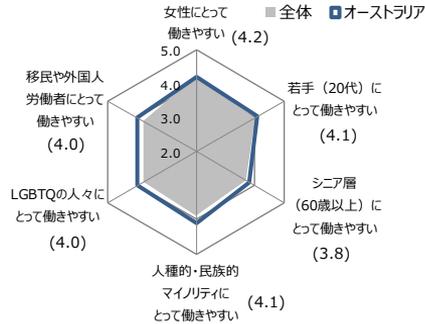


2. 職場のダイバーシティ & インクルージョン【オセアニア・北米・ヨーロッパ】

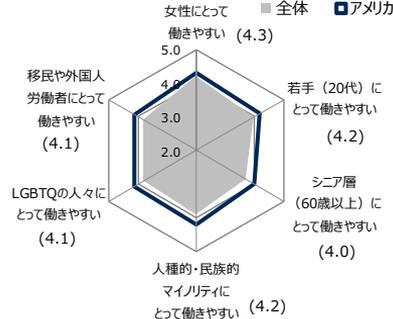
Q. あなたが働いている職場は、〇〇にとって働きやすいですか、それとも働きにくいですか？（5段階尺度/項目数6）

※スコアは、5段階尺度の平均値

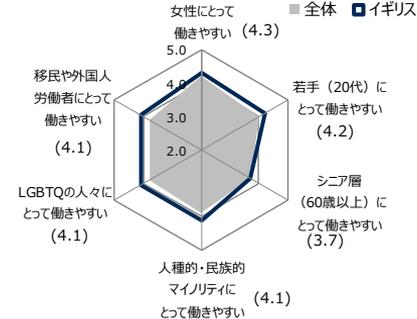
オーストラリア (1003)



アメリカ (1010)

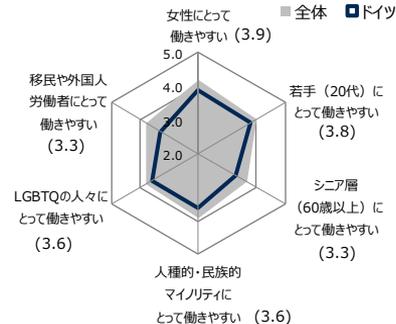


イギリス (1003)

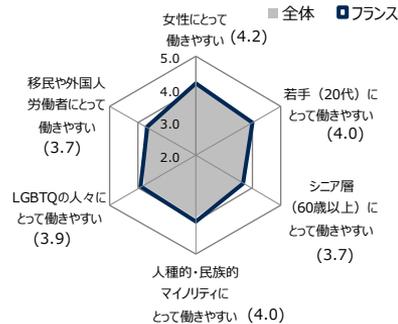


※国・地域名横の () 内は回答者数

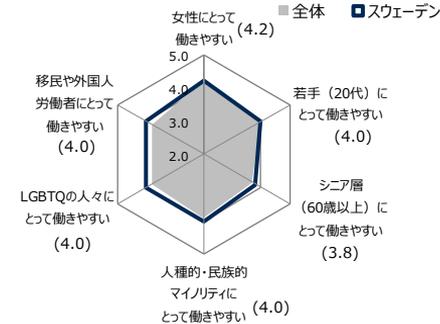
ドイツ (1000)



フランス (1001)



スウェーデン (1002)



※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(マニラ)、インドネシア(グジャラター、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

総合満足度

18カ国・地域全体では、「仕事内容」と「プライベート」の満足度は高く、「経営陣の経営手腕」や「評価・処遇」に対する満足度が低い傾向。中国、インド、フィリピン、ベトナム、インドネシア、アメリカで満足度は高いが、日本、韓国、台湾、香港、シンガポールでは低い傾向。特に日本は「経営手腕」や「評価・処遇」への満足度が低い。

- 仕事とプライベートに関する7つの項目について満足度を聞いたところ、18カ国・地域平均（7段階尺度の平均値）は、「仕事内容」と「プライベート」が5.5で最も高い。次いで「会社全体」と「職場の人間関係」5.4、「直属上司」5.3、「自社の経営陣の経営手腕」と「評価・処遇」が5.2と続く。
- 中国、インド、フィリピン、ベトナム、インドネシア、アメリカは、7項目全てが18カ国・地域平均を上回り、仕事とプライベートの満足度が総合的に高い様子がうかがえる。
- イギリス、ドイツ、フランス、スウェーデン、オーストラリア、マレーシアは、18カ国・地域平均と同程度。
- 日本、韓国、台湾、香港、シンガポールは、7項目全てが18カ国・地域平均を下回る。
- 日本は、「プライベート」を除く6項目全てが18カ国・地域の中で最も低い。特に、「自社の経営陣の経営手腕」「評価・処遇」が低い。

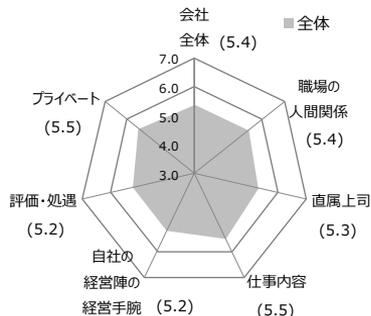
3.総合満足度【東アジア】

Q. 以下の項目に対するあなたの満足度についてお聞きします。最もあてはまる選択肢をそれぞれ一つ選んでお知らせください。(7段階尺度/項目数7)

※スコアは、7段階尺度の平均値

※国・地域名横の()内は回答者数

全体 (18223)



日本 (1000)



中国 (1002)



韓国 (1005)



台湾 (1001)



香港 (1002)



※対象地域【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

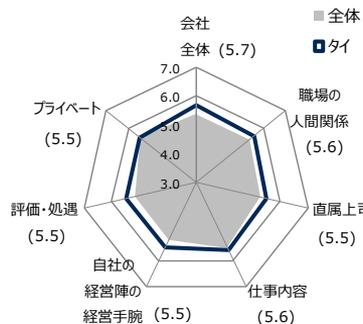
3.総合満足度【東南アジア・南アジア】

Q. 以下の項目に対するあなたの満足度についてお聞きします。最もあてはまる選択肢をそれぞれ一つ選んでお知らせください。（7段階尺度／項目数7）

※スコアは、7段階尺度の平均値

※国・地域名横の（ ）内は回答者数

タイ (1059)



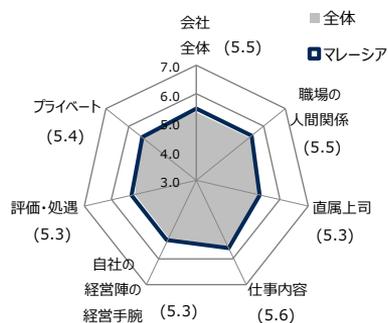
フィリピン (1010)



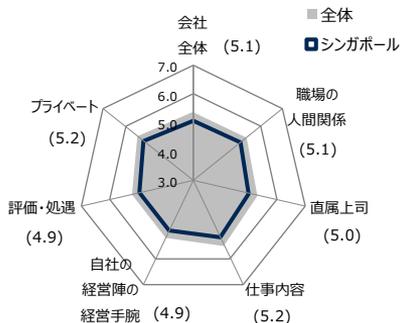
インドネシア (1002)



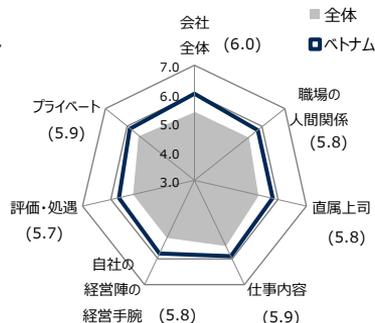
マレーシア (1000)



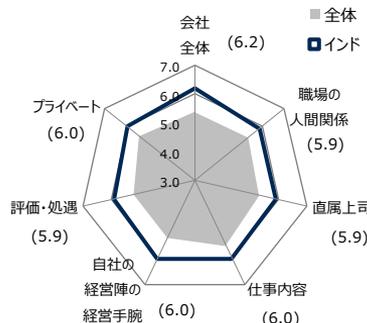
シンガポール (1002)



ベトナム (1002)



インド (1119)



※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

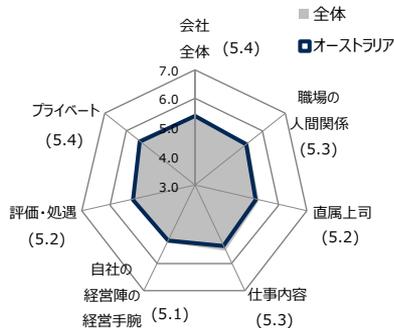
3.総合満足度【オセアニア・北米・ヨーロッパ】

Q. 以下の項目に対するあなたの満足度についてお聞きします。最もあてはまる選択肢をそれぞれ一つ選んでお知らせください。(7段階尺度/項目数7)

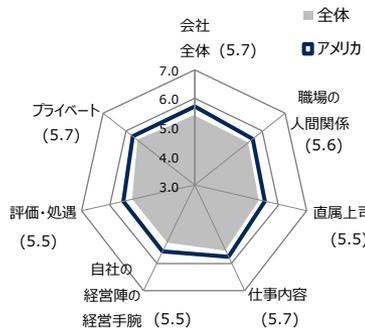
※スコアは、7段階尺度の平均値

※国・地域名横の()内は回答者数

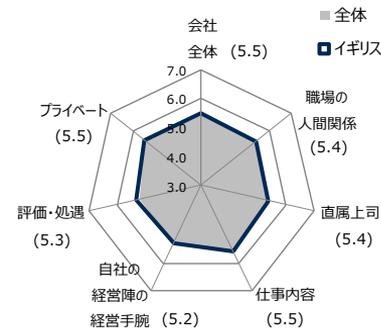
オーストラリア (1003)



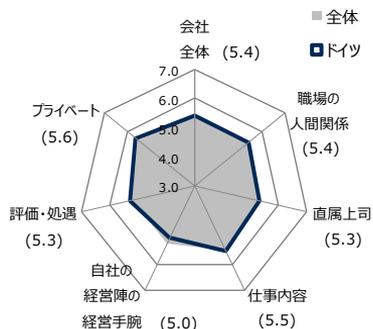
アメリカ (1010)



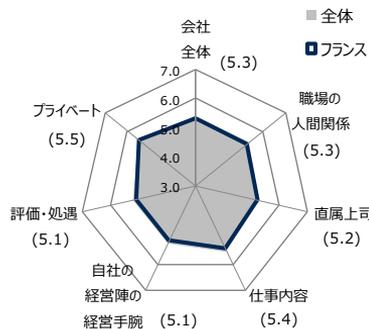
イギリス (1003)



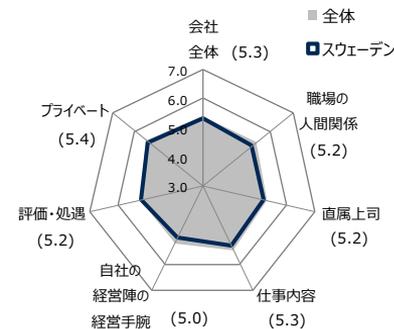
ドイツ (1000)



フランス (1001)



スウェーデン (1002)



※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

IV. 勤続意向と転職

勤続意向

現在の勤務先での勤続意向の全体平均は71.2%。中国とインドでは8割強と高く、日本は56.0%で最も低い。

- トップ3はインド88.5%、中国85.7%、アメリカ79.3%。ヨーロッパ（イギリス、ドイツ、フランス、スウェーデン）の勤続意向も高い傾向。最下位グループは日本56.0%、台湾58.7%、インドネシア58.8%。
- 多くの国・地域で、年代が上がるほど現在の勤務先での勤続意向が高まる。50代以上の勤続意向は、中国とインドは9割前後、アメリカ、ドイツ、フランス、スウェーデンは8割近い。

転職意向

転職意向の全体平均は35.2%。インドが最も高く56.8%、最も低いインドネシアは20.2%。日本は25.9%で2番目に低い。

- 上位グループは、インド56.8%、シンガポール45.2%、台湾42.7%、アメリカ41.8%。
最下位グループはインドネシア20.2%、日本25.9%、韓国28.4%。
- 20-30代の転職意向が高い国・地域が多い中、台湾とインドでは50代以上の転職意向も4割を超えている。
- 日本は勤続意向・転職意向ともに低い。今の勤務先で働き続けたい意欲は低いが、積極的に転職したいとも考えていない様子が見える。

独立・
起業意向

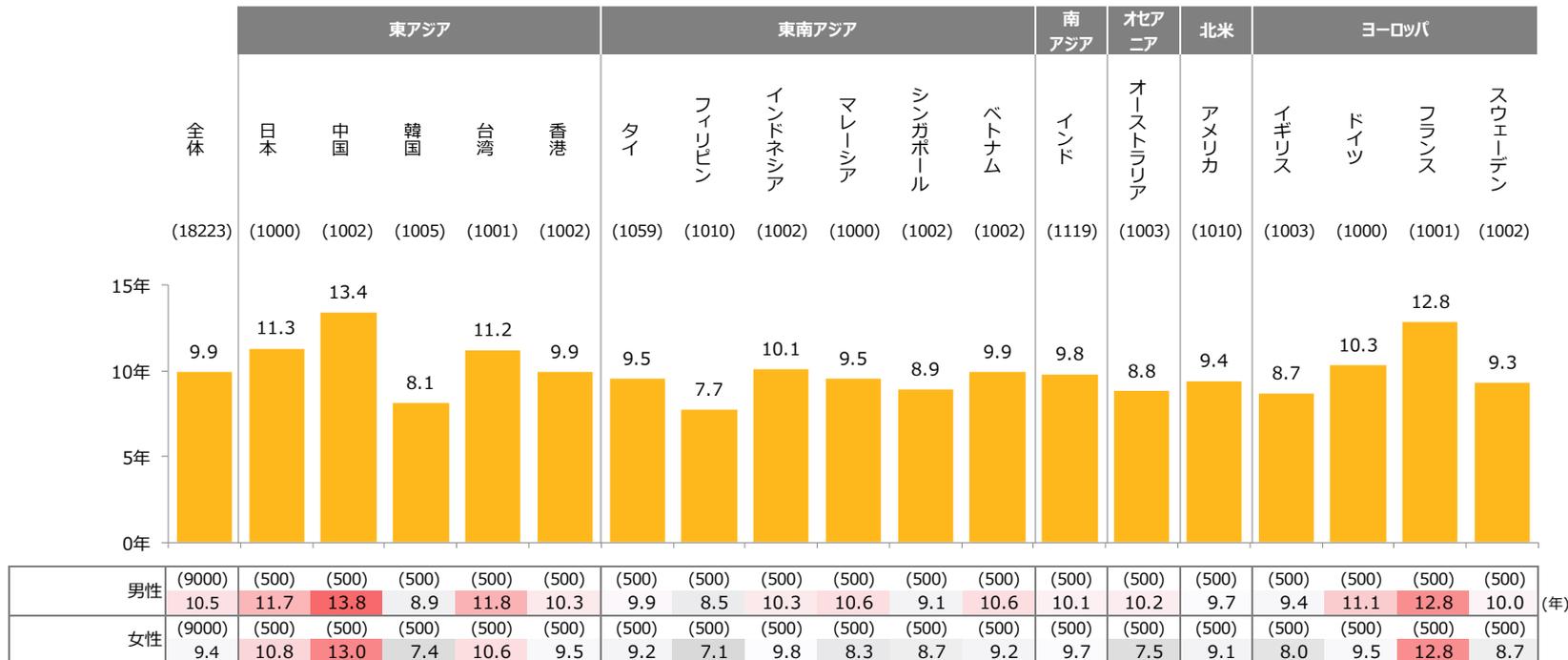
独立・起業意向の全体平均は35.1%。インドとインドネシアは5割超、フィリピン、アメリカ、中国で4割を超える。日本は20.0%で最も低い。

- 上位グループはインド57.9%、インドネシア52.1%、フィリピン43.8%、アメリカ40.7%、中国40.4%。
最下位グループは日本20.0%、ドイツ23.4%、香港24.8%。
- 20-40代の独立・起業意向が高い傾向の中、台湾、インドネシア、フィリピン、インドでは50代以上も4割超、インドネシアは5割を超えている。

1.勤続年数

Q. 現勤務先企業におけるあなたの勤続年数をお知らせください。

▼平均勤続年数（年）



*()内は回答者数 ただし、回答者合計には「男女以外」「答えたくない」を者含む。詳細はP.170 参照

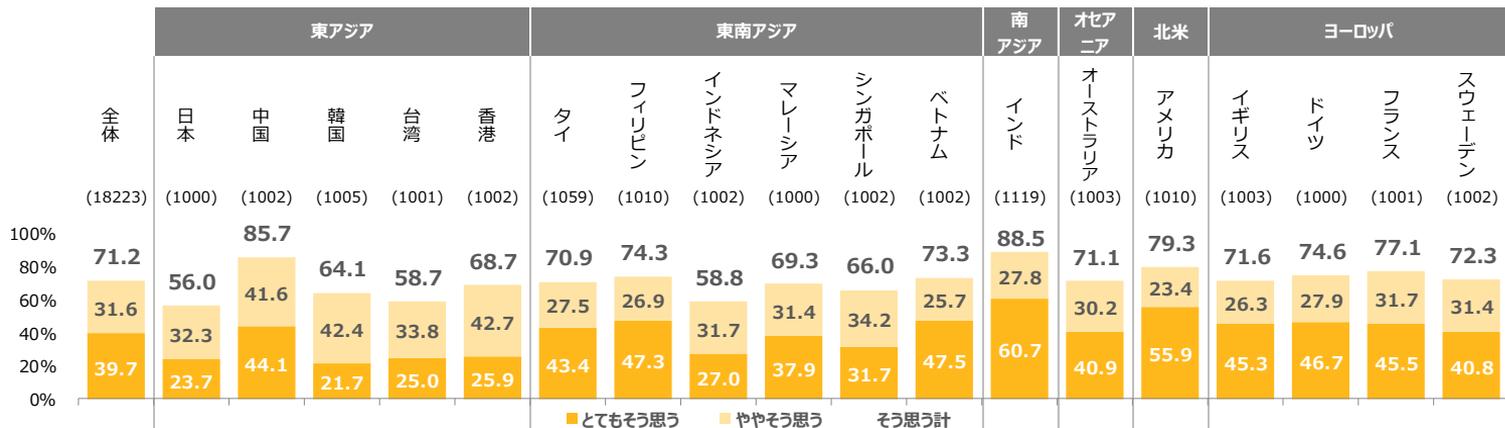
※得点の高低で色付け（高得点：赤、低得点：グレー）

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

2. 勤続意向

Q. あなたの今後の勤続に関する意向をお知らせください。(5段階尺度)

▼【現在の勤務先で継続して働きたい】



	全体	日本	中国	韓国	台湾	香港	タイ	フィリピン	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ベトナム	インド	オーストラリア	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン
20代	(3702) 68.1	(200) 48.5	(200) 79.5	(200) 55.0	(200) 62.5	(200) 61.0	(203) 68.0	(206) 77.2	(202) 52.0	(230) 73.9	(202) 65.3	(201) 69.2	(252) 89.7	(200) 67.5	(203) 71.9	(201) 72.6	(200) 70.0	(201) 70.1	(201) 65.7
30代	(3662) 71.6	(200) 47.5	(201) 85.6	(205) 61.5	(200) 56.0	(202) 68.3	(204) 75.0	(204) 77.9	(200) 64.0	(231) 69.3	(200) 69.5	(200) 72.5	(211) 93.8	(200) 73.5	(203) 84.2	(200) 73.5	(200) 75.5	(200) 76.5	(201) 63.7
40代	(3681) 71.9	(200) 55.0	(200) 82.0	(200) 65.0	(200) 55.0	(200) 66.0	(221) 77.4	(200) 79.5	(200) 64.0	(221) 66.5	(200) 66.5	(200) 74.5	(221) 83.7	(203) 72.9	(201) 81.1	(200) 75.0	(214) 71.5	(200) 81.5	(200) 75.0
50代	(3664) 69.9	(200) 60.5	(200) 91.0	(200) 66.0	(201) 59.2	(200) 70.5	(218) 65.1	(192) 68.2	(200) 55.0	(182) 63.7	(202) 58.9	(200) 75.0	(228) 90.4	(207) 66.2	(201) 79.1	(215) 63.7	(213) 75.1	(205) 78.0	(200) 69.0
60代	(3514) 74.9	(200) 68.5	(201) 90.5	(200) 73.0	(200) 61.0	(200) 77.5	(213) 69.0	(208) 68.3	(200) 59.0	(136) 73.5	(198) 69.7	(201) 75.1	(207) 84.5	(193) 75.6	(202) 80.2	(187) 73.8	(173) 82.1	(195) 79.5	(200) 88.0
50代以上計	(7178) 72.3	(400) 64.5	(401) 90.8	(400) 69.5	(401) 60.1	(400) 74.0	(431) 67.1	(400) 68.3	(400) 57.0	(318) 67.9	(400) 64.3	(401) 75.1	(435) 87.6	(400) 70.8	(403) 79.7	(402) 68.4	(386) 78.2	(400) 78.8	(400) 78.5

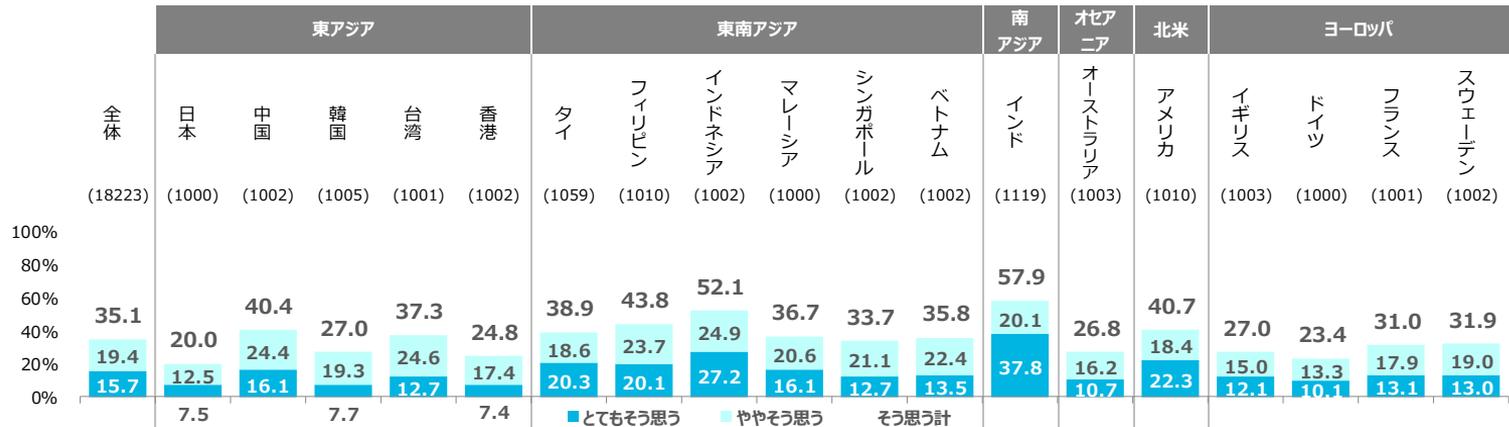
* ()内は回答者数 ※年代別に、各国・地域の得点の高低で色付け(高得点:赤、低得点:グレー)

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

4.独立・起業意向

Q. あなたの今後の動向に関する意向をお知らせください。(5段階尺度)

▼【会社を辞めて独立・起業したい】



年代	日本	中国	韓国	台湾	香港	タイ	フィリピン	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ベトナム	インド	オーストラリア	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン	
20代	(3702) 39.8	(200) 27.0	(200) 45.0	(200) 35.5	(200) 41.0	(200) 26.5	(203) 46.3	(206) 43.7	(202) 48.0	(230) 36.1	(202) 33.2	(201) 37.8	(252) 62.7	(200) 36.0	(203) 47.8	(201) 33.3	(200) 28.0	(201) 37.8	(201) 45.3
30代	(3662) 42.5	(200) 26.5	(201) 50.2	(205) 28.3	(200) 31.5	(202) 29.2	(204) 42.2	(204) 49.0	(200) 43.0	(231) 44.6	(200) 56.5	(200) 40.0	(211) 61.1	(200) 38.0	(203) 56.2	(200) 39.0	(200) 39.5	(200) 52.0	(201) 36.3
40代	(3681) 35.8	(200) 19.0	(200) 39.5	(200) 26.0	(200) 27.0	(200) 21.5	(221) 38.5	(200) 39.5	(200) 59.5	(221) 37.1	(200) 41.5	(200) 34.0	(221) 68.8	(203) 36.5	(201) 45.8	(200) 28.0	(214) 25.7	(200) 27.5	(200) 26.0
50代	(3664) 30.4	(200) 16.5	(200) 30.0	(200) 24.0	(201) 35.3	(200) 24.5	(218) 30.7	(192) 50.0	(200) 58.0	(182) 35.7	(202) 18.8	(200) 37.5	(228) 54.8	(207) 16.4	(201) 32.8	(215) 22.8	(213) 14.6	(205) 20.5	(200) 24.5
60代	(3514) 26.7	(200) 11.0	(201) 37.3	(200) 21.0	(200) 51.5	(200) 22.0	(213) 37.6	(208) 37.0	(200) 52.0	(136) 25.0	(198) 18.7	(201) 29.9	(207) 40.6	(193) 6.7	(202) 20.8	(187) 11.2	(173) 7.5	(195) 16.9	(200) 27.5
50代以上計	(7178) 28.6	(400) 13.8	(401) 33.7	(400) 22.5	(401) 43.4	(400) 23.3	(431) 34.1	(400) 43.3	(400) 55.0	(318) 31.1	(400) 18.8	(401) 33.7	(435) 48.0	(400) 11.8	(403) 26.8	(402) 17.4	(386) 11.4	(400) 18.8	(400) 26.0

* ()内は回答者数

※40%以上は太字 ※年代別に、各国・地域の得点の高低で色付け(高得点:赤、低得点:グレー)

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

転職回数

平均転職回数はオーストラリアとイギリスが最も多い2.8回、香港、シンガポール、スウェーデンの2.5回が続く。転職2回以上経験者が約7割のイギリス、オーストラリア、6割強の香港、フィリピン、シンガポール、アメリカ、フランス、スウェーデンは人材の流動性が極めて高い。

- オーストラリア、アメリカ、イギリス、フランス、スウェーデンは、20代でも転職2回以上経験者が5割を超える。
- 日本は転職回数0回が30.2%で、中国44.3%に次いで高く、台湾30.2%と同率であった。中国は勤続年数が長く（13.4年）【p.84参照】、転職回数の少なさに影響していると考えられる。

前勤務先
からの変化

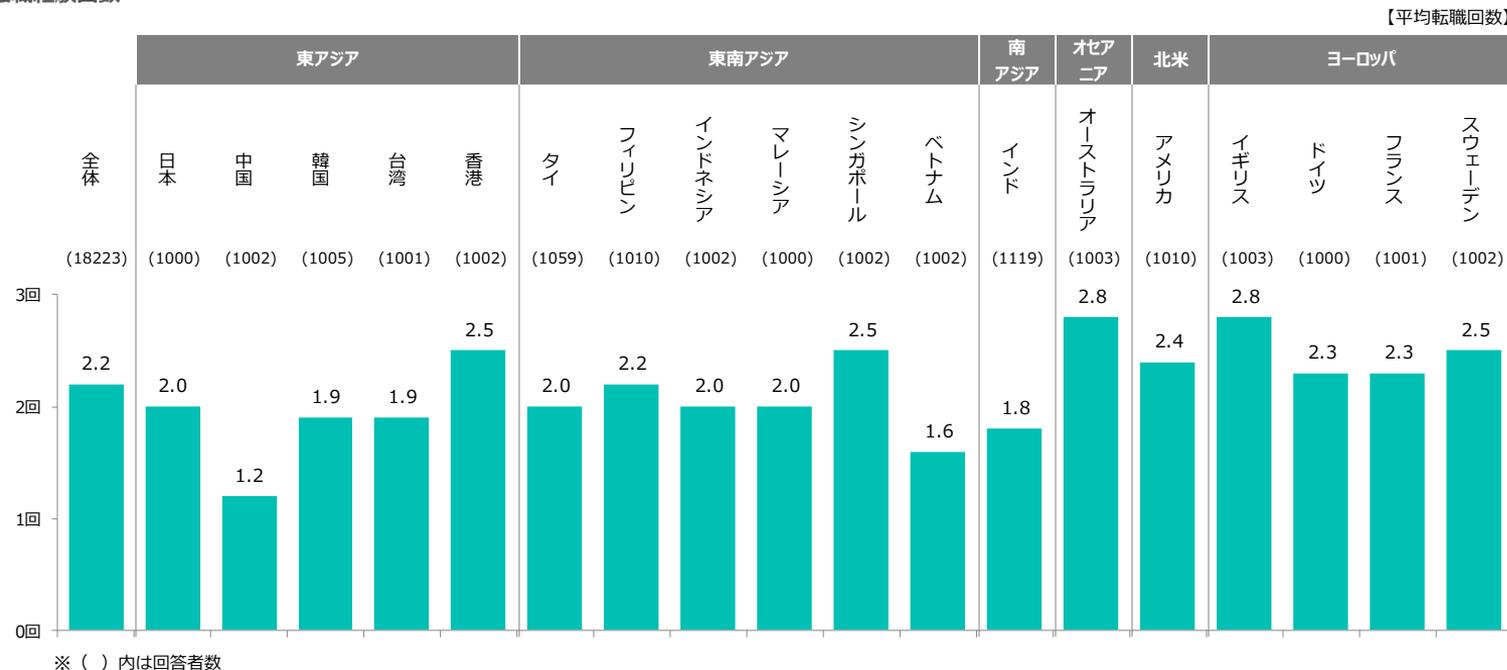
転職により年収がアップした転職者は全体平均で5割超、最も高いインドでは7割。日本は、年収ダウンや会社規模を下げての転職が他国・地域と比較して多い。

- 年収がアップした割合は、全体平均54.4%。最も高いインドは70.0%、最も低いのは日本の41.1%。一方、年収がダウンした割合は、全体平均15.9%。日本は最も高い33.7%。
- 会社規模が「大きくなった」割合が、「小さくなった」割合よりも2倍以上高い国・地域が大半を占める。一方、日本は「大きくなった」と「小さくなった」の割合はいずれも2割で同程度。
- 業種変更や職種変更の割合は、全体平均で3割程度。

5. 転職回数

Q. あなたの転職回数をお知らせください。

▼ 転職経験回数



※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

5. 転職回数 (詳細)

Q. あなたの転職回数をお知らせください。

	東アジア					東南アジア						南アジア	オセアニア	北米	ヨーロッパ				
	全体 (18223)	日本 (1000)	中国 (1002)	韓国 (1005)	台湾 (1001)	香港 (1002)	タイ (1059)	フィリピン (1010)	インドネシア (1002)	マレーシア (1000)	シンガポール (1002)	ベトナム (1002)	インド (1119)	オーストラリア (1003)	アメリカ (1010)	イギリス (1003)	ドイツ (1000)	フランス (1001)	スウェーデン (1002)
転職平均回数	2.2	2.0	1.2	1.9	1.9	2.5	2.0	2.2	2.0	2.0	2.5	1.6	1.8	2.8	2.4	2.8	2.3	2.3	2.5
0回 (転職経験なし)	22.3	30.2	44.3	26.3	30.2	15.4	23.3	18.1	20.4	22.1	16.7	27.3	21.4	15.6	19.7	15.9	17.4	16.5	20.5
1回	18.6	21.5	19.0	18.9	17.9	19.2	20.8	16.0	20.6	18.3	17.9	20.8	26.6	14.8	16.2	12.3	21.6	18.4	12.6
2回	21.9	15.7	18.4	22.7	18.4	20.9	22.4	24.0	25.1	26.3	22.2	26.7	22.4	18.9	20.5	20.7	21.4	25.1	22.3
3回	16.8	11.2	11.2	17.0	16.8	20.6	14.7	22.9	17.5	15.9	17.7	15.8	15.6	16.4	17.1	18.1	17.3	19.8	16.8
4回	7.9	6.8	3.8	6.6	7.0	7.1	9.0	9.5	7.7	7.2	8.3	5.6	7.2	11.1	9.8	11.0	7.6	8.2	8.3
5回	4.7	4.5	2.5	3.2	3.2	5.6	4.3	3.7	4.5	4.7	6.8	2.3	3.7	6.8	5.7	6.6	6.9	5.0	5.4
6回以上	7.9	10.1	0.9	5.4	6.6	11.4	5.5	5.8	4.3	5.5	10.6	1.5	3.0	16.6	10.9	15.5	7.8	7.1	14.3
2回以上の人の割合	59.2	48.3	36.7	54.8	51.9	65.5	55.9	65.8	59.1	59.6	65.5	51.9	52.0	69.7	64.1	71.9	61.0	65.1	67.0

*()内は回答者数

※2回以上の割合 平均以上太字

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバーンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

5. 転職回数 年代別 (転職平均回数)

Q. あなたの転職回数をお知らせください。【平均回数】

	全体	東アジア					東南アジア						南アジア	オセアニア	北米	ヨーロッパ			
		日本	中国	韓国	台湾	香港	タイ	フィリピン	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ベトナム	インド	オーストラリア	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン
	(18223)	(1000)	(1002)	(1005)	(1001)	(1002)	(1059)	(1010)	(1002)	(1000)	(1002)	(1002)	(1119)	(1003)	(1010)	(1003)	(1000)	(1001)	(1002)
20代	(3702)	(200)	(200)	(200)	(200)	(200)	(203)	(206)	(202)	(230)	(202)	(201)	(252)	(200)	(203)	(201)	(200)	(201)	(201)
	1.4	0.8	0.4	0.9	1.1	1.6	1.4	1.5	1.4	1.4	1.2	1.5	1.9	1.9	1.6	1.9	1.5	1.6	2.1
30代	(3662)	(200)	(201)	(205)	(200)	(202)	(204)	(204)	(200)	(231)	(200)	(200)	(211)	(200)	(203)	(200)	(200)	(200)	(201)
	1.9	1.4	1.0	1.5	2.2	2.4	1.9	2.2	1.7	2.1	2.1	1.8	1.7	2.1	2.1	2.1	1.8	1.9	2.7
40代	(3681)	(200)	(200)	(200)	(200)	(200)	(221)	(200)	(200)	(221)	(200)	(200)	(221)	(203)	(201)	(200)	(214)	(200)	(200)
	2.4	2.4	1.5	2.5	2.7	2.9	2.0	2.4	2.6	2.5	2.9	1.7	1.8	2.9	2.4	2.6	2.4	2.2	2.4
50代	(3664)	(200)	(200)	(200)	(201)	(200)	(218)	(192)	(200)	(182)	(202)	(200)	(228)	(207)	(201)	(215)	(213)	(205)	(200)
	2.6	2.6	1.6	2.5	1.9	2.9	2.5	2.8	2.5	2.6	3.3	1.5	1.8	3.4	2.9	3.4	2.7	2.6	3.6
60代	(3514)	(200)	(201)	(200)	(200)	(200)	(213)	(208)	(200)	(136)	(198)	(201)	(207)	(193)	(202)	(187)	(173)	(195)	(200)
	2.4	2.6	1.7	2.2	1.5	2.5	2.2	2.3	2.0	1.6	2.9	1.8	2.0	3.8	3.2	3.9	3.0	3.1	1.8
50代以上計	(7178)	(400)	(401)	(400)	(401)	(400)	(431)	(400)	(400)	(318)	(400)	(401)	(435)	(400)	(403)	(402)	(386)	(400)	(400)
	2.5	2.6	1.6	2.3	1.7	2.7	2.3	2.5	2.2	2.2	3.1	1.6	1.9	3.6	3.0	3.7	2.8	2.9	2.7

() 内は回答者数 ※年代をまたいで、得点の高低で色付け (高得点: 赤、低得点: グレー)

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

5. 転職回数 年代別 (転職経験なしの割合)

Q. あなたの転職回数をお知らせください。【0回 (転職経験なし)】

	全体	東アジア					東南アジア						南アジア	オセアニア	北米	ヨーロッパ			
		日本	中国	韓国	台湾	香港	タイ	フィリピン	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ベトナム	インド	オーストラリア	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン
	(18223)	(1000)	(1002)	(1005)	(1001)	(1002)	(1059)	(1010)	(1002)	(1000)	(1002)	(1002)	(1119)	(1003)	(1010)	(1003)	(1000)	(1001)	(1002)
20代	(3702)	(200)	(200)	(200)	(200)	(200)	(203)	(206)	(202)	(230)	(202)	(201)	(252)	(200)	(203)	(201)	(200)	(201)	(201)
	33.2	58.5	74.0	47.0	46.5	24.0	32.0	26.7	30.2	31.3	42.6	25.9	19.4	23.0	29.6	24.9	23.5	26.9	15.9
30代	(3662)	(200)	(201)	(205)	(200)	(202)	(204)	(204)	(200)	(231)	(200)	(200)	(211)	(200)	(203)	(200)	(200)	(200)	(201)
	20.7	38.0	47.8	35.6	20.0	6.9	24.0	15.2	19.5	15.6	12.5	17.5	17.1	16.0	21.7	23.5	20.0	13.0	9.0
40代	(3681)	(200)	(200)	(200)	(200)	(200)	(221)	(200)	(200)	(221)	(200)	(200)	(221)	(203)	(201)	(200)	(214)	(200)	(200)
	18.0	18.5	38.5	14.5	21.0	8.0	17.2	12.0	13.5	17.6	7.5	29.0	15.8	16.7	19.4	15.5	14.0	16.0	30.5
50代	(3664)	(200)	(200)	(200)	(201)	(200)	(218)	(192)	(200)	(182)	(202)	(200)	(228)	(207)	(201)	(215)	(213)	(205)	(200)
	17.3	18.5	33.0	16.0	26.9	15.5	19.3	11.5	13.5	12.1	6.4	37.0	28.9	10.6	13.9	8.8	13.6	17.6	7.5
60代	(3514)	(200)	(201)	(200)	(200)	(200)	(213)	(208)	(200)	(136)	(198)	(201)	(207)	(193)	(202)	(187)	(173)	(195)	(200)
	22.0	17.5	28.4	18.0	36.5	22.5	24.9	24.5	25.0	38.2	14.1	27.4	25.6	11.4	13.9	6.4	16.2	8.7	39.5
50代以上計	(7178)	(400)	(401)	(400)	(401)	(400)	(431)	(400)	(400)	(318)	(400)	(401)	(435)	(400)	(403)	(402)	(386)	(400)	(400)
	19.6	18.0	30.7	17.0	31.7	19.0	22.0	18.3	19.3	23.3	10.3	32.2	27.4	11.0	13.9	7.7	14.8	13.3	23.5

() 内は回答者数 ※年代をまたいで、得点の高低で色付け (高得点: 赤, 低得点: グレー)

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

5. 転職回数 年代別 (転職2回以上の割合)

Q. あなたの転職回数をお知らせください。【2回以上の人の割合】

	全体	東アジア					東南アジア						南アジア	オセアニア	北米	ヨーロッパ			
		日本	中国	韓国	台湾	香港	タイ	フィリピン	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ベトナム	インド	オーストラリア	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン
	(18223)	(1000)	(1002)	(1005)	(1001)	(1002)	(1059)	(1010)	(1002)	(1000)	(1002)	(1002)	(1119)	(1003)	(1010)	(1003)	(1000)	(1001)	(1002)
20代	(3702)	(200)	(200)	(200)	(200)	(200)	(203)	(206)	(202)	(230)	(202)	(201)	(252)	(200)	(203)	(201)	(200)	(201)	(201)
	42.5	18.0	11.0	27.0	28.5	45.0	39.4	47.1	43.1	45.2	35.1	48.8	49.2	57.0	50.2	57.7	45.0	50.7	63.7
30代	(3662)	(200)	(201)	(205)	(200)	(202)	(204)	(204)	(200)	(231)	(200)	(200)	(211)	(200)	(203)	(200)	(200)	(200)	(201)
	56.5	35.0	29.9	43.9	63.5	69.3	53.4	68.6	51.0	64.1	58.5	58.5	53.6	60.5	59.1	60.0	53.5	59.5	73.6
40代	(3681)	(200)	(200)	(200)	(200)	(200)	(221)	(200)	(200)	(221)	(200)	(200)	(221)	(203)	(201)	(200)	(214)	(200)	(200)
	64.6	59.5	43.0	65.5	68.0	76.0	55.7	74.5	73.5	69.7	80.0	52.0	47.5	73.9	67.2	68.0	63.1	64.5	64.0
50代	(3664)	(200)	(200)	(200)	(201)	(200)	(218)	(192)	(200)	(182)	(202)	(200)	(228)	(207)	(201)	(215)	(213)	(205)	(200)
	68.7	65.5	48.5	70.5	50.7	75.0	69.3	74.0	71.0	73.1	81.2	46.5	52.6	77.3	69.2	85.1	70.4	72.2	85.5
60代	(3514)	(200)	(201)	(200)	(200)	(200)	(213)	(208)	(200)	(136)	(198)	(201)	(207)	(193)	(202)	(187)	(173)	(195)	(200)
	63.9	63.5	51.2	67.5	49.0	62.0	60.6	65.9	57.0	41.9	72.7	53.7	58.0	79.8	74.8	88.8	74.0	79.0	48.0
50代以上計	(7178)	(400)	(401)	(400)	(401)	(400)	(431)	(400)	(400)	(318)	(400)	(401)	(435)	(400)	(403)	(402)	(386)	(400)	(400)
	66.3	64.5	49.9	69.0	49.9	68.5	65.0	69.8	64.0	59.7	77.0	50.1	55.2	78.5	72.0	86.8	72.0	75.5	66.8

() 内は回答者数 ※年代をまたいで、得点の高低で色付け (高得点: 赤, 低得点: グレー)

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ (ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス (ロンドン)、ドイツ (ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス (パリ)、スウェーデン (ストックホルム)

6.前勤務先からの変化

Q. 1つ前の勤務先から現在の勤務先に転職した最初の年についてお聞きます。1つ前の勤務先から変化はありましたか。あてはまるものをすべてお知らせください。(複数回答/選択肢7項目)

	全体	東アジア					東南アジア						南 アジア	オセア ニア	北米	ヨーロッパ			
		日本	中国	韓国	台湾	香港	タイ	フィリピン	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ベトナム	インド	オーストラリア	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン
回答者数	(14164)	(698)	(558)	(741)	(699)	(848)	(812)	(827)	(798)	(779)	(835)	(728)	(880)	(847)	(811)	(844)	(826)	(836)	(797)
年収が上がった	54.4	41.1	62.4	46.6	50.5	63.9	51.4	52.8	60.7	59.4	56.0	67.0	70.0	44.5	50.9	48.0	50.6	55.6	47.8
年収が下がった	15.9	33.7	9.7	16.5	17.2	11.4	18.2	14.9	9.4	13.2	17.8	10.3	15.5	16.8	20.3	16.8	12.7	17.9	14.2
業種が変わった	27.9	35.0	24.2	32.3	31.3	30.9	22.2	35.2	30.5	32.2	29.5	22.0	24.7	25.9	24.3	24.5	29.1	27.6	21.5
職種が変わった	30.0	26.9	16.1	20.9	27.6	25.0	34.2	36.6	49.6	39.5	26.9	26.9	22.7	30.0	27.3	32.2	37.8	20.9	34.4
会社の規模が大きくなった	26.5	20.5	28.5	26.7	27.6	33.5	28.3	30.1	42.4	31.5	24.9	39.3	26.0	22.1	18.5	21.1	20.2	19.3	19.4
会社の規模が小さくなった	10.1	20.6	6.3	17.0	13.0	9.2	8.1	10.4	9.1	11.7	12.0	4.7	4.3	10.9	9.9	11.5	8.7	6.8	8.2
変わらない	5.4	6.0	3.9	7.0	5.3	3.8	3.0	4.6	1.3	3.0	6.3	1.8	0.8	11.7	7.2	7.5	7.5	7.4	8.0

※項目別に、各国・地域の得点の高低で色付け(高得点:赤、低得点:グレー)

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

転職理由

「給料に不満」は各国・地域共通。昇進や評価などに対する不満も上位に。

東アジアでは「会社の将来性への不安」や「休みに関する不満」、東南アジアとインドでは「経験や知識・専門性の習得」、オーストラリアやアメリカ・ヨーロッパは「ほかにやりたい仕事がある」も主な転職理由。

- 東アジア（日本、中国、韓国、台湾、香港）では、転職理由のトップは「給料に対する不満」だが、「会社の将来性への不安」も上位。また、「残業が多く休日が少ない」不満も日本や中国、香港をはじめとして上位に入る傾向。日本と韓国では「肉体的つらさ」、中国、台湾、香港では「昇進が望めない」が上位に入る。
- 日本は「専門知識・技術」や「幅広い経験・知識」の習得、「ほかにやりたい仕事がある」などキャリアに関する項目がトップ10に入らない。一方、「人間関係が上手くいかない」「尊敬できる人がいない」「社員を育てる環境がない」といった人間関係の不満が多いのが特徴的であった。
- 東南アジア（タイ・フィリピン・インドネシア・マレーシア・シンガポール・ベトナム）とインドでは、「幅広い経験・知識を積みたい」がトップ3に入り、「専門知識・技術力を習得したい」も上位に入っており、キャリア形成を重視している様子が見える。また、「評価されても給料が上がらない」「会社の評価方法に不満」など評価や処遇に対する不満が上位に入る国も多い。
- 東南アジアでは、「和気あいあいとした雰囲気のある会社で働きたい」も上位に入る。

転職理由

- オーストラリア、アメリカ、ヨーロッパ（イギリス、ドイツ、フランス、スウェーデン）では、「ほかにやりたい仕事がある」が上位に入るのが特徴的であった。また「和気あいあいとした雰囲気の仕事で働きたい」も上位に入る。
- オーストラリア、アメリカ、イギリスは「離職率の高さ」がトップ10に入る。

転職理由

(最も当てはまるもの)

- 最も当てはまる転職理由として、日本は「人間関係がうまくいかない」が3位、中国は「昇進が望めない」が2位にくることが特徴的であった。また、日本では「結婚・出産・育児のため」が4位と高い傾向。
- 東南アジア、インド、アメリカ、オーストラリア、フランス、スウェーデンでは「和気あいあいとした雰囲気の仕事で働きたい」がトップ5に来るが、日本と韓国ではトップ10に入らないのが特徴的であった。
- タイを除く東南アジア、インドでは「評価されても給料が上がらない」がトップ5に入る。

7. 転職理由（すべて） 各国・地域ランキングTOP10

Q. 1つ前の勤務先から今の勤務先に転職した理由は何ですか。（複数回答／選択肢29項目）

【東アジア】

※18カ国・地域の全体平均TOP3と同色の色付け

	全体(14164)	%	日本(698)	%	中国(558)	%	韓国(741)	%	台湾(699)	%	香港(848)	%
1位	給料に不満がある	23.5	給料に不満がある	18.2	給料に不満がある	31.0	給料に不満がある	24.8	給料に不満がある	28.2	給料に不満がある	38.3
2位	幅広い経験・知識を積みたい	18.9	会社の将来性が不安	15.8	昇進が望めない	17.2	会社の将来性が不安	18.1	幅広い経験・知識を積みたい	21.0	幅広い経験・知識を積みたい	20.0
3位	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	17.6	人間関係が上手くいかない	14.0	専門知識・技術力を習得した い	16.3	幅広い経験・知識を積みたい	16.6	専門知識・技術力を習得した い	16.7	昇進が望めない	18.0
4位	昇進が望めない	16.3	肉体的につらい	13.2	会社の将来性が不安	15.8	肉体的につらい	16.2	昇進が望めない	16.3	残業が多い／休日が少ない	15.3
5位	ほかにやりたい仕事がある	15.9	残業が多い／休日が少ない	10.9	残業が多い／休日が少ない	14.0	雇用形態を変えたい	14.3	会社の将来性が不安	15.5	会社の将来性が不安	15.2
6位	評価されても給料があがらない	15.2	会社の評価方法に不満がある	10.7	幅広い経験・知識を積みたい	13.8	評価されても給料があがらない	13.6	風通しが悪い（意見が言い にくい）	14.0	専門知識・技術力を習得した い	14.5
7位	専門知識・技術力を習得した い	14.2	尊敬できる人がいない	10.6	評価されても給料があがらない	12.9	土日祝祭日に休みたい	13.2	残業が多い／休日が少ない	13.9	ほかにやりたい仕事がある	13.1
8位	雇用形態を変えたい	14.2	雇用形態を変えたい	10.3	肉体的につらい	12.4	風通しが悪い（意見が言い にくい）	12.7	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	13.7	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	13.0
9位	会社の将来性が不安	14.0	社員を育てる環境がない	10.2	業界の先行きが不安	11.1	専門知識・技術力を習得した い	12.6	ほかにやりたい仕事がある	12.2	人間関係が上手くいかない	12.5
10位	風通しが悪い（意見が言い にくい）	13.7	風通しが悪い（意見が言い にくい）	10.2	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	10.9	昇進が望めない	12.1	ノルマが厳しい	11.3	風通しが悪い（意見が言い にくい）	11.9
10位							残業が多い／休日が少ない	12.1				

※（ ）内は回答者数

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

7. 転職理由（すべて） 各国・地域ランキングTOP10

Q. 1つ前の勤務先から今の勤務先に転職した理由は何ですか。（複数回答／選択肢29項目）

※18か国・地域の全体平均TOP3と同色の色付け

【東南アジア／南アジア】

		1位		2位		3位								
	タイ(812)	%	フィリピン(827)	%	インドネシア(798)	%	マレーシア(779)	%	シンガポール(835)	%	ベトナム(728)	%	インド(880)	%
1位	幅広い経験・知識を積み たい	31.3	給料に不満がある	26.4	幅広い経験・知識を積み たい	37.8	幅広い経験・知識を積み たい	29.0	給料に不満がある	20.6	幅広い経験・知識を積み たい	25.1	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	23.4
2位	給料に不満がある	25.6	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	23.8	給料に不満がある	32.8	給料に不満がある	28.1	幅広い経験・知識を積み たい	18.9	評価されても給料があがら ない	24.0	幅広い経験・知識を積み たい	22.3
3位	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	24.9	幅広い経験・知識を積み たい	23.5	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	31.8	評価されても給料があがら ない	22.3	昇進が望めない	18.6	専門知識・技術力を習得 したい	21.6	評価されても給料があがら ない	21.6
4位	ほかにやりたい仕事がある	18.6	評価されても給料があがら ない	23.3	評価されても給料があがら ない	22.1	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	21.4	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	17.0	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	21.0	雇用形態を変えたい	21.6
5位	雇用形態を変えたい	18.1	雇用形態を変えたい	21.6	会社の将来性が不安	21.6	雇用形態を変えたい	21.3	風通しが悪い（意見が言 いにくい）	14.4	昇進が望めない	20.5	給料に不満がある	20.7
6位	専門知識・技術力を習得 したい	17.9	ほかにやりたい仕事がある	19.5	昇進が望めない	20.8	昇進が望めない	20.7	会社の将来性が不安	14.3	風通しが悪い（意見が言 いにくい）	19.2	専門知識・技術力を習得 したい	17.8
7位	風通しが悪い（意見が言 いにくい）	17.5	残業が多い／休日が少 ない	18.1	会社の評価方法に不満 がある	18.8	専門知識・技術力を習得 したい	19.5	評価されても給料があがら ない	14.3	給料に不満がある	17.6	昇進が望めない	17.3
8位	肉体的につらい	17.5	昇進が望めない	18.0	専門知識・技術力を習得 したい	17.3	ほかにやりたい仕事がある	17.8	会社の評価方法に不満 がある	14.0	ほかにやりたい仕事がある	15.9	風通しが悪い（意見が言 いにくい）	16.7
9位	土日祝祭日に休み たい	17.2	専門知識・技術力を習得 したい	17.9	人間関係が上手いかな い	17.3	会社の評価方法に不満 がある	17.8	ほかにやりたい仕事がある	13.3	人間関係が上手いかな い	14.8	会社の将来性が不安	15.6
10位	会社の将来性が不安	16.0	土日祝祭日に休み たい	14.3	不規則な勤務が不満	14.7	風通しが悪い（意見が言 いにくい）	16.9	残業が多い／休日が少 ない	13.3	会社の将来性が不安	14.1	ほかにやりたい仕事がある	15.0
10位	昇進が望めない	16.0									土日祝祭日に休み たい	14.1		

※（ ）内は回答者数

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

7. 転職理由（すべて） 各国・地域ランキングTOP10

Q. 1つ前の勤務先から今の勤務先に転職した理由は何ですか。（複数回答／選択肢29項目）

※18か国・地域の全体平均TOP3と同色の色付け

【オセアニア／北米／ヨーロッパ】

1位 2位 3位

	オーストラリア(847)	%	アメリカ(811)	%	イギリス(844)	%	ドイツ(826)	%	フランス(836)	%	スウェーデン(797)	%
1位	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	17.4	給料に不満がある	19.5	給料に不満がある	22.2	ほかにやりたい仕事がある	23.1	ほかにやりたい仕事がある	22.7	ほかにやりたい仕事がある	21.3
2位	ほかにやりたい仕事がある	16.8	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	17.9	雇用形態を変えたい	18.2	給料に不満がある	20.2	給料に不満がある	18.7	給料に不満がある	15.2
3位	昇進が望めない	16.6	ほかにやりたい仕事がある	15.2	昇進が望めない	17.8	雇用形態を変えたい	19.2	昇進が望めない	17.8	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	15.1
4位	給料に不満がある	16.6	昇進が望めない	14.5	ほかにやりたい仕事がある	17.2	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	16.9	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	16.1	会社の評価方法に不満がある	13.9
5位	雇用形態を変えたい	12.9	風通しが悪い（意見が言い にくい）	14.2	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	13.7	風通しが悪い（意見が言い にくい）	15.5	幅広い経験・知識を積みたい	15.7	評価されても給料があがらない	12.4
6位	幅広い経験・知識を積みたい	12.5	評価されても給料があがらない	13.4	幅広い経験・知識を積みたい	12.4	残業が多い／休日が少ない	14.2	雇用形態を変えたい	15.2	会社の将来性が不安	11.3
7位	風通しが悪い（意見が言い にくい）	12.3	雇用形態を変えたい	12.6	評価されても給料があがらない	12.3	人間関係が上手くいかない	13.8	風通しが悪い（意見が言い にくい）	14.6	幅広い経験・知識を積みたい	11.2
8位	評価されても給料があがらない	11.7	離職率が高い	11.2	風通しが悪い（意見が言い にくい）	12.1	昇進が望めない	13.0	人間関係が上手くいかない	12.9	専門知識・技術力を習得した い	10.9
9位	離職率が高い	11.5	幅広い経験・知識を積みたい	10.7	専門知識・技術力を習得した い	11.5	会社の将来性が不安	12.6	会社の将来性が不安	11.7	雇用形態を変えたい	10.9
10位	会社の将来性が不安	11.3	会社の将来性が不安	10.6	離職率が高い	11.4	評価されても給料があがらない	12.2	専門知識・技術力を習得した い	11.5	不規則な勤務が不満	10.9
10位									評価されても給料があがらない	11.5		

※（ ）内は回答者数

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(マニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

8. 転職理由（最もあてはまるもの） 各国・地域ランキングTOP10

Q. <最もあてはまるものを1つ> 1つ前の勤務先から今の勤務先に転職した理由は何ですか。（選択した項目の中から1つだけ）

【東アジア】

※18カ国・地域の全体平均TOP3と同色の色付け

	全体(14164)	%	日本(698)	%	中国(558)	%	韓国(741)	%	台湾(699)	%	香港(848)	%
1位	給料に不満がある	10.6	給料に不満がある	8.2	給料に不満がある	18.1	給料に不満がある	12.3	給料に不満がある	14.2	給料に不満がある	22.4
2位	幅広い経験・知識を積みたい	7.3	倒産／リストラ／契約期間の満了	8.0	昇進が望めない	7.0	倒産／リストラ／契約期間の満了	8.8	幅広い経験・知識を積みたい	8.7	幅広い経験・知識を積みたい	8.5
3位	ほかにやりたい仕事がある	6.0	人間関係が上手くいかない	7.7	専門知識・技術力を習得したい	6.1	会社の将来性が不安	7.7	会社の将来性が不安	6.3	倒産／リストラ／契約期間の満了	6.0
4位	和気あいあいとした雰囲気の中で働きたい	5.8	結婚・出産・育児のため	7.3	会社の将来性が不安	6.1	肉体的につらい	6.2	専門知識・技術力を習得したい	4.9	ほかにやりたい仕事がある	5.0
5位	評価されても給料があがらない	4.9	会社の将来性が不安	6.4	幅広い経験・知識を積みたい	5.2	幅広い経験・知識を積みたい	6.1	ほかにやりたい仕事がある	4.4	会社の将来性が不安	5.0
6位	雇用形態を変えたい	4.8	ほかにやりたい仕事がある	5.7	結婚・出産・育児のため	4.3	雇用形態を変えたい	5.7	和気あいあいとした雰囲気の中で働きたい	4.3	専門知識・技術力を習得したい	4.0
7位	会社の将来性が不安	4.5	雇用形態を変えたい	4.7	和気あいあいとした雰囲気の中で働きたい	3.8	専門知識・技術力を習得したい	5.0	風通しが悪い（意見が言いにくい）	4.1	昇進が望めない	4.0
8位	専門知識・技術力を習得したい	4.3	肉体的につらい	4.2	肉体的につらい	3.8	人間関係が上手くいかない	4.5	残業が多い／休日が少ない	4.1	残業が多い／休日が少ない	4.0
9位	倒産／リストラ／契約期間の満了	4.2	土日祝祭日に休みたい	4.0	評価されても給料があがらない	3.6	評価されても給料があがらない	3.9	土日祝祭日に休みたい	4.0	和気あいあいとした雰囲気の中で働きたい	4.0
10位	昇進が望めない	4.0	幅広い経験・知識を積みたい	3.4	残業が多い／休日が少ない	3.6	土日祝祭日に休みたい	3.9	結婚・出産・育児のため	3.7	人間関係が上手くいかない	3.7
10位			専門知識・技術力を習得したい	3.4	人間関係が上手くいかない	3.6			倒産／リストラ／契約期間の満了	3.7		

※（ ）内は回答者数

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

8. 転職理由（最もあてはまるもの） 各国・地域ランキングTOP10

Q. <最もあてはまるものを1つ> 1つ前の勤務先から今の勤務先に転職した理由はなんですか。（選択した項目の中から1つだけ）

※18か国・地域の全体平均TOP3と同色の色付け

【東南アジア／南アジア】

1位 2位 3位

	タイ(812)	%	フィリピン(827)	%	インドネシア(798)	%	マレーシア(779)	%	シンガポール(835)	%	ベトナム(728)	%	インド(880)	%
1位	幅広い経験・知識を積み たい	11.8	給料に不満がある	10.3	幅広い経験・知識を積み たい	14.9	給料に不満がある	12.3	給料に不満がある	10.4	幅広い経験・知識を積み たい	10.0	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	8.2
2位	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	10.0	幅広い経験・知識を積み たい	8.6	給料に不満がある	13.8	幅広い経験・知識を積み たい	11.9	幅広い経験・知識を積み たい	7.9	評価されても給料があがら ない	8.2	給料に不満がある	7.4
3位	給料に不満がある	9.0	評価されても給料があがら ない	7.9	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	8.0	評価されても給料があがら ない	7.7	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	6.0	専門知識・技術力を習得 したい	7.3	幅広い経験・知識を積み たい	6.8
4位	ほかにやりたい仕事がある	5.9	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	7.5	倒産／リストラ／契約期 間の満了	8.0	雇用形態を変えたい	5.8	評価されても給料があがら ない	5.3	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	7.3	雇用形態を変えたい	6.8
5位	雇用形態を変えたい	4.8	ほかにやりたい仕事がある	6.0	評価されても給料があがら ない	7.6	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	5.6	残業が多い／休日が少 ない	5.1	給料に不満がある	6.3	評価されても給料があがら ない	6.6
6位	専門知識・技術力を習得 したい	4.2	倒産／リストラ／契約期 間の満了	5.2	会社の将来性が不安	6.1	専門知識・技術力を習得 したい	4.9	昇進が望めない	4.8	昇進が望めない	5.9	専門知識・技術力を習得 したい	5.1
7位	風通しが悪い（意見が言 いにくい）	3.7	専門知識・技術力を習得 したい	5.1	会社の評価方法に不満 がある	4.0	土日祝祭日に休み たい	4.9	ほかにやりたい仕事 がある	4.4	ほかにやりたい仕事 がある	5.4	会社の将来性が不安	4.1
8位	昇進が望めない	3.7	雇用形態を変えたい	4.8	人間関係が上手い かない	3.5	昇進が望めない	4.6	会社の将来性が不安	4.4	風通しが悪い（意見が言 いにくい）	4.4	風通しが悪い（意見が言 いにくい）	4.0
9位	肉体的につらい	3.7	残業が多い／休日が少 ない	4.5	雇用形態を変えたい	3.1	倒産／リストラ／契約期 間の満了	4.0	雇用形態を変えたい	4.4	U・Iターン したい	4.3	昇進が望めない	3.8
10位	評価されても給料があがら ない	3.6	風通しが悪い（意見が言 いにくい）	3.5	結婚・出産・育児 のため	3.0	ほかにやりたい仕事 がある	3.9	専門知識・技術力を習得 したい	4.2	結婚・出産・育児 のため	4.1	残業が多い／休日が少 ない	3.6
10位									人間関係が上手い かない	4.2				

※（ ）内は回答者数

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

8. 転職理由（最もあてはまるもの） 各国・地域ランキングTOP10

Q. <最もあてはまるものを1つ> 1つ前の勤務先から今の勤務先に転職した理由は何ですか。（選択した項目の中から1つだけ）

※18ヵ国・地域の全体平均TOP3と同色の色付け

【オセアニア/北米/ヨーロッパ】

		1位	2位	3位			1位	2位	3位			
オーストラリア(847)	%	アメリカ(811)	%	イギリス(844)	%	ドイツ(826)	%	フランス(836)	%	スウェーデン(797)	%	
1位	ほかにやりたい仕事がある	8.4	給料に不満がある	8.3	給料に不満がある	10.1	ほかにやりたい仕事がある	10.4	ほかにやりたい仕事がある	12.2	ほかにやりたい仕事がある	11.0
2位	給料に不満がある	8.0	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	6.9	雇用形態を変えたい	8.6	給料に不満がある	8.7	給料に不満がある	7.1	給料に不満がある	6.3
3位	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	6.1	ほかにやりたい仕事がある	6.2	ほかにやりたい仕事がある	7.0	雇用形態を変えたい	6.7	昇進が望めない	6.8	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	6.0
4位	雇用形態を変えたい	6.0	雇用形態を変えたい	5.1	評価されても給料があがらない	5.2	倒産/リストラ/契約期間の 満了	5.9	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	5.7	結婚・出産・育児のため	5.0
5位	幅広い経験・知識を積みたい	5.4	昇進が望めない	4.8	幅広い経験・知識を積みたい	4.9	会社の将来性が不安	5.1	倒産/リストラ/契約期間の 満了	5.6	幅広い経験・知識を積みたい	4.6
6位	昇進が望めない	4.8	評価されても給料があがらない	4.8	昇進が望めない	4.7	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	4.8	風通しが悪い（意見が言い にくい）	5.3	会社の評価方法に不満がある	4.6
7位	風通しが悪い（意見が言い にくい）	4.7	幅広い経験・知識を積みたい	4.7	和気あいあいとした雰囲気 の会社で働きたい	4.5	人間関係が上手くいかない	4.7	雇用形態を変えたい	5.0	評価されても給料があがらない	4.4
8位	専門知識・技術力を習得した い	4.0	会社の将来性が不安	3.9	専門知識・技術力を習得した い	4.4	残業が多い/休日が少ない	4.2	幅広い経験・知識を積みたい	4.9	肉体的につらい	4.3
9位	会社の将来性が不安	3.9	風通しが悪い（意見が言い にくい）	3.8	風通しが悪い（意見が言い にくい）	4.4	結婚・出産・育児のため	4.0	会社の将来性が不安	4.1	会社の将来性が不安	4.1
10位	評価されても給料があがらない	3.8	業界の先行きが不安	3.6	結婚・出産・育児のため	4.3	風通しが悪い（意見が言い にくい）	3.9	評価されても給料があがらない	3.9	雇用形態を変えたい	4.1
10位			U・Iターンしたい	3.6					人間関係が上手くいかない	3.9		

※（ ）内は回答者数

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(マニラ)、インドネシア(ジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

V.自己成長と自己研鑽

成長志向度・
成長実感度

**働くことを通じた「成長志向度」、仕事を通じた「成長実感度」とともに9割を超えるインド、インドネシア、フィリピン、ベトナム、中国。
日本は成長志向度・実感度ともに最も低く、成長実感度の低さが際立つ。**

- 働くことを通じた成長が重要だと考える「成長志向度」は、全体平均93.2%。日本以外ではほぼ9割以上、日本は79.5%で最も低い。
- 過去1年を振り返り仕事を通じた成長を実感できている「成長実感度」の全体平均は81.3%。9割以上は（高い順に）ベトナム、インド、インドネシア、中国、フィリピン、8割台はマレーシア、タイ、スウェーデン、アメリカ。日本は唯一5割台（52.6%）で最も低い。
- 成長志向度と成長実感度のギャップを見てみると、全ての国・地域で成長実感度が下回る。これは、成長が重要だと考えているが、実際には成長を実感できていない状況を表している。最もギャップが大きいのは日本で-26.9pt。次いで韓国の-19.3pt。その他、ギャップが-10pt以上あるのは台湾、香港、シンガポール、マレーシア、オーストラリア、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス。
- インド、インドネシア、フィリピン、ベトナム、中国では、成長志向度と成長実感度がともに9割を超え、ギャップも小さいことから、仕事を通じた成長を実感できている様子がうかがえる。
- 日本は、成長志向度・成長実感度ともに18ヶ国・地域で最も低い。特に成長実感度の低さが際立っており、上位のベトナムやインドとは40pt以上、日本に次いで低い韓国とも20pt弱の差がある。年代別でみると、成長志向度は年代による差は大きくない。しかし、40代以降で成長志向と成長実感の間に30pt以上のギャップが生じていることから、他国・地域と比べても中高年の成長実感が急激に低下する傾向が見られる。

1. 成長志向度 & 成長実感度

Q. あなたにとって、「働くことを通じた成長」は、どのくらい重要だと感じますか。(7段階尺度)

Q. 過去【1年間】を振り返ったとき、あなたは仕事を通じた成長を実感しましたか。(7段階尺度)

▼働くことを通じた成長を重要だと考えている(成長志向度が高い)人の割合(%)

▼成長を実感できている(成長実感度が高い)人の割合(%)

※成長志向度：スコアは、「とても重要だ」「重要だ」「やや重要だ」の合算値

※成長実感度：スコアは、「とても実感した」「実感した」「やや実感した」の合算値

※GAP：-10ポイントより大きい場合に網掛け

順位は「成長志向度順」		成長志向度	成長実感度	実感度-志向度 GAP (pt)	各国平均年齢 (歳)
1位	インドネシア (1002)	99.3	92.5	- 6.8	43.5
2位	インド (1119)	99.0	94.6	- 4.4	43.2
3位	フィリピン (1010)	98.1	90.7	- 7.4	43.7
4位	マレーシア (1000)	97.8	85.5	-12.3	41.5
5位	ベトナム (1002)	97.4	95.5	- 1.9	43.7
6位	中国 (1002)	95.3	92.0	- 3.3	43.5
7位	アメリカ (1010)	95.0	83.0	-12.0	44.0
8位	タイ (1059)	94.7	85.3	- 9.4	44.5
9位	スウェーデン (1002)	93.1	84.1	- 9.0	43.7
10位	シンガポール (1002)	92.8	76.7	-16.1	44.3
11位	台湾 (1001)	92.1	79.5	-12.6	44.1
12位	韓国 (1005)	91.2	71.9	-19.3	44.5
12位	フランス (1001)	91.2	73.5	-17.7	44.0
14位	ドイツ (1000)	91.0	75.2	-15.8	43.7
15位	イギリス (1003)	89.9	75.8	-14.1	44.0
16位	香港 (1002)	89.5	79.3	-10.2	44.2
17位	オーストラリア (1003)	89.3	72.9	-16.4	44.2
18位	日本 (1000)	79.5	52.6	-26.9	44.8
	全体 (18223)	93.2	81.3	-11.9	43.8

※()内は回答者数
 ※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
 【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

1.成長志向度 & 成長実感度 (1/4)

Q. あなたにとって、「働くことを通じた成長」は、どのくらい重要だと感じますか。(7段階尺度)

Q. 過去【1年間】を振り返ったとき、あなたは仕事を通じた成長を実感しましたか。(7段階尺度)

※成長志向度：スコアは、「とても重要だ」「重要だ」「やや重要だ」の合算値

※成長実感度：スコアは、「とても実感した」「実感した」「やや実感した」の合算値

※GAP：-10ポイントより大きい場合に赤字・黄色に網掛け

【東アジア】 (%)

	日本	年代別					
		20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計
回答者数	(1000)	(200)	(200)	(200)	(200)	(200)	(400)
成長志向度	79.5	79.0	75.5	77.0	82.0	84.0	83.0
成長実感度	52.6	67.0	56.0	46.0	49.5	44.5	47.0
実感度 - 志向度 GAP	-26.9	-12.0	-19.5	-31.0	-32.5	-39.5	-36.0

中国 (%)

	中国	年代別					
		20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計
回答者数	(1002)	(200)	(201)	(200)	(200)	(201)	(401)
成長志向度	95.3	86.0	99.0	93.5	99.0	99.0	99.0
成長実感度	92.0	85.5	93.5	95.5	90.5	95.0	92.8
実感度 - 志向度 GAP	-3.3	-0.5	-5.5	2.0	-8.5	-4.0	-6.2

韓国 (%)

	韓国	年代別					
		20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計
回答者数	(1005)	(200)	(205)	(200)	(200)	(200)	(400)
成長志向度	91.2	89.0	87.8	92.5	92.5	94.5	93.5
成長実感度	71.9	78.5	77.1	71.0	61.0	72.0	66.5
実感度 - 志向度 GAP	-19.3	-10.5	-10.7	-21.5	-31.5	-22.5	-27.0

台湾 (%)

	台湾	年代別					
		20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計
回答者数	(1001)	(200)	(200)	(200)	(201)	(200)	(401)
成長志向度	92.1	93.5	91.5	87.5	94.5	93.5	94.0
成長実感度	79.5	85.0	71.0	69.5	82.1	90.0	86.0
実感度 - 志向度 GAP	-12.6	-8.5	-20.5	-18.0	-12.4	-3.5	-8.0

香港 (%)

	香港	年代別					
		20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計
回答者数	(1002)	(200)	(202)	(200)	(200)	(200)	(400)
成長志向度	89.5	93.5	90.1	87.5	86.5	90.0	88.3
成長実感度	79.3	82.5	80.7	77.5	77.5	78.5	78.0
実感度 - 志向度 GAP	-10.2	-11.0	-9.4	-10.0	-9.0	-11.5	-10.3

※項目別に、国・地域をまたいで得点の高低で色付け
(高得点：赤、低得点：グレー)

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

1.成長志向度 & 成長実感度 (2/4)

Q. あなたにとって、「働くことを通じた成長」は、どのくらい重要だと感じますか。(7段階尺度)

Q. 過去【1年間】を振り返ったとき、あなたは仕事を通じた成長を実感しましたか。(7段階尺度)

※成長志向度：スコアは、「とても重要だ」「重要だ」「やや重要だ」の合算値

※成長実感度：スコアは、「とても実感した」「実感した」「やや実感した」の合算値

※GAP：-10ポイントより大きい場合に赤字・黄色に網掛け

【東南アジア】 (%)

タイ	年代別						
	20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計	
回答者数	(1059)	(203)	(204)	(221)	(218)	(213)	(431)
成長志向度	94.7	98.5	98.0	95.0	90.4	92.0	91.2
成長実感度	85.3	88.2	87.7	83.7	81.7	85.4	83.5
実感度 - 志向度 GAP	-9.4	-10.3	-10.3	-11.3	-8.7	-6.6	-7.7

フィリピン (%)

フィリピン	年代別						
	20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計	
回答者数	(1010)	(206)	(204)	(200)	(192)	(208)	(400)
成長志向度	98.1	99.5	97.5	98.0	99.5	96.2	97.8
成長実感度	90.7	91.3	93.6	91.0	82.3	94.7	88.8
実感度 - 志向度 GAP	-7.4	-8.2	-3.9	-7.0	-17.2	-1.5	-9.0

インドネシア (%)

インドネシア	年代別						
	20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計	
回答者数	(1002)	(202)	(200)	(200)	(200)	(200)	(400)
成長志向度	99.3	99.5	99.5	100.0	100.0	97.5	98.8
成長実感度	92.5	96.0	96.0	88.5	88.5	93.5	91.0
実感度 - 志向度 GAP	-6.8	-3.5	-3.5	-11.5	-11.5	-4.0	-7.8

マレーシア (%)

マレーシア	年代別						
	20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計	
回答者数	(1000)	(230)	(231)	(221)	(182)	(136)	(318)
成長志向度	97.8	98.7	98.3	97.3	96.2	98.5	97.2
成長実感度	85.5	91.3	86.1	79.6	80.2	91.2	84.9
実感度 - 志向度 GAP	-12.3	-7.4	-12.2	-17.7	-16.0	-7.3	-12.3

シンガポール (%)

シンガポール	年代別						
	20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計	
回答者数	(1002)	(202)	(200)	(200)	(202)	(198)	(400)
成長志向度	92.8	96.5	94.5	92.0	90.6	90.4	90.5
成長実感度	76.7	79.7	83.5	75.5	69.8	75.3	72.5
実感度 - 志向度 GAP	-16.1	-16.8	-11.0	-16.5	-20.8	-15.1	-18.0

ベトナム (%)

ベトナム	年代別						
	20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計	
回答者数	(1002)	(201)	(200)	(200)	(201)	(401)	
成長志向度	97.4	97.5	98.0	97.5	96.0	98.0	97.0
成長実感度	95.5	95.5	96.5	96.5	94.0	95.0	94.5
実感度 - 志向度 GAP	-1.9	-2.0	-1.5	-1.0	-2.0	-3.0	-2.5

※項目別に、国・地域をまたいで得点の高低で色分け (高得点：赤、低得点：グレー)

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

1.成長志向度 & 成長実感度 (3/4)

Q. あなたにとって、「働くことを通じた成長」は、どのくらい重要だと感じますか。(7段階尺度)

Q. 過去【1年間】を振り返りかえったとき、あなたは仕事を通じた成長を実感しましたか。(7段階尺度)

※成長志向度：スコアは、「とても重要だ」「重要だ」「やや重要だ」の合算値

※成長実感度：スコアは、「とても実感した」「実感した」「やや実感した」の合算値

※GAP：-10ポイントより大きい場合に赤字・黄色に網掛け

	【南アジア】 (%)							【オセアニア】 (%)							【北米】 (%)						
	インド	年代別						オーストラリア	年代別						アメリカ	年代別					
回答者数	(1119)	20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計	(1003)	20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計	(1010)	20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計
成長志向度	99.0	100.0	99.5	97.7	98.7	99.0	98.9	89.3	91.0	91.0	91.1	84.5	89.1	86.8	95.0	90.6	97.5	98.0	96.0	93.1	94.5
成長実感度	94.6	98.0	97.2	92.3	90.8	94.7	92.6	72.9	82.5	80.0	70.9	65.7	65.3	65.5	83.0	79.3	92.1	88.1	81.1	74.3	77.7
実感度-志向度 GAP	-4.4	-2.0	-2.3	-5.4	-7.9	-4.3	-6.3	-16.4	-8.5	-11.0	-20.2	-18.8	-23.8	-21.3	-12.0	-11.3	-5.4	-9.9	-14.9	-18.8	-16.8

※項目別に、国・地域をまたいで得点の高低で色付け (高得点：赤、低得点：グレー)

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

1.成長志向度 & 成長実感度 (4/4)

Q. あなたにとって、「働くことを通じた成長」は、どのくらい重要だと感じますか。(7段階尺度)

Q. 過去【1年間】を振り返ったとき、あなたは仕事を通じた成長を実感しましたか。(7段階尺度)

※成長志向度：スコアは、「とても重要」「重要」「やや重要」の合算値

※成長実感度：スコアは、「とても実感した」「実感した」「やや実感した」の合算値

※GAP：-10ポイントより大きい場合に赤字・黄色に網掛け

【ヨーロッパ】 (%)

	イギリス	年代別					
		20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計
回答者数	(1003)	(201)	(200)	(200)	(215)	(187)	(402)
成長志向度	89.9	94.0	93.0	89.0	87.0	86.6	86.8
成長実感度	75.8	85.1	85.5	75.0	65.6	67.9	66.7
実感度-志向度GAP	-14.1	-8.9	-7.5	-14.0	-21.4	-18.7	-20.1

(%)

	ドイツ	年代別					
		20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計
回答者数	(1000)	(200)	(200)	(214)	(213)	(173)	(386)
成長志向度	91.0	92.5	91.5	89.7	89.7	91.9	90.7
成長実感度	75.2	88.0	83.0	76.6	67.6	59.0	63.7
実感度-志向度GAP	-15.8	-4.5	-8.5	-13.1	-22.1	-32.9	-27.0

(%)

	フランス	年代別					
		20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計
回答者数	(1001)	(201)	(200)	(200)	(205)	(195)	(400)
成長志向度	91.2	90.5	94.0	89.5	89.8	92.3	91.0
成長実感度	73.5	79.1	80.5	77.5	62.0	68.7	65.3
実感度-志向度GAP	-17.7	-11.4	-13.5	-12.0	-27.8	-23.6	-25.7

(%)

	スウェーデン	年代別					
		20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計
回答者数	(1002)	(201)	(201)	(200)	(200)	(200)	(400)
成長志向度	93.1	91.5	92.0	95.0	92.5	94.5	93.5
成長実感度	84.1	81.1	82.1	89.5	76.5	91.5	84.0
実感度-志向度GAP	-9.0	-10.4	-9.9	-5.5	-16.0	-3.0	-9.5

※項目別に、国・地域をまたいで得点の高低で色付け (高得点：赤、低得点：グレー)

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

社外の学習・
自己啓発

**勤務先以外での自己研鑽に意欲的なフィリピン、インドネシア、マレーシア、ベトナム、インド。一方、日本は「とくに何も行ってない」が5割を超える。
各国・地域共通で高い学習・自己啓発は、「読書」「研修・セミナー、勉強会」。**

- 勤務先以外で自分の成長を目的に行っている学習・自己啓発の全体平均トップ5は、「読書」34.5%、「研修・セミナー、勉強会への参加」30.4%、「資格取得のための学習」22.0%、「通信教育、eラーニング」21.8%、「語学学習」20.9%。
- フィリピン、インドネシア、マレーシア、ベトナム、インドは、ほぼ全ての項目で全体平均を大きく上回る。「研修・セミナー、勉強会への参加」は4～5割の国・地域が多く、インドネシアでは「資格取得のための学習」が43.6%、ベトナムでは「語学学習」が46.3%。
- 一方、「とくに何もおこなっていない」割合の全体平均は18.0%。最も高いのは日本の52.6%。次いでオーストラリア28.6%、スウェーデン28.1%、イギリス24.1%、フランス22.6%と続く。中国、韓国、香港、シンガポールも2割前後で全体平均を超える。
- 「副業・兼業」は、タイ、フィリピン、インドネシア、マレーシア、ベトナム、インド、アメリカ、台湾で2割以上。日本のみ8.9%と1割に満たない。
- 日本は、「何もおこなっていない」割合が突出して高く、全ての項目で全体平均を下回り、1割未満も多いなど自己研鑽意欲の低さが際立つ。
- 年代別にみると、若い年代のスコアが高い傾向だが、タイ、フィリピン、インドネシア、マレーシア、ベトナム、中国では50代以上の意欲も高い。なお、日本と中国の20代は「とくに何もおこなっていない」が3割を超える。

2.社外の学習・自己啓発

Q. あなたが自分の成長を目的として行っている勤務先以外での学習や自己啓発活動についてお知らせください。(複数回答/選択肢11項目)

※全体の回答で降順

	全体 (18223)	東アジア					東南アジア						南 アジア	オセア ニア	北米	ヨーロッパ			
		日本 (1000)	中国 (1002)	韓国 (1005)	台湾 (1001)	香港 (1002)	タイ (1059)	フィリピン (1010)	インドネシア (1002)	マレーシア (1000)	シンガポール (1002)	ベトナム (1002)	インド (1119)	オーストラリア (1003)	アメリカ (1010)	イギリス (1003)	ドイツ (1000)	フランス (1001)	スウェーデン (1002)
読書	34.5	23.2	27.5	39.1	26.1	34.9	27.9	43.7	42.2	38.5	32.7	48.5	33.5	35.4	41.0	38.0	36.7	31.0	22.1
研修・セミナー、勉強会等への参加	30.4	11.6	27.4	21.6	26.1	23.7	28.0	50.4	50.1	44.7	33.9	41.9	43.6	25.1	27.2	22.7	27.0	23.3	18.0
資格取得のための学習	22.0	15.9	22.9	27.4	23.3	18.8	22.2	29.4	43.6	25.2	17.9	22.4	30.6	15.7	20.3	14.1	19.6	12.2	13.2
通信教育、eラーニング	21.8	7.1	32.9	9.8	26.8	24.2	30.0	28.1	18.8	26.7	21.7	29.8	30.7	17.5	20.1	20.1	14.9	15.6	15.3
語学学習	20.9	9.9	17.8	25.9	26.5	28.7	26.2	20.9	27.0	23.1	14.7	46.3	25.6	10.8	15.7	13.7	11.6	19.0	12.3
副業・兼業	19.5	8.9	14.7	15.4	20.3	18.6	33.9	31.5	27.1	29.5	13.6	25.4	26.8	14.3	20.6	12.2	12.1	11.4	13.4
NPOやボランティア等の社会活動への参加	17.0	3.4	12.3	8.4	12.4	11.3	18.3	25.1	37.5	21.7	14.2	24.1	31.4	12.0	17.7	15.2	12.3	12.6	14.1
勉強会等の主催・運営	12.8	2.9	18.1	9.6	15.3	10.2	13.7	11.8	13.1	18.9	9.9	19.7	23.4	8.4	11.9	9.2	12.6	11.5	9.5
大学・大学院・専門学校	8.1	1.7	5.9	3.5	7.2	5.3	5.6	13.8	10.8	14.8	7.4	5.5	13.0	8.3	12.5	4.5	11.2	4.9	10.5
その他	2.2	3.8	0.8	2.5	1.3	1.3	1.1	2.6	1.7	2.2	1.5	1.2	1.1	1.9	2.8	3.6	4.5	2.9	3.8
とくに何も行っていない	18.0	52.6	20.6	19.3	14.5	18.8	13.4	5.6	5.4	9.5	20.1	3.6	3.2	28.6	15.7	24.1	21.2	22.6	28.1

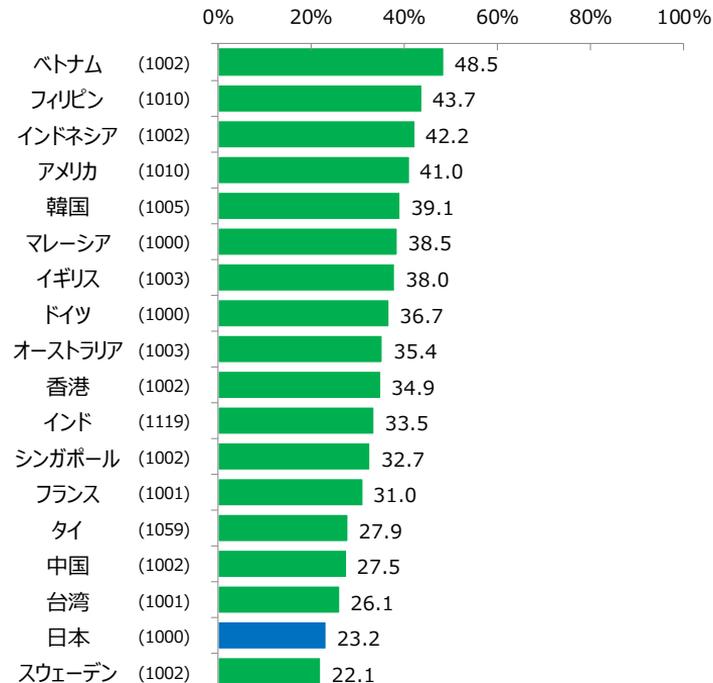
※()内は回答者数 ※得点の高低で色付け(高得点:赤、低得点:グレー)

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

2.社外の学習・自己啓発 (詳細1/10)

Q. あなたが自分の成長を目的として行っている勤務先以外での学習や自己啓発活動についてお知らせください。(複数回答/選択肢11項目)

▼読書をしている割合 (%)



*()内は回答者数

	20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計	(%)
(201)	53.7	(200) 52.5	(200) 51.0	(200) 37.5	(201) 47.8	(401) 42.6	
(206)	44.2	(204) 42.6	(200) 42.5	(192) 51.6	(208) 38.0	(400) 44.5	
(202)	43.1	(200) 39.5	(200) 40.0	(200) 47.0	(200) 41.5	(400) 44.3	
(203)	33.5	(203) 34.5	(201) 35.8	(201) 49.3	(202) 52.0	(403) 50.6	
(200)	43.0	(205) 38.0	(200) 38.0	(200) 39.5	(200) 37.0	(400) 38.3	
(230)	37.8	(231) 32.9	(221) 42.1	(182) 41.8	(136) 39.0	(318) 40.6	
(201)	32.8	(200) 37.0	(200) 34.5	(215) 43.3	(187) 42.2	(402) 42.8	
(200)	41.5	(200) 31.0	(214) 30.8	(213) 38.0	(173) 43.4	(386) 40.4	
(200)	33.0	(200) 34.0	(203) 32.0	(207) 36.7	(193) 41.5	(400) 39.0	
(200)	41.0	(202) 44.1	(200) 36.5	(200) 26.5	(200) 26.5	(400) 26.5	
(252)	37.7	(211) 30.3	(221) 22.2	(228) 41.2	(207) 35.3	(435) 38.4	
(202)	33.7	(200) 33.5	(200) 27.5	(202) 38.1	(198) 30.8	(400) 34.5	
(201)	22.9	(200) 19.5	(200) 34.5	(205) 36.1	(195) 42.1	(400) 39.0	
(203)	30.0	(204) 26.0	(221) 25.3	(218) 35.3	(213) 22.5	(431) 29.0	
(200)	19.5	(201) 23.4	(200) 12.5	(200) 43.5	(201) 38.8	(401) 41.1	
(200)	31.0	(200) 38.5	(200) 25.0	(201) 17.4	(200) 18.5	(401) 18.0	
(200)	29.0	(200) 28.0	(200) 16.5	(200) 20.0	(200) 22.5	(400) 21.3	
(201)	24.9	(201) 29.9	(200) 21.0	(200) 26.5	(200) 8.0	(400) 17.3	

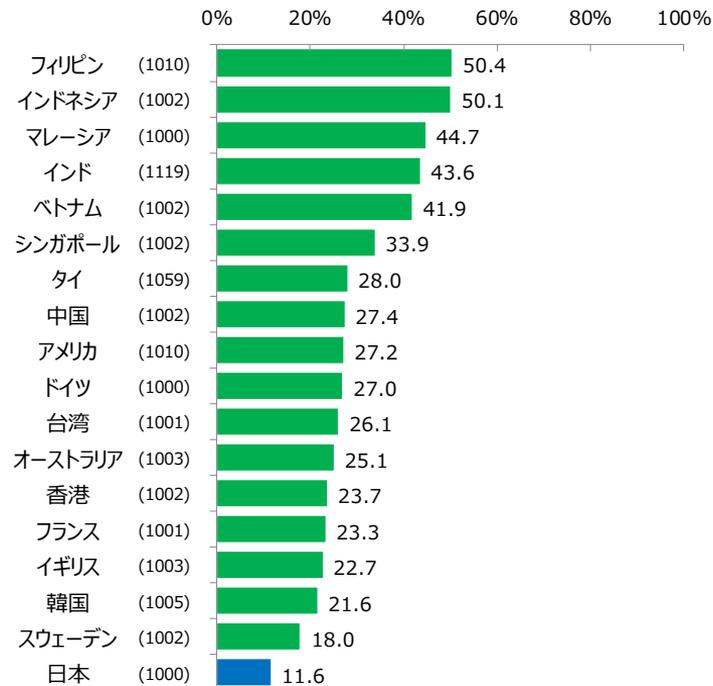
*※得点の高低で色付け (高得点: 赤、低得点: グレー)

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

2.社外の学習・自己啓発 (詳細2/10)

Q. あなたが自分の成長を目的として行っている勤務先以外での学習や自己啓発活動についてお知らせください。(複数回答/選択肢11項目)

▼研修・セミナー、勉強会等へ参加している割合 (%)



*()内は回答者数

	20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計	(%)
(206)	54.4	(204) 49.5	(200) 47.5	(192) 57.8	(208) 43.3	(400) 50.3	
(202)	52.5	(200) 54.0	(200) 47.0	(200) 51.0	(200) 46.0	(400) 48.5	
(230)	43.9	(231) 51.5	(221) 42.5	(182) 44.0	(136) 39.0	(318) 41.8	
(252)	47.6	(211) 45.0	(221) 42.5	(228) 42.5	(207) 39.6	(435) 41.1	
(201)	41.8	(200) 42.0	(200) 47.0	(200) 38.5	(201) 40.3	(401) 39.4	
(202)	31.2	(200) 32.5	(200) 30.0	(202) 38.1	(198) 37.9	(400) 38.0	
(203)	28.1	(204) 37.3	(221) 23.1	(218) 26.1	(213) 25.8	(431) 26.0	
(200)	10.0	(201) 27.4	(200) 17.5	(200) 41.0	(201) 41.3	(401) 41.1	
(203)	23.2	(203) 28.6	(201) 34.3	(201) 23.9	(202) 26.2	(403) 25.1	
(200)	24.0	(200) 31.0	(214) 28.0	(213) 27.2	(173) 24.3	(386) 25.9	
(200)	26.0	(200) 26.0	(200) 23.0	(201) 27.4	(200) 28.0	(401) 27.7	
(200)	27.5	(200) 28.5	(203) 22.2	(207) 22.2	(193) 25.4	(400) 23.8	
(200)	19.5	(202) 24.3	(200) 24.5	(200) 21.5	(200) 28.5	(400) 25.0	
(201)	20.9	(200) 23.0	(200) 25.5	(205) 20.5	(195) 26.7	(400) 23.5	
(201)	23.9	(200) 26.0	(200) 26.0	(215) 21.4	(187) 16.0	(402) 18.9	
(200)	14.5	(205) 22.4	(200) 25.5	(200) 19.5	(200) 26.0	(400) 22.8	
(201)	16.4	(201) 15.9	(200) 19.5	(200) 23.5	(200) 14.5	(400) 19.0	
(200)	6.5	(200) 12.5	(200) 13.5	(200) 13.0	(200) 12.5	(400) 12.8	

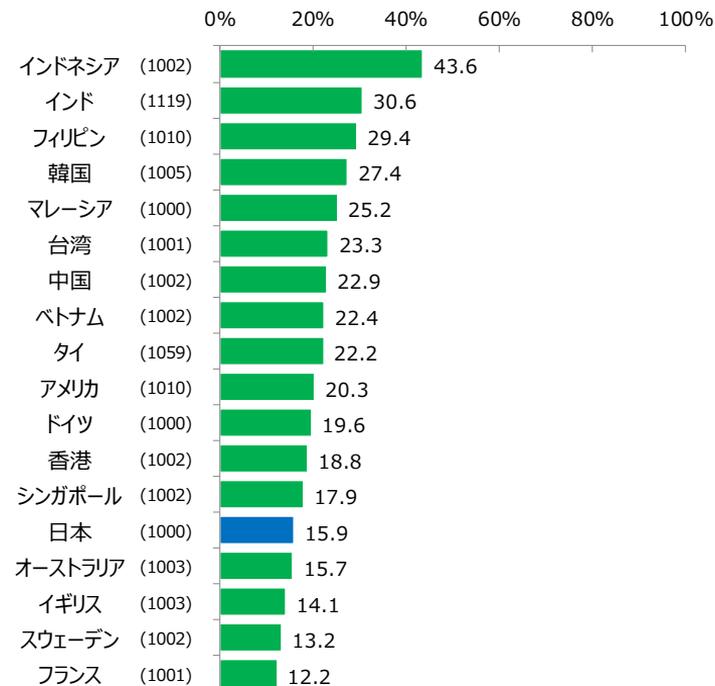
*得点の高低で色付け (高得点 : 赤、低得点 : グレー)

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

2.社外の学習・自己啓発（詳細3/10）

Q. あなたが自分の成長を目的として行っている勤務先以外での学習や自己啓発活動についてお知らせください。（複数回答／選択肢11項目）

▼資格取得のための学習をしている割合（%）



*()内は回答者数

	20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計	(%)
(202)	37.6	(200) 46.5	(200) 48.0	(200) 43.5	(200) 42.5	(400) 43.0	
(252)	36.1	(211) 33.2	(221) 30.8	(228) 27.2	(207) 24.6	(435) 26.0	
(206)	35.9	(204) 30.9	(200) 27.0	(192) 35.4	(208) 18.3	(400) 26.5	
(200)	42.0	(205) 34.6	(200) 27.0	(200) 17.5	(200) 15.5	(400) 16.5	
(230)	32.2	(231) 26.8	(221) 20.8	(182) 20.3	(136) 24.3	(318) 22.0	
(200)	33.0	(200) 21.5	(200) 16.0	(201) 21.9	(200) 24.0	(401) 22.9	
(200)	9.5	(201) 28.4	(200) 13.5	(200) 28.0	(201) 34.8	(401) 31.4	
(201)	27.4	(200) 25.0	(200) 23.0	(200) 15.5	(201) 20.9	(401) 18.2	
(203)	22.7	(204) 26.5	(221) 23.1	(218) 21.1	(213) 17.8	(431) 19.5	
(203)	27.6	(203) 23.6	(201) 20.9	(201) 17.4	(202) 11.9	(403) 14.6	
(200)	24.0	(200) 26.0	(214) 23.4	(213) 13.6	(173) 9.8	(386) 11.9	
(200)	26.5	(202) 19.3	(200) 23.5	(200) 10.5	(200) 14.0	(400) 12.3	
(202)	19.3	(200) 18.0	(200) 21.5	(202) 11.4	(198) 19.2	(400) 15.3	
(200)	23.5	(200) 23.5	(200) 14.5	(200) 12.0	(200) 6.0	(400) 9.0	
(200)	20.5	(200) 22.0	(203) 15.8	(207) 10.6	(193) 9.3	(400) 10.0	
(201)	19.4	(200) 14.5	(200) 15.0	(215) 13.5	(187) 7.5	(402) 10.7	
(201)	21.9	(201) 13.9	(200) 8.5	(200) 14.5	(200) 7.0	(400) 10.8	
(201)	16.4	(200) 18.0	(200) 9.5	(205) 8.3	(195) 8.7	(400) 8.5	

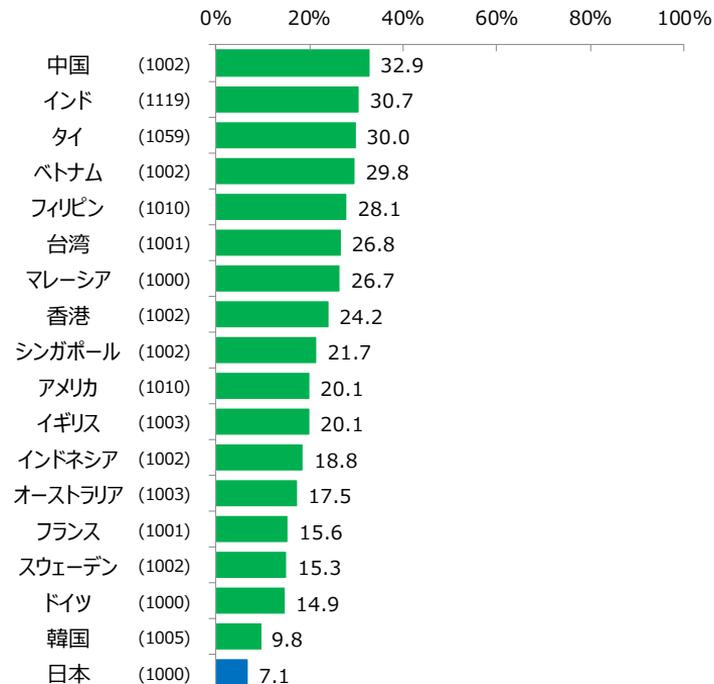
※得点の高低で色付け（高得点：赤、低得点：グレー）

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

2.社外の学習・自己啓発 (詳細4/10)

Q. あなたが自分の成長を目的として行っている勤務先以外での学習や自己啓発活動についてお知らせください。(複数回答/選択肢11項目)

▼通信教育、eラーニングをしている割合 (%)



*()内は回答者数

20代		30代		40代		50代		60代		50代以上計	
(200)	22.0	(201)	27.4	(200)	16.5	(200)	48.0	(201)	50.7	(401)	49.4
(252)	34.9	(211)	33.6	(221)	29.0	(228)	32.0	(207)	23.2	(435)	27.8
(203)	32.0	(204)	35.3	(221)	29.0	(218)	28.0	(213)	26.3	(431)	27.1
(201)	25.9	(200)	30.5	(200)	36.5	(200)	29.0	(201)	27.4	(401)	28.2
(206)	28.2	(204)	30.9	(200)	29.0	(192)	28.1	(208)	24.5	(400)	26.3
(200)	28.0	(200)	27.5	(200)	26.5	(201)	27.9	(200)	24.0	(401)	25.9
(230)	33.0	(231)	29.9	(221)	22.2	(182)	22.5	(136)	23.5	(318)	23.0
(200)	24.5	(202)	26.2	(200)	24.0	(200)	20.5	(200)	25.5	(400)	23.0
(202)	22.8	(200)	27.0	(200)	22.0	(202)	20.3	(198)	16.2	(400)	18.3
(203)	24.1	(203)	24.6	(201)	20.9	(201)	18.9	(202)	11.9	(403)	15.4
(201)	18.4	(200)	25.0	(200)	19.5	(215)	19.1	(187)	18.7	(402)	18.9
(202)	14.4	(200)	19.0	(200)	21.5	(200)	18.0	(200)	21.0	(400)	19.5
(200)	20.0	(200)	23.5	(203)	20.2	(207)	12.1	(193)	11.9	(400)	12.0
(201)	15.9	(200)	21.0	(200)	17.5	(205)	12.7	(195)	10.8	(400)	11.8
(201)	15.9	(201)	12.4	(200)	14.0	(200)	17.5	(200)	16.5	(400)	17.0
(200)	17.0	(200)	19.0	(214)	19.6	(213)	9.9	(173)	8.1	(386)	9.1
(200)	12.5	(205)	14.1	(200)	9.5	(200)	6.0	(200)	6.5	(400)	6.3
(200)	9.5	(200)	10.5	(200)	6.0	(200)	7.5	(200)	2.0	(400)	4.8

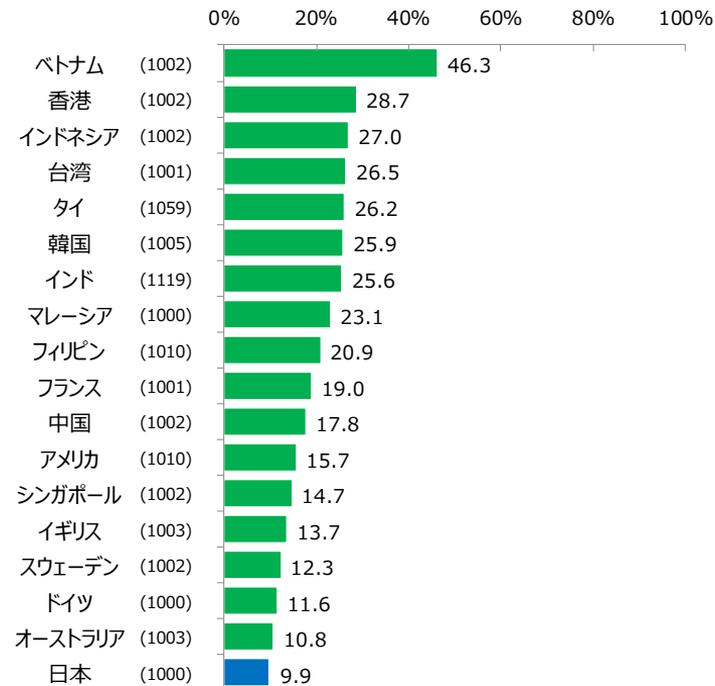
※得点の高低で色付け (高得点 : 赤、低得点 : グレー)

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

2.社外の学習・自己啓発 (詳細5/10)

Q. あなたが自分の成長を目的として行っている勤務先以外での学習や自己啓発活動についてお知らせください。(複数回答/選択肢11項目)

▼語学学習をしている割合 (%)



*()内は回答者数

	20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計	(%)
ベトナム	(201) 56.7	(200) 53.0	(200) 43.0	(200) 36.5	(201) 42.3	(401) 39.4	
香港	(200) 36.5	(202) 32.2	(200) 25.0	(200) 25.5	(200) 24.5	(400) 25.0	
インドネシア	(202) 34.7	(200) 31.5	(200) 25.5	(200) 17.5	(200) 26.0	(400) 21.8	
台湾	(200) 30.0	(200) 38.0	(200) 24.0	(201) 21.4	(200) 19.0	(401) 20.2	
タイ	(203) 36.0	(204) 29.9	(221) 24.0	(218) 22.9	(213) 18.8	(431) 20.9	
韓国	(200) 30.5	(205) 25.9	(200) 31.5	(200) 21.5	(200) 20.0	(400) 20.8	
インド	(252) 32.9	(211) 24.6	(221) 22.6	(228) 22.4	(207) 24.6	(435) 23.4	
マレーシア	(230) 28.7	(231) 24.2	(221) 25.8	(182) 15.4	(136) 17.6	(318) 16.4	
フィリピン	(206) 23.3	(204) 26.0	(200) 18.5	(192) 18.2	(208) 18.3	(400) 18.3	
フランス	(201) 26.4	(200) 24.5	(200) 16.0	(205) 13.2	(195) 14.9	(400) 14.0	
中国	(200) 16.0	(201) 16.9	(200) 16.5	(200) 15.0	(201) 24.4	(401) 19.7	
アメリカ	(203) 18.2	(203) 23.6	(201) 12.4	(201) 16.9	(202) 7.4	(403) 12.2	
シンガポール	(202) 20.8	(200) 23.0	(200) 15.0	(202) 7.9	(198) 6.6	(400) 7.3	
イギリス	(201) 16.9	(200) 19.5	(200) 11.5	(215) 9.8	(187) 10.7	(402) 10.2	
スウェーデン	(201) 14.9	(201) 12.9	(200) 6.5	(200) 13.0	(200) 14.0	(400) 13.5	
ドイツ	(200) 11.0	(200) 13.0	(214) 11.7	(213) 14.1	(173) 7.5	(386) 11.1	
オーストラリア	(200) 11.5	(200) 15.5	(203) 11.3	(207) 8.7	(193) 6.7	(400) 7.8	
日本	(200) 14.0	(200) 13.5	(200) 8.0	(200) 6.5	(200) 7.5	(400) 7.0	

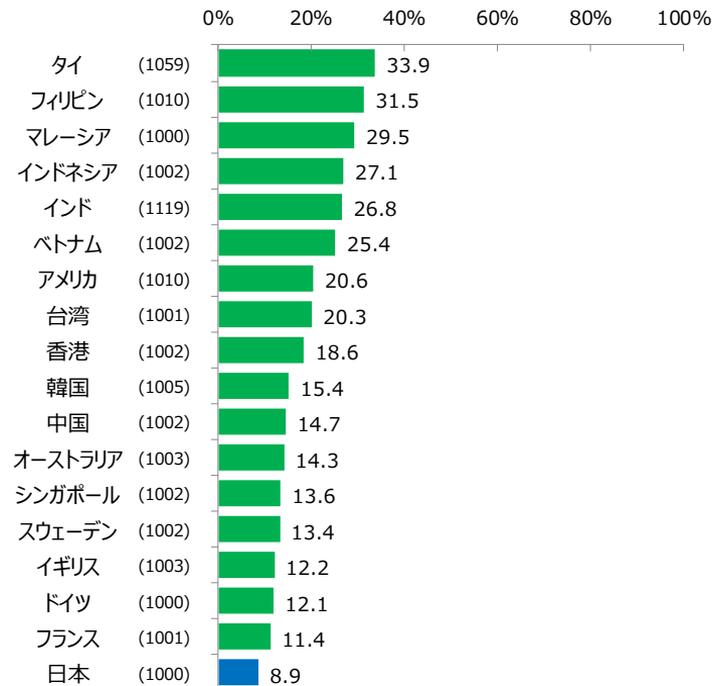
※得点の高低で色付け (高得点: 赤, 低得点: グレー)

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ (ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス (ロンドン)、ドイツ (ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス (パリ)、スウェーデン (ストックホルム)

2.社外の学習・自己啓発 (詳細6/10)

Q. あなたが自分の成長を目的として行っている勤務先以外の学習や自己啓発活動についてお知らせください。(複数回答/選択肢11項目)

▼副業・兼業をしている割合 (%)



*()内は回答者数

	20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計	(%)
タイ	(203) 36.0	(204) 39.7	(221) 34.8	(218) 33.5	(213) 25.8	(431) 29.7	
フィリピン	(206) 37.4	(204) 23.5	(200) 31.0	(192) 33.3	(208) 32.2	(400) 32.8	
マレーシア	(230) 36.5	(231) 41.1	(221) 22.2	(182) 20.3	(136) 22.1	(318) 21.1	
インドネシア	(202) 28.7	(200) 28.0	(200) 25.5	(200) 26.5	(200) 27.0	(400) 26.8	
インド	(252) 32.1	(211) 26.5	(221) 28.1	(228) 25.0	(207) 21.3	(435) 23.2	
ベトナム	(201) 28.9	(200) 27.0	(200) 23.0	(200) 23.5	(201) 24.9	(401) 24.2	
アメリカ	(203) 24.6	(203) 23.2	(201) 23.4	(201) 18.4	(202) 13.4	(403) 15.9	
台湾	(200) 20.5	(200) 26.0	(200) 18.5	(201) 18.4	(200) 18.0	(401) 18.2	
香港	(200) 27.5	(202) 23.3	(200) 15.0	(200) 12.0	(200) 15.0	(400) 13.5	
韓国	(200) 17.0	(205) 21.5	(200) 15.0	(200) 13.0	(200) 10.5	(400) 11.8	
中国	(200) 19.0	(201) 12.9	(200) 6.5	(200) 17.0	(201) 17.9	(401) 17.5	
オーストラリア	(200) 21.0	(200) 17.0	(203) 14.8	(207) 9.2	(193) 9.3	(400) 9.3	
シンガポール	(202) 20.8	(200) 23.0	(200) 10.0	(202) 6.4	(198) 7.6	(400) 7.0	
スウェーデン	(201) 14.9	(201) 19.4	(200) 12.0	(200) 12.5	(200) 8.0	(400) 10.3	
イギリス	(201) 12.9	(200) 18.0	(200) 16.0	(215) 9.3	(187) 4.3	(402) 7.0	
ドイツ	(200) 15.5	(200) 17.0	(214) 10.3	(213) 10.3	(173) 6.9	(386) 8.8	
フランス	(201) 11.9	(200) 14.5	(200) 13.0	(205) 6.8	(195) 10.8	(400) 8.8	
日本	(200) 13.5	(200) 12.5	(200) 5.0	(200) 6.0	(200) 7.5	(400) 6.8	

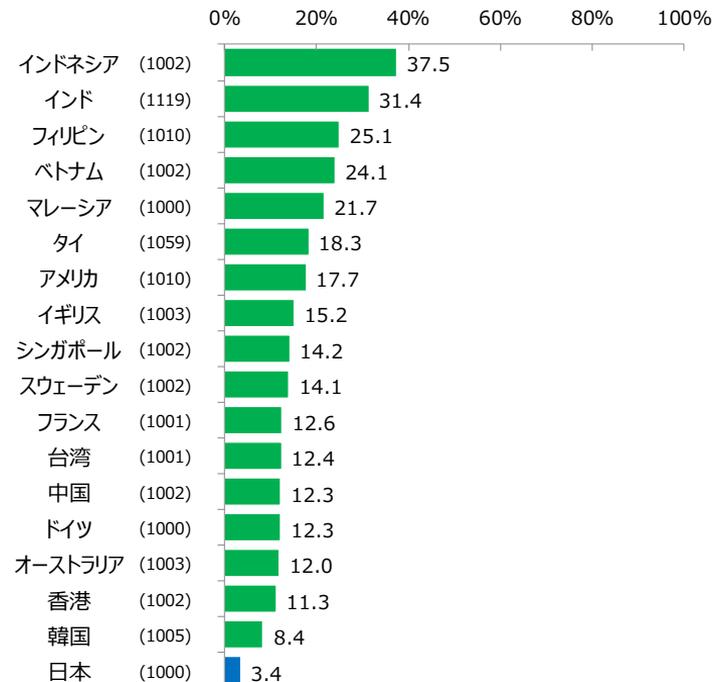
*得点の高低で色付け (高得点: 赤、低得点: グレー)

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

2.社外の学習・自己啓発 (詳細7/10)

Q. あなたが自分の成長を目的として行っている勤務先以外での学習や自己啓発活動についてお知らせください。(複数回答/選択肢11項目)

▼NPOやボランティア等の社会活動へ参加している割合 (%)



* ()内は回答者数

	20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計	(%)
(202)	38.1	(200) 42.5	(200) 33.0	(200) 31.5	(200) 42.5	(400) 37.0	
(252)	32.5	(211) 28.4	(221) 39.8	(228) 27.2	(207) 28.5	(435) 27.8	
(206)	25.2	(204) 22.5	(200) 23.0	(192) 26.6	(208) 28.4	(400) 27.5	
(201)	25.4	(200) 21.0	(200) 27.0	(200) 21.0	(201) 25.9	(401) 23.4	
(230)	27.4	(231) 16.9	(221) 16.7	(182) 19.8	(136) 30.9	(318) 24.5	
(203)	20.2	(204) 22.1	(221) 17.6	(218) 14.2	(213) 17.8	(431) 16.0	
(203)	18.7	(203) 19.7	(201) 17.9	(201) 19.9	(202) 12.4	(403) 16.1	
(201)	24.9	(200) 19.0	(200) 13.5	(215) 11.2	(187) 7.0	(402) 9.2	
(202)	17.8	(200) 16.0	(200) 11.5	(202) 10.9	(198) 14.6	(400) 12.8	
(201)	15.9	(201) 12.9	(200) 9.5	(200) 16.0	(200) 16.0	(400) 16.0	
(201)	8.5	(200) 19.0	(200) 13.5	(205) 9.3	(195) 12.8	(400) 11.0	
(200)	10.5	(200) 4.5	(200) 10.0	(201) 14.4	(200) 22.5	(401) 18.5	
(200)	7.0	(201) 10.0	(200) 6.5	(200) 17.5	(201) 20.4	(401) 19.0	
(200)	13.0	(200) 12.0	(214) 16.4	(213) 8.9	(173) 11.0	(386) 9.8	
(200)	12.0	(200) 16.5	(203) 12.3	(207) 8.2	(193) 10.9	(400) 9.5	
(200)	8.0	(202) 13.4	(200) 5.0	(200) 10.0	(200) 20.0	(400) 15.0	
(200)	6.0	(205) 8.8	(200) 7.0	(200) 10.0	(200) 10.0	(400) 10.0	
(200)	2.0	(200) 3.0	(200) 3.5	(200) 5.0	(200) 3.5	(400) 4.3	

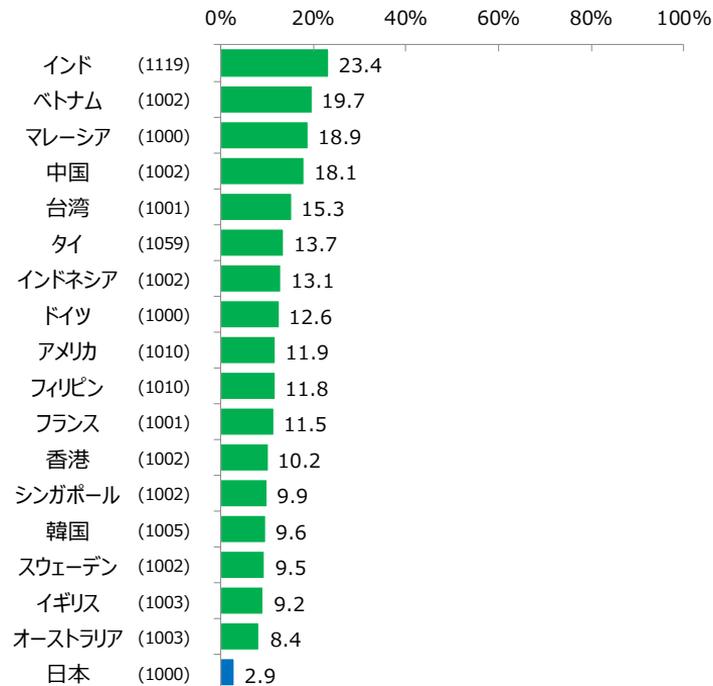
※得点の高低で色付け (高得点: 赤, 低得点: グレー)

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

2.社外の学習・自己啓発 (詳細8/10)

Q. あなたが自分の成長を目的として行っている勤務先以外での学習や自己啓発活動についてお知らせください。(複数回答/選択肢11項目)

▼勉強会等の主催・運営をしている割合 (%)



*()内は回答者数

	20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計	(%)
(252)	26.6	(211) 24.2	(221) 25.3	(228) 22.4	(207) 17.9	(435) 20.2	
(201)	16.9	(200) 20.0	(200) 16.5	(200) 17.0	(201) 27.9	(401) 22.4	
(230)	23.5	(231) 15.6	(221) 17.2	(182) 15.9	(136) 23.5	(318) 19.2	
(200)	8.5	(201) 17.9	(200) 10.5	(200) 24.5	(201) 28.9	(401) 26.7	
(200)	16.5	(200) 12.0	(200) 9.0	(201) 16.4	(200) 22.5	(401) 19.5	
(203)	18.2	(204) 15.2	(221) 8.6	(218) 10.1	(213) 16.9	(431) 13.5	
(202)	11.9	(200) 15.5	(200) 11.5	(200) 6.5	(200) 20.0	(400) 13.3	
(200)	13.0	(200) 20.5	(214) 15.4	(213) 6.6	(173) 6.9	(386) 6.7	
(203)	15.3	(203) 18.7	(201) 11.9	(201) 8.0	(202) 5.4	(403) 6.7	
(206)	11.2	(204) 15.7	(200) 7.5	(192) 9.4	(208) 14.9	(400) 12.3	
(201)	15.9	(200) 11.5	(200) 12.5	(205) 6.8	(195) 10.8	(400) 8.8	
(200)	9.5	(202) 11.4	(200) 10.5	(200) 9.0	(200) 10.5	(400) 9.8	
(202)	11.9	(200) 18.5	(200) 10.0	(202) 4.5	(198) 4.5	(400) 4.5	
(200)	16.0	(205) 11.2	(200) 8.5	(200) 5.0	(200) 7.0	(400) 6.0	
(201)	12.9	(201) 9.5	(200) 7.5	(200) 7.5	(200) 10.0	(400) 8.8	
(201)	11.4	(200) 20.5	(200) 7.5	(215) 3.7	(187) 2.7	(402) 3.2	
(200)	12.5	(200) 12.5	(203) 6.4	(207) 5.3	(193) 5.2	(400) 5.3	
(200)	4.0	(200) 3.0	(200) 2.5	(200) 2.0	(200) 3.0	(400) 2.5	

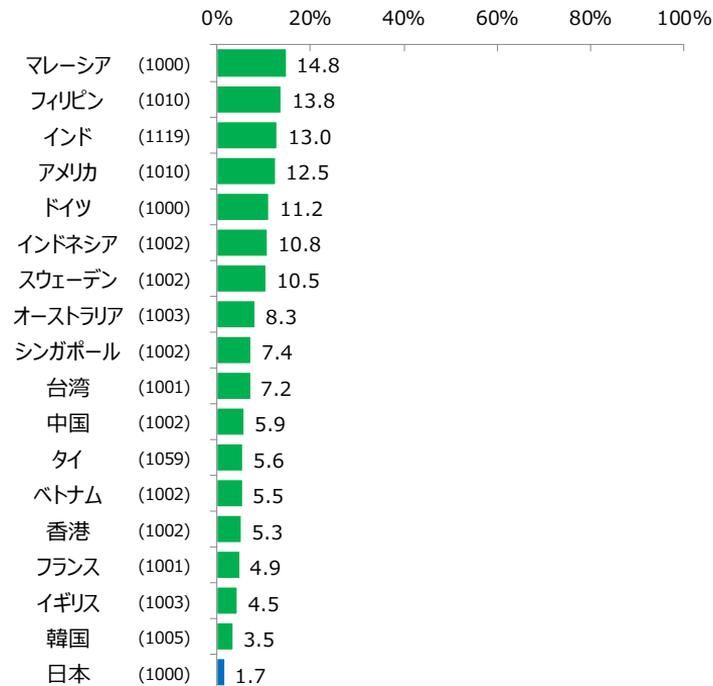
※得点の高低で色付け (高得点: 赤、低得点: グレー)

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

2.社外の学習・自己啓発 (詳細9/10)

Q. あなたが自分の成長を目的として行っている勤務先以外の学習や自己啓発活動についてお知らせください。(複数回答/選択肢11項目)

▼大学・大学院・専門学校へ通っている割合 (%)



*()内は回答者数

	20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計	(%)
(230)	27.8	(231) 12.1	(221) 5.9	(182) 12.1	(136) 15.4	(318) 13.5	
(206)	17.0	(204) 13.7	(200) 10.5	(192) 11.5	(208) 15.9	(400) 13.8	
(252)	14.7	(211) 11.8	(221) 15.4	(228) 12.3	(207) 10.6	(435) 11.5	
(203)	22.7	(203) 16.3	(201) 13.4	(201) 7.0	(202) 3.0	(403) 5.0	
(200)	15.0	(200) 15.5	(214) 13.1	(213) 5.6	(173) 6.4	(386) 6.0	
(202)	19.8	(200) 6.0	(200) 11.0	(200) 7.0	(200) 10.0	(400) 8.5	
(201)	18.9	(201) 10.4	(200) 6.0	(200) 4.0	(200) 13.0	(400) 8.5	
(200)	19.5	(200) 8.0	(203) 6.4	(207) 4.8	(193) 2.6	(400) 3.8	
(202)	19.8	(200) 7.0	(200) 5.5	(202) 2.5	(198) 2.0	(400) 2.3	
(200)	8.5	(200) 5.5	(200) 5.0	(201) 11.4	(200) 5.5	(401) 8.5	
(200)	5.0	(201) 5.5	(200) 1.0	(200) 5.5	(201) 12.4	(401) 9.0	
(203)	5.9	(204) 4.4	(221) 6.3	(218) 2.8	(213) 8.5	(431) 5.6	
(201)	6.0	(200) 2.0	(200) 6.0	(200) 1.0	(201) 12.4	(401) 6.7	
(200)	12.0	(202) 7.4	(200) 2.0	(200) 1.5	(200) 3.5	(400) 2.5	
(201)	15.4	(200) 5.0	(200) 0.5	(205) 0.0	(195) 3.6	(400) 1.8	
(201)	8.5	(200) 3.0	(200) 1.5	(215) 6.5	(187) 2.7	(402) 4.7	
(200)	8.5	(205) 2.4	(200) 2.5	(200) 1.5	(200) 2.5	(400) 2.0	
(200)	4.5	(200) 2.5	(200) 0.5	(200) 0.0	(200) 1.0	(400) 0.5	

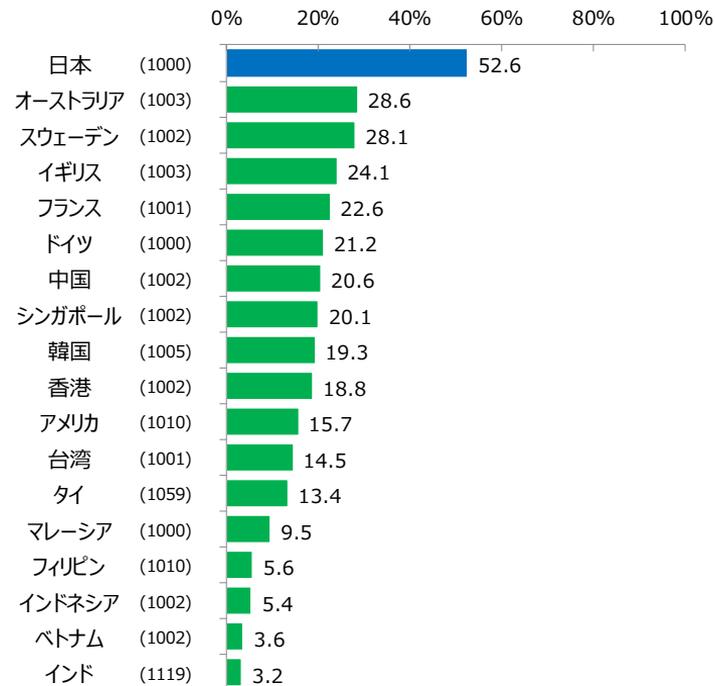
※得点の高低で色付け (高得点 : 赤、低得点 : グレー)

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

2.社外の学習・自己啓発 (詳細10/10)

Q. あなたが自分の成長を目的として行っている勤務先以外での学習や自己啓発活動についてお知らせください。(複数回答/選択肢11項目)

▼とくに何も行っていない (%)



*()内は回答者数

	20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計	(%)
日本	(200) 34.5	(200) 46.0	(200) 62.5	(200) 59.5	(200) 60.5	(400) 60.0	
オーストラリア	(200) 18.0	(200) 20.5	(203) 32.0	(207) 36.2	(193) 36.3	(400) 36.3	
スウェーデン	(201) 17.4	(201) 20.4	(200) 40.5	(200) 26.0	(200) 36.5	(400) 31.3	
イギリス	(201) 15.4	(200) 12.5	(200) 25.0	(215) 26.5	(187) 42.2	(402) 33.8	
フランス	(201) 12.4	(200) 15.0	(200) 23.5	(205) 34.1	(195) 27.7	(400) 31.0	
ドイツ	(200) 13.5	(200) 12.5	(214) 19.6	(213) 29.1	(173) 32.4	(386) 30.6	
中国	(200) 36.0	(201) 18.9	(200) 32.0	(200) 9.0	(201) 7.0	(401) 8.0	
シンガポール	(202) 13.4	(200) 8.0	(200) 21.5	(202) 32.2	(198) 25.3	(400) 28.8	
韓国	(200) 12.5	(205) 15.6	(200) 20.0	(200) 25.0	(200) 23.5	(400) 24.3	
香港	(200) 12.0	(202) 11.9	(200) 24.5	(200) 26.0	(200) 19.5	(400) 22.8	
アメリカ	(203) 10.3	(203) 8.4	(201) 14.4	(201) 17.9	(202) 27.7	(403) 22.8	
台湾	(200) 11.0	(200) 16.0	(200) 22.5	(201) 8.5	(200) 14.5	(401) 11.5	
タイ	(203) 8.4	(204) 9.3	(221) 12.2	(218) 17.9	(213) 18.8	(431) 18.3	
マレーシア	(230) 4.8	(231) 10.4	(221) 14.0	(182) 12.6	(136) 4.4	(318) 9.1	
フィリピン	(206) 4.9	(204) 4.9	(200) 7.5	(192) 7.3	(208) 3.8	(400) 5.5	
インドネシア	(202) 1.5	(200) 3.0	(200) 8.0	(200) 7.5	(200) 7.0	(400) 7.3	
ベトナム	(201) 2.0	(200) 2.5	(200) 2.0	(200) 7.0	(201) 4.5	(401) 5.7	
インド	(252) 1.6	(211) 1.4	(221) 2.3	(228) 4.8	(207) 6.3	(435) 5.5	

※得点の高低で色付け (高得点 : 赤、低得点 : グレー)

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

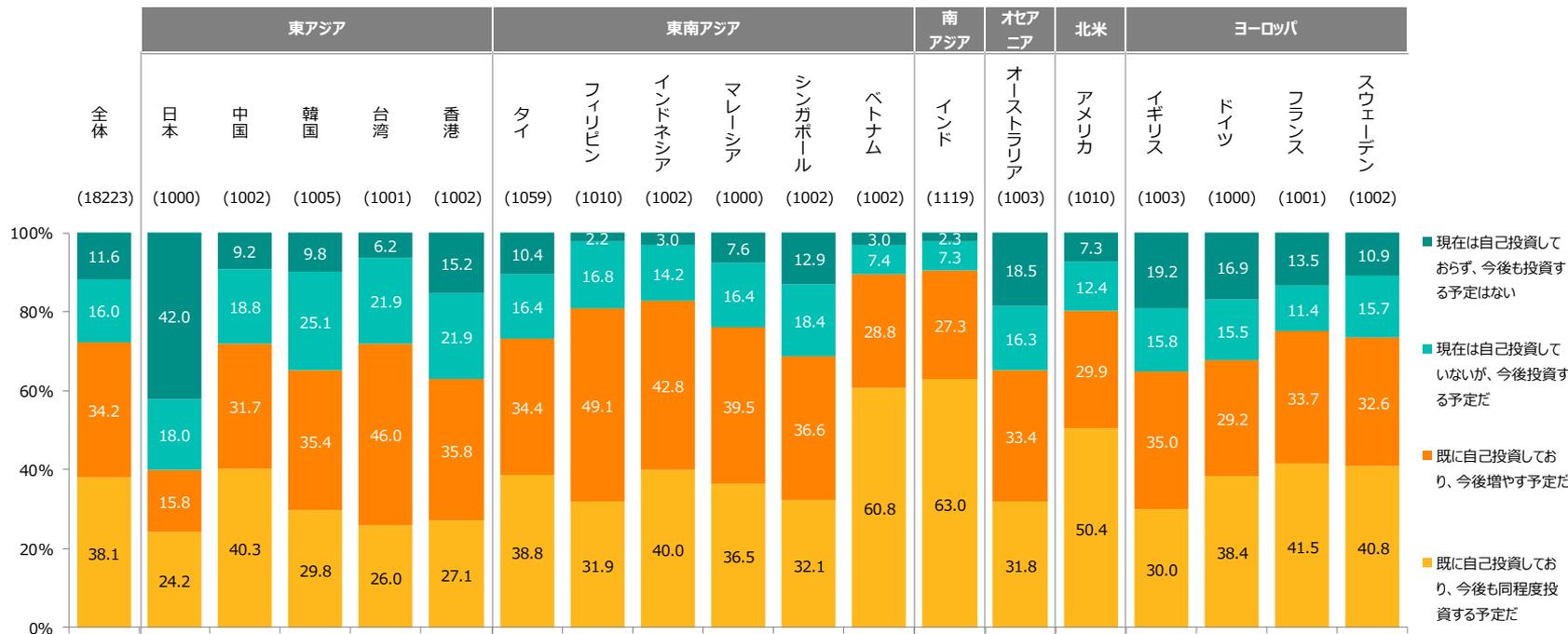
社外の
学習・自己啓発
への自己投資

**勤務先以外での学習・自己啓発に「既に自己投資している」割合は7割超。
インド、ベトナム、インドネシア、フィリピン、アメリカは特に意欲的。
一方、日本は自己投資意欲の低さが際立つ。**

- ・ 勤務先以外での学習・自己啓発に対する自己投資について聞いたところ、全体平均で「既に自己投資・今後も同程度投資予定」38.1%、「既に自己投資・今後増額予定」34.2%で、既に投資し今後も維持・拡大の合計は7割を超える。一方、「現在は投資しておらず・今後投資予定」割合は16.0%、「現在は投資しておらず・今後も予定なし」は11.6%。
- ・ インド、ベトナムでは「既に自己投資している」割合が9割前後、フィリピン、インドネシア、アメリカでは8割を超える。そして今後も同程度または増額して投資する予定。
- ・ 日本は、「既に自己投資している」割合は40.0%で最も低い。また「現在投資しておらず、今後も予定はない」割合が42.0%と突出しており、自己投資意欲の低さが際立つ。
- ・ 年代別に見ると、全体的に20代・30代の自己投資意欲が高い国・地域が多い中、中国では20代の既に自己投資している割合の低さが目立つ。
- ・ 職位別でみると、「管理職」以上の自己投資意欲は「一般社員・従業員」よりも高い傾向。日本の「管理職」は「現在投資しておらず、今後も予定はない」割合が36.3%で、他国・地域の「管理職」に比べると20pt以上高い（フランス12.9%、イギリス11.2%、その他の国・地域は1割未満）。

3.自己投資

Q. ご自身の勤務先以外での学習や自己啓発への投資について、あてはまるものをお選びください。（4段階尺度）

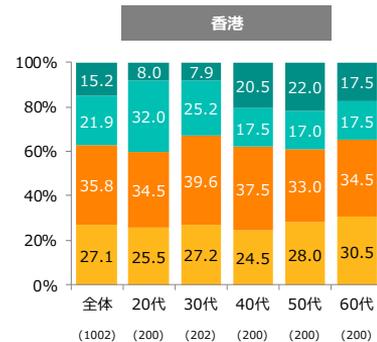
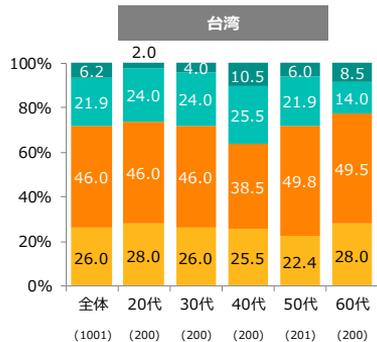
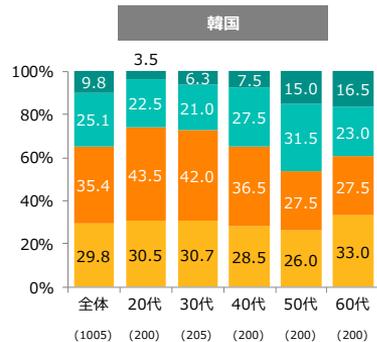
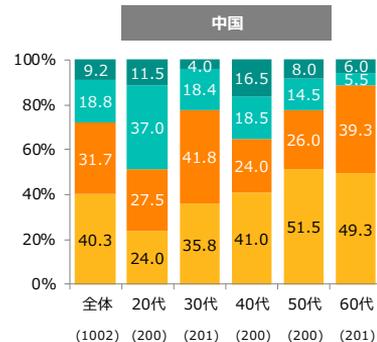
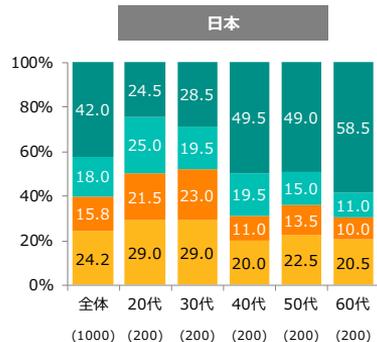
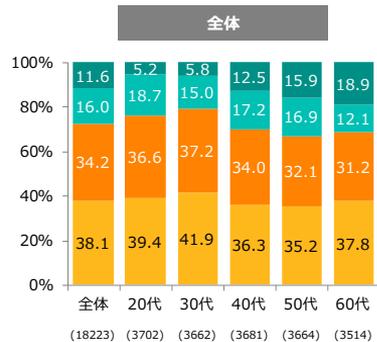


※ () 内は回答者数

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレーターバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレータージャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

3.自己投資（年代別）【東アジア】

Q. ご自身の勤務先以外での学習や自己啓発への投資について、あてはまるものをお選びください。（4段階尺度）



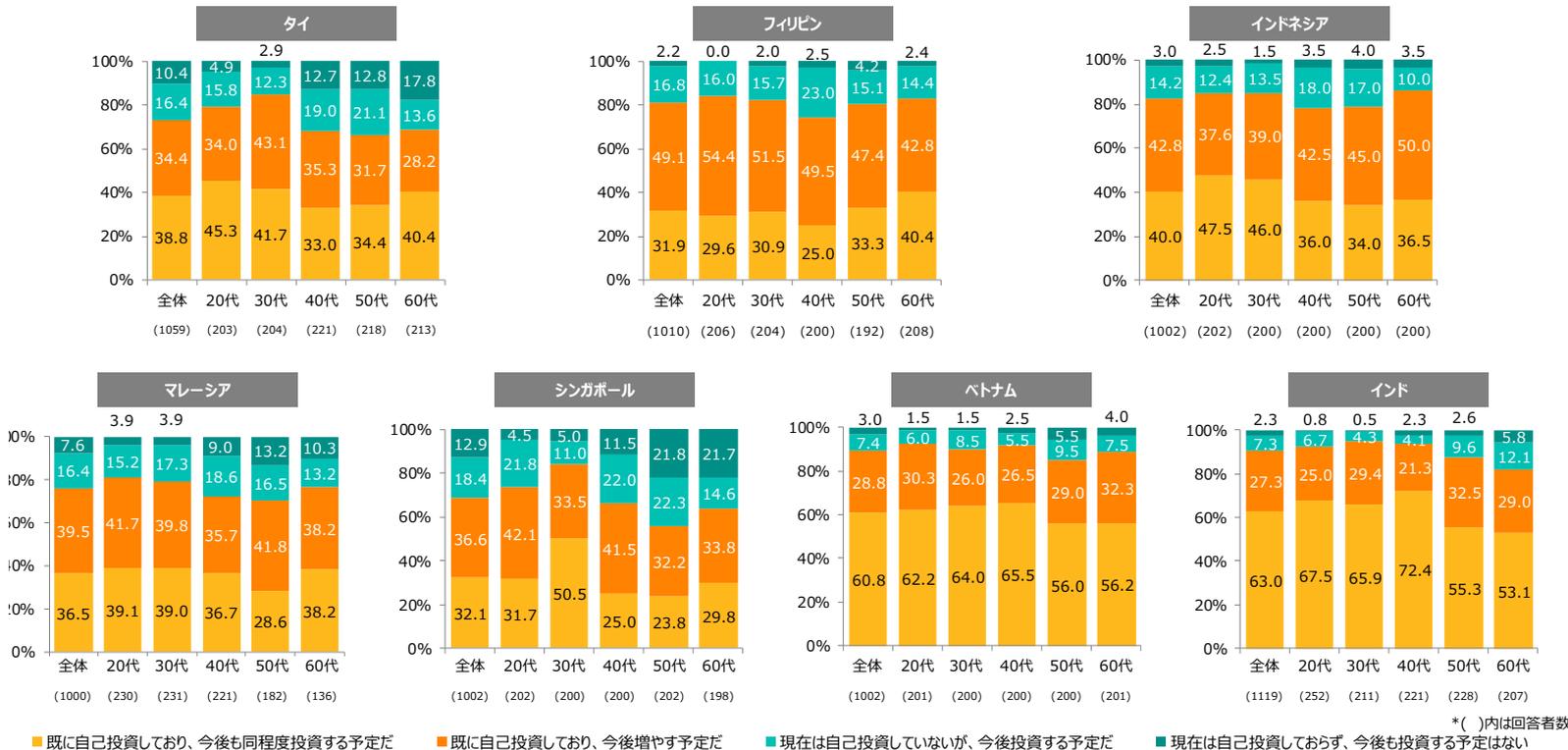
■ 既に自己投資しており、今後も同程度投資する予定だ ■ 既に自己投資しており、今後増やす予定だ ■ 現在は自己投資していないが、今後投資する予定だ ■ 現在は自己投資しておらず、今後も投資する予定はない

*()内は回答者数

※対象地域【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

3.自己投資（年代別）【東南アジア・南アジア】

Q. ご自身の勤務先以外での学習や自己啓発への投資について、あてはまるものをお選びください。（4段階尺度）

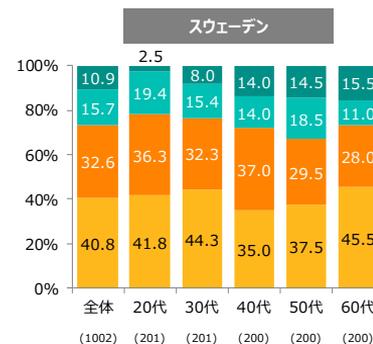
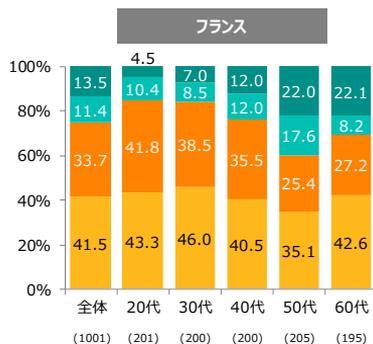
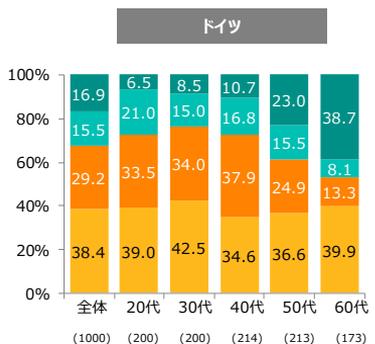
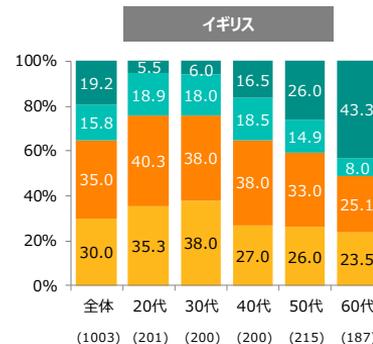
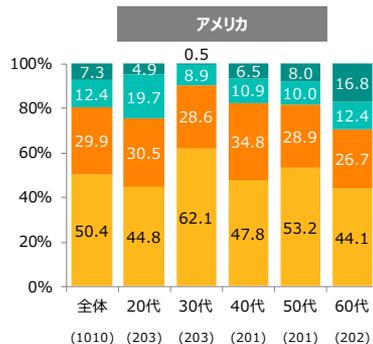
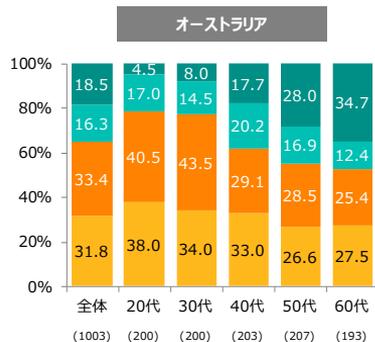


* ()内は回答者数

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

3.自己投資（年代別）【オセアニア・北米・ヨーロッパ】

Q. ご自身の勤務先以外の学習や自己啓発への投資について、あてはまるものをお選びください。（4段階尺度）



■ 既に自己投資しており、今後も同程度投資する予定だ ■ 既に自己投資しており、今後増やす予定だ ■ 現在は自己投資していないが、今後投資する予定だ ■ 現在は自己投資しておらず、今後も投資する予定はない

*()内は回答者数

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(マニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

3.自己投資（職位別）

Q. ご自身の勤務先以外の学習や自己啓発への投資について、あてはまるものをお選びください。（4段階尺度）

		東アジア					東南アジア						南アジア	オセアニア	北米	ヨーロッパ			
		日本	中国	韓国	台湾	香港	タイ	フィリピン	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ベトナム	インド	オーストラリア	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン
回答者数		(691)	(553)	(454)	(505)	(545)	(529)	(480)	(386)	(288)	(341)	(353)	(126)	(405)	(301)	(424)	(468)	(544)	(650)
従業員・ 一般社員・	既に自己投資しており、今後も同程度投資する予定だ	23.2	30.7	26.7	20.0	18.9	35.5	27.5	34.2	34.7	19.9	52.7	36.5	29.1	35.9	19.1	35.0	39.7	40.9
	既に自己投資しており、今後増やす予定だ	14.6	30.0	33.9	41.0	31.7	35.2	49.6	44.6	35.1	32.8	30.6	45.2	21.5	32.2	35.6	22.9	33.3	30.2
	現在は自己投資していないが、今後投資する予定だ	20.5	27.5	27.8	28.5	29.7	17.2	20.0	17.1	21.2	26.7	9.9	13.5	21.2	21.6	17.9	19.2	11.9	15.5
	現在は自己投資しておらず、今後も投資する予定はない	41.7	11.8	11.7	10.5	19.6	12.1	2.9	4.1	9.0	20.5	6.8	4.8	28.1	10.3	27.4	22.9	15.1	13.4
回答者数		(124)	(371)	(317)	(451)	(402)	(307)	(306)	(330)	(482)	(500)	(508)	(595)	(368)	(383)	(367)	(378)	(333)	(178)
管理職	既に自己投資しており、今後も同程度投資する予定だ	26.6	51.2	30.6	31.5	37.6	45.3	34.0	44.8	35.9	35.0	61.8	65.5	33.7	53.8	39.8	38.4	42.0	44.9
	既に自己投資しており、今後増やす予定だ	22.6	33.7	41.3	51.2	40.5	35.8	51.0	45.2	42.7	41.8	30.9	25.5	43.2	32.6	34.6	39.4	34.2	34.8
	現在は自己投資していないが、今後投資する予定だ	14.5	8.6	21.1	15.5	12.4	12.1	13.7	9.7	15.1	14.4	6.3	6.2	13.6	8.6	14.4	12.4	10.8	15.7
	現在は自己投資しておらず、今後も投資する予定はない	36.3	6.5	6.9	1.8	9.5	6.8	1.3	0.3	6.2	8.8	1.0	2.7	9.5	5.0	11.2	9.8	12.9	4.5
回答者数		(17)	(34)	(84)	(26)	(22)	(68)	(38)	(76)	(82)	(57)	(44)	(102)	(70)	(73)	(71)	(59)	(57)	(59)
取締役相当	既に自己投資しており、今後も同程度投資する予定だ	23.5	61.8	40.5	42.3	27.3	36.8	52.6	51.3	41.5	54.4	72.7	63.7	32.9	60.3	43.7	50.8	40.4	23.7
	既に自己投資しており、今後増やす予定だ	17.6	32.4	28.6	50.0	54.5	35.3	42.1	40.8	48.8	31.6	18.2	25.5	44.3	28.8	42.3	35.6	47.4	47.5
	現在は自己投資していないが、今後投資する予定だ	5.9	0.0	20.2	7.7	13.6	22.1	5.3	3.9	6.1	12.3	9.1	8.8	11.4	11.0	8.5	8.5	7.0	25.4
	現在は自己投資しておらず、今後も投資する予定はない	52.9	5.9	10.7	0.0	4.5	5.9	0.0	3.9	3.7	1.8	0.0	2.0	11.4	0.0	5.6	5.1	5.3	3.4
回答者数		(62)	(41)	(83)	(9)	(29)	(60)	(53)	(110)	(78)	(65)	(82)	(257)	(93)	(179)	(75)	(46)	(46)	(66)
社層相当 代表取締役・	既に自己投資しており、今後も同程度投資する予定だ	45.2	51.2	33.7	33.3	41.4	55.0	41.5	54.5	50.0	58.5	81.7	72.8	40.9	68.2	45.3	58.7	60.9	51.5
	既に自己投資しており、今後増やす予定だ	19.4	39.0	33.7	66.7	34.5	26.7	52.8	33.6	33.3	27.7	17.1	22.6	37.6	23.5	33.3	17.4	21.7	37.9
	現在は自己投資していないが、今後投資する予定だ	9.7	7.3	21.7	0.0	13.8	10.0	5.7	10.9	10.3	4.6	1.2	4.3	8.6	3.9	9.3	10.9	15.2	6.1
	現在は自己投資しておらず、今後も投資する予定はない	25.8	2.4	10.8	0.0	10.3	8.3	0.0	0.9	6.4	9.2	0.0	0.4	12.9	4.5	12.0	13.0	2.2	4.5

※得点の高低で色付け（高得点：赤、低得点：グレー）

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(マニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

VI.グローバル就業意向

働いてみたい
国・地域

働いてみたい国・地域の1位は「アメリカ」、中国以外でトップ5に入る。2位の「日本」は東南アジアや台湾・香港では上位だが、2019年調査と比べると割合は低下傾向。中でもタイ、ベトナム、台湾では10pt以上低下。「働きたい地域はない(自国のみで働きたい)」は、日本が最も高い47.2%、中国、オーストラリア、アメリカ、ヨーロッパでも高い傾向。

- 働いてみたい国・地域の全体平均のトップ5は、「アメリカ」30.2%、「日本」26.5%、「イギリス」22.5%、「カナダ」21.2%、「シンガポール」20.7%。
- 「アメリカ」の人気は高く、中国を除いてトップ5に入る。うち9か国（日本、韓国、台湾、フィリピン、シンガポール、インド、イギリス、ドイツ、スウェーデン）で1位。
なお、2019年調査では、中国の1位は「アメリカ」であった。
- 「日本」は12か国・地域でトップ5に入り、タイ、インドネシア、ベトナムで1位、台湾、香港、フィリピン、マレーシアでは2位。東南アジア※¹や台湾・香港で人気が高い。しかし、2019年調査と比べると、タイ、ベトナム、台湾における「日本」の順位に変動はないものの10pt以上低下している。
- 「働きたい地域はない(自国のみで働きたい)」の全体平均は19.0%。日本が最も高い47.2%。次いで中国39.8%、アメリカ31.3%と続き、オーストラリアとヨーロッパ※²も3割前後。一方、東南アジア（シンガポール除く）とインドでは1割未滿。
年代別に見ると、20代の若手では中国が64.0%と最も高く、次いで日本の37.0%。

※¹東南アジア=タイ・フィリピン・インドネシア・マレーシア・シンガポール・ベトナム、※²ヨーロッパ=イギリス・ドイツ・フランス・スウェーデン

1.働いてみたい国・地域 各国・地域ランキングTOP 5

Q. あなたは、世界のどの場所でも働けるとしたら、働いてみたい国・地域はありますか。(複数回答/選択肢31項目)

		居住国																		
		東アジア					東南アジア						南アジア	オセアニア	北米	ヨーロッパ				
		日本	中国	韓国	台湾	香港	タイ	フィリピン	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ベトナム	インド	オーストラリア	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン	
全体	(18223)	(1000)	(1002)	(1005)	(1001)	(1002)	(1059)	(1010)	(1002)	(1000)	(1002)	(1002)	(1119)	(1003)	(1010)	(1003)	(1000)	(1001)	(1002)	
働いてみたい国・地域	第1位	アメリカ 30.2	アメリカ 29.0	シンガポール 18.2	アメリカ 45.7	アメリカ 29.0	イギリス 31.4	日本 46.6	アメリカ 55.4	日本 55.3	シンガポール 39.7	アメリカ 30.6	日本 45.8	アメリカ 39.2	イギリス 27.7	イギリス 25.6	アメリカ 30.8	アメリカ 24.7	カナダ 27.1	アメリカ 26.6
	第2位	日本 26.5	オーストラリア 21.5	香港 16.0	カナダ 25.2	日本 28.5	日本 29.3	アメリカ 33.4	日本 54.5	アメリカ 41.3	日本 38.8	オーストラリア 29.6	アメリカ 40.3	シンガポール 30.7	ニュージーランド 26.4	カナダ 21.3	カナダ 22.7	スイス 20.2	アメリカ 24.5	イギリス 18.8
	第3位	イギリス 22.5	シンガポール 18.3	日本 15.4	オーストラリア 24.1	中国 23.6	台湾 28.0	イギリス 29.9	カナダ 53.9	シンガポール 40.2	イギリス 34.7	日本 24.4	シンガポール 31.4	オーストラリア 28.7	アメリカ 24.1	日本 19.9	オーストラリア 17.7	スウェーデン 16.3	スイス 21.7	ノルウェー 18.5
	第4位	カナダ 21.2	イギリス 18.1	フランス 14.6	シンガポール 22.3	シンガポール 19.6	アメリカ 24.5	スイス 28.1	シンガポール 40.6	イギリス 35.1	オーストラリア 34.6	スイス 24.4	韓国 25.9	イギリス 26.2	カナダ 20.9	フランス 18.7	ドイツ 14.8	オーストラリア 16.2	イギリス 18.0	オーストラリア 16.5
	第5位	シンガポール 20.7	カナダ 15.9	ドイツ 14.0	日本 22.2	カナダ 16.7	シンガポール 24.0	韓国 25.1	オーストラリア 36.4	ドイツ 31.0	アメリカ 29.2	ニュージーランド 23.5	イギリス 24.9	カナダ 25.9	シンガポール 18.7	オーストラリア 16.1	フランス 14.4	カナダ 15.7	日本 17.3	ニュージーランド/カナダ 12.9
働きたい地域はない(自国のみで働きたい)	19.0	47.2	39.8	16.8	11.9	18.1	6.6	2.5	5.8	8.2	12.9	3.1	4.6	27.6	31.3	30.1	28.1	19.4	30.8	

※ () 内は回答者数

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(マニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

1.働いてみたい国・地域（詳細1/2）

Q. あなたは、世界のどの場所でも働けるとしたら、働いてみたい国・地域はありますか。（複数回答／選択肢31項目）

	全体 (18223)	東アジア					東南アジア						南 アジア	オセア ニア	北米	ヨーロッパ			
		日本 (1000)	中国 (1002)	韓国 (1005)	台湾 (1001)	香港 (1002)	タイ (1059)	フィリピン (1010)	インドネシア (1002)	マレーシア (1000)	シンガポール (1002)	ベトナム (1002)	インド (1119)	オーストラリア (1003)	アメリカ (1010)	イギリス (1003)	ドイツ (1000)	フランス (1001)	スウェーデン (1002)
日本	26.5	-	15.4	22.2	28.5	29.3	46.6	54.5	55.3	38.8	24.4	45.8	25.6	15.9	19.9	13.5	11.3	17.3	11.9
オーストラリア	20.5	21.5	9.6	24.1	11.9	20.5	19.6	36.4	28.5	34.6	29.6	19.2	28.7	-	16.1	17.7	16.2	16.7	16.5
中国	10.2	2.9	-	5.1	23.6	23.8	16.4	9.5	7.3	16.6	19.9	10.3	7.6	6.3	7.2	6.0	6.4	7.4	7.2
香港	10.3	7.1	16.0	12.6	12.0	-	10.9	17.0	13.5	13.0	16.6	8.8	13.9	7.8	9.7	7.6	5.2	7.3	5.7
インド	2.6	3.7	1.8	1.4	3.0	1.5	2.8	2.3	1.4	2.9	2.3	3.6	-	3.8	3.3	3.6	2.6	3.1	3.6
インドネシア	4.1	5.2	1.8	3.4	2.8	1.2	2.5	4.7	-	10.5	4.1	3.5	8.7	3.9	3.8	3.0	3.7	6.0	4.1
韓国	13.3	6.4	8.4	-	11.6	10.3	25.1	34.2	29.4	25.4	13.6	25.9	9.8	5.5	8.4	6.0	5.2	8.4	5.7
マレーシア	5.9	7.4	4.4	2.7	4.7	6.9	5.4	8.2	14.0	-	9.5	4.5	12.1	5.3	3.9	4.9	3.7	3.9	3.7
ニュージーランド	17.1	14.8	9.5	19.7	10.0	8.7	18.3	34.6	15.2	27.5	23.5	13.6	20.0	26.4	11.2	14.3	14.4	12.5	12.9
フィリピン	3.7	4.2	2.3	3.1	3.6	2.0	4.1	-	2.7	4.4	3.1	4.1	8.0	4.0	5.5	3.4	4.6	4.2	3.6
シンガポール	20.7	18.3	18.2	22.3	19.6	24.0	23.6	40.6	40.2	39.7	-	31.4	30.7	18.7	8.2	11.2	8.5	7.7	9.0
台湾	8.8	14.2	5.5	8.1	-	28.0	12.3	13.3	8.0	10.8	18.7	8.1	7.6	4.1	4.7	2.9	3.5	5.1	3.2
タイ	6.9	8.9	3.2	3.9	6.7	7.2	-	9.8	4.2	12.0	11.1	7.4	10.5	5.2	6.2	5.5	6.7	8.9	7.5
ベトナム	4.2	7.3	1.4	7.8	5.4	3.6	4.8	5.0	1.9	5.8	3.9	-	6.3	3.7	3.5	2.6	3.1	6.2	3.2
その他 アジア地域の国	1.9	2.3	0.0	1.4	0.8	0.6	1.8	3.0	2.3	3.4	2.3	2.1	3.7	2.3	1.6	1.1	1.9	1.9	1.6

※（ ）内は回答者数

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

1.働いてみたい国・地域（詳細2/2）

Q. あなたは、世界のどの場所でも働けるとしたら、働いてみたい国・地域はありますか。（複数回答 / 選択肢31項目）

	全体	東アジア					東南アジア					南アジア	オセアニア	北米	ヨーロッパ				
		日本	中国	韓国	台湾	香港	タイ	フィリピン	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ベトナム	インド	オーストラリア	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン
	(18223)	(1000)	(1002)	(1005)	(1001)	(1002)	(1059)	(1010)	(1002)	(1000)	(1002)	(1002)	(1119)	(1003)	(1010)	(1003)	(1000)	(1001)	(1002)
アメリカ	30.2	29.0	13.3	45.7	29.0	24.5	33.4	55.4	41.3	29.2	30.6	40.3	39.2	24.1	-	30.8	24.7	24.5	26.6
イギリス	22.5	18.1	10.5	20.3	15.7	31.4	29.9	30.3	35.1	34.7	23.1	24.9	26.2	27.7	25.6	-	13.4	18.0	18.8
フランス	14.1	13.6	14.6	13.8	12.7	12.3	15.2	23.2	17.8	12.8	10.6	18.4	18.0	12.2	18.7	14.4	13.2	-	12.8
ドイツ	16.4	15.8	14.0	21.2	12.3	12.8	17.7	20.6	31.0	21.0	17.1	17.5	23.9	13.2	15.6	14.8	-	13.3	12.7
カナダ	21.2	15.9	10.1	25.2	16.7	21.7	16.6	53.9	16.1	20.2	18.6	19.0	25.9	20.9	21.3	22.7	15.7	27.1	12.9
ノルウェー	10.4	10.2	5.0	10.1	7.6	8.8	12.8	14.4	7.8	11.2	12.5	8.8	10.0	8.4	8.9	8.3	13.2	10.0	18.5
フィンランド	9.4	12.0	4.8	10.9	7.8	9.9	13.7	11.2	10.5	10.7	11.1	10.2	9.0	7.6	6.2	6.6	8.7	9.7	7.7
スウェーデン	11.7	12.7	8.8	13.4	9.8	10.5	14.8	15.7	10.5	14.7	13.8	12.9	13.9	9.8	12.2	9.1	16.3	10.8	-
デンマーク	10.4	9.4	5.8	12.2	8.5	9.5	11.5	14.2	9.0	11.6	11.7	10.0	11.7	8.5	7.9	9.0	14.9	10.1	12.3
オランダ	11.8	11.1	5.0	10.9	10.1	9.2	16.1	17.7	18.2	13.1	11.5	11.9	13.0	9.6	9.1	11.4	14.1	9.4	10.0
ベルギー	7.6	10.3	4.4	6.7	6.5	6.8	8.5	9.7	6.8	8.6	6.8	6.0	9.3	6.4	7.5	6.5	7.4	12.7	6.7
スイス	18.9	13.6	11.5	21.1	13.6	13.6	28.1	30.8	22.4	26.0	24.4	17.8	20.7	15.3	13.6	12.0	20.2	21.7	12.7
その他ヨーロッパ	5.7	7.0	2.0	5.1	4.0	3.2	4.1	8.0	4.9	7.8	4.8	3.5	3.6	5.6	7.0	8.3	9.3	6.1	8.5
中東	3.6	2.1	1.6	1.8	1.1	1.3	2.7	6.7	9.3	10.4	2.6	0.6	4.4	2.0	3.8	4.5	2.6	4.2	2.5
その他	1.3	2.0	0.0	0.4	0.5	0.1	0.1	0.8	0.7	0.8	0.6	0.3	3.1	1.7	2.5	2.2	2.4	2.8	1.9
働きたい地域はない(自国のみで働きたい)	19.0	47.2	39.8	16.8	11.9	18.1	6.6	2.5	5.8	8.2	12.9	3.1	4.6	27.6	31.3	30.1	28.1	19.4	30.8

※ () 内は回答者数
 ※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

1.働いてみたい国・地域：自国のみで働きたい（年代別）

Q. あなたは、世界のどの場所でも働けるとしたら、働いてみたい国・地域はありますか。（複数回答／選択肢31項目）

	居住国																			
	東アジア					東南アジア						南アジア	オセアニア	北米	ヨーロッパ					
	日本	中国	韓国	台湾	香港	タイ	フィリピン	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ベトナム	インド	オーストラリア	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン		
全体	(18223)	(1000)	(1002)	(1005)	(1001)	(1002)	(1059)	(1010)	(1002)	(1000)	(1002)	(1002)	(1119)	(1003)	(1010)	(1003)	(1000)	(1001)	(1002)	
働きたい地域はない（自国のみで働きたい）	19.0	47.2	39.8	16.8	11.9	18.1	6.6	2.5	5.8	8.2	12.9	3.1	4.6	27.6	31.3	30.1	28.1	19.4	30.8	
年代別	20代	15.9	37.0	64.0	12.0	13.0	15.5	7.9	2.9	1.0	4.3	10.4	3.0	3.6	14.5	18.7	20.4	13.5	12.9	18.9
	30代	16.2	43.0	38.3	15.1	15.0	9.9	6.4	0.5	4.0	6.9	6.0	3.5	5.2	15.0	27.6	22.0	18.0	14.5	26.9
	40代	21.6	57.0	56.5	15.0	19.0	18.5	4.5	2.5	6.5	11.8	10.0	3.5	1.4	23.2	25.9	29.5	24.3	18.5	42.0
	50代	23.4	48.5	24.5	19.0	9.0	28.5	8.7	4.2	11.0	11.0	16.3	4.5	7.5	41.1	35.8	34.0	39.4	27.3	27.0
	60代	22.9	50.5	15.9	23.0	3.5	18.0	5.6	2.4	6.5	7.4	21.7	1.0	5.8	44.6	48.5	45.5	47.4	23.6	39.5

※（ ）内は回答者数 ※得点の高低で色付け（高得点：赤、低得点：グレー）

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

1.働いてみたい国・地域（各国・地域TOP5）時系列

Q. あなたは、世界のどの場所でも働けるとしたら、働いてみたい国・地域はありますか。（複数回答／2022年は選択肢31項目、2019年は23項目）

(%)

		居 住 国																											
		東アジア										東南アジア										南アジア				オセアニア			
		日本		中国		韓国		台湾		香港		タイ		フィリピン		インドネシア		マレーシア		シンガポール		ベトナム		インド		オーストラリア			
		2022 (1000)	2019 (1000)	2022 (1002)	2019 (1000)	2022 (1005)	2019 (1000)	2022 (1001)	2019 (1000)	2022 (1002)	2019 (1000)	2022 (1059)	2019 (1000)	2022 (1010)	2019 (1000)	2022 (1002)	2019 (1000)	2022 (1000)	2019 (1000)	2022 (1002)	2019 (1000)	2022 (1002)	2019 (1000)	2022 (1119)	2019 (1000)	2022 (1003)	2019 (1000)		
働いて みたい 国・ 地域	第1位	アメリカ 29.0	アメリカ 24.2	シンガ ポール 18.2	アメリカ 27.0	アメリカ 45.7	アメリカ 52.4	アメリカ 29.0	アメリカ 44.5	イギリス 31.4	イギリス 31.1	日本 46.6	日本 58.1	アメリカ 55.4	アメリカ 67.4	日本 55.3	日本 57.8	シンガ ポール 39.7	オース トラリア 47.9	アメリカ 30.6	アメリカ 38.3	日本 45.8	日本 61.1	アメリカ 39.2	アメリカ 53.1	イギリス 27.7	イギリス 37.5		
	第2位	オース トラリア 21.5	オース トラリア 16.3	香港 16.0	香港 22.0	カナダ 25.2	ドイツ 33.1	日本 28.5	日本 43.6	日本 29.3	台湾 29.9	アメリカ 33.4	アメリカ 49.4	日本 54.5	日本 61.9	アメリカ 41.3	アメリカ 43.9	日本 38.8	イギリス 45.9	オース トラリア 29.6	オース トラリア 38.1	アメリカ 40.3	アメリカ 44.5	シンガ ポール 30.7	オース トラリア 39.2	ニュー ジー ランド 26.4	アメリカ 34.5		
	第3位	シンガ ポール 18.3	イギリス 15.3	日本 15.4	シンガ ポール 21.7	オース トラリア 24.1	オース トラリア 31.0	中国 23.6	中国 32.6	台湾 28.0	シンガ ポール 29.2	イギリス 29.9	イギリス 42.1	カナダ 53.9	オース トラリア 49.5	シンガ ポール 40.2	イギリス 39.7	イギリス 34.7	シンガ ポール 41.9	日本 24.4	イギリス 32.0	シンガ ポール 31.4	シンガ ポール 32.1	オース トラリア 28.7	シンガ ポール 38.0	アメリカ 24.1	ニュー ジー ランド 28.3		
	第4位	イギリス 18.1	ドイツ 14.2	フランス 14.6	ドイツ 20.5	シンガ ポール 22.3	イギリス 29.0	シンガ ポール 19.6	シンガ ポール 30.7	アメリカ 24.5	日本 29.1	スイス 28.1	シンガ ポール 35.0	シンガ ポール 40.6	イギリス 48.0	イギリス 35.1	シンガ ポール 39.2	オース トラリア 34.6	日本 38.7	スイス 24.4	ニュー ジー ランド 27.6	韓国 25.9	イギリス 23.2	イギリス 26.2	イギリス 35.3	カナダ 20.9	シンガ ポール 22.1		
	第5位	カナダ 15.9	フランス 12.7	ドイツ 14.0	日本 20.2	日本 22.2	日本 25.8	カナダ 16.7	イギリス 24.6	シンガ ポール 24.0	アメリカ 28.1	韓国 25.1	オース トラリア 25.3	オース トラリア 36.4	ニュー ジー ランド 45.3	ドイツ 31.0	ドイツ 32.3	アメリカ 29.2	アメリカ 38.3	ニュー ジー ランド 23.5	ドイツ 23.0	イギリス 24.9	韓国 21.3	カナダ 25.9	日本 33.0	シンガ ポール 18.7	ドイツ 21.8		
働きたい地域は ない（自国のみで 働きたい）	47.2	57.0	39.8	24.2	16.8	9.3	11.9	14.5	18.1	19.6	6.6	4.2	2.5	4.1	5.8	4.0	8.2	6.3	12.9	14.3	3.1	3.0	4.6	8.1	27.6	24.9			

※（ ）内は回答者数

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(マニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

「日本」を
選択した理由

「日本」選択理由のトップ3は「先端技術」、「生活環境」、「清潔感」。
東南アジア（シンガポール除く）とインドでは「高い給料」や「将来的なキャリア形成」などの仕事面、オーストラリア、アメリカ、ヨーロッパでは「伝統的な文化」や「日本食」などの文化面の理由が上位に入る傾向。

- 働いてみたい国・地域として「日本」を選択した理由の全体平均トップは「先端技術を学べる」47.4%。2位は「生活環境が整っている（電車、バスなどの公共移動機関、コンビニなど）」45.8%、3位は「清潔感がある」44.2%。
- 東南アジア※¹（シンガポール除く）やインド、中国、韓国、台湾では、「先端技術を学べる」「高い給料が得られる」「安定して働ける環境がある」「将来的なキャリア形成にプラスになる」といった仕事面の理由が上位に入る傾向。中でも、「高い給料」は、フィリピンで60.7%、インドネシアで54.7%、マレーシア、ベトナム、インドで4割強。「将来的なキャリア形成」は、インドネシアで50.2%、フィリピン、マレーシア、インドで4割超、ベトナムで35.5%。「先端技術」は、フィリピン、マレーシア、インドネシア、タイ、インドで5割超。
- オーストラリア、アメリカ、ヨーロッパ※²では、「伝統的な文化が魅力的」「日本食が好き」がトップ3に入り、イギリス、ドイツ、フランス、スウェーデンでは「アニメ・マンガ・ゲームなどの文化が魅力的」もトップ10に入る。
- 「生活環境」「清潔感」の他にも「治安が良い」「住みやすい気候」など暮らしやすさも多くの国・地域で上位に入る。
- 「日本食」は、シンガポール、香港、オーストラリアで1位。

※¹ 東南アジア=タイ・フィリピン・インドネシア・マレーシア・シンガポール・ベトナム※² ヨーロッパ=イギリス・ドイツ・フランス・スウェーデン

2.日本選択理由 各国・地域ランキングTOP10

Q. 働きたい国として、日本を選んだ理由をお知らせください。(複数回答/選択肢18項目)

【東アジア】

※17カ国・地域の全体平均TOP3と同色の色付け

	全体(4832)	%	中国(154)	%	韓国(223)	%	台湾(285)	%	香港(294)	%
1位	先進技術を学べる	47.4	高い給料が得られる	42.2	清潔感がある	48.0	高い給料が得られる	40.0	日本食が好き	53.4
2位	生活環境が整っている(電車、バスなどの公共移動機関、コンビニなど)	45.8	先進技術を学べる	36.4	生活環境が整っている(電車、バスなどの公共移動機関、コンビニなど)	43.5	治安が良い	37.5	清潔感がある	51.4
3位	清潔感がある	44.2	安定して働ける環境がある	36.4	安定して働ける環境がある	37.7	生活環境が整っている(電車、バスなどの公共移動機関、コンビニなど)	36.8	治安が良い	44.6
4位	伝統的な文化が魅力的	41.2	生活環境が整っている(電車、バスなどの公共移動機関、コンビニなど)	34.4	日本食が好き	35.0	先進技術を学べる	34.4	伝統的な文化が魅力的	42.9
5位	高い給料が得られる	41.0	自然が豊か	33.1	治安が良い	33.2	清潔感がある	33.7	生活環境が整っている(電車、バスなどの公共移動機関、コンビニなど)	38.8
6位	治安が良い	39.8	治安が良い	31.2	高い給料が得られる	31.8	伝統的な文化が魅力的	33.0	自然が豊か	36.1
7位	安定して働ける環境がある	36.6	清潔感がある	27.3	先進技術を学べる	30.0	日本食が好き	32.6	安定して働ける環境がある	34.4
8位	日本食が好き	36.3	住みやすい気候	26.6	アニメ・マンガ・ゲームなどの文化が魅力的	24.7	自然が豊か	28.4	先進技術を学べる	32.7
9位	住みやすい気候	33.3	日本食が好き	26.6	伝統的な文化が魅力的	24.2	住みやすい気候	28.4	住みやすい気候	31.0
10位	将来的なキャリア形成にプラスになる	32.3	レジャー施設やイベントが豊富で楽しめる	24.0	ショッピングが楽しめる	18.4	安定して働ける環境がある	28.1	レジャー施設やイベントが豊富で楽しめる	30.3

※()は回答者数

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

2.日本選択理由 各国・地域ランキングTOP10

Q. 働きたい国として、日本を選んだ理由をお知らせください。(複数回答/選択肢18項目)

※17カ国・地域の全体平均TOP3と同色の色付け

【東南アジア/南アジア】

	タイ(494)	%	フィリピン(550)	%	インドネシア(554)	%	マレーシア(388)	%	シンガポール(244)	%	ベトナム(459)	%	インド(287)	%
1位	先進技術を学べる	50.6	先進技術を学べる	66.7	先進技術を学べる	59.0	先進技術を学べる	64.9	日本食が好き	54.5	生活環境が整っている(電車、バスなどの公共移動機関、コンビニなど)	47.9	先進技術を学べる	56.4
2位	生活環境が整っている(電車、バスなどの公共移動機関、コンビニなど)	48.8	高い給料が得られる	60.7	高い給料が得られる	54.7	生活環境が整っている(電車、バスなどの公共移動機関、コンビニなど)	55.9	治安が良い	49.2	高い給料が得られる	47.1	清潔感がある	46.0
3位	住みやすい気候	48.4	生活環境が整っている(電車、バスなどの公共移動機関、コンビニなど)	60.4	将来的なキャリア形成にプラスになる	50.2	清潔感がある	53.9	清潔感がある	45.9	教育環境が充実している	45.1	高い給料が得られる	46.0
4位	清潔感がある	43.7	清潔感がある	58.4	生活環境が整っている(電車、バスなどの公共移動機関、コンビニなど)	49.8	安定して働ける環境がある	47.2	生活環境が整っている(電車、バスなどの公共移動機関、コンビニなど)	45.9	先進技術を学べる	44.7	治安が良い	43.6
5位	高い給料が得られる	41.3	伝統的な文化が魅力的	49.8	安定して働ける環境がある	46.6	伝統的な文化が魅力的	46.6	住みやすい気候	45.5	伝統的な文化が魅力的	43.6	安定して働ける環境がある	43.6
6位	日本食が好き	40.7	治安が良い	48.7	清潔感がある	46.2	高い給料が得られる	45.1	伝統的な文化が魅力的	42.2	安定して働ける環境がある	41.0	生活環境が整っている(電車、バスなどの公共移動機関、コンビニなど)	42.5
7位	治安が良い	38.3	安定して働ける環境がある	46.4	教育環境が充実している	44.2	治安が良い	43.3	自然が豊か	36.1	清潔感がある	38.6	将来的なキャリア形成にプラスになる	41.1
8位	自然が豊か	37.9	将来的なキャリア形成にプラスになる	44.4	治安が良い	34.8	将来的なキャリア形成にプラスになる	41.2	先進技術を学べる	34.0	治安が良い	36.4	ビジネスチャンスがある	39.0
9位	伝統的な文化が魅力的	37.7	住みやすい気候	43.3	ビジネスチャンスがある	34.5	住みやすい気候	38.4	レジャー施設やイベントが豊富で楽しめる	32.4	将来的なキャリア形成にプラスになる	35.5	住みやすい気候	37.6
10位	レジャー施設やイベントが豊富で楽しめる	37.4	自然が豊か	39.5	伝統的な文化が魅力的	32.9	教育環境が充実している	38.4	ショッピングが楽しめる	27.5	日本食が好き	33.3	伝統的な文化が魅力的	36.6

※ () は回答者数

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

2.日本選択理由 各国・地域ランキングTOP10

Q. 働きたい国として、日本を選んだ理由をお知らせください。(複数回答/選択肢18項目)

※17カ国・地域の全体平均TOP3と同色の色付け

1位 2位 3位

【オセアニア/北米/ヨーロッパ】

	オーストラリア(159)	%	アメリカ(201)	%	イギリス(135)	%	ドイツ(113)	%	フランス(173)	%	スウェーデン(119)	%
1位	日本食が好き	54.1	伝統的な文化が魅力的	46.8	伝統的な文化が魅力的	60.0	伝統的な文化が魅力的	42.5	伝統的な文化が魅力的	51.4	伝統的な文化が魅力的	52.1
2位	伝統的な文化が魅力的	52.8	日本食が好き	44.3	生活環境が整っている(電車、バスなどの公共移動機関、コンビニなど)	44.4	先進技術を学べる	39.8	日本食が好き	41.0	先進技術を学べる	37.8
3位	治安が良い	47.2	生活環境が整っている(電車、バスなどの公共移動機関、コンビニなど)	41.3	日本食が好き	42.2	日本食が好き	35.4	治安が良い	40.5	日本食が好き	37.0
4位	清潔感がある	45.3	清潔感がある	40.8	先進技術を学べる	40.7	生活環境が整っている(電車、バスなどの公共移動機関、コンビニなど)	34.5	清潔感がある	38.7	自然が豊か	30.3
5位	先進技術を学べる	34.6	治安が良い	40.8	清潔感がある	35.6	自然が豊か	31.9	生活環境が整っている(電車、バスなどの公共移動機関、コンビニなど)	38.7	治安が良い	28.6
6位	生活環境が整っている(電車、バスなどの公共移動機関、コンビニなど)	33.3	先進技術を学べる	39.3	治安が良い	33.3	住みやすい気候	27.4	アニメ・マンガ・ゲームなどの文化が魅力的	31.8	ビジネスチャンスがある	27.7
7位	ビジネスチャンスがある	31.4	高い給料が得られる	38.3	将来的なキャリア形成にプラスになる	30.4	高い給料が得られる	27.4	自然が豊か	30.1	アニメ・マンガ・ゲームなどの文化が魅力的	26.9
8位	レジャー施設やイベントが豊富で楽しめる	28.3	安定して働ける環境がある	29.4	アニメ・マンガ・ゲームなどの文化が魅力的	28.9	教育環境が充実している	27.4	将来的なキャリア形成にプラスになる	27.7	高い給料が得られる	22.7
9位	自然が豊か	27.7	ショッピングが楽しめる	29.4	自然が豊か	28.1	治安が良い	23.9	先進技術を学べる	27.2	住みやすい気候	21.8
10位	安定して働ける環境がある	27.0	ビジネスチャンスがある	27.4	住みやすい気候	28.1	アニメ・マンガ・ゲームなどの文化が魅力的	23.0	ビジネスチャンスがある	27.2	教育環境が充実している	21.8
10位			教育環境が充実している	27.4			ビジネスチャンスがある	23.0	高い給料が得られる	27.2		

※()は回答者数

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

日本企業での
就労意向

**働きたい企業は、「自国企業」が全ての国・地域で1位。
「アメリカ企業」の人気は高く、最も高いフィリピンでは53.4%と最も高い。
「日本企業」での就労意向は、最も高いインドネシアで最も高く45.8%、
タイ、フィリピン、マレーシア、ベトナムで3割強。しかし、2019年調査に
比べると低下傾向。**

- 働きたい企業について聞いてみると、「自国企業」が全ての国・地域で1位。全体平均67.1%。この割合が最も高いのは中国で86.5%、次いで日本83.0%。最も低いのはシンガポール47.8%。2位は「アメリカ企業」31.7%、3位「EU企業」23.8%、4位「日本企業」23.4%、5位「韓国企業」15.1%が続く。
- 「アメリカ企業」の人気は高く、全ての国・地域でトップ3に入る。最も高いのはフィリピン53.4%。インドネシア、シンガポール、インドでも4割前後と人気が高い。
- 「日本企業」は、台湾、タイ、フィリピン、インドネシア、マレーシア、ベトナム、アメリカでトップ3に入る。最も高いのはインドネシアで45.8%。タイ、フィリピン、マレーシア、ベトナムでも3割強。年代別にみると、20～40代で高い傾向だが、フィリピン、アメリカ、中国では50～60代が僅かに高い。しかし、2019年調査と比較すると、「日本企業」での就労意向は香港、シンガポール以外では低下傾向にあり、中でもタイ、フィリピン、ベトナム、台湾では10pt以上低下している。
- イギリス、ドイツ、フランス、スウェーデンでは、「EU企業」の人気が高い。

3.日本企業での就労意向

Q. 以下のどの企業で働きたいと思いますか。(複数回答/選択肢9項目)

	居 住 国																			
	東アジア					東南アジア						南アジア	オセアニア	北米	ヨーロッパ					
	日本	中国	韓国	台湾	香港	タイ	フィリピン	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ベトナム	インド	オーストラリア	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン		
全体 (18223)	(1000)	(1002)	(1005)	(1001)	(1002)	(1059)	(1010)	(1002)	(1000)	(1002)	(1002)	(1119)	(1003)	(1010)	(1003)	(1000)	(1001)	(1002)		
働きたい企業	第1位	自国の企業 67.1	自国の企業 83.0	自国の企業 86.5	自国の企業 78.1	自国の企業 73.1	自国の企業 57.9	自国の企業 61.8	自国の企業 60.6	自国の企業 71.0	自国の企業 65.7	自国の企業 47.8	自国の企業 64.3	自国の企業 71.3	自国の企業 67.8	自国の企業 68.7	自国の企業 56.0	自国の企業 60.8	自国の企業 70.6	自国の企業 63.4
	第2位	アメリカ企業 31.7	アメリカ企業 21.2	EU企業 17.0	アメリカ企業 35.1	アメリカ企業 27.9	アメリカ企業 26.8	日本企業 38.2	アメリカ企業 53.4	日本企業 45.8	アメリカ企業 37.5	アメリカ企業 42.4	日本企業 38.1	アメリカ企業 39.1	アメリカ企業 18.3	EU企業 15.3	EU企業 24.9	EU企業 36.7	EU企業 24.2	EU企業 30.6
	第3位	EU企業 23.8	EU企業 12.7	アメリカ企業 13.8	EU企業 16.9	日本企業 16.7	EU企業 24.3	アメリカ企業 36.4	日本企業 37.4	アメリカ企業 41.3	日本企業 36.7	EU企業 28.7	アメリカ企業 31.9	EU企業 22.0	EU企業 15.8	日本企業 12.2	アメリカ企業 22.9	アメリカ企業 17.3	アメリカ企業 17.4	アメリカ企業 17.4
	第4位	日本企業 23.4	台湾企業 7.5	日本企業 9.6	日本企業 9.2	中国企業 13.3	日本企業 18.1	EU企業 31.8	EU企業 31.9	EU企業 34.2	EU企業 24.6	日本企業 16.4	EU企業 28.6	日本企業 20.7	日本企業 7.2	韓国企業 8.0	日本企業 7.9	日本企業 7.1	日本企業 9.0	日本企業 7.9
	第5位	韓国企業 15.1	韓国企業 3.0	台湾企業 6.7	台湾企業 3.2	EU企業 8.2	中国企業 15.5	韓国企業 18.3	韓国企業 25.5	韓国企業 23.3	韓国企業 20.8	中国企業 15.9	韓国企業 19.4	韓国企業 15.2	中国企業 5.0	中国企業 6.8	韓国企業 6.1	韓国企業 5.1	中国企業 6.1	韓国企業 6.6
	第6位	中国企業 13.0	中国企業 2.2	韓国企業 6.3	中国企業 2.3	韓国企業 7.1	台湾企業 13.7	中国企業 16.4	台湾企業 9.7	中国企業 7.9	中国企業 16.1	韓国企業 10.5	台湾企業 10.4	台湾企業 11.2	韓国企業 5.0	台湾企業 6.1	中国企業 4.9	台湾企業 4.7	台湾企業 6.1	台湾企業 5.0
	第7位	台湾企業 11.3	-	-	-	-	韓国企業 6.6	台湾企業 10.9	中国企業 9.3	台湾企業 7.8	台湾企業 9.9	台湾企業 9.8	中国企業 6.2	中国企業 10.5	台湾企業 3.7	-	台湾企業 4.5	中国企業 4.6	韓国企業 6.0	中国企業 4.8
	その他の 外商系企業	6.6	5.2	2.1	6.7	5.9	8.8	3.8	11.6	9.9	11.3	8.8	6.5	5.4	5.8	6.1	5.0	5.2	6.0	5.8
	わからない	7.3	10.3	1.0	2.9	4.0	5.9	4.1	2.6	2.2	4.7	10.9	0.6	1.4	16.3	15.0	19.1	10.0	8.0	14.3

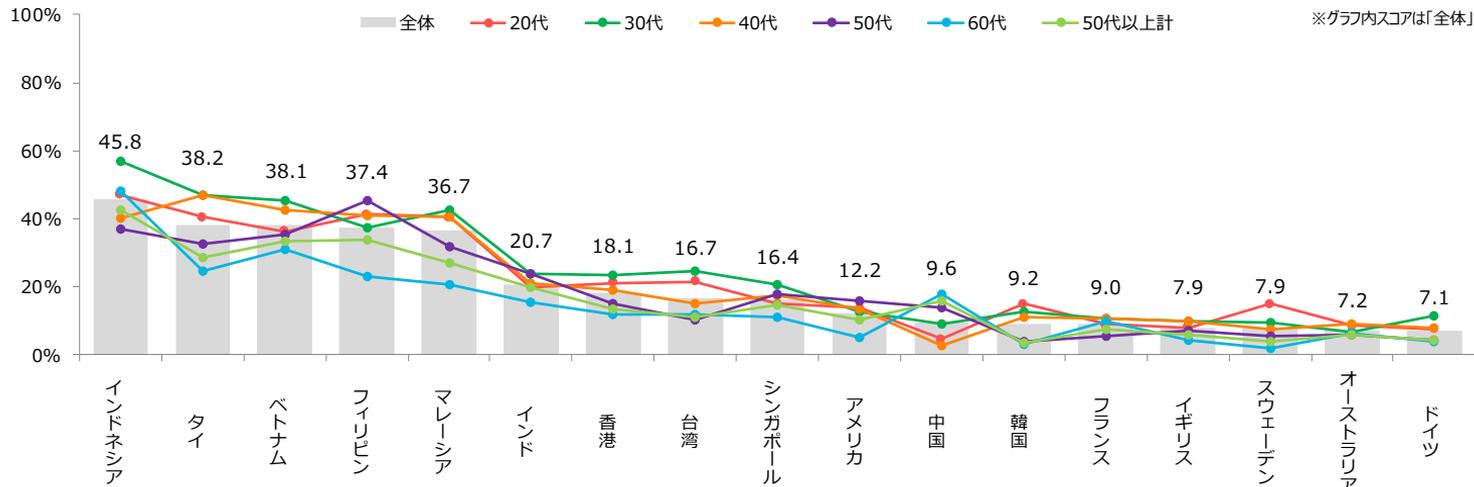
※ () 内は回答者数

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

3.日本企業での就労意向（年代別）

Q. 以下のどの企業で働きたいと思いますか。（複数回答／選択肢9項目）

日本企業での就労意向者



※グラフ内スコアは「全体」

	インドネシア	タイ	ベトナム	フィリピン	マレーシア	インド	香港	台湾	シンガポール	アメリカ	中国	韓国	フランス	イギリス	スウェーデン	オーストラリア	ドイツ
	(1002)	(1059)	(1002)	(1010)	(1000)	(1119)	(1002)	(1001)	(1002)	(1010)	(1002)	(1005)	(1001)	(1003)	(1002)	(1003)	(1000)
20代	47.0	40.4	36.3	41.3	40.4	19.8	21.0	21.5	14.9	13.8	4.5	15.0	9.0	8.0	14.9	8.5	7.5
30代	57.0	47.1	45.5	37.3	42.4	23.7	23.3	24.5	20.5	12.8	9.0	12.7	10.5	10.0	9.5	6.5	11.5
40代	40.0	47.1	42.5	41.0	40.7	20.8	19.0	15.0	17.5	13.4	2.5	11.0	10.5	10.0	7.5	8.9	7.9
50代	37.0	32.6	35.5	45.3	31.9	23.7	15.0	10.4	17.8	15.9	14.0	4.0	5.4	7.0	5.5	5.8	4.2
60代	48.0	24.4	30.8	23.1	20.6	15.5	12.0	12.0	11.1	5.0	17.9	3.0	9.7	4.3	2.0	6.2	4.0
50代以上計	42.5	28.5	33.2	33.8	27.0	19.8	13.5	11.2	14.5	10.4	16.0	3.5	7.5	5.7	3.8	6.0	4.1

* ()内は回答者数 ※得点の高低で色付け (高得点：赤、低得点：グレー)

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(マニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

3.日本企業就労意向 (時系列)

Q. 以下のどの企業で働きたいと思いますか。(複数回答/選択肢9項目)

※2019年 日本は非計測

		居 住 国																										
		東アジア						東南アジア						南アジア		オセアニア												
		日本		中国		韓国		台湾		香港		タイ		フィリピン		インドネシア		マレーシア		シンガポール		ベトナム		インド		オーストラリア		
2022	2019	2022	2019	2022	2019	2022	2019	2022	2019	2022	2019	2022	2019	2022	2019	2022	2019	2022	2019	2022	2019	2022	2019	2022	2019			
(1000)	(1000)	(1002)	(1000)	(1005)	(1000)	(1001)	(1000)	(1002)	(1000)	(1059)	(1000)	(1010)	(1000)	(1002)	(1000)	(1000)	(1000)	(1002)	(1000)	(1002)	(1000)	(1002)	(1000)	(1119)	(1000)	(1003)	(1000)	
働きたい企業	第1位	自国の企業		自国の企業		(%)																						
		83.0	-	86.5	79.0	78.1	75.9	73.1	70.4	57.9	53.7	61.8	72.6	60.6	60.2	71.0	72.8	65.7	61.4	47.8	41.8	64.3	47.1	71.3	72.5	67.8	71.8	
	第2位	アメリカ企業		EU企業		アメリカ企業		アメリカ企業		アメリカ企業		日本企業		アメリカ企業		日本企業		アメリカ企業		アメリカ企業		日本企業		アメリカ企業		アメリカ企業		
		21.2	-	17.0	22.2	35.1	33.4	27.9	43.1	26.8	33.6	38.2	55.4	53.4	62.2	45.8	51.2	37.5	44.3	42.4	51.6	38.1	50.9	39.1	45.2	18.3	23.5	
	第3位	EU企業		アメリカ企業		EU企業		日本企業		EU企業		アメリカ企業		日本企業		アメリカ企業		日本企業		EU企業		アメリカ企業		EU企業		EU企業		
		12.7	-	13.8	25.2	16.9	17.7	16.7	29.4	24.3	28.3	36.4	43.6	37.4	55.4	41.3	39.8	36.7	40.3	28.7	32.8	31.9	27.5	22.0	20.3	15.8	20.0	
	第4位	台湾企業		日本企業		日本企業		中国企業		日本企業		EU企業		EU企業		EU企業		EU企業		日本企業		EU企業		日本企業		日本企業		
		7.5	-	9.6	15.5	9.2	14.3	13.3	14.3	18.1	17.1	31.8	35.5	31.9	32.9	34.2	33.3	24.6	30.1	16.4	15.7	28.6	23.6	20.7	30.3	7.2	14.0	
	第5位	韓国企業		台湾企業		台湾企業		EU企業		中国企業		韓国企業		韓国企業		韓国企業		韓国企業		中国企業		韓国企業		韓国企業		中国企業		
		3.0	-	6.7	5.8	3.2	1.6	8.2	14.1	15.5	11.6	18.3	7.9	25.5	20.4	23.3	16.3	20.8	19.2	15.9	7.9	19.4	14.0	15.2	8.8	5.0	5.6	
第6位	中国企業		韓国企業		中国企業		韓国企業		台湾企業		中国企業		台湾企業		中国企業		中国企業		韓国企業		台湾企業		台湾企業		韓国企業			
	2.2	-	6.3	6.1	2.3	2.0	7.1	5.1	13.7	8.8	16.4	8.0	9.7	5.6	7.9	6.2	16.1	12.9	10.5	5.1	10.4	2.8	11.2	5.1	5.0	6.3		
第7位	-		-		-		-		韓国企業		台湾企業		中国企業		台湾企業		台湾企業		台湾企業		中国企業		中国企業		台湾企業			
	-	-	-	-	-	-	-	-	6.6	4.1	10.9	6.9	9.3	5.9	7.8	6.5	9.9	8.2	9.8	5.8	6.2	2.8	10.5	5.6	3.7	4.1		
その他の 外商系企業	5.2	-	2.1	3.1	6.7	3.7	5.9	11.1	8.8	6.3	3.8	3.7	11.6	11.4	9.9	10.1	11.3	10.4	8.8	9.0	6.5	4.5	5.4	4.8	5.8	5.8		
わからない	10.3	-	1.0	1.9	2.9	4.6	4.0	7.0	5.9	10.2	4.1	2.0	2.6	1.7	2.2	1.2	4.7	4.5	10.9	11.7	0.6	1.3	1.4	1.9	16.3	16.8		

※ () 内は回答者数

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(マニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

グローバル
就業意向**グローバルなキャリア形成やグローバルビジネス、自国以外での処遇改善などに関心が高い中国、台湾、香港、東南アジア、インド。
日本は、グローバルな就業に対する意欲の低さが目立つ。**

- 今後のグローバルなキャリアについて尋ねると、全体平均トップ5は、1位「色々な国・地域の人と働いてみたい」、2位「やりたい仕事があれば、働く場所は自国以外でもかまわない」、3位は「機会があれば、海外で働いてみたい」「グローバルなビジネスに携わりたい」「語学力を生かせる仕事がしたい」。
- 「色々な国・地域の人と働いてみたい」は11か国（日本、中国、台湾、香港、インド、オーストラリア、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、スウェーデン）で1位。「やりたい仕事であれば、働く場所は自国以外でもかまわない」は9か国（中国、韓国、台湾、タイ、フィリピン、マレーシア、シンガポール、ベトナム、インド）で1位。
- 中国、台湾、香港、東南アジア※¹、インドでは、ほぼ全ての項目が全体平均以上で、グローバル就業に意欲的な様子がうかがえる。
- 日本は全ての項目で全体平均を1pt前後下回り（5段階尺度の平均値）、グローバル就業に対する意欲の低さが目立つ。なお、オーストラリア、アメリカ、イギリス、ドイツも全体平均を下回っているが、日本ほどの差はみられない。
- 年代別にみると、グローバル就業意向は多くの国・地域で20代・30代が高い傾向。ただし、ベトナムと香港では年代による差は小さく、オーストラリア、アメリカ、ヨーロッパは年代差がやや大きい傾向。中国や台湾、スウェーデンでは60代が最もグローバル就業意向が高い。

※¹ 東南アジア=タイ・フィリピン・インドネシア・マレーシア・シンガポール・ベトナム、※² ヨーロッパ=イギリス・ドイツ・フランス・スウェーデン

4.グローバル就業意向

Q. 今後のキャリアについてお聞きます。最も当てはまる選択肢をそれぞれ一つずつお選びください。(5段階尺度/項目数10)

※スコアは、5段階尺度の平均値

		全体 (18223)	東アジア					東南アジア					南 アジア	オセ アニア	北米	ヨーロッパ				(pt)
			日本 (1000)	中国 (1002)	韓国 (1005)	台湾 (1001)	香港 (1002)	タイ (1059)	フィリピン (1010)	インドネシア (1002)	マレーシア (1000)	シンガポール (1002)	ベトナム (1002)	インド (1119)	オーストラリア (1003)	アメリカ (1010)	イギリス (1003)	ドイツ (1000)	フランス (1001)	
グローバル キャリア意向	機会があれば、海外で働いてみたい	3.6	2.5	3.4	3.6	3.6	3.7	4.0	4.2	4.0	4.0	3.6	4.0	4.3	3.1	3.4	3.1	2.9	3.3	3.4
	やりたい仕事であれば、働く場所は自 国以外でもかまわない	3.7	2.7	3.7	3.7	3.6	3.7	4.2	4.4	4.0	4.1	3.9	4.3	4.4	3.3	3.6	3.4	3.2	3.5	3.6
	自分が希望しているキャリアには、海 外経験が必要だ	3.2	2.0	3.4	2.9	3.5	3.2	4.0	3.6	3.7	3.6	3.2	3.9	4.2	2.5	3.0	2.6	2.6	3.0	3.0
グローバル ビジネス意向	グローバルなビジネスに携わりたい	3.6	2.5	3.7	3.4	3.5	3.6	3.9	4.3	4.2	4.0	3.8	4.2	4.4	3.2	3.4	3.2	3.3	3.4	3.5
	色々な国・地域の人と働いてみたい	3.8	2.9	3.7	3.6	3.6	3.8	4.0	4.3	4.0	3.9	3.8	4.1	4.4	3.6	3.7	3.6	3.6	3.8	3.9
	語学力を生かせる仕事をしたい	3.6	2.2	3.6	3.4	3.5	3.7	4.0	4.3	4.0	4.0	3.7	4.3	4.3	3.0	3.5	3.1	3.2	3.6	3.6
	自分が関わりたいビジネス領域は海 外が本場だ	3.1	2.0	3.4	2.8	3.3	3.2	3.6	3.4	3.2	3.3	3.1	3.6	3.9	2.6	2.9	2.6	2.6	2.9	3.0
自国以外での 環境・処遇改 善意向	自国では、自分が目指すレベルまで 成長できない	3.0	2.2	3.1	2.8	3.4	3.3	3.5	3.4	3.0	3.2	3.2	3.3	3.7	2.6	2.9	2.7	2.8	3.1	3.0
	自分が身に着けたいスキル・経験は、 自国では得られない	3.1	2.0	3.2	2.6	3.3	3.2	3.4	3.2	2.8	3.1	3.1	3.3	3.7	2.5	2.9	2.6	2.7	3.0	3.0
	自国では、自分が希望する処遇 (給与やポジション) を得られない	3.1	2.4	3.2	2.8	3.5	3.3	3.5	3.6	3.0	3.3	3.2	3.3	3.8	2.7	3.0	2.7	2.8	3.2	3.0

※各国の上位5位に色付け

- 国別 1位
- 国別 2位
- 国別 3位
- 国別 4位
- 国別 5位

※ () 内は回答者数

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ (ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス (ロンドン)、ドイツ (ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス (パリ)、スウェーデン (ストックホルム)

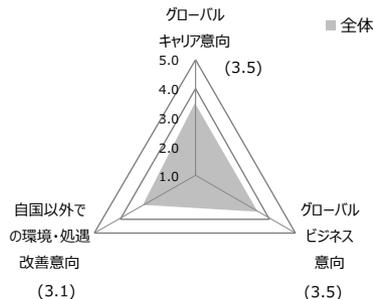
4. グローバル就業意向【東アジア】

Q. 今後のキャリアについてお聞きします。最もあてはまる選択肢をそれぞれ一つずつお選びください。(5段階尺度/項目数10)

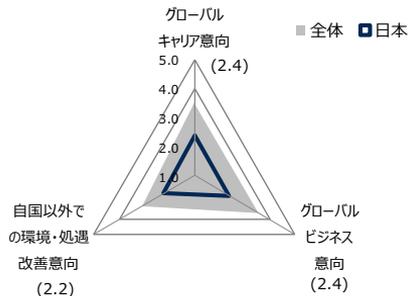
18カ国・地域平均	
グローバルキャリア意向	3.5
グローバルビジネス意向	3.5
自国以外での環境・処遇改善意向	3.1

※各カテゴリーの対応項目の5段階尺度平均値で分類の平均を算出
※国・地域名横の()内は回答者数

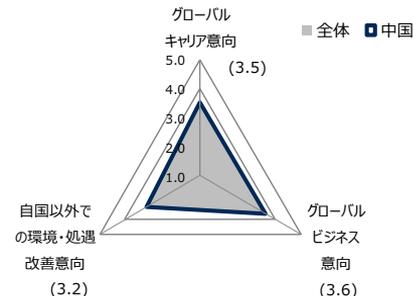
全体 (18223)



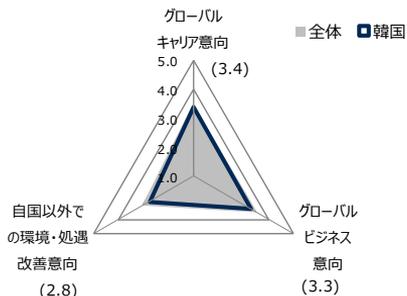
日本 (1000)



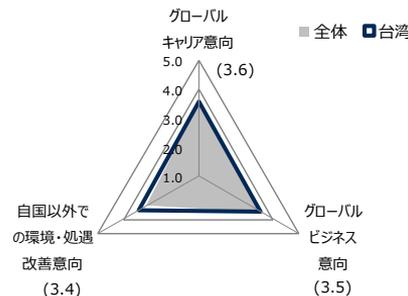
中国 (1002)



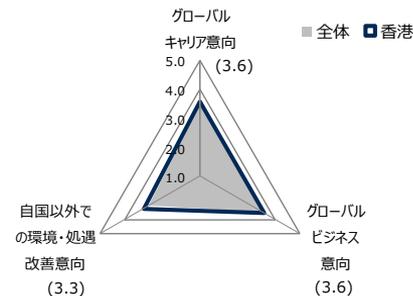
韓国 (1005)



台湾 (1001)



香港 (1002)



※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

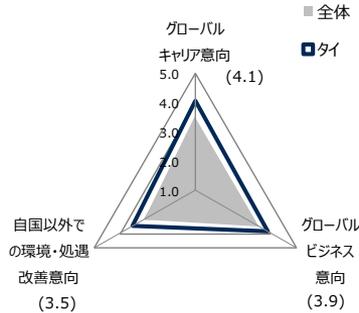
4.グローバル就業意向【東南アジア・南アジア】

Q. 今後のキャリアについてお聞きます。最もあてはまる選択肢をそれぞれ一つずつお選びください。(5段階尺度/項目数10)

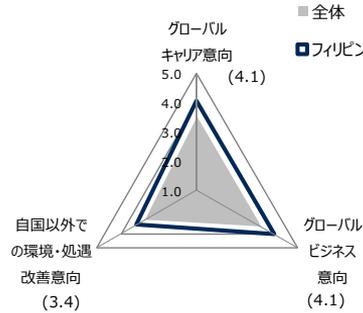
18カ国・地域平均	
グローバルキャリア意向	3.5
グローバルビジネス意向	3.5
自国以外での環境・処遇改善意向	3.1

※各カテゴリーの対応項目の5段階尺度平均値で分類の平均を算出
※国・地域名横の()内は回答者数

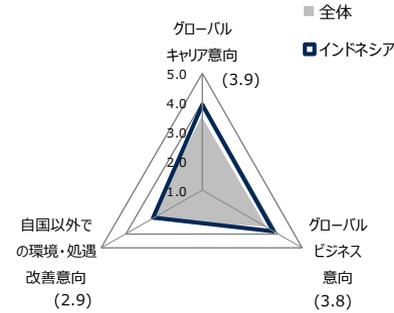
タイ (1059)



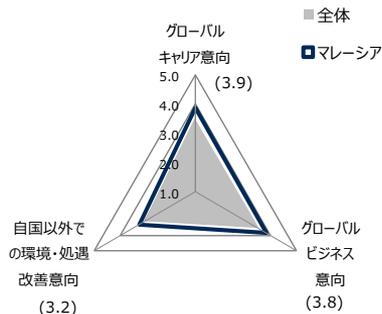
フィリピン (1010)



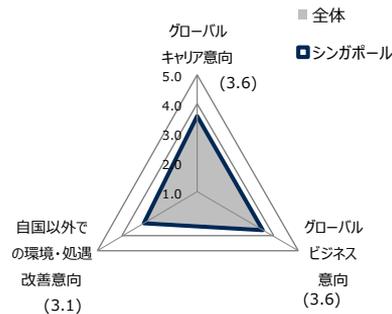
インドネシア (1002)



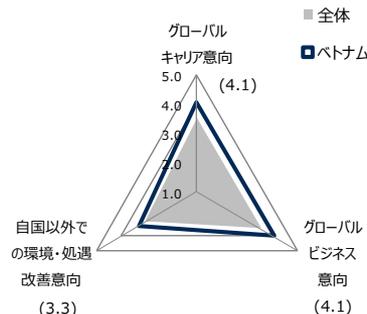
マレーシア (1000)



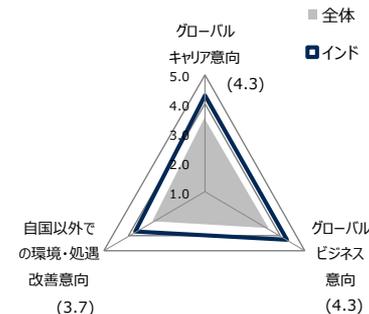
シンガポール (1002)



ベトナム (1002)



インド (1119)



※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

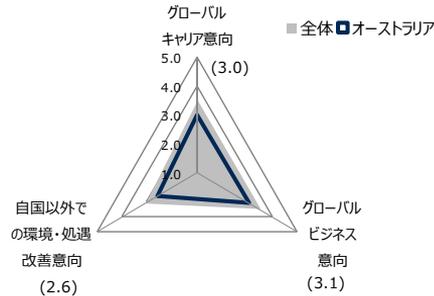
4.グローバル就業意向【オセアニア・北米・ヨーロッパ】

Q. 今後のキャリアについてお聞きします。最もあてはまる選択肢をそれぞれ一つずつお選びください。(5段階尺度/項目数10)

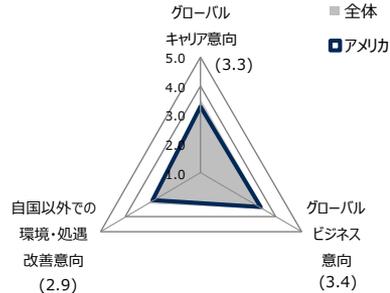
18カ国・地域平均	
グローバルキャリア意向	3.5
グローバルビジネス意向	3.5
自国以外での環境・処遇改善意向	3.1

※各カテゴリーの対応項目の5段階尺度平均値で分類の平均を算出
※国・地域名横の()内は回答者数

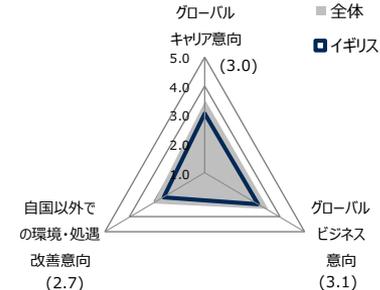
オーストラリア (1003)



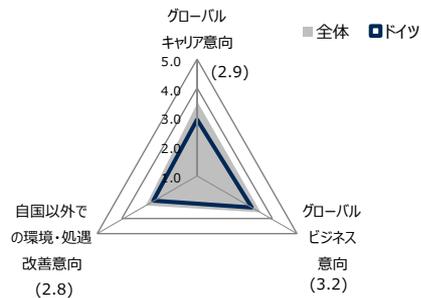
アメリカ (1010)



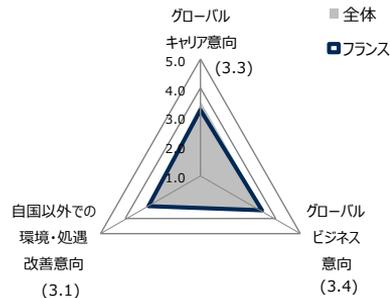
イギリス (1003)



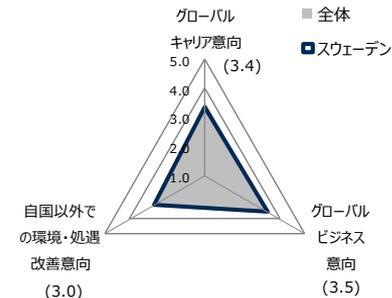
ドイツ (1000)



フランス (1001)



スウェーデン (1002)



※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

4.グローバル就業意向 年代別 (1/4)

Q. 今後のキャリアについてお聞きます。最もあてはまる選択肢をそれぞれ一つずつお選びください。(5段階尺度/項目数10)

※各カテゴリーの対応項目の5段階尺度平均値で分類の平均を算出

【東アジア】 (%)

	日本	年代別					
		20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計
回答者数	(1000)	(200)	(200)	(200)	(200)	(200)	(400)
グローバルキャリア意向	2.4	2.7	2.6	2.2	2.3	2.1	2.2
グローバルビジネス意向	2.4	2.7	2.6	2.2	2.3	2.2	2.2
本国以外での環境・待遇改善意向	2.2	2.5	2.4	2.2	2.1	2.1	2.1

中国 (%)

	中国	年代別					
		20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計
回答者数	(1002)	(200)	(201)	(200)	(200)	(201)	(401)
グローバルキャリア意向	3.5	3.4	3.6	3.4	3.4	3.7	3.5
グローバルビジネス意向	3.6	3.4	3.7	3.5	3.5	3.8	3.7
本国以外での環境・待遇改善意向	3.2	3.3	3.4	3.2	2.8	3.0	2.9

韓国 (%)

	韓国	年代別					
		20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計
回答者数	(1005)	(200)	(205)	(200)	(200)	(200)	(400)
グローバルキャリア意向	3.4	3.7	3.5	3.4	3.2	3.2	3.2
グローバルビジネス意向	3.3	3.5	3.4	3.3	3.0	3.1	3.1
本国以外での環境・待遇改善意向	2.8	3.0	2.9	2.7	2.6	2.6	2.6

台湾 (%)

	台湾	年代別					
		20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計
回答者数	(1001)	(200)	(200)	(200)	(201)	(200)	(401)
グローバルキャリア意向	3.6	3.6	3.6	3.2	3.6	3.7	3.7
グローバルビジネス意向	3.5	3.6	3.5	3.1	3.5	3.8	3.7
本国以外での環境・待遇改善意向	3.4	3.5	3.3	3.1	3.5	3.6	3.6

香港 (%)

	香港	年代別					
		20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計
回答者数	(1002)	(200)	(202)	(200)	(200)	(200)	(400)
グローバルキャリア意向	3.6	3.6	3.6	3.5	3.5	3.5	3.5
グローバルビジネス意向	3.6	3.6	3.7	3.4	3.6	3.6	3.6
本国以外での環境・待遇改善意向	3.3	3.3	3.3	3.2	3.3	3.4	3.3

※18か国・地域をまたいで、得点の高低で色付け (高得点: 赤, 低得点: グレー)

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ (ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス (ロンドン)、ドイツ (ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス (パリ)、スウェーデン (ストックホルム)

4.グローバル就業意向 年代別 (2/4)

Q. 今後のキャリアについてお聞きします。最もあてはまる選択肢をそれぞれ一つずつお選びください。(5段階尺度/項目数10)

※各カテゴリーの対応項目の5段階尺度平均値で分類の平均を算出

【東南アジア】 (%)

	タイ	年代別					
		20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計
回答者数	(1059)	(203)	(204)	(221)	(218)	(213)	(431)
グローバルキャリア意向	4.1	4.3	4.2	4.1	3.8	4.0	3.9
グローバルビジネス意向	3.9	4.1	4.0	3.9	3.6	3.8	3.7
本国以外での環境・処遇改善意向	3.5	3.7	3.4	3.5	3.2	3.5	3.4

フィリピン (%)

	フィリピン	年代別					
		20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計
回答者数	(1010)	(206)	(204)	(200)	(192)	(208)	(400)
グローバルキャリア意向	4.1	4.3	4.2	3.9	4.0	4.0	4.0
グローバルビジネス意向	4.1	4.3	4.2	4.0	4.0	4.0	4.0
本国以外での環境・処遇改善意向	3.4	3.5	3.4	3.3	3.4	3.4	3.4

インドネシア (%)

	インドネシア	年代別					
		20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計
回答者数	(1002)	(202)	(200)	(200)	(200)	(200)	(400)
グローバルキャリア意向	3.9	4.1	4.1	3.9	3.7	3.8	3.8
グローバルビジネス意向	3.8	4.0	4.0	3.8	3.6	3.8	3.7
本国以外での環境・処遇改善意向	2.9	3.1	3.0	2.9	2.7	2.9	2.8

マレーシア (%)

	マレーシア	年代別					
		20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計
回答者数	(1000)	(230)	(231)	(221)	(182)	(136)	(318)
グローバルキャリア意向	3.9	4.1	4.0	3.8	3.7	3.8	3.7
グローバルビジネス意向	3.8	4.0	3.8	3.7	3.5	3.8	3.7
本国以外での環境・処遇改善意向	3.2	3.4	3.2	3.0	3.1	3.5	3.2

シンガポール (%)

	シンガポール	年代別					
		20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計
回答者数	(1002)	(202)	(200)	(200)	(202)	(198)	(400)
グローバルキャリア意向	3.6	3.8	4.0	3.7	3.3	3.3	3.3
グローバルビジネス意向	3.6	3.7	4.0	3.7	3.3	3.3	3.3
本国以外での環境・処遇改善意向	3.1	3.3	3.6	3.3	2.8	2.8	2.8

ベトナム (%)

	ベトナム	年代別					
		20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計
回答者数	(1002)	(201)	(200)	(200)	(200)	(201)	(401)
グローバルキャリア意向	4.1	4.1	4.0	4.1	4.1	4.0	4.1
グローバルビジネス意向	4.1	4.1	4.1	4.0	4.1	4.0	4.0
本国以外での環境・処遇改善意向	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.4	3.4

※ 18カ国・地域をまたいで、得点の高低で色付け (高得点: 赤、低得点: グレー)

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ (ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス (ロンドン)、ドイツ (ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス (パリ)、スウェーデン (ストックホルム)

4. グローバル就業意向 年代別 (3/4)

Q. 今後のキャリアについてお聞きします。最もあてはまる選択肢をそれぞれ一つずつお選びください。(5段階尺度/項目数10)

※各カテゴリーの対応項目の5段階尺度平均値で分類の平均を算出

【南アジア】		年代別						(%)
インド	年代別							
	20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計		
回答者数	(1119)	(252)	(211)	(221)	(228)	(207)	(435)	
グローバルキャリア意向	4.3	4.4	4.4	4.4	4.1	4.0	4.1	
グローバルビジネス意向	4.3	4.4	4.4	4.4	4.2	4.0	4.1	
自国以外での環境・処遇改善意向	3.7	3.9	3.9	4.1	3.3	3.5	3.4	

【オセアニア】		年代別						(%)
オーストラリア	年代別							
	20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計		
回答者数	(1003)	(200)	(200)	(203)	(207)	(193)	(400)	
グローバルキャリア意向	3.0	3.5	3.4	3.2	2.7	2.3	2.5	
グローバルビジネス意向	3.1	3.5	3.5	3.2	2.7	2.4	2.6	
自国以外での環境・処遇改善意向	2.6	2.8	3.0	2.8	2.3	2.0	2.1	

【北米】		年代別						(%)
アメリカ	年代別							
	20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計		
回答者数	(1010)	(203)	(203)	(201)	(201)	(202)	(403)	
グローバルキャリア意向	3.3	3.7	3.9	3.6	3.1	2.2	2.7	
グローバルビジネス意向	3.4	3.7	3.9	3.7	3.2	2.4	2.8	
自国以外での環境・処遇改善意向	2.9	3.3	3.6	3.2	2.6	1.9	2.2	

※ 18か国・地域をまたいで、得点の高低で色付け (高得点: 赤、低得点: グレー)

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレーターバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレータージャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

4.グローバル就業意向 年代別 (4/4)

Q. 今後のキャリアについてお聞きします。最もあてはまる選択肢をそれぞれ一つずつお選びください。(5段階尺度/項目数10)

※各カテゴリーの対応項目の5段階尺度平均値で分類の平均を算出

【ヨーロッパ】 (%)

	イギリス	年代別					
		20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計
回答者数	(1003)	(201)	(200)	(200)	(215)	(187)	(402)
グローバルキャリア意向	3.0	3.5	3.7	3.1	2.6	2.3	2.5
グローバルビジネス意向	3.1	3.5	3.6	3.3	2.8	2.5	2.6
自国以外での環境・処遇改善意向	2.7	3.0	3.3	2.7	2.3	2.1	2.2

(%)

	ドイツ	年代別					
		20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計
回答者数	(1000)	(200)	(200)	(214)	(213)	(173)	(386)
グローバルキャリア意向	2.9	3.3	3.4	3.0	2.7	2.3	2.5
グローバルビジネス意向	3.2	3.4	3.5	3.3	3.0	2.6	2.8
自国以外での環境・処遇改善意向	2.8	3.0	3.2	2.9	2.5	2.1	2.3

(%)

	フランス	年代別					
		20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計
回答者数	(1001)	(201)	(200)	(200)	(205)	(195)	(400)
グローバルキャリア意向	3.3	3.7	3.7	3.3	2.8	2.8	2.8
グローバルビジネス意向	3.4	3.8	3.8	3.5	3.0	3.0	3.0
自国以外での環境・処遇改善意向	3.1	3.5	3.6	3.2	2.7	2.6	2.6

(%)

	スウェーデン	年代別					
		20代	30代	40代	50代	60代	50代以上計
回答者数	(1002)	(201)	(201)	(200)	(200)	(200)	(400)
グローバルキャリア意向	3.4	3.6	3.3	3.3	3.0	3.7	3.3
グローバルビジネス意向	3.5	3.7	3.4	3.4	3.2	3.8	3.5
自国以外での環境・処遇改善意向	3.0	3.2	2.9	3.0	2.6	3.5	3.0

※ 18カ国・地域をまとめて、得点の高低で色付け (高得点: 赤、低得点: グレー)

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

Ⅶ.コロナ禍の影響による 働く実態と意識変化

コロナ禍の
影響による
働く実態変化

「テレワーク増加」と「所得減少」の変化は多くの国・地域で上位に入る。日本は、「将来のキャリアに関する不安増」「仕事の生産性低下」が他国・地域と比べて最も低く、雇用や業務への影響が比較的少ない。「上司や同僚とのコミュニケーションの減少」と「部下マネジメントの複雑化/負担増」の両方がトップ5に入り、マネジメントへの影響がうかがえる。

- コロナ禍の影響による働く実態変化の全体平均トップ5は、「テレワークが増えた」24.4%、「所得が減少した」22.4%、「労働時間が短くなった」17.5%、「将来のキャリアに対する不安が増加した」17.4%、「仕事の生産性が下がった」16.1%。
- 「テレワーク増加」は、韓国以外でトップ5に入り、11カ国・地域（日本、中国、香港、インドネシア、シンガポール、ベトナム、インド、アメリカ、ドイツ、フランス、スウェーデン）で1位。中でもインドネシアとベトナムでは4割を超える。
- 「所得減少」は、フィリピン、インドネシア、ベトナムでは3割超、「将来のキャリアに対する不安の増加」は、タイ、フィリピン、マレーシア、ベトナムでは2割超、「仕事の生産性の低下」は、フィリピン、インドネシア、マレーシアで2割超と、これらの国では雇用への影響が大きかったことがうかがえる。一方、日本では「将来のキャリアに関する不安の増加」「仕事の生産性低下」が他国・地域と比べて最も低い。
- 「労働時間」については、タイ、フィリピン、インドネシア、マレーシア、ベトナム、オーストラリアでは「短くなった」が2割を超える。一方、シンガポールでは「長くなった」が2割を超える。

コロナ禍の 影響による 働く実態変化

- タイでは「業務のデジタル化が進んだ」が1位。
- 「上司や同僚とのコミュニケーションが減った」は、日本、韓国、香港、ベトナムでトップ5に入り、「職場における部下のマネジメントが複雑になった／負担が増えた」は、日本、シンガポール、インド、ドイツ、フランスでトップ5に入る。
- 日本は、「上司や同僚とのコミュニケーションが減った」と「職場における部下のマネジメントが複雑になった／負担が増えた」の両項目がトップ5に入っており、マネジメントへの影響がうかがえる。
- 「副業・兼業を行った」のはインドネシアやマレーシアで2割程度と高く、「学び直し」はフィリピンで2割超と高い。
- テレワークが普及したインドネシア、ベトナムでは、「仕事と育児や介護との両立がしやすくなった」も他国・地域と比べて高い傾向。
- 「独立・起業した（フリーランス含む）」は、労働時間短縮やキャリア不安増加が高かったタイ、フィリピン、インドネシア、マレーシアで高く、日本や韓国では低い。

1. コロナ禍の影響による働く実態変化 各国・地域ランキングTOP5

Q. コロナ禍の影響で、以下のようなことはありましたか。ご自身にあてはまるものをすべてお選びください。(複数回答/選択肢25項目)

※18か国・地域の全体平均TOP5と同色の色付け

	全体 (18223)	東アジア					東南アジア						南アジア
		日本 (1000)	中国 (1002)	韓国 (1005)	台湾 (1001)	香港 (1002)	タイ (1059)	フィリピン (1010)	インドネシア (1002)	マレーシア (1000)	シンガポール (1002)	ベトナム (1002)	インド (1119)
第1位	テレワークが増えた 24.4	テレワークが増えた 25.8	テレワークが増えた 22.3	所得が減少した 27.3	所得が減少した 25.1	テレワークが増えた 31.8	業務のデジタル化が進んだ 25.2	所得が減少した 33.4	テレワークが増えた 45.1	所得が減少した 29.5	テレワークが増えた 27.2	テレワークが増えた 40.7	テレワークが増えた 22.3
第2位	所得が減少した 22.4	所得が減少した 20.3	所得が減少した 18.8	上司や同僚とのコミュニケーションが減った 19.8	テレワークが増えた 18.7	所得が減少した 26.4	テレワークが増えた 23.5	将来のキャリアに対する不安が増加した 29.8	所得が減少した 35.4	将来のキャリアに対する不安が増加した 27.1	労働時間が長くなった 20.5	所得が減少した 33.6	所得が減少した 20.1
第3位	労働時間が短くなった 17.5	上司や同僚とのコミュニケーションが減った 17.9	業務のデジタル化が進んだ 12.0	労働時間が短くなった 19.1	仕事の生産性が下がった 17.5	仕事の生産性が下がった 19.2	将来のキャリアに対する不安が増加した 22.7	労働時間が短くなった 28.5	仕事の生産性が下がった 29.9	これまでの働き方を個人的に見直した 24.7	業務のデジタル化が進んだ 17.8	将来のキャリアに対する不安が増加した 23.0	将来のキャリアに対する不安が増加した 19.5
第4位	将来のキャリアに対する不安が増加した 17.4	*職場における部下のマネジメントが複雑になった/負担が増えた(109) 15.6	これまでの働き方を個人的に見直した 11.0	仕事の生産性が下がった 18.5	将来のキャリアに対する不安が増加した 15.2	上司や同僚とのコミュニケーションが減った 19.2	労働時間が短くなった 20.5	仕事の生産性が下がった 25.0	労働時間が短くなった 27.0	仕事の生産性が下がった 23.3	将来のキャリアに対する不安が増加した 17.8	労働時間が短くなった 20.6	*職場における部下のマネジメントが複雑になった/負担が増えた(589) 19.2
第5位	仕事の生産性が下がった 16.1	労働時間が短くなった 15.0	仕事の生産性が上がった 10.9	将来のキャリアに対する不安が増加した 18.1	これまでの働き方を個人的に見直した 14.0	将来のキャリアに対する不安が増加した 18.9	仕事の生産性が下がった 17.6	テレワークが増えた 23.1	これまでの働き方を個人的に見直した 24.8	テレワークが増えた 22.8	所得が減少した 17.0	上司や同僚とのコミュニケーションが減った 19.4	労働時間が長くなった 18.9
第5位							独立・起業した(フリーランス含む) 17.6				*職場における部下のマネジメントが複雑になった/負担が増えた(471) 17.0		

*ベースは「部下あり管理職」、()内は回答者数

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

1. コロナ禍の影響による働く実態変化 各国・地域ランキングTOP5

Q. コロナ禍の影響で、以下のようなことはありましたか。ご自身にあてはまるものをすべてお選びください。(複数回答/選択肢25項目)

※18カ国・地域の全体平均TOP5と同色の色付け

	オセアニア	北米	ヨーロッパ			
	オーストラリア (1003)	アメリカ (1010)	イギリス (1003)	ドイツ (1000)	フランス (1001)	スウェーデン (1002)
第1位	所得が減少した 20.1	テレワークが増えた 18.7	所得が減少した 20.3	テレワークが増えた 25.5	テレワークが増えた 29.1	テレワークが増えた 23.6
第2位	労働時間が短くなった 20.1	将来のキャリアに対する不安が増加した 17.2	労働時間が短くなった 18.4	所得が減少した 15.9	*職場における部下のマネジメントが複雑になった/負担が増えた(287) 19.2	所得が減少した 14.3
第3位	テレワークが増えた 16.4	労働時間が短くなった 17.0	将来のキャリアに対する不安が増加した 16.3	労働時間が短くなった 14.2	労働時間が長くなった 17.8	業務のデジタル化が進んだ 13.4
第4位	将来のキャリアに対する不安が増加した 15.1	所得が減少した 16.0	テレワークが増えた 15.0	*職場における部下のマネジメントが複雑になった/負担が増えた(364) 13.2	これまでの働き方を個人的に見直した 13.7	労働時間が短くなった 12.3
第5位	労働時間が長くなった 14.0	労働時間が長くなった 14.7	労働時間が長くなった 14.9	これまでの働き方を個人的に見直した 13.1	所得が減少した 13.6	労働時間が長くなった 12.2

*ベースは「部下あり管理職」、()内は回答者数

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(マニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

1. コロナ禍の影響による働く実態変化 (詳細1/2)

Q. コロナ禍の影響で、以下のようなことはありましたか。ご自身にあてはまるものをすべてお選びください。(複数回答/選択肢25項目)

	東アジア					東南アジア						南アジア	オセアニア	北米	ヨーロッパ				%
	日本	中国	韓国	台湾	香港	タイ	フィリピン	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ベトナム	インド	オーストラリア	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン	
全体	(18223)	(1000)	(1002)	(1005)	(1001)	(1002)	(1059)	(1010)	(1002)	(1000)	(1002)	(1002)	(1119)	(1003)	(1010)	(1003)	(1000)	(1001)	(1002)
テレワークが増えた	24.4	25.8	22.3	8.4	18.7	31.8	23.5	23.1	45.1	22.8	27.2	40.7	22.3	16.4	18.7	15.0	25.5	29.1	23.6
所得が減少した	22.4	20.3	18.8	27.3	25.1	26.4	17.0	33.4	35.4	29.5	17.0	33.6	20.1	20.1	16.0	20.3	15.9	13.6	14.3
労働時間が短くなった	17.5	15.0	9.3	19.1	13.9	16.7	20.5	28.5	27.0	21.2	11.0	20.6	16.8	20.1	17.0	18.4	14.2	13.2	12.3
将来のキャリアに対する不安が増加した	17.4	6.9	8.3	18.1	15.2	18.9	22.7	29.8	22.1	27.1	17.8	23.0	19.5	15.1	17.2	16.3	11.0	12.0	12.0
仕事の生産性が下がった	16.1	8.1	10.3	18.5	17.5	19.2	17.6	25.0	29.9	23.3	13.5	17.8	17.8	13.5	11.4	13.7	10.8	11.1	11.1
*職場における部下のマネジメントが複雑になった/負担が増えた	15.5 (6434)	15.6 (109)	7.3 (371)	12.2 (296)	11.7 (445)	12.4 (396)	15.1 (299)	22.9 (292)	21.5 (326)	21.7 (447)	17.0 (471)	15.7 (504)	19.2 (589)	13.1 (351)	12.6 (365)	14.1 (348)	13.2 (364)	19.2 (287)	12.1 (174)
これまでの働き方を個人的に見直した	14.8	10.0	11.0	12.0	14.0	14.1	16.2	17.9	24.8	24.7	16.0	17.4	16.4	10.7	12.5	12.0	13.1	13.7	10.6
業務のデジタル化が進んだ	14.5	14.3	12.0	15.4	10.5	16.0	25.2	17.9	20.2	18.8	17.8	13.5	16.4	7.7	7.5	7.6	12.3	13.1	13.4
上司や同僚とのコミュニケーションが減った	13.8	17.9	7.0	19.8	13.3	19.2	13.2	10.8	17.2	18.2	12.9	19.4	17.0	9.6	9.1	10.3	13.0	12.5	8.6
労働時間が長くなった	13.1	9.0	6.0	4.8	10.2	11.2	13.7	16.2	9.6	15.9	20.5	13.5	18.9	14.0	14.7	14.9	11.4	17.8	12.2
副業・兼業を行った	10.6	6.0	5.8	10.5	11.6	12.6	15.5	12.3	21.2	18.1	7.5	13.1	13.1	5.7	8.0	5.9	9.1	6.0	7.8
仕事と私生活をうまく切り替えられなかった	9.8	6.1	5.4	11.9	10.5	8.5	8.8	12.2	11.5	11.7	10.9	9.9	14.6	8.8	5.8	8.0	10.0	12.3	8.4
学び直しをした/学び直しを始めた	9.7	5.3	9.3	10.0	13.1	11.3	6.0	21.2	11.0	13.7	11.4	6.9	15.6	7.1	7.6	6.9	4.9	6.3	6.6

*ベースは部下あり管理職、()内は回答者数

※得点の高低で色付け (高得点: 赤、低得点: グレー)

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

1. コロナ禍の影響による働く実態変化 (詳細2/2)

Q. コロナ禍の影響で、以下のようなことはありましたか。ご自身にあてはまるものをすべてお選びください。(複数回答/選択肢25項目)

	東アジア					東南アジア						南アジア	オセアニア	北米	ヨーロッパ				
	日本	中国	韓国	台湾	香港	タイ	フィリピン	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ベトナム	インド	オーストラリア	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン	
全体	(1000)	(1002)	(1005)	(1001)	(1002)	(1059)	(1010)	(1002)	(1000)	(1002)	(1002)	(1119)	(1003)	(1010)	(1003)	(1000)	(1001)	(1002)	
仕事と育児や介護との両立がしやすくなった	9.3	3.7	5.9	3.7	8.6	6.7	6.6	10.5	19.4	13.0	6.2	17.2	15.8	8.3	9.0	6.7	6.1	11.1	9.2
独立・起業した (フリーランス含む)	8.7	1.8	4.1	2.2	6.9	10.0	17.6	18.4	18.3	14.3	5.9	10.4	12.2	5.4	6.1	4.2	4.8	6.7	6.3
仕事と育児や介護との両立が難しくなった	8.6	1.3	3.3	7.2	10.2	7.1	6.1	11.2	9.9	12.5	7.3	14.2	14.0	6.2	7.8	5.6	10.7	10.5	8.5
仕事の生産性が上がった	8.2	5.2	10.9	4.2	5.7	4.1	7.8	10.3	6.9	8.9	7.7	6.8	12.3	10.0	10.0	8.6	7.9	12.5	6.9
転職した	6.7	4.7	1.8	4.3	5.9	7.3	7.7	11.5	4.3	7.2	7.1	6.4	7.8	7.6	7.1	7.0	7.3	6.8	8.1
所得が増加した	6.5	5.4	7.2	4.2	3.0	4.2	4.0	8.2	3.8	7.7	4.9	5.8	9.4	8.5	8.4	8.2	8.3	7.7	8.8
一時休業・一時解雇があった	6.3	6.9	2.7	8.9	2.3	10.7	5.0	8.7	6.7	5.9	3.1	7.0	7.4	6.7	10.6	5.2	5.1	4.7	5.3
テレワークできる会社・職種に転職した	5.9	1.6	7.5	2.5	6.6	7.0	6.4	6.3	6.7	6.1	3.2	7.6	13.0	3.7	6.5	3.4	6.8	5.5	4.6
郊外に移住した	4.3	0.5	1.5	0.9	4.2	3.7	6.4	4.3	3.7	5.0	3.5	5.0	10.0	4.8	5.3	3.4	3.2	6.1	5.4
失業した (解雇・リストラなど)	4.2	1.5	2.2	2.4	1.9	4.3	5.9	6.1	6.2	4.5	3.4	4.1	7.0	4.5	5.7	4.8	4.1	3.4	3.7
勤務先が倒産した	3.2	0.4	1.7	1.2	1.7	3.9	2.9	3.6	4.7	4.2	2.3	4.6	9.2	1.9	4.1	1.4	2.5	3.6	2.5
あてはまるものはない	15.4	31.3	26.3	21.3	16.6	11.2	5.8	4.7	4.0	7.4	16.7	4.3	4.8	23.1	18.2	21.6	22.6	16.3	22.4

※()内は回答者数 ※得点の高低で色付け (高得点: 赤、低得点: グレー)

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(マニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

1. コロナ禍の影響による働く実態変化: 「全体」と「各国・地域」の差分

Q. コロナ禍の影響で、以下のようなことはありましたか。ご自身にあてはまるものをすべてお選びください。(複数回答/選択肢25項目)

※「各国・地域」のスコアは前頁の各スコアから「全体」の値を引き算した差分 (+は全体よりも高く、-は全体よりも低い)。

	全体 (%) (18223)	東アジア					東南アジア					南アジア	オセアニア	北米	ヨーロッパ				
		日本 (1000)	中国 (1002)	韓国 (1005)	台湾 (1001)	香港 (1002)	タイ (1059)	フィリピン (1010)	インドネシア (1002)	マレーシア (1000)	シンガポール (1002)	ベトナム (1002)	インド (1119)	オーストラリア (1003)	アメリカ (1010)	イギリス (1003)	ドイツ (1000)	フランス (1001)	スウェーデン (1002)
テレワークが増えた	24.4	1.4	- 2.1	-16.0	- 5.7	7.4	- 0.9	- 1.3	20.7	- 1.6	2.8	16.3	- 2.1	- 8.0	- 5.7	- 9.4	1.1	4.7	- 0.8
所得が減少した	22.4	- 2.1	- 3.6	4.9	2.7	4.0	- 5.4	11.0	13.0	7.1	- 5.4	11.2	- 2.3	- 2.3	- 6.4	- 2.1	- 6.5	- 8.8	- 8.1
労働時間が短くなった	17.5	- 2.5	- 8.2	1.6	- 3.6	- 0.8	3.0	11.0	9.5	3.7	- 6.5	3.1	- 0.7	2.6	- 0.5	0.9	- 3.3	- 4.3	- 5.2
将来のキャリアに対する不安が増加した	17.4	-10.5	- 9.1	0.7	- 2.2	1.5	5.3	12.4	4.7	9.7	0.4	5.6	2.1	- 2.3	- 0.2	- 1.1	- 6.4	- 5.4	- 5.4
仕事の生産性が下がった	16.1	- 8.0	- 5.8	2.4	1.4	3.1	1.5	8.9	13.8	7.2	- 2.6	1.7	1.7	- 2.6	- 4.7	- 2.4	- 5.3	- 5.0	- 5.0
*職場における部下のマネジメントが複雑になった/負担が増えた	15.5	0.1	- 8.2	- 3.3	- 3.8	- 3.1	- 0.4	7.4	6.0	6.2	1.5	0.2	3.7	- 2.4	- 2.9	- 1.4	- 2.3	3.7	- 3.4
これまでの働き方を個人的に見直した	14.8	- 4.8	- 3.8	- 2.8	- 0.8	- 0.7	1.4	3.1	10.0	9.9	1.2	2.6	1.6	- 4.1	- 2.3	- 2.8	- 1.7	- 1.1	- 4.2
業務のデジタル化が進んだ	14.5	- 0.2	- 2.5	0.9	- 4.0	1.5	10.7	3.4	5.7	4.3	3.3	- 1.0	1.9	- 6.8	- 7.0	- 6.9	- 2.2	- 1.4	- 1.1
上司や同僚とのコミュニケーションが減った	13.8	4.1	- 6.8	6.0	- 0.5	5.4	- 0.6	- 3.0	3.4	4.4	- 0.9	5.6	3.2	- 4.2	- 4.7	- 3.5	- 0.8	- 1.3	- 5.2
労働時間が長くなった	13.1	- 4.1	- 7.1	- 8.3	- 2.9	- 1.9	0.6	3.1	- 3.5	2.8	7.4	0.4	5.8	0.9	1.6	1.8	- 1.7	4.7	- 0.9
副業・兼業を行った	10.6	- 4.6	- 4.8	- 0.1	1.0	2.0	4.9	1.7	10.6	7.5	- 3.1	2.5	2.5	- 4.9	- 2.6	- 4.7	- 1.5	- 4.6	- 2.8
仕事と私生活をうまく切り替えられなかった	9.8	- 3.7	- 4.4	2.1	0.7	- 1.3	- 1.0	2.4	1.7	1.9	1.1	0.1	4.8	- 1.0	- 4.0	- 1.8	0.2	2.5	- 1.4
学び直しをした/学び直しを始めた	9.7	- 4.4	- 0.4	0.3	3.4	1.6	- 3.7	11.5	1.3	4.0	1.7	- 2.8	5.9	- 2.6	- 2.1	- 2.8	- 4.8	- 3.4	- 3.1

*ベースは(部下あり)管理職、()内は回答者数

※「各国・地域」から「全体」の値を引き算した差分の大小で色付け(差分大:赤、差分小:グレー)

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

1. コロナ禍の影響による働く実態変化: 「全体」と「各国・地域」の差分

Q. コロナ禍の影響で、以下のようなことはありましたか。ご自身にあてはまるものをすべてお選びください。(複数回答/選択肢25項目)

※「各国・地域」のスコアは前頁の各スコアから「全体」の値を引き算した差分 (+は全体よりも高く、-は全体よりも低い)。

	全体 (%) (18223)	東アジア					東南アジア					南アジア	オセアニア	北米	ヨーロッパ				
		日本	中国	韓国	台湾	香港	タイ	フィリピン	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ベトナム	インド	オーストラリア	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン
		(1000)	(1002)	(1005)	(1001)	(1002)	(1059)	(1010)	(1002)	(1000)	(1002)	(1002)	(1119)	(1003)	(1010)	(1003)	(1000)	(1001)	(1002)
仕事と育児や介護との両立がしやすくなった	9.3	- 5.6	- 3.4	- 5.6	- 0.7	- 2.6	- 2.7	1.2	10.1	3.7	- 3.1	7.9	6.5	- 1.0	- 0.3	- 2.6	- 3.2	1.8	- 0.1
独立・起業した (フリーランス含む)	8.7	- 6.9	- 4.6	- 6.5	- 1.8	1.3	8.9	9.7	9.6	5.6	- 2.8	1.7	3.5	- 3.3	- 2.6	- 4.5	- 3.9	- 2.0	- 2.4
仕事と育児や介護との両立が難しくなった	8.6	- 7.3	- 5.3	- 1.4	1.6	- 1.5	- 2.5	2.6	1.3	3.9	- 1.3	5.6	5.4	- 2.4	- 0.8	- 3.0	2.1	1.9	- 0.1
仕事の生産性が上がった	8.2	- 3.0	2.7	- 4.0	- 2.5	- 4.1	- 0.4	2.1	- 1.3	0.7	- 0.5	- 1.4	4.1	1.8	1.8	0.4	- 0.3	4.3	- 1.3
転職した	6.7	- 2.0	- 4.9	- 2.4	- 0.8	0.6	1.0	4.8	- 2.4	0.5	0.4	- 0.3	1.1	0.9	0.4	0.3	0.6	0.1	1.4
所得が増加した	6.5	- 1.1	0.7	- 2.3	- 3.5	- 2.3	- 2.5	1.7	- 2.7	1.2	- 1.6	- 0.7	2.9	2.0	1.9	1.7	1.8	1.2	2.3
一時休業・一時解雇があった	6.3	0.6	- 3.6	2.6	- 4.0	4.4	- 1.3	2.4	0.4	- 0.4	- 3.2	0.7	1.1	0.4	4.3	- 1.1	- 1.2	- 1.6	- 1.0
テレワークできる会社・職種に転職した	5.9	- 4.3	1.6	- 3.4	0.7	1.1	0.5	0.4	0.8	0.2	- 2.7	1.7	7.1	- 2.2	0.6	- 2.5	0.9	- 0.4	- 1.3
郊外に移住した	4.3	- 3.8	- 2.8	- 3.4	- 0.1	- 0.6	2.1	0.0	- 0.6	0.7	- 0.8	0.7	5.7	0.5	1.0	- 0.9	- 1.1	1.8	1.1
失業した (解雇・リストラなど)	4.2	- 2.7	- 2.0	- 1.8	- 2.3	0.1	1.7	1.9	2.0	0.3	- 0.8	- 0.1	2.8	0.3	1.5	0.6	- 0.1	- 0.8	- 0.5
勤務先が倒産した	3.2	- 2.8	- 1.5	- 2.0	- 1.5	0.7	- 0.3	0.4	1.5	1.0	- 0.9	1.4	6.0	- 1.3	0.9	- 1.8	- 0.7	0.4	- 0.7
あてはまるものはない	15.4	15.9	10.9	5.9	1.2	- 4.2	- 9.6	-10.7	-11.4	- 8.0	1.3	-11.1	-10.6	7.7	2.8	6.2	7.2	0.9	7.0

※()内は回答者数

※「各国・地域」から「全体」の値を引き算した差分の大小で色付け (差分大: 赤, 差分小: グレー)

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ (ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス (ロンドン)、ドイツ (ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス (パリ)、スウェーデン (ストックホルム)

コロナ禍の 影響による 働く意識変化

コロナ禍で高まった意識の全体トップは「現在の会社で安定して働きたい」。日本では、「労働時間を減らしたい」「副業・兼業を行いたい」という意識が他国・地域に比べて高く、「独立・起業したい」「業務のデジタル化を進めたい」意識は低い傾向。

- コロナ禍の影響で意識が高まったもののうち優先度の高い上位3つを挙げてもらったところ、全体平均のトップ5は「現在の会社で安定して働きたい」、「仕事の生産性を上げたい」、「業務のデジタル化を進めたい」、「テレワークを継続したい」、「労働時間を減らしたい」。
- 「現在の会社で安定して働きたい」は、全ての国・地域でトップ3に入る。「仕事の生産性を上げたい」は、タイとスウェーデンを除く全ての国・地域でトップ5に入る。
- 「業務のデジタル化を進めたい」は、タイで1位。韓国、シンガポール、マレーシア、インドも高い。タイは、実態変化でも「業務のデジタル化が進んだ」が1位となっており、「業務デジタル化」が働く人々に与えたインパクトの大きさがうかがえる。一方、フランスや日本では低い傾向。
- 「テレワークを継続したい」は、香港、フランス、スウェーデン、ドイツで特に高い。日本は全体平均並み。
- 「労働時間を減らしたい」は日本、韓国、香港、シンガポールで高い傾向。
- 「副業・兼業したい」は、日本、韓国、台湾、香港、タイ、インドネシア、スウェーデンでトップ5に入る。
- 「独立・起業したい」は、フィリピンとインドネシアでは1位、タイでも3位に入り、他国・地域よりも突出して高い。一方、日本では最も低い。

コロナ禍の 影響による 働く意識変化

- 「仕事と育児や介護を両立したい」は、ベトナムで1位で、意識の高まりが顕著。
- ベトナムとインドでは、「上司や同僚とのコミュニケーションを増やしたい」「職場における部下のマネジメントを簡素化したい／負担を減らしたい」の両方が比較的高く、上司と部下の双方にコミュニケーションやマネジメントに対する意識の高まりがみられる。
- オーストラリア、イギリス、ドイツ、フランスでは、「地方や郊外に移住したい」がトップ10に入る。

2.コロナ禍の影響による働く意識変化 各国・地域ランキングTOP10

Q. コロナ禍の影響で、意識が高まったものはありますか。上位3位まで順にクリックしてください。（優先度の高いものから上位3位まで／選択肢14項目）

※スコアは「加重スコア」(1位×3、2位×2、3位×1と加重をかけ、項目ごとに合算)

※18か国・地域の全体TOP5と同色の色付け

【東アジア】

	全体 (18223)	pt	日本 (1000)	pt	中国 (1002)	pt	韓国 (1005)	pt	台湾 (1001)	pt	香港 (1002)	pt
1位	現在の会社で安定して働きたい	12108	現在の会社で安定して働きたい	642	現在の会社で安定して働きたい	747	現在の会社で安定して働きたい	817	仕事の生産性を上げたい	528	テレワークを継続したい	741
2位	仕事の生産性を上げたい	9468	労働時間を減らしたい	545	仕事の生産性を上げたい	742	業務のデジタル化を進めたい	656	現在の会社で安定して働きたい	525	現在の会社で安定して働きたい	679
3位	業務のデジタル化を進めたい	9026	テレワークを継続したい	462	テレワークを継続したい	591	労働時間を減らしたい	621	テレワークを継続したい	499	労働時間を減らしたい	652
4位	テレワークを継続したい	8906	副業・兼業を行いたい	450	業務のデジタル化を進めたい	565	仕事の生産性を上げたい	578	副業・兼業を行いたい	487	副業・兼業を行いたい	514
5位	労働時間を減らしたい	8501	仕事の生産性を上げたい	385	労働時間を減らしたい	461	副業・兼業を行いたい	553	労働時間を減らしたい	485	仕事の生産性を上げたい	469
6位	副業・兼業を行いたい	7169	業務のデジタル化を進めたい	335	学び直しをしたい	388	独立・起業したい（フリーランス含む）	332	業務のデジタル化を進めたい	442	業務のデジタル化を進めたい	413
7位	独立・起業したい（フリーランス含む）	6968	学び直しをしたい	284	副業・兼業を行いたい	345	学び直しをしたい	304	独立・起業したい（フリーランス含む）	386	独立・起業したい（フリーランス含む）	359
8位	仕事と育児や介護を両立させたい	6205	上司や同僚とのコミュニケーションを増やしたい	258	上司や同僚とのコミュニケーションを増やしたい	327	上司や同僚とのコミュニケーションを増やしたい	292	学び直しをしたい	382	学び直しをしたい	335
9位	上司や同僚とのコミュニケーションを増やしたい	6163	転職したい	220	テレワークできる会社・職種に転職したい	315	テレワークを継続したい	278	仕事と育児や介護を両立させたい	366	転職したい	318
10位	学び直しをしたい	5919	仕事と育児や介護を両立させたい	217	独立・起業したい（フリーランス含む）	278	転職したい	215	転職したい	353	上司や同僚とのコミュニケーションを増やしたい	286

※（ ）内は回答者数

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ (ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス (ロンドン)、ドイツ (ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス (パリ)、スウェーデン (ストックホルム)

2.コロナ禍の影響による働く意識変化 各国・地域ランキングTOP10

Q. コロナ禍の影響で、意識が高まったものはありますか。上位3位まで順にクリックしてください。(優先度の高いものから上位3位まで/選択肢14項目)

※スコアは「加重スコア」(1位×3、2位×2、3位×1と加重をかけ、項目ごとに合算)

※18か国・地域の全体TOP5と同色の色付け

【東南アジア/南アジア】

	タイ (1059)	pt	フィリピン (1010)	pt	インドネシア (1002)	pt	マレーシア (1000)	pt	シンガポール (1002)	pt	ベトナム (1002)	pt	インド (1119)	pt
1位	業務のデジタル化を進めたい	781	独立・起業したい (フリーランス含む)	761	独立・起業したい (フリーランス含む)	817	現在の会社で安定して働きたい	749	現在の会社で安定して働きたい	686	仕事と育児や介護を両立させたい	761	仕事の生産性を上げたい	663
2位	現在の会社で安定して働きたい	694	仕事の生産性を上げたい	733	仕事の生産性を上げたい	773	仕事の生産性を上げたい	693	業務のデジタル化を進めたい	655	現在の会社で安定して働きたい	706	業務のデジタル化を進めたい	661
3位	独立・起業したい (フリーランス含む)	626	現在の会社で安定して働きたい	724	現在の会社で安定して働きたい	723	業務のデジタル化を進めたい	648	労働時間を減らしたい	612	業務のデジタル化を進めたい	584	現在の会社で安定して働きたい	617
4位	副業・兼業を行いたい	625	業務のデジタル化を進めたい	524	副業・兼業を行いたい	660	労働時間を減らしたい	488	テレワークを継続したい	512	仕事の生産性を上げたい	557	仕事と育児や介護を両立させたい	553
5位	テレワークを継続したい	570	学び直しをしたい	489	業務のデジタル化を進めたい	548	独立・起業したい (フリーランス含む)	448	仕事の生産性を上げたい	501	テレワークを継続したい	546	上司や同僚とのコミュニケーションを増やしたい	509
6位	学び直しをしたい	532	仕事と育児や介護を両立させたい	447	仕事と育児や介護を両立させたい	478	仕事と育児や介護を両立させたい	439	学び直しをしたい	343	上司や同僚とのコミュニケーションを増やしたい	499	労働時間を減らしたい	469
7位	労働時間を減らしたい	434	労働時間を減らしたい	403	テレワークを継続したい	445	副業・兼業を行いたい	427	転職したい	326	独立・起業したい (フリーランス含む)	490	独立・起業したい (フリーランス含む)	467
8位	上司や同僚とのコミュニケーションを増やしたい	363	上司や同僚とのコミュニケーションを増やしたい	362	労働時間を減らしたい	281	テレワークを継続したい	381	上司や同僚とのコミュニケーションを増やしたい	312	副業・兼業を行いたい	341	テレワークを継続したい	435
9位	仕事の生産性を上げたい	349	テレワークを継続したい	322	上司や同僚とのコミュニケーションを増やしたい	272	上司や同僚とのコミュニケーションを増やしたい	342	仕事と育児や介護を両立させたい	287	労働時間を減らしたい	289	学び直しをしたい	435
10位	仕事と育児や介護を両立させたい	296	副業・兼業を行いたい	304	学び直しをしたい	250	学び直しをしたい	327	独立・起業したい (フリーランス含む)	286	職場における部下のマネジメントを簡素化したい/負担を減らしたい※	277	職場における部下のマネジメントを簡素化したい/負担を減らしたい※	365

※ () 内は回答者数

※「職場における部下のマネジメントを簡素化したい/負担を減らしたい」は部下あり管理職のみ回答

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ (ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス (ロンドン)、ドイツ (ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス (パリ)、スウェーデン (ストックホルム)

2.コロナ禍の影響による働く意識変化 各国・地域ランキングTOP10

Q. コロナ禍の影響で、意識が高まったものはありますか。上位3位まで順にクリックしてください。(優先度の高いものから上位3位まで/選択肢14項目)

※スコアは「加重スコア」(1位×3、2位×2、3位×1と加重をかけ、項目ごとに合算)

※18か国・地域の全体TOP5と同色の色付け

【オセアニア/北米/ヨーロッパ】

	オーストラリア (1003)	pt	アメリカ (1010)	pt	イギリス (1003)	pt	ドイツ (1000)	pt	フランス (1001)	pt	スウェーデン (1002)	pt
1位	現在の会社で安定して働きたい	716	現在の会社で安定して働きたい	646	現在の会社で安定して働きたい	683	現在の会社で安定して働きたい	607	テレワークを継続したい	722	テレワークを継続したい	569
2位	労働時間を減らしたい	497	テレワークを継続したい	514	労働時間を減らしたい	539	テレワークを継続したい	555	現在の会社で安定して働きたい	610	現在の会社で安定して働きたい	537
3位	仕事の生産性を上げたい	449	仕事の生産性を上げたい	491	仕事の生産性を上げたい	478	労働時間を減らしたい	462	上司や同僚とのコミュニケーションを増やしたい	429	業務のデジタル化を進めたい	437
4位	テレワークを継続したい	421	労働時間を減らしたい	450	業務のデジタル化を進めたい	350	仕事の生産性を上げたい	387	労働時間を減らしたい	418	労働時間を減らしたい	395
5位	業務のデジタル化を進めたい	347	業務のデジタル化を進めたい	378	テレワークを継続したい	343	業務のデジタル化を進めたい	382	仕事の生産性を上げたい	375	副業・兼業を行いたい	347
6位	学び直しをしたい	315	上司や同僚とのコミュニケーションを増やしたい	357	上司や同僚とのコミュニケーションを増やしたい	313	上司や同僚とのコミュニケーションを増やしたい	344	仕事と育児や介護を両立させたい	361	上司や同僚とのコミュニケーションを増やしたい	341
7位	転職したい	301	学び直しをしたい	357	学び直しをしたい	297	副業・兼業を行いたい	312	副業・兼業を行いたい	340	テレワークできる会社・職種に転職したい	326
8位	上司や同僚とのコミュニケーションを増やしたい	285	独立・起業したい (フリーランス含む)	325	地方や郊外に移住したい	288	仕事と育児や介護を両立させたい	293	業務のデジタル化を進めたい	320	仕事の生産性を上げたい	317
9位	副業・兼業を行いたい	276	副業・兼業を行いたい	320	仕事と育児や介護を両立させたい	264	地方や郊外に移住したい	271	地方や郊外に移住したい	314	転職したい	314
10位	地方や郊外に移住したい	269	転職したい	307	独立・起業したい (フリーランス含む)	262	テレワークできる会社・職種に転職したい	251	テレワークできる会社・職種に転職したい	267	学び直しをしたい	297

※ () 内は回答者数

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(マニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

2.コロナ禍の影響による働く意識変化（上位3位までの選択率）

Q. コロナ禍の影響で、意識が高まったものはありますか。上位3位まで順にクリックしてください。（優先度の高いものから上位3位まで/選択肢14項目）

	全体 (18223)	東アジア					東南アジア						南 アジア	オセア ニア	北米	ヨーロッパ			
		日本 (1000)	中国 (1002)	韓国 (1005)	台湾 (1001)	香港 (1002)	タイ (1059)	フィリピン (1010)	インドネシア (1002)	マレーシア (1000)	シンガポール (1002)	ベトナム (1002)	インド (1119)	オーストラリア (1003)	アメリカ (1010)	イギリス (1003)	ドイツ (1000)	フランス (1001)	スウェーデン (1002)
現在の会社で安定して働きたい	34.1	34.8	36.7	41.5	27.4	33.6	31.9	34.6	35.1	37.7	36.0	34.5	27.1	39.4	32.8	38.9	34.1	31.6	28.6
仕事の生産性を上げたい	29.2	25.4	38.4	32.9	28.9	26.0	16.6	38.4	40.2	35.9	29.7	29.5	29.9	27.6	28.0	29.4	24.9	21.1	19.8
業務のデジタル化を進めたい	27.5	21.2	30.2	34.9	23.2	23.1	36.6	28.3	28.0	33.3	35.0	28.4	31.4	23.7	22.6	22.6	24.2	18.2	25.0
労働時間を減らしたい	25.3	33.9	23.7	33.1	25.7	35.0	21.3	20.0	13.5	25.7	32.6	14.8	21.0	29.5	25.5	31.2	28.9	23.4	23.3
テレワークを継続したい	24.9	25.0	28.8	14.5	25.7	35.2	25.5	16.1	21.2	20.0	26.2	27.7	19.0	23.9	27.1	19.6	30.7	34.5	30.9
副業・兼業を行いたい	21.8	28.8	18.4	30.3	26.8	26.2	29.9	15.8	32.7	21.1	15.1	17.2	17.2	17.5	19.7	17.0	18.2	19.2	20.0
独立・起業したい（フリーランス含む）	20.9	11.6	14.9	18.7	20.1	19.8	31.2	34.5	38.4	23.7	16.0	23.8	21.3	15.1	18.3	17.6	12.5	13.2	17.7
上司や同僚とのコミュニケーションを増やしたい	19.1	16.7	17.9	17.5	15.6	15.0	18.1	18.1	14.7	18.2	16.9	23.8	24.2	18.8	20.9	19.5	21.8	24.6	20.6
仕事と育児や介護を両立させたい	18.3	13.5	12.7	10.1	19.2	12.8	13.4	22.2	25.1	22.2	14.7	37.4	22.0	14.3	15.1	15.4	16.9	20.5	16.7
学び直しをしたい	18.2	18.4	20.4	18.0	21.2	18.2	26.9	25.7	13.5	17.2	18.6	8.1	20.3	19.7	20.1	18.2	14.6	10.7	16.6
転職したい	13.8	13.7	8.9	12.0	18.9	17.5	11.4	13.5	6.1	11.6	16.7	12.4	14.6	17.6	17.1	14.6	12.6	13.9	17.9
テレワークできる会社・職種に転職したい	13.6	11.8	16.7	8.3	18.6	15.2	11.7	11.8	11.2	11.9	12.4	13.5	14.2	9.5	14.7	12.1	15.7	16.2	18.4
地方や郊外に移住したい	12.2	10.1	8.7	9.7	11.9	8.0	13.6	10.7	7.6	7.3	10.1	10.3	16.4	17.5	12.2	16.7	17.1	18.0	15.4
職場における部下のマネジメントを簡素化したし／負担を減らしたい※	8.0	3.1	5.5	6.8	8.5	6.5	4.9	6.9	7.2	9.6	10.3	13.9	15.6	7.5	8.6	9.3	6.8	6.8	3.8

※「職場における部下のマネジメントを簡素化したし／負担を減らしたい」は部下あり管理職のみ回答、（ ）内は回答者数 ※得点の高低で色付け（高得点：赤、低得点：グレー）

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

2.コロナ禍の影響による働く意識変化：「全体」と「各国・地域」の差分

Q. コロナ禍の影響で、意識が高まったものはありますか。上位3位まで順にクリックしてください。(優先度の高いものから上位3位まで / 選択肢14項目)

※「各国・地域」のスコアは前頁の各スコアから「全体」の値を引き算した差分 (+は全体よりも高く、-は全体よりも低い)。

	全体 (%) (18223)	東アジア					東南アジア					南アジア	オセアニア	北米	ヨーロッパ				
		日本	中国	韓国	台湾	香港	タイ	フィリピン	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ベトナム	インド	オーストラリア	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン
		(1000)	(1002)	(1005)	(1001)	(1002)	(1059)	(1010)	(1002)	(1000)	(1002)	(1002)	(1119)	(1003)	(1010)	(1003)	(1000)	(1001)	(1002)
現在の会社で安定して働き続けたい	34.1	0.7	2.6	7.4	- 6.7	- 0.5	- 2.2	0.5	1.0	3.6	1.9	0.4	- 7.0	5.3	- 1.3	4.8	0.0	- 2.5	- 5.5
仕事の生産性を上げたい	29.2	- 3.8	9.2	3.7	- 0.3	- 3.2	-12.6	9.2	11.0	6.7	0.5	0.3	0.7	- 1.6	- 1.2	0.2	- 4.3	- 8.1	- 9.4
業務のデジタル化を進めたい	27.5	- 6.3	2.7	7.4	- 4.3	- 4.4	9.1	0.8	0.5	5.8	7.5	0.9	3.9	- 3.8	- 4.9	- 4.9	- 3.3	- 9.3	- 2.5
労働時間を減らしたい	25.3	8.6	- 1.6	7.8	0.4	9.7	- 4.0	- 5.3	-11.8	0.4	7.3	-10.5	- 4.3	4.2	0.2	5.9	3.6	- 1.9	- 2.0
テレワークを継続したい	24.9	0.1	3.9	-10.4	0.8	10.3	0.6	- 8.8	- 3.7	- 4.9	1.3	2.8	- 5.9	- 1.0	2.2	- 5.3	5.8	9.6	6.0
副業・兼業を行いたい	21.8	7.0	- 3.4	8.5	5.0	4.4	8.1	- 6.0	10.9	- 0.7	- 6.7	- 4.6	- 4.6	- 4.3	- 2.1	- 4.8	- 3.6	- 2.6	- 1.8
独立・起業したい (フリーランス含む)	20.9	- 9.3	- 6.0	- 2.2	- 0.8	- 1.1	10.3	13.6	17.5	2.8	- 4.9	2.9	0.4	- 5.8	- 2.6	- 3.3	- 8.4	- 7.7	- 3.2
上司や同僚とのコミュニケーションを増やしたい	19.1	- 2.4	- 1.2	- 1.6	- 3.5	- 4.1	- 1.0	- 1.0	- 4.4	- 0.9	- 2.2	4.7	5.1	- 0.3	1.8	0.4	2.7	5.5	1.5
仕事と育児や介護を両立させたい	18.3	- 4.8	- 5.6	- 8.2	0.9	- 5.5	- 4.9	3.9	6.8	3.9	- 3.6	19.1	3.7	- 4.0	- 3.2	- 2.9	- 1.4	2.2	- 1.6
学び直しをしたい	18.2	0.2	2.2	- 0.2	3.0	0.0	8.7	7.5	- 4.7	- 1.0	0.4	-10.1	2.1	1.5	1.9	0.0	- 3.6	- 7.5	- 1.6
転職したい	13.8	- 0.1	- 4.9	- 1.8	5.1	3.7	- 2.4	- 0.3	- 7.7	- 2.2	2.9	- 1.4	0.8	3.8	3.3	0.8	- 1.2	0.1	4.1
テレワークできる会社・職種に転職したい	13.6	- 1.8	3.1	- 5.3	5.0	1.6	- 1.9	- 1.8	- 2.4	- 1.7	- 1.2	- 0.1	0.6	- 4.1	1.1	- 1.5	2.1	2.6	4.8
地方や郊外に移住したい	12.2	- 2.1	- 3.5	- 2.5	- 0.3	- 4.2	1.4	- 1.5	- 4.6	- 4.9	- 2.1	- 1.9	4.2	5.3	0.0	4.5	4.9	5.8	3.2
職場における部下のマネジメントを簡素化したい/ 負担を減らしたい※	8.0	- 4.9	- 2.5	- 1.2	0.5	- 1.5	- 3.1	- 1.1	- 0.8	1.6	2.3	5.9	7.6	- 0.5	0.6	1.3	- 1.2	- 1.2	- 4.2

(pt)

※「職場における部下のマネジメントを簡素化したい/負担を減らしたい」は部下あり管理職のみ回答、()内は回答者数 ※得点の高低で色付け (高得点:赤、低得点:グレー)

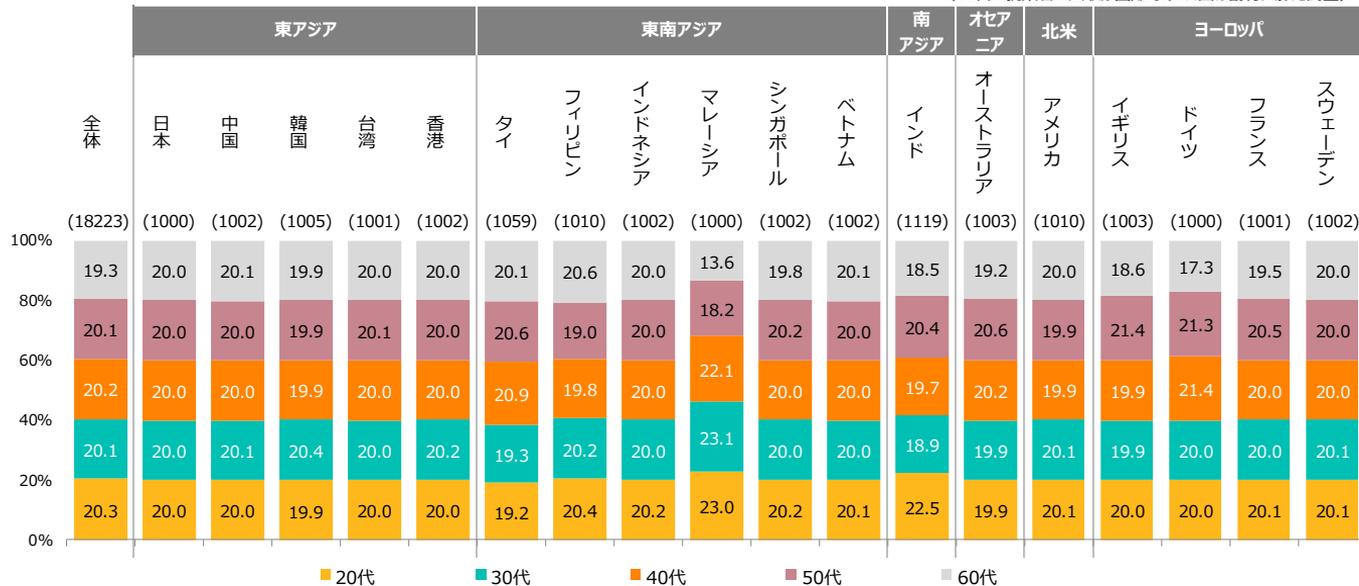
※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

Ⅷ.回答者の基本属性

1.年齢

Q. あなたの年齢をお答えください。

(60代の就業者の回収が困難であった国は割付人数を調整)



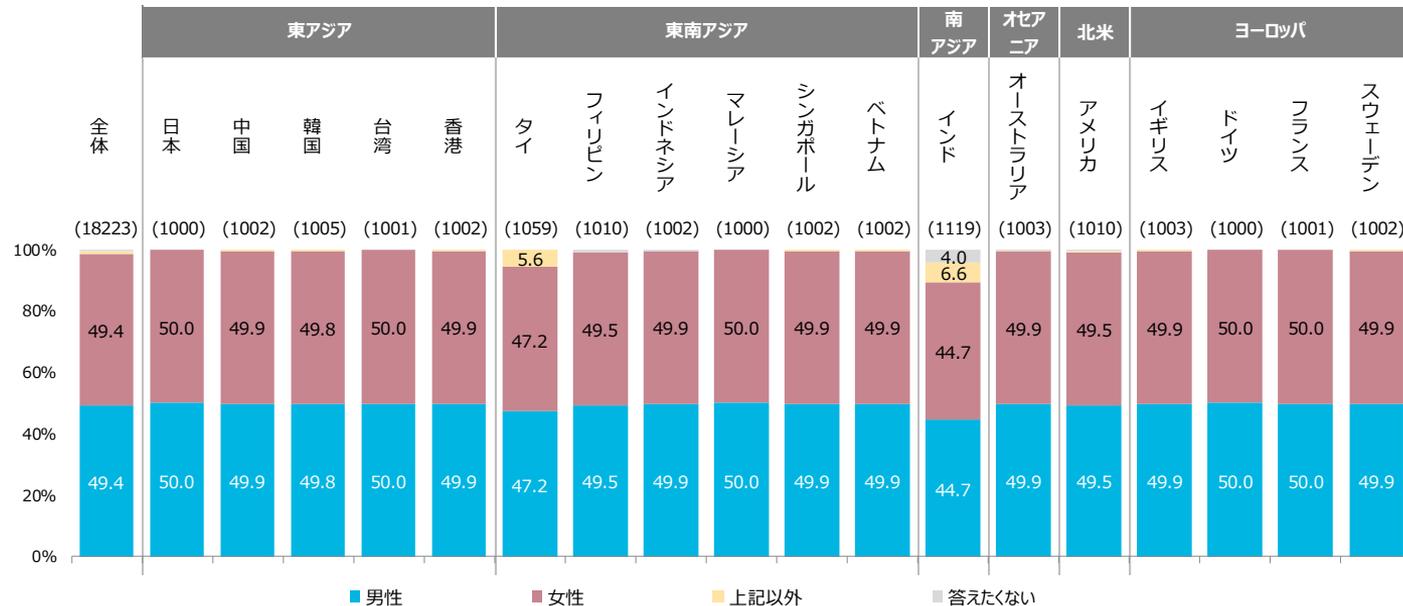
	日本	中国	韓国	台湾	香港	タイ	フィリピン	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ベトナム	インド	オーストラリア	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン
20代	(3702)	(200)	(200)	(200)	(200)	(203)	(206)	(202)	(230)	(202)	(201)	(252)	(200)	(203)	(201)	(200)	(201)	(201)
30代	(3662)	(200)	(201)	(205)	(200)	(204)	(204)	(200)	(231)	(200)	(200)	(211)	(200)	(203)	(200)	(200)	(200)	(201)
40代	(3681)	(200)	(200)	(200)	(200)	(221)	(200)	(200)	(221)	(200)	(200)	(221)	(203)	(201)	(200)	(214)	(200)	(200)
50代	(3664)	(200)	(200)	(200)	(201)	(218)	(192)	(200)	(182)	(202)	(200)	(228)	(207)	(201)	(215)	(213)	(205)	(200)
60代	(3514)	(200)	(201)	(200)	(200)	(213)	(208)	(200)	(136)	(198)	(201)	(207)	(193)	(202)	(187)	(173)	(195)	(200)
50代以上計	(7178)	(400)	(401)	(400)	(401)	(431)	(400)	(400)	(318)	(400)	(401)	(435)	(400)	(403)	(402)	(386)	(400)	(400)

※()内は回答者数

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

2.性別

Q. あなたの性別をお知らせください。



男性	(9000)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)
女性	(9000)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)
上記以外	(159)	(0)	(2)	(5)	(0)	(1)	(59)	(3)	(0)	(0)	(2)	(2)	(74)	(1)	(6)	(2)	(0)	(1)
答えない	(64)	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)	(0)	(7)	(2)	(0)	(0)	(0)	(45)	(2)	(4)	(1)	(0)	(0)

※()内は回答者数

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

最終学歴と
家族構成

最終学歴

- 「大卒」以上が全体平均で6割超と高学歴。中でもインドは大学院卒以上が44.1%と18カ国・地域の中で最も高く、大卒39.8%とを合わせて8割を超える。
- ドイツは大卒以上の割合が比較的低く、「教育制度の専門技術／職業学校／大専／短大」が約3割。

未婚・既婚

- 日本以外は、既婚の割合が高く、中国、インドネシア、ベトナム、インドは8割超。日本の既婚47.0%は18カ国・地域で最も低い。

同居家族

- 日本は「同居家族はいない」が3割。オーストラリア、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、スウェーデンも2割前後。

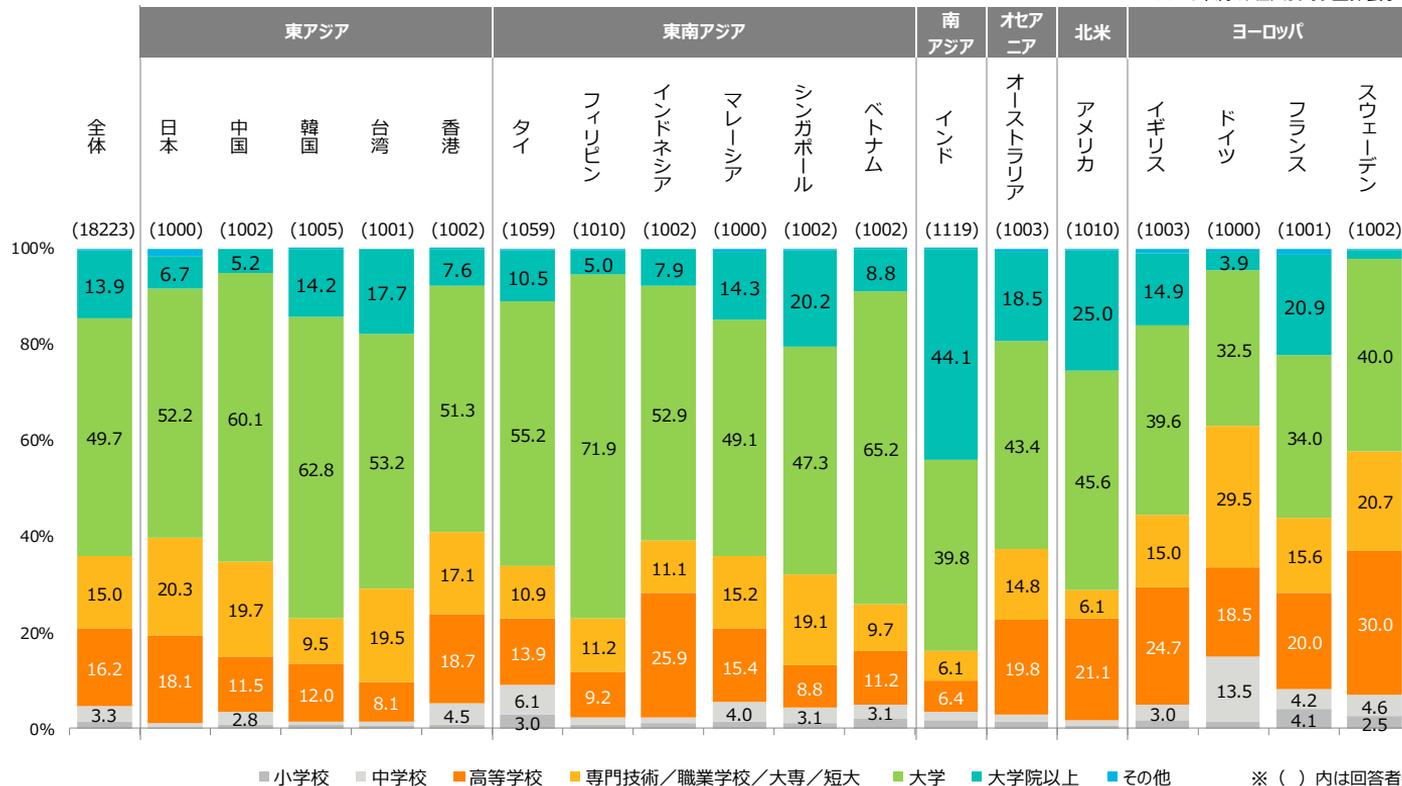
子供の有無

- 「子供はいない」の全体平均は3割。日本が最も高く6割。
- 子供のいる人では、子供の人数は1人か2人が多い中、フィリピン、インドネシア、マレーシアでは3人以上が2割前後。

3.最終学歴

Q. あなたの最終卒業校は次のどれですか。

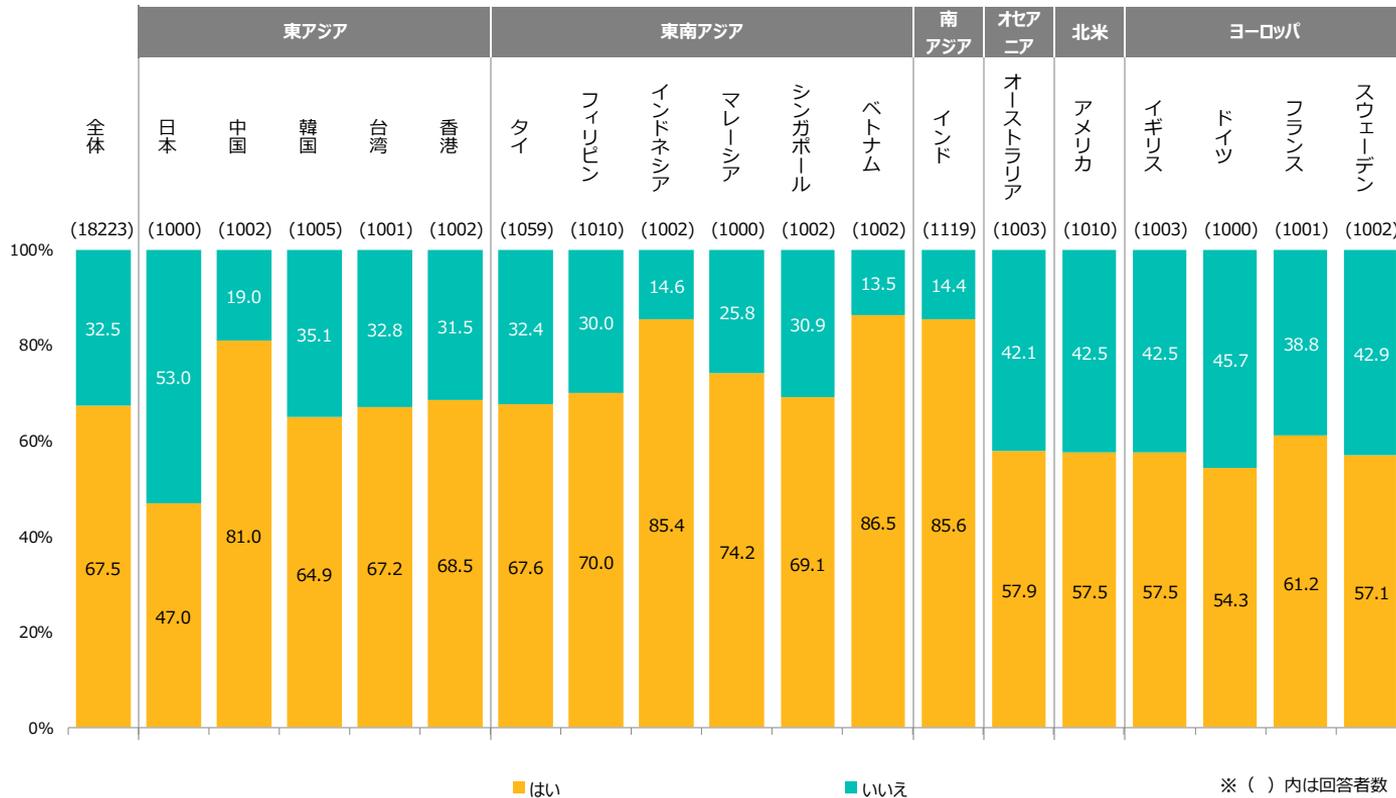
※2.0未満のスコアはグラフ上非表示



※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

4.未既婚

Q. あなたはご結婚されていますか。



※ () 内は回答者数

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ (ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス (ロンドン)、ドイツ (ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス (パリ)、スウェーデン (ストックホルム)

5.同居家族

Q. あなたが現在ご同居されているご家族を以下の中から全てお知らせください。(複数回答/選択肢9項目)

	東アジア					東南アジア						南アジア	オセアニア	北米	ヨーロッパ				
	日本	中国	韓国	台湾	香港	タイ	フィリピン	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ベトナム	インド	オーストラリア	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン	
全体	(18223)	(1000)	(1002)	(1005)	(1001)	(1002)	(1059)	(1010)	(1002)	(1000)	(1002)	(1002)	(1119)	(1003)	(1010)	(1003)	(1000)	(1001)	(1002)
配偶者	61.6	44.1	78.9	61.0	64.2	64.4	59.9	61.1	80.0	66.0	65.2	76.4	72.5	53.4	51.8	51.5	49.9	55.0	51.9
親	27.2	19.7	25.9	26.4	37.6	31.1	38.9	36.4	24.8	31.8	31.7	43.7	52.5	14.1	17.1	22.5	11.4	10.8	10.2
兄弟・姉妹	15.1	6.1	7.3	14.4	18.4	14.8	26.4	30.3	18.0	21.7	20.1	22.4	19.7	9.2	10.0	11.0	5.8	8.0	7.8
子ども	53.5	31.3	63.0	51.3	49.3	41.6	51.3	67.1	74.2	60.6	50.8	76.1	69.3	46.3	49.5	49.7	38.7	48.2	42.6
孫	4.7	0.4	8.5	0.7	5.0	0.9	13.9	8.0	7.8	3.3	1.6	6.5	11.3	1.7	2.4	3.5	0.8	3.5	2.8
祖父・祖母	2.2	0.6	0.2	0.3	1.4	1.1	4.0	3.1	1.3	1.6	2.0	2.3	11.6	0.6	1.7	1.7	1.5	1.7	2.2
義父・義母	2.5	0.8	0.7	0.3	2.6	1.3	4.5	3.9	2.7	2.9	1.4	5.1	11.3	1.0	1.7	1.5	0.4	0.8	0.7
その他	3.6	2.6	0.0	0.8	2.9	3.4	2.7	7.7	4.1	2.3	2.8	0.9	1.2	4.5	4.6	4.5	5.8	5.4	8.4
同居家族はいない	11.9	32.0	1.7	12.9	7.6	5.9	5.9	2.6	2.0	5.8	5.4	1.7	0.9	21.5	19.8	20.5	28.5	19.4	21.9

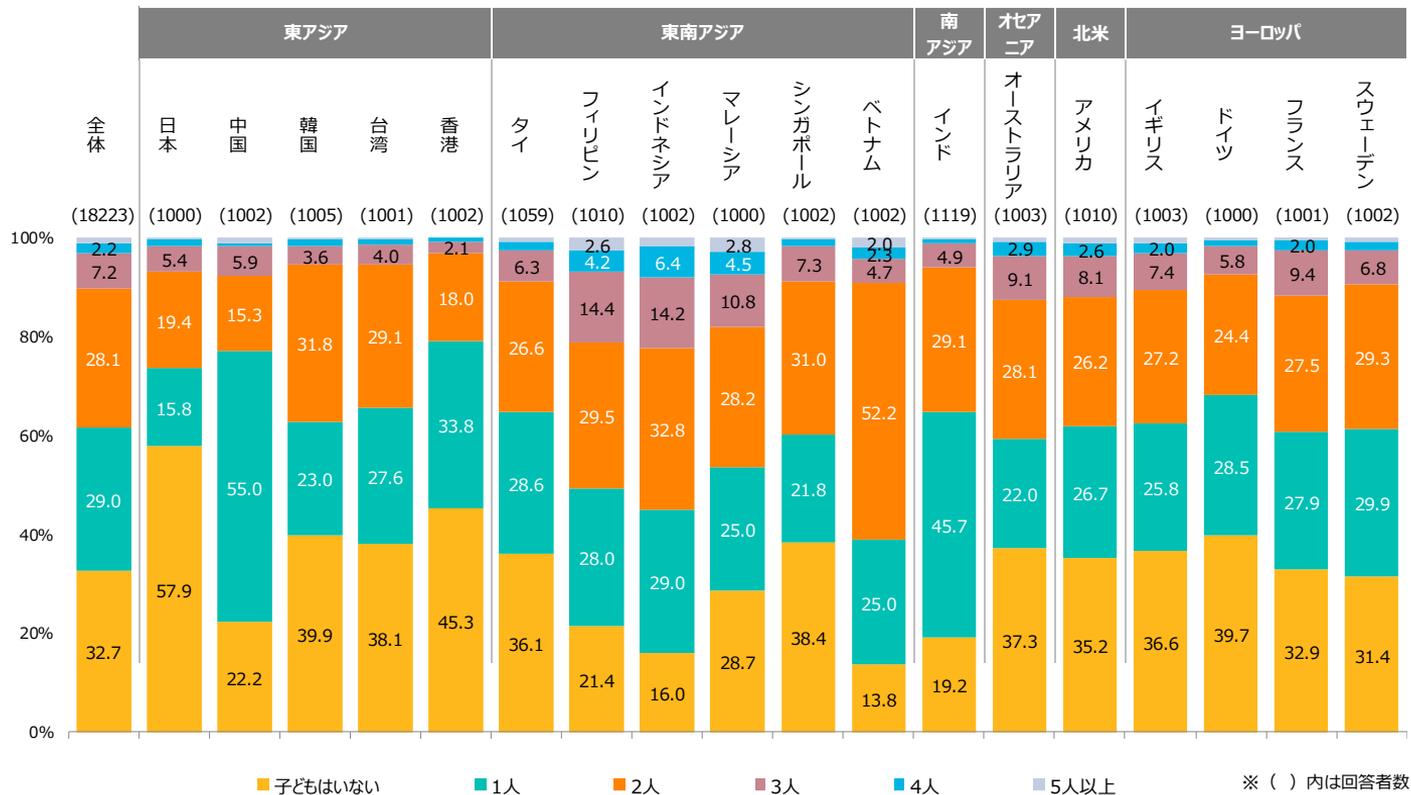
※()内は回答者数

※得点の高低で色付け (高得点: 赤、低得点: グレー)

※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

6. 子供有無

Q. お子さんはいらっしゃいますか。



※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

就業形態と
勤務先属性

正社員比率は全体平均で66.0%。台湾、香港、シンガポール、インド、スウェーデンは8割近い。

- タイ、インドネシア、フィリピンは、正社員が5割前後とやや低く、自営業と自由業で約3割。日本、オーストラリア、アメリカ、イギリス、ドイツは、パート・アルバイト(学生以外)の割合が約1割。

勤務先業種は、全般に製造業が多い。インドは情報通信業が多い。

- 卸売業・小売業も全般的に多い業種。インドでは情報通信業が25.4%。

就業職種は、全般には事務職、間接部門が多いが、各職種に分散。

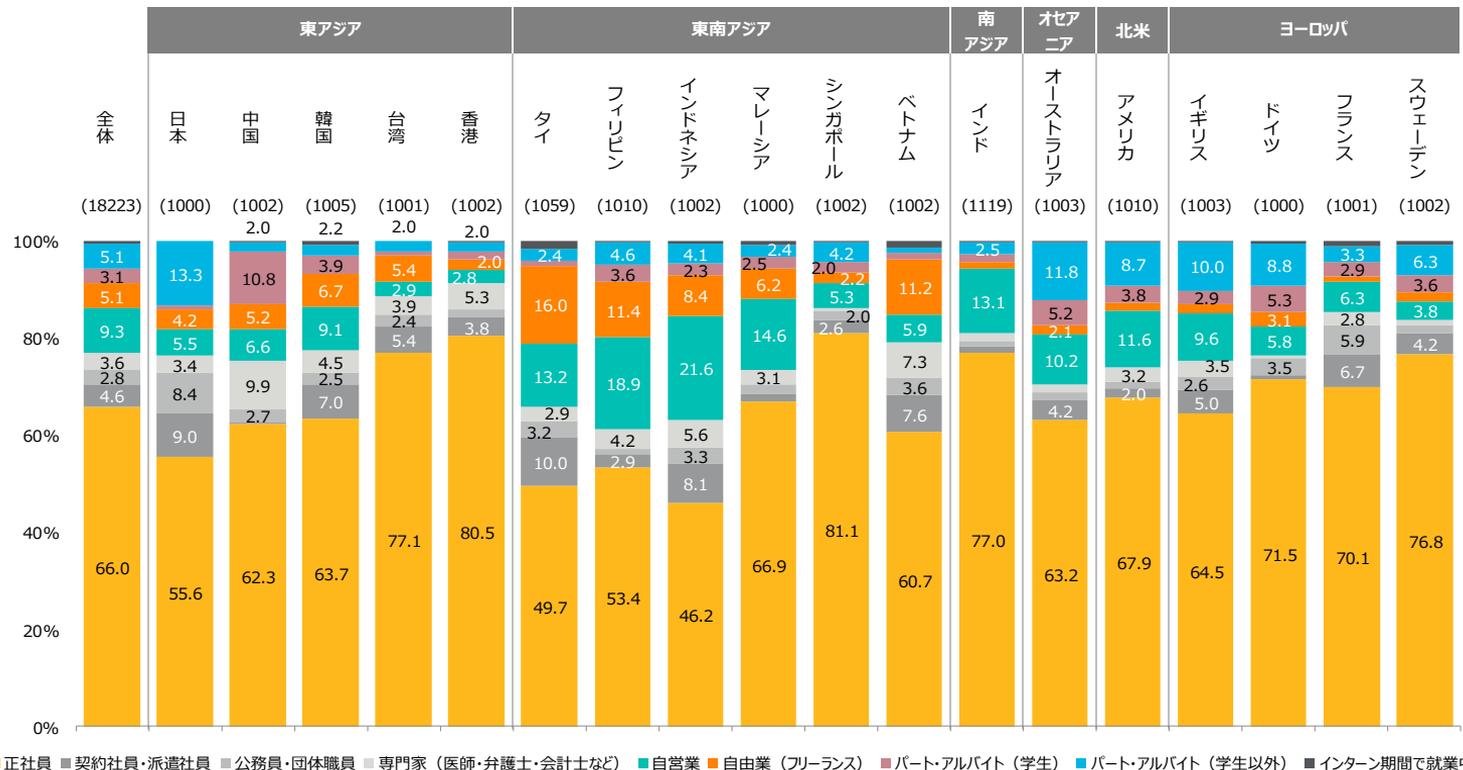
- 韓国、香港、ベトナムは事務職が3割以上。インドネシア、中国、台湾、インドでは間接部門が約2割。日本は事務職と専門・技術職が各2割。営業職と専門・技術職の割合は他国・地域に比べて高い。

勤務先企業は自国企業の割合が高く、特に日本、中国、韓国では9割。

- 「自国企業」の割合は、全ての国・地域で最も高い。インド、シンガポール、フィリピンはアメリカ企業勤務の割合が1割強と高い。ベトナムでは日本企業が1割。イギリス、ドイツ、スウェーデンではEU企業の割合が1割以上。

7. 就業形態

Q. あなたの職業をお知らせください。



※ () 内は回答者数

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

8.現在の勤務先業種

Q. あなたの勤務先の業種をお知らせください。

10-15%未満

15%以上

	全体 (18223)	東アジア					東南アジア						南 アジア	オセア ニア	北米	ヨーロッパ				(%)
		日本 (1000)	中国 (1002)	韓国 (1005)	台湾 (1001)	香港 (1002)	タイ (1059)	フィリピン (1010)	インドネシア (1002)	マレーシア (1000)	シンガポール (1002)	ベトナム (1002)	インド (1119)	オーストラリア (1003)	アメリカ (1010)	イギリス (1003)	ドイツ (1000)	フランス (1001)	スウェーデン (1002)	
農業、林業	2.2	0.1	2.0	0.4	2.0	0.4	2.2	2.6	5.0	3.4	0.9	8.1	3.1	1.7	1.0	1.9	1.5	0.4	3.2	
漁業	0.5	0.0	0.7	0.0	0.7	0.3	0.8	0.4	0.5	0.5	0.2	1.4	0.9	0.1	0.2	0.0	0.6	0.4	0.8	
鉱業、採石業、砂利採取業	0.6	0.0	2.4	0.2	0.8	0.2	1.1	0.3	1.5	0.6	0.6	0.4	0.4	0.7	0.3	0.4	0.3	0.5	0.7	
建設業	6.0	4.5	5.6	5.2	9.5	6.8	6.3	6.3	5.8	7.0	8.1	8.7	2.2	6.9	5.6	5.4	5.1	4.7	5.6	
製造業	12.1	15.0	22.4	12.5	23.2	11.2	15.1	7.5	12.2	16.5	14.3	14.2	14.0	4.9	5.3	6.3	8.4	3.8	10.6	
電気・ガス・熱供給・水道業	1.6	1.7	2.5	1.2	1.2	1.5	2.3	1.3	1.6	1.8	0.3	1.7	0.9	0.9	0.7	1.4	1.3	2.2	4.0	
情報通信業	7.6	6.3	2.8	12.0	6.3	6.8	2.4	4.4	4.4	6.0	7.9	10.6	25.4	6.4	7.4	6.5	5.9	7.3	6.3	
運輸業、郵便業	3.4	4.7	2.1	1.7	4.2	5.8	1.6	2.5	3.0	3.0	3.5	3.2	1.3	3.4	2.1	3.7	5.2	4.9	5.5	
卸売業、小売業	10.4	10.8	9.4	10.3	9.0	12.6	12.7	11.8	15.4	9.2	8.3	11.9	5.8	11.4	11.1	8.6	10.9	7.4	10.6	
金融業、保険業	6.8	6.1	5.1	4.7	6.6	10.4	3.1	4.0	5.5	5.7	9.1	5.3	8.1	7.1	8.2	8.6	8.7	11.4	5.0	
不動産業、物品賃貸業	2.2	3.5	1.6	2.3	1.1	2.4	2.1	2.8	1.7	1.6	1.4	3.4	1.3	2.3	3.2	2.3	1.1	3.6	1.8	
学術研究、専門・技術サービス業(法律、税理士、測量など)	3.0	2.4	5.5	3.7	3.8	3.2	0.8	2.1	2.0	3.7	4.0	2.9	2.5	4.2	1.7	4.6	3.6	2.4	1.9	
宿泊業、飲食サービス業	4.0	3.4	10.7	4.6	2.6	3.8	4.4	3.1	5.0	6.2	2.3	2.2	1.3	3.8	1.9	4.7	3.8	4.8	4.0	
生活関連サービス業、娯楽業	1.7	2.1	3.3	3.0	1.9	1.8	1.9	1.3	1.7	1.1	0.8	1.8	0.4	1.3	1.6	1.8	1.7	1.4	1.5	
教育、学習支援業	7.9	5.8	4.9	10.7	6.0	10.1	4.8	8.6	8.9	8.8	9.0	5.8	12.3	8.7	7.6	11.1	5.2	5.5	7.4	
医療、福祉	5.6	11.5	2.6	6.1	5.8	5.1	2.9	3.3	3.0	3.2	4.2	3.6	2.8	8.4	7.4	5.3	6.7	8.4	11.8	
郵便局、協同組合など	0.4	0.4	0.5	0.2	0.6	0.2	0.4	0.4	0.0	0.3	0.1	0.0	0.2	0.3	0.3	0.6	0.8	1.5	0.9	
市場調査、コンサルティング	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
広告代理店、出版、新聞、イベントなどのマスコミ関連業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
サービス業(その他)	7.2	8.9	3.3	9.1	5.8	4.8	8.0	10.7	5.5	6.3	9.3	3.0	3.2	10.3	9.7	8.3	7.9	9.9	6.3	
国家公務、地方公務	3.4	5.6	1.4	3.1	3.1	1.7	3.3	3.9	3.3	1.9	3.3	1.6	1.4	4.4	2.5	5.2	4.6	8.2	3.3	
その他	13.4	7.2	11.4	9.1	5.9	11.1	23.8	23.0	14.2	13.2	12.6	10.4	12.3	13.1	22.2	13.6	16.7	11.4	9.0	

※()内は回答者数

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(マニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

9.現在の就業職種

Q. 以下の中から、あなたの現在の職種に最も近いものをお知らせください。

20-30%未満

30%以上

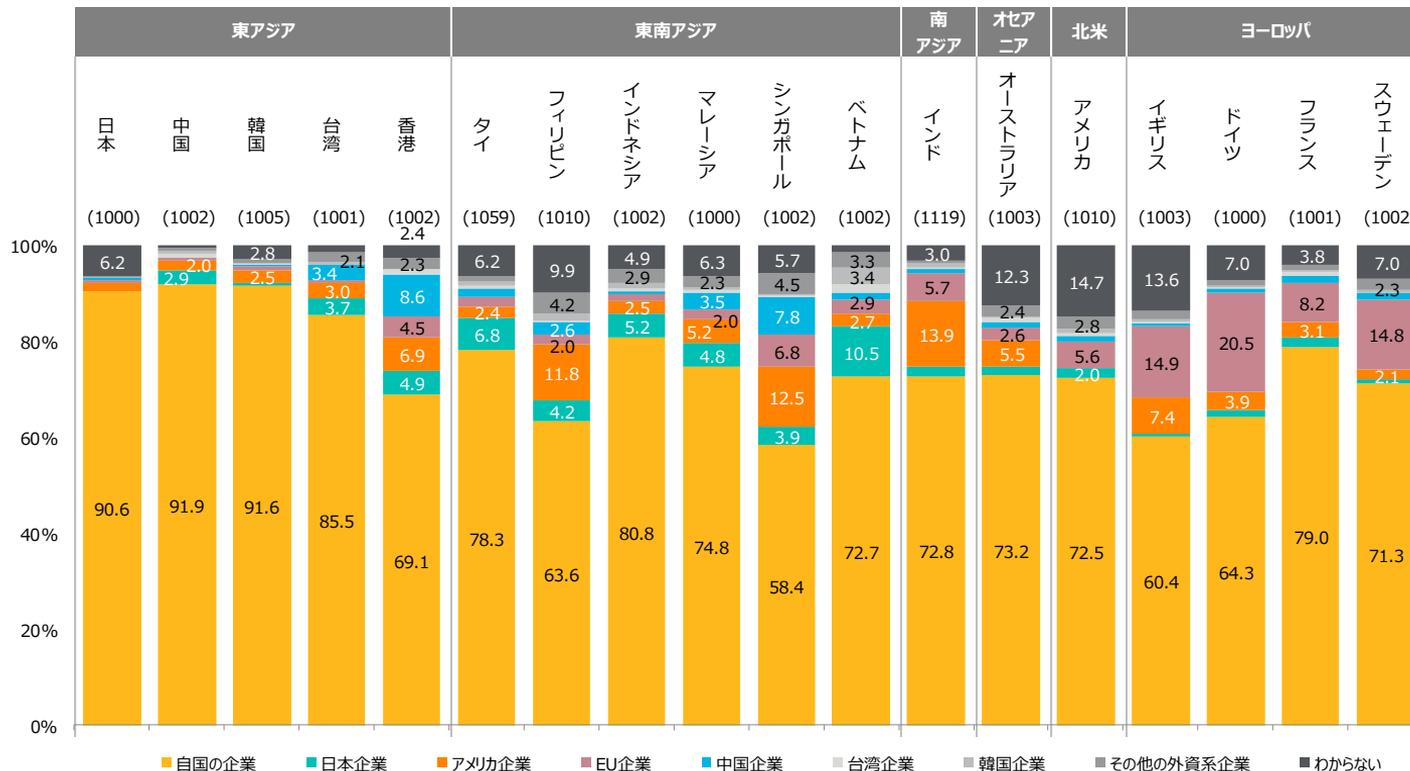
	全体 (18223)	東アジア					東南アジア						南 アジア	オセア ニア	北米	ヨーロッパ			
		日本 (1000)	中国 (1002)	韓国 (1005)	台湾 (1001)	香港 (1002)	タイ (1059)	フィリピン (1010)	インドネシア (1002)	マレーシア (1000)	シンガポール (1002)	ベトナム (1002)	インド (1119)	オーストラリア (1003)	アメリカ (1010)	イギリス (1003)	ドイツ (1000)	フランス (1001)	スウェーデン (1002)
間接部門(人事、総務、経理など)	14.3	9.4	19.5	16.8	19.9	15.2	12.3	11.1	20.1	16.2	17.5	9.7	18.2	9.2	10.1	10.4	10.5	14.7	16.5
事務職(一般事務・受付・秘書など)	17.1	19.9	13.7	34.5	13.3	30.9	13.5	13.6	7.5	11.3	11.2	31.4	6.7	14.6	11.5	15.4	24.3	20.0	15.3
営業職	7.0	14.1	5.1	3.4	6.9	3.1	7.3	10.2	8.7	9.3	8.2	10.2	5.1	6.3	7.5	4.8	6.5	4.9	5.1
販売職(販売店員、レジなど)	7.6	3.8	8.0	3.9	7.4	5.1	9.2	7.8	6.9	5.8	2.4	7.3	15.8	7.3	9.6	8.9	7.9	8.8	9.4
サービス職(顧客サービス、理美容師、調理師、接客業など)	9.0	8.9	13.3	10.0	8.8	7.5	8.8	9.2	7.4	8.1	7.0	4.1	8.2	12.1	11.9	11.3	8.8	6.4	10.6
生産工程・管理・製造(生産工程作業員など)	9.2	5.8	9.8	3.3	16.4	5.7	16.1	9.4	10.6	11.6	10.5	10.2	11.2	8.1	9.0	6.6	6.7	5.6	8.1
配送・物流・運輸職	4.2	4.5	3.8	2.4	3.7	4.2	5.1	5.0	4.0	4.8	3.8	2.5	1.9	4.3	2.2	4.6	7.5	4.6	7.5
情報処理・通信技術職	7.1	4.9	7.2	5.0	5.1	7.1	5.7	5.0	6.5	6.0	11.3	4.5	14.3	7.1	8.9	9.1	6.3	8.2	5.0
商品開発・研究職	3.0	2.2	2.6	4.3	4.5	3.0	1.6	1.9	3.1	3.3	5.6	2.6	3.7	2.5	1.9	3.3	2.5	3.9	1.9
専門・技術職(弁護士、建築土木系技術者、医療・福祉など)	10.7	19.5	14.4	10.3	10.8	14.4	6.5	9.1	8.5	13.7	11.7	12.5	7.4	12.1	8.7	8.3	7.2	10.3	7.8
農林水産職	1.2	0.1	0.8	0.3	1.1	0.1	1.6	2.1	2.3	2.3	0.4	1.8	1.3	1.3	0.6	0.6	0.8	0.8	2.6
その他	9.7	6.9	2.0	5.8	2.2	3.8	12.4	15.5	14.6	7.6	10.6	3.3	6.3	15.4	18.1	16.9	11.0	11.9	10.4

※()内は回答者数

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

10.現在の勤務先の資本

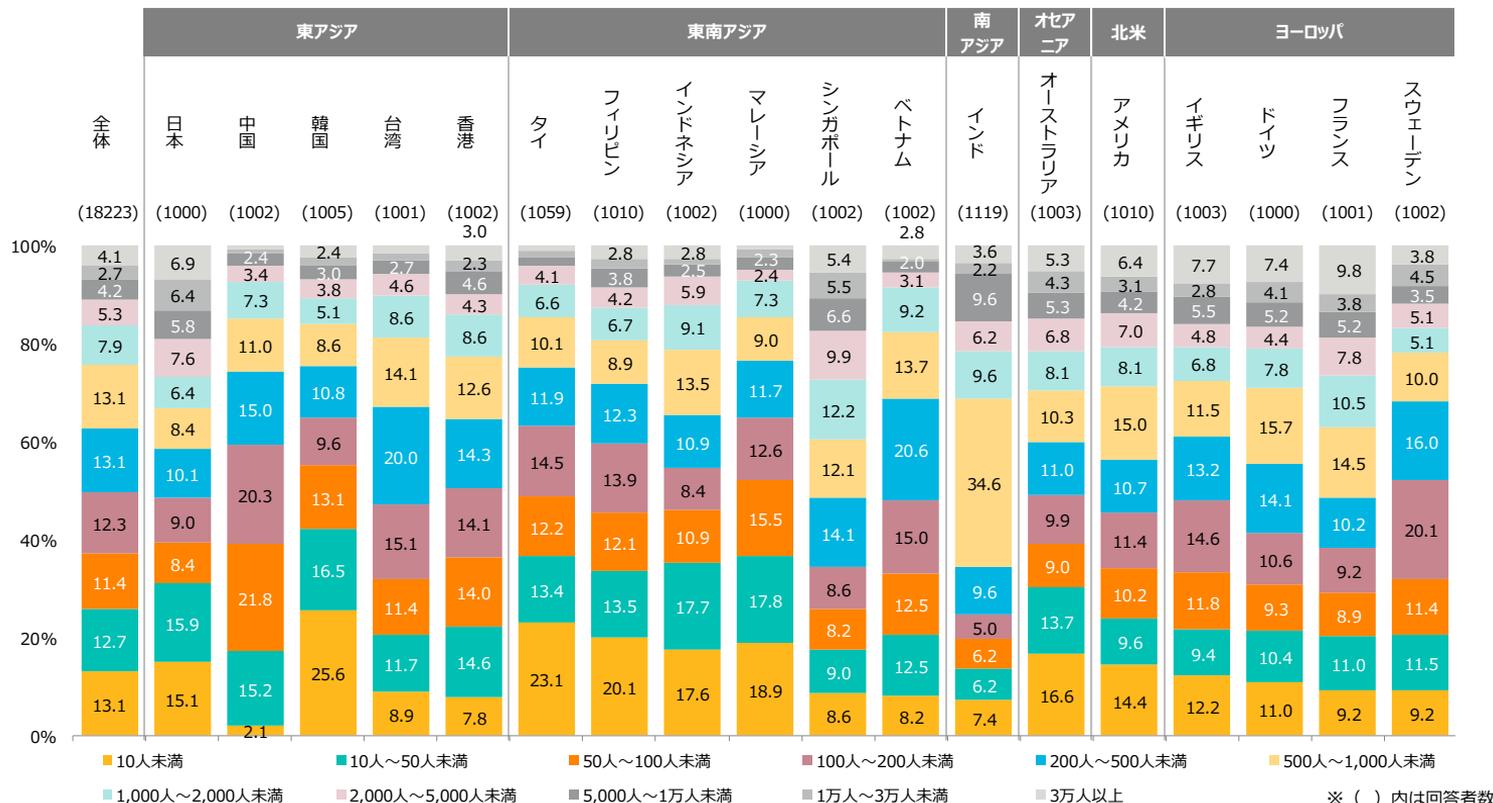
Q. 勤務先の資本（自国企業／外資系企業）はどちらですか。



※対象地域 【東アジア】 日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

11.現在の勤務先従業員規模

Q. 勤務先の全従業員数（パート・アルバイト、契約社員など含む全社）をお知らせください。



※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

現在の職位

回答者に占める管理職の割合は全体平均4割。マレーシア、シンガポール、ベトナム、インドでは5割を超える。一方、日本とスウェーデンは2割未満。

- 国や企業によって管理職とする基準や組織体制が様々であるためか、自営・自由業が多いインドや東南アジア※¹では管理職以上が多い傾向。なお、インドは一般社員・従業員はわずか1割で、管理職や取締役以上がほとんどを占めているが、これは本調査の回答者が大卒4割・大学院卒以上4割超といったエリート層に偏っていることも影響していると考えられる。

東アジア、フィリピン、シンガポール、オーストラリア、アメリカ、ヨーロッパでは、男性管理職の割合が女性よりも高い傾向。

- 管理職の男女差の全体平均は4.4pt。東アジア※²、フィリピン、シンガポール、オーストラリア、アメリカ、ヨーロッパ※³では、男性の管理職の割合が女性よりも高い傾向。一方、タイ、インドネシア、マレーシア、ベトナムの男女差は全体平均よりも低い。
- インドでは女性管理職の割合が男性よりも7.9pt高く、取締役相当以上の役職でも男女差はない。

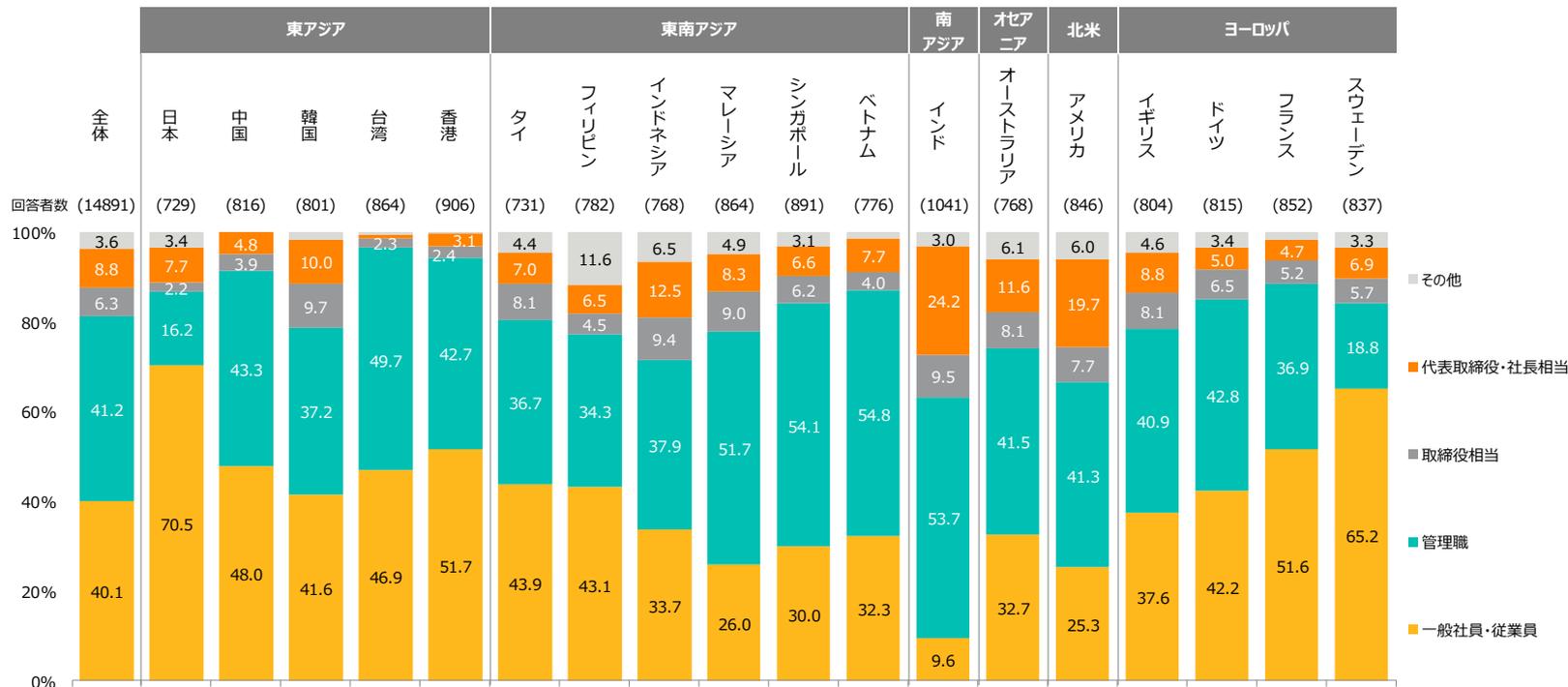
日本とフランスは部下なし管理職が1割超。

- 部下の人数は「6～10人」が最多となる国・地域が多く、全体平均で22.1%。
一方、日本とフランスでは「部下人数ゼロ」の管理職が1割超。

※¹東南アジア=タイ・フィリピン・インドネシア・マレーシア・シンガポール・ベトナム、 ※²東アジア=日本・中国・韓国・台湾・香港、 ※³ヨーロッパ=イギリス・ドイツ・フランス・スウェーデン

12. 現在の職位

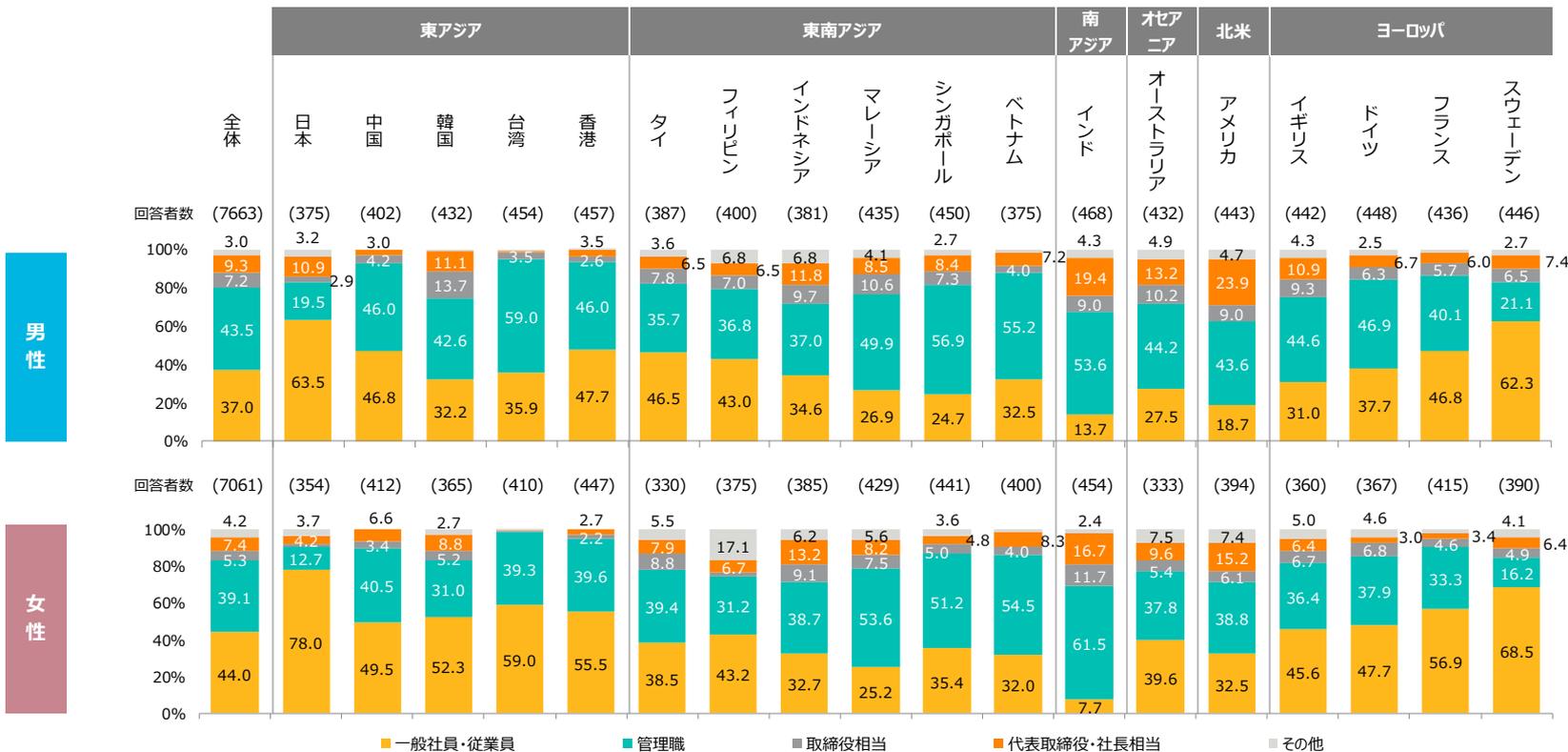
Q. あなたの職位をお知らせください。(最も近いもの)



※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

12. 現在の職位(男女別)

Q. あなたの職位をお知らせください。(最も近いもの)

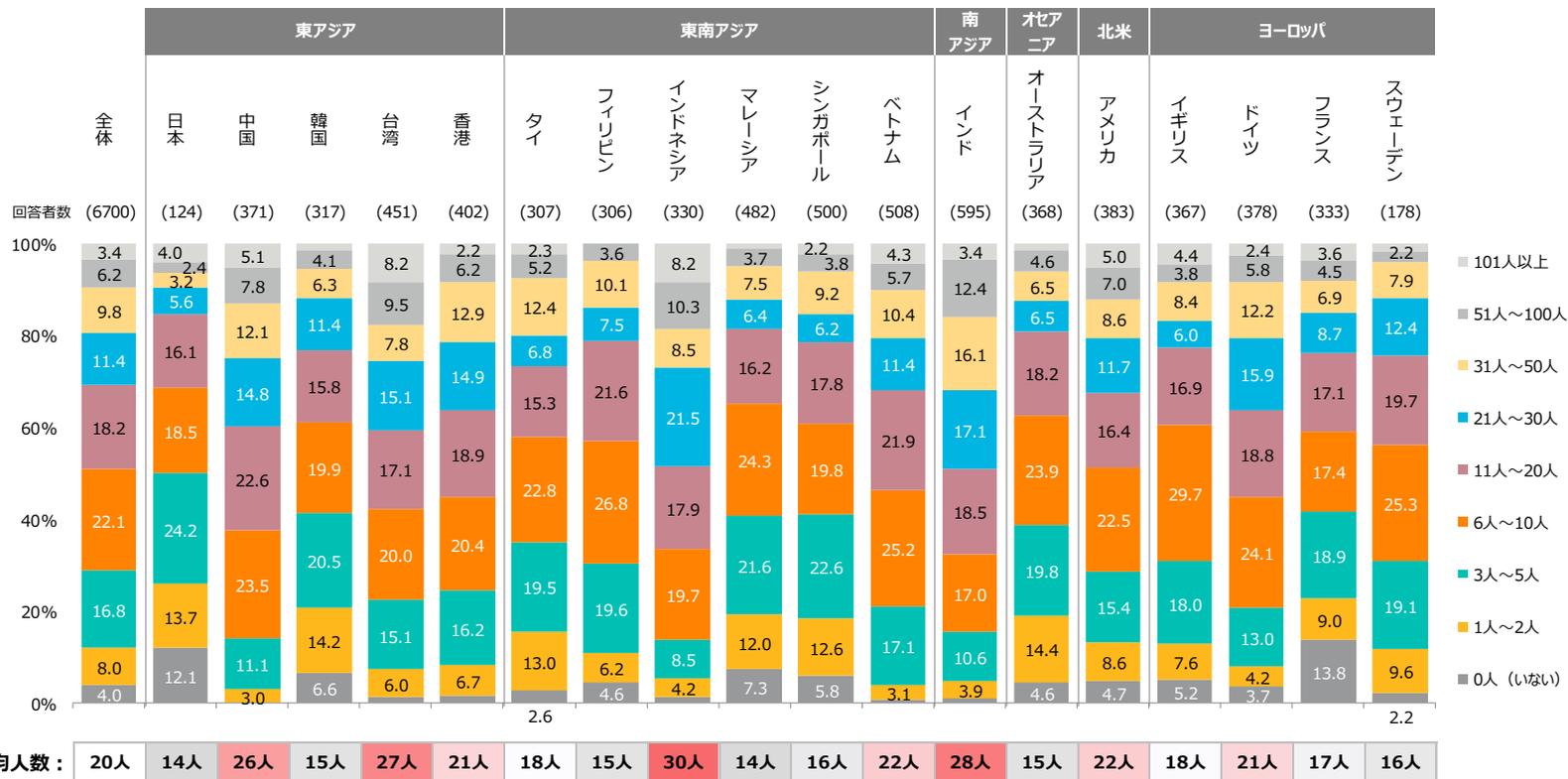


管理職比率男女差(pt) (男性-女性)	4.4	6.8	5.5	11.6	19.7	6.4	-3.7	5.6	-1.7	-3.7	5.7	0.7	-7.9	6.4	4.8	8.2	9.0	6.8	4.9
-------------------------	-----	-----	-----	------	------	-----	------	-----	------	------	-----	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

13. 部下の人数

Q. あなたが管理している部下の人数をお知らせください。



※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ) 【南アジア】 インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

現在の年収

**平均年収が最も高いのはアメリカ、次いでシンガポール、オーストラリア。
日本は18ヶ国・地域の中で9位と中位レベルで、韓国と近い水準。**

- USD換算した年収の全体平均は40,055USD。
最も高いアメリカは81,191USD。次いで、シンガポール65,963USD、オーストラリア60,050USD。
本調査は主要都市を調査対象としているため、各国・地域の全国的な平均年収よりも高い傾向。
- 日本の年収は45,468USDで18ヶ国・地域の中で9位。東アジア（日本、中国、韓国、台湾、香港）では、香港、韓国が日本を上回り、東アジアの中でも日本は中位レベル。
日本は年収3万USD台が最多で2割、2万USD未満も2割。
- 東南アジア（タイ・フィリピン・インドネシア・マレーシア・シンガポール・ベトナム）は、シンガポールを除いて平均年収は低い傾向。タイ、フィリピンでは年収2万USD未満が約9割。フィリピンでは5,000USD未満が半数を占める。
- 男女で比較（男性-女性）すると、男女差の全体平均は7,578USD。
アメリカとオーストラリアでは男性の方が2万USD以上高い。男女差が小さいのはフィリピンとタイで2,000USD未満。日本は3,475USDで18ヶ国・地域の中で12位。男女差が大きくなる要因には、正社員比率、勤務先業種や職種などの影響が考えられる。
一方、女性の年収が男性よりも高いのは中国、インドネシア、インド。インドネシアやインドでは女性管理職が男性よりも多いことなどが影響していると考えられる。
- 2022年1月4日時点のレートを用いて各国現地通貨からUSDへ換算して、収入を聴取。
※現地通貨はP.189-191を参照。

14. 現在の年収

Q. あなたの個人年収をお知らせください。

※2022年1月4日時点のレートで各国現地通貨よりUSDへ換算（月収聴取の国は現地通貨年収へ換算（月収×12）後、USDへ換算

	全体平均 (USD)	回答者数*	男性平均 (USD)	回答者数	女性平均 (USD)	回答者数	男女差平均 (USD) (男性-女性)		男女差平均 (USD) (男性-女性)
全体	40,055	(18223)	44,164	(9000)	36,586	(9000)	7,578	全体	7,578
1位 アメリカ	81,191	(1010)	92,385	(500)	70,095	(500)	22,290	1位 オーストラリア	22,780
2位 シンガポール	65,963	(1002)	72,160	(500)	59,995	(500)	12,165	2位 アメリカ	22,290
3位 オーストラリア	60,050	(1003)	71,440	(500)	48,660	(500)	22,780	3位 台湾	16,715
4位 フランス	50,537	(1001)	53,505	(500)	47,320	(500)	6,185	4位 イギリス	16,605
5位 香港	50,277	(1002)	54,655	(500)	45,980	(500)	8,675	5位 韓国	16,395
6位 イギリス	49,155	(1003)	57,500	(500)	40,895	(500)	16,605	6位 ドイツ	13,110
7位 ドイツ	47,565	(1000)	54,120	(500)	41,010	(500)	13,110	7位 シンガポール	12,165
8位 韓国	46,818	(1005)	55,035	(500)	38,640	(500)	16,395	8位 スウェーデン	8,785
9位 日本	45,468	(1000)	47,205	(500)	43,730	(500)	3,475	9位 香港	8,675
10位 スウェーデン	40,000	(1002)	44,430	(500)	35,645	(500)	8,785	10位 フランス	6,185
11位 台湾	37,920	(1001)	46,300	(500)	29,585	(500)	16,715	11位 ベトナム	4,925
12位 中国	33,303	(1002)	29,500	(500)	36,780	(500)	-7,280	12位 日本	3,475
13位 インドネシア	26,964	(1002)	22,445	(500)	31,570	(500)	-9,125	13位 マレーシア	3,225
14位 インド	25,887	(1119)	25,030	(500)	30,730	(500)	-5,700	14位 タイ	1,785
15位 マレーシア	19,478	(1000)	21,090	(500)	17,865	(500)	3,225	15位 フィリピン	1,390
16位 ベトナム	19,364	(1002)	21,855	(500)	16,930	(500)	4,925	16位 インド	-5,700
17位 タイ	13,713	(1059)	15,210	(500)	13,425	(500)	1,785	17位 中国	-7,280
18位 フィリピン	10,334	(1010)	11,090	(500)	9,700	(500)	1,390	18位 インドネシア	-9,125

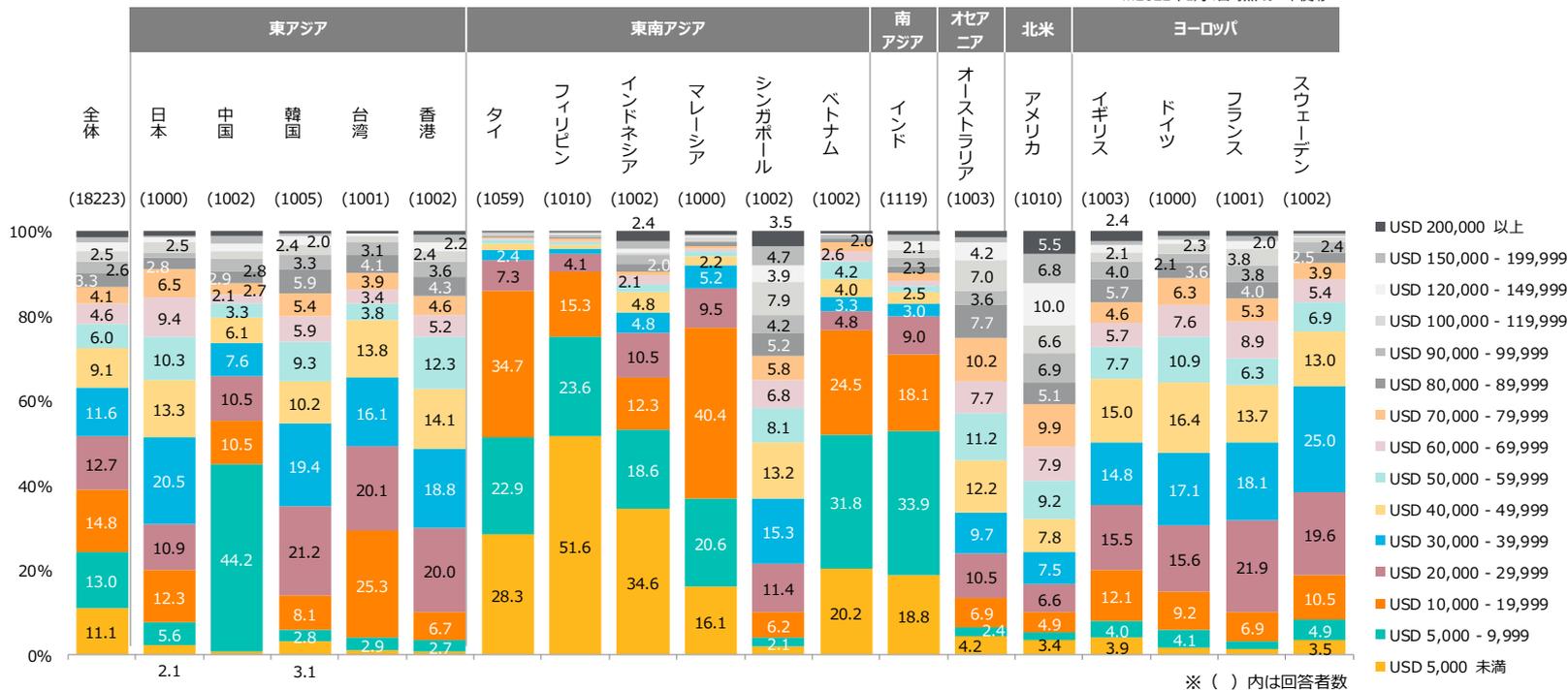
*全体の回答者数には、性別「男女以外」「答えたくない」との回答者を含む。詳細はP.170 参照

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】 オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】 アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】 イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

14. 現在の年収

Q. あなたの個人年収をお知らせください。

※2022年1月4日時点のレート使用



※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】タイ(グレーターバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレータージャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

14.現在の収入（現地通貨）

Q. あなたの個人収入をお知らせください。

※日本、オーストラリア、アメリカは「年収」、その他の国・地域は「月収」で聴取

東アジア									
日本（1000）		中国（1002）		韓国（1005）		台湾（1001）		香港（1002）	
年収	%	月収	%	月収	%	月収	%	月収	%
60万円未満	2.1	CNY 1,000 未満	0.0	KRW 500,000 未満	3.1	TWD 11,600 未満	1.0	HKD 3,300 未満	0.6
60万 - 110万円未満	5.6	CNY 1,000 - 2,699	0.7	KRW 500,000 - 989,999	2.8	TWD 11,600 - 22,899	2.9	HKD 3,300 - 6,499	2.7
110万 - 230万円未満	12.3	CNY 2,700 - 4,799	10.5	KRW 990,000 - 1,989,999	8.1	TWD 22,900 - 46,099	25.3	HKD 6,500 - 12,999	6.7
230万 - 340万円未満	10.9	CNY 4,800 - 5,299	33.7	KRW 1,990,000 - 2,979,999	21.2	TWD 46,100 - 68,999	20.1	HKD 13,000 - 19,499	20.0
340万 - 460万円未満	20.5	CNY 5,300 - 10,699	10.5	KRW 2,980,000 - 3,979,999	19.4	TWD 69,000 - 91,899	16.1	HKD 19,500 - 25,999	18.8
460万 - 570万円未満	13.3	CNY 10,700 - 15,899	10.5	KRW 3,980,000 - 4,979,999	10.2	TWD 91,900 - 114,999	13.8	HKD 26,000 - 32,499	14.1
570万 - 690万円未満	10.3	CNY 15,900 - 21,199	7.6	KRW 4,980,000 - 5,969,999	9.3	TWD 115,000 - 137,999	3.8	HKD 32,500 - 38,999	12.3
690万 - 800万円未満	9.4	CNY 21,200 - 26,599	6.1	KRW 5,970,000 - 6,959,999	5.9	TWD 138,000 - 160,999	3.4	HKD 39,000 - 45,499	5.2
800万 - 920万円未満	6.5	CNY 26,600 - 31,899	3.3	KRW 6,960,000 - 7,959,999	5.4	TWD 161,000 - 183,999	3.9	HKD 45,500 - 51,999	4.6
920万 - 1,000万円未満	2.8	CNY 31,900 - 37,199	2.1	KRW 7,960,000 - 8,949,999	5.9	TWD 184,000 - 206,999	4.1	HKD 52,000 - 58,499	4.3
1,000万 - 1,100万円未満	1.2	CNY 37,200 - 42,599	2.7	KRW 8,950,000 - 9,949,999	3.3	TWD 207,000 - 229,999	3.1	HKD 58,500 - 64,999	3.6
1,100万 - 1,400万円未満	2.5	CNY 42,600 - 47,799	2.9	KRW 9,950,000 - 11,939,999	2.4	TWD 230,000 - 275,999	1.5	HKD 65,000 - 77,999	2.4
1,400万 - 1,700万円未満	1.2	CNY 47,800 - 53,099	2.8	KRW 11,940,000 - 14,919,999	2.0	TWD 276,000 - 344,999	0.7	HKD 78,000 - 96,999	2.2
1,700万 - 2,300万円未満	0.3	CNY 53,100 - 63,799	1.9	KRW 14,920,000 - 19,899,999	0.5	TWD 345,000 - 459,999	0.0	HKD 97,000 - 129,999	1.8
2,300万円以上	1.1	CNY 63,800 - 79,699	1.8	KRW 19,900,000 以上	0.7	TWD 460,000 以上	0.4	HKD 130,000 以上	0.9
-	-	CNY 79,700 - 106,299	1.7	-	-	-	-	-	-
-	-	CNY 106,300 以上	1.3	-	-	-	-	-	-
平均（万円）	519.3	平均（CNY）	18,038.2	平均（KRW）	4,657,134.3	平均（TWD）	87,210.6	平均（HKD）	32,670.9

※（ ）内は回答者数

14.現在の収入（現地通貨）

Q. あなたの個人収入をお知らせください。

※日本、オーストラリア、アメリカは「年収」、その他の国・地域は「月収」で聴取

東南アジア										南アジア			
タイ (1059)		フィリピン (1010)		インドネシア (1002)		マレーシア (1000)		シンガポール (1002)		ベトナム (1002)		インド (1119)	
月収	%	月収	%	月収	%	月収	%	月収	%	月収	%	月収	%
THB 5,900 未満	6.2	PHP 4,300 未満	9.4	IDR 3,500,000 未満	20.1	MYR 1,100 未満	4.6	SGD 600 未満	1.9	VND 6,400,000 未満	4.5	INR 21,000 未満	9.1
THB 5,900 - 13,899	22.1	PHP 4,300 - 6,499	20.6	IDR 3,500,000 - 5,999,999	14.6	MYR 1,100 - 1,799	11.5	SGD 600 - 1,099	2.1	VND 6,400,000 - 9,599,999	15.7	INR 21,000 - 30,999	9.7
THB 13,900 - 27,599	22.9	PHP 6,500 - 10,799	2.9	IDR 6,000,000 - 11,799,999	18.6	MYR 1,800 - 3,499	20.6	SGD 1,100 - 2,299	6.2	VND 9,600,000 - 18,999,999	31.8	INR 31,000 - 41,999	6.0
THB 27,600 - 55,499	34.7	PHP 10,800 - 16,299	7.5	IDR 11,800,000 - 23,799,999	12.3	MYR 3,500 - 6,999	40.4	SGD 2,300 - 3,399	11.4	VND 19,000,000 - 29,999,999	16.2	INR 42,000 - 51,999	17.7
THB 55,500 - 82,999	7.3	PHP 16,300 - 21,499	11.2	IDR 23,800,000 - 35,699,999	10.5	MYR 7,000 - 9,999	9.5	SGD 3,400 - 4,499	15.3	VND 30,000,000 - 38,199,999	8.3	INR 52,000 - 60,999	10.2
THB 83,000 - 110,599	2.4	PHP 21,500 - 42,499	23.6	IDR 35,700,000 - 47,499,999	4.8	MYR 10,000 - 13,999	5.2	SGD 4,500 - 5,699	13.2	VND 38,200,000 - 57,299,999	4.8	INR 61,000 - 122,999	18.1
THB 110,600 - 137,999	1.4	PHP 42,500 - 85,399	15.3	IDR 47,500,000 - 59,499,999	4.8	MYR 14,000 - 16,999	2.2	SGD 5,700 - 6,799	8.1	VND 57,300,000 - 76,299,999	3.3	INR 123,000 - 183,999	9.0
THB 138,000 - 165,999	0.9	PHP 85,400 - 127,999	4.1	IDR 59,500,000 - 71,399,999	1.8	MYR 17,000 - 20,999	1.2	SGD 6,800 - 7,899	6.8	VND 76,300,000 - 95,499,999	4.0	INR 184,000 - 244,999	3.0
THB 166,000 - 193,999	0.4	PHP 128,000 - 169,999	1.3	IDR 71,400,000 - 83,199,999	2.1	MYR 21,000 - 23,999	0.6	SGD 7,900 - 8,999	5.8	VND 95,500,000 - 114,499,999	4.2	INR 245,000 - 305,999	2.5
THB 194,000 - 220,999	0.4	PHP 170,000 - 212,999	1.0	IDR 83,200,000 - 95,199,999	0.9	MYR 24,000 - 27,999	0.6	SGD 9,000 - 10,199	5.2	VND 114,500,000 - 133,999,999	2.6	INR 306,000 - 367,999	1.6
THB 221,000 - 248,999	0.2	PHP 213,000 - 255,999	0.5	IDR 95,200,000 - 106,999,999	2.0	MYR 28,000 - 30,999	0.8	SGD 10,200 - 11,299	4.2	VND 134,000,000 - 152,999,999	2.0	INR 368,000 - 428,999	1.3
THB 249,000 - 276,999	0.2	PHP 256,000 - 297,999	0.4	IDR 107,000,000 - 118,999,999	1.9	MYR 31,000 - 34,999	0.3	SGD 11,300 - 13,599	7.9	VND 153,000,000 - 171,999,999	0.9	INR 429,000 - 489,999	1.8
THB 277,000 - 331,999	0.4	PHP 298,000 - 340,999	0.5	IDR 119,000,000 - 142,999,999	0.8	MYR 35,000 - 41,999	1.0	SGD 13,600 - 16,899	3.9	VND 172,000,000 - 190,999,999	0.9	INR 490,000 - 550,999	1.3
THB 332,000 - 414,999	0.1	PHP 341,000 - 383,999	0.3	IDR 143,000,000 - 177,999,999	0.8	MYR 42,000 - 51,999	0.2	SGD 16,900 - 22,599	4.7	VND 191,000,000 - 228,999,999	0.0	INR 551,000 - 611,999	2.3
THB 415,000 - 553,999	0.3	PHP 384,000 - 425,999	0.7	IDR 178,000,000 - 237,999,999	1.8	MYR 52,000 - 69,999	0.6	SGD 22,600 以上	3.5	VND 229,000,000 - 285,999,999	0.3	INR 612,000 - 734,999	1.6
THB 554,000 以上	0.2	PHP 426,000 - 511,999	0.1	IDR 238,000,000 以上	2.4	MYR 70,000 以上	0.7	-	-	VND 286,000,000 - 381,999,999	0.2	INR 735,000 - 918,999	2.1
-	-	PHP 512,000 - 638,999	0.3	-	-	-	-	-	-	VND 382,000,000 以上	0.4	INR 919,000 - 1,224,999	1.6
-	-	PHP 639,000 - 852,999	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	INR 1,225,000 以上	0.9
-	-	PHP 853,000 以上	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平均 (THB)	38,374.1	平均 (PHP)	43,260.1	平均 (万IDR)	3,207.6	平均 (MYR)	6,820.5	平均 (SGD)	7,460.9	平均 (万VND)	3,719.4	平均 (INR)	159,906.2

※ () 内は回答者数

14.現在の収入（現地通貨）

Q. あなたの個人収入をお知らせください。

※日本、オーストラリア、アメリカは「年収」、その他の国・地域は「月収」で聴取

オセアニア		北米		ヨーロッパ							
オーストラリア (1003)		アメリカ (1010)		イギリス (1003)		ドイツ (1000)		フランス (1001)		スウェーデン (1002)	
年収	%	年収	%	月収	%	月収	%	月収	%	月収	%
AUD 7,000 未満	4.2	USD 5,000 未満	3.4	GBP 310 未満	3.9	EUR 370 未満	1.7	EUR 370 未満	1.4	SEK 3,800 未満	3.5
AUD 7,000 - 13,999	2.4	USD 5,000 - 9,999	1.7	GBP 310 - 609	4.0	EUR 370 - 729	4.1	EUR 370 - 729	1.7	SEK 3,800 - 7,499	4.9
AUD 14,000 - 27,999	6.9	USD 10,000 - 19,999	4.9	GBP 610 - 1,199	12.1	EUR 730 - 1,499	9.2	EUR 730 - 1,499	6.9	SEK 7,500 - 14,999	10.5
AUD 28,000 - 40,999	10.5	USD 20,000 - 29,999	6.6	GBP 1,200 - 1,799	15.5	EUR 1,500 - 2,199	15.6	EUR 1,500 - 2,199	21.9	SEK 15,000 - 22,999	19.6
AUD 41,000 - 54,999	9.7	USD 30,000 - 39,999	7.5	GBP 1,800 - 2,499	14.8	EUR 2,200 - 2,899	17.1	EUR 2,200 - 2,899	18.1	SEK 23,000 - 29,999	25.0
AUD 55,000 - 68,999	12.2	USD 40,000 - 49,999	7.8	GBP 2,500 - 3,099	15.0	EUR 2,900 - 3,699	16.4	EUR 2,900 - 3,699	13.7	SEK 30,000 - 37,999	13.0
AUD 69,000 - 82,999	11.2	USD 50,000 - 59,999	9.2	GBP 3,100 - 3,699	7.7	EUR 3,700 - 4,399	10.9	EUR 3,700 - 4,399	6.3	SEK 38,000 - 44,999	6.9
AUD 83,000 - 96,999	7.7	USD 60,000 - 69,999	7.9	GBP 3,700 - 4,299	5.7	EUR 4,400 - 5,099	7.6	EUR 4,400 - 5,099	8.9	SEK 45,000 - 52,999	5.4
AUD 97,000 - 110,999	10.2	USD 70,000 - 79,999	9.9	GBP 4,300 - 4,899	4.6	EUR 5,100 - 5,899	6.3	EUR 5,100 - 5,899	5.3	SEK 53,000 - 59,999	3.9
AUD 111,000 - 123,999	7.7	USD 80,000 - 89,999	5.1	GBP 4,900 - 5,499	5.7	EUR 5,900 - 6,599	3.6	EUR 5,900 - 6,599	4.0	SEK 60,000 - 67,999	2.5
AUD 124,000 - 137,999	3.6	USD 90,000 - 99,999	6.9	GBP 5,500 - 6,099	4.0	EUR 6,600 - 7,299	2.1	EUR 6,600 - 7,299	3.8	SEK 68,000 - 74,999	2.4
AUD 138,000 - 165,999	7.0	USD 100,000 - 119,999	6.6	GBP 6,100 - 7,399	2.1	EUR 7,300 - 8,799	2.3	EUR 7,300 - 8,799	3.8	SEK 75,000 - 90,999	1.0
AUD 166,000 - 206,999	4.2	USD 120,000 - 149,999	10.0	GBP 7,400 - 9,199	1.9	EUR 8,800 - 10,999	1.0	EUR 8,800 - 10,999	2.0	SEK 91,000 - 112,999	0.4
AUD 207,000 - 276,999	1.4	USD 150,000 - 199,999	6.8	GBP 9,200 - 12,299	0.9	EUR 11,000 - 14,699	0.9	EUR 11,000 - 14,699	1.2	SEK 113,000 - 150,999	0.5
AUD 277,000 以上	1.4	USD 200,000 以上	5.5	GBP 12,300 以上	2.4	EUR 14,700 以上	1.2	EUR 14,700 以上	1.1	SEK 151,000 以上	0.7
平均 (AUD)	82,994.0	平均 (USD)	81,190.6	平均 (GBP)	3,016.8	平均 (EUR)	3,490.2	平均 (EUR)	3,707.3	平均 (SEK)	30,217.2

※（ ）内は回答者数

15.その他

都市ごとのサンプル数（複数都市が調査対象の国のみ）

国名	都市名	サンプル数	合計
日本	東京	500	1000
	大阪	300	
	愛知	200	
中国	北京	350	1002
	上海	350	
	広州	302	
ベトナム	ハノイ	483	1002
	ホーチミン	519	
インド	デリー	609	1119
	ムンバイ	510	
オーストラリア	シドニー	502	1003
	メルボルン	458	
	キャンベラ	43	
アメリカ	ニューヨーク	650	1010
	ワシントン	60	
	ロスアンゼルス	300	
ドイツ	ベルリン	545	1000
	ミュンヘン	215	
	ハンブルグ	240	

人種（シンガポール、マレーシア）

国名	民族	サンプル数	合計
シンガポール	中華系	808	1002
	インド系	43	
	マレー系	122	
	その他	28	
	わからない／答えたくない	1	
マレーシア	マレー系（地元民）	645	1000
	中華系	311	
	インド系	37	
	その他	5	
	わからない／答えたくない	2	

SEC（社会階層区分）（調査でよく使用される国のみ聴取）

国名	A	B	C	D	E	無回答	合計
インド	987	56	35	31	10	0	1119
インドネシア	195	55	456	265	29	0	1000
ベトナム	574	255	147	26	-	0	1002

■ SEC: Social Economic Classification,
またはSocial-Economic Classの略

■ SECの算出方法

・インドA～E（5区分）

所有物×最終学歴（Main Earner）

・インドネシアA～E（5区分）

所有物×世帯支出

・ベトナムA～D（4区分）

世帯月収

※対象地域【東アジア】日本(東京、大阪、愛知)、中国(北京、上海、広州)、韓国(ソウル)、台湾(台北)、香港、【東南アジア】 タイ(グレートバンコク)、フィリピン(メトロマニラ)、インドネシア(グレートジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、ベトナム(ハノイ、ホーチミンシティ)
【南アジア】インド(デリー、ムンバイ)、【オセアニア】オーストラリア(シドニー、メルボルン、キャンベラ)、【北米】アメリカ(ニューヨーク、ワシントン、ロスアンゼルス)、【ヨーロッパ】イギリス(ロンドン)、ドイツ(ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ)、フランス(パリ)、スウェーデン(ストックホルム)

15.その他 組織文化尺度の信頼性

分類	設問	α係数
権威主義・責任回避	上層部の決定にはとやまず従うという雰囲気がある 社内では波風を立てないことが何よりも重要とされる 物事は、オープンな議論ではなく、事前の根回しによって決定される	0.65
自由闊達・開放的	上司でも部下でも、分け隔てなく仲が良い 上の者に対しても言いたいことが言える 職場では、いつも活発な意見交換が行われておりにぎやかだ	0.75
長期的・大局的志向	目先の業務に縛られず、長期的視点で考えていくことが奨励されている 目先の成果よりも、長期的成果の追求を重視するところがある 利益と同じくらい「社会的な責任」が重視されている	0.74
年功・ジェネラリスト志向	年齢・勤続年数で給与・待遇が決まっている 定年まで雇用されることが前提になっている 特定分野のスペシャリストよりも、ジェネラリストを育てようとしている	0.63
柔軟性・創造性・独自性	独自性・創造性に富んだ意見・考えを持つことが求められる 過去の慣習・既存のルールにとらわれることなく、柔軟に考えることが推奨されている 他人に合わせるのではなく、自分の意思を明確に伝えることが歓迎されている	0.74
スピード感・迅速さ	まず行動をおこし、進めながら考えていくことが奨励される 多少粗くても、迅速な意思決定が尊重される 時間をかけて検討することよりも、タイミングやスピードが重視される	0.67
成果主義・競争	仕事のプロセスよりも、最終的な結果が重視される メンバー間の競争に勝つことが、評価の対象になる 努力しても、結果を出せないと評価されない	0.61
チームワーク	チームとしてひとつにまとまっている 自分勝手に仕事を進める人よりも、和を重視する人のほうが評価される 一致団結して目標に向かっていく雰囲気がある	0.75
心理的安全性のなさ	失敗した人がいると、その人が責められる傾向がある 職場のメンバーは、異なった考えを持つ人を受け入れないところがある 職場のメンバーに対して、間違っていることや、できていないことを指摘しやすい職場だ	0.56
職場の相互尊重	一人ひとりの価値観を大事にしてくれる職場だ 職場では、(正規、非正規、アルバイトなど)いろいろな立場の人が職場の一員として尊重されている 私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている	0.79

※分類には、パーソル総合研究所の既存の調査研究によって算出した因子を使用

15.その他 上司のマネジメント行動尺度の信頼性

分類	設問	α 係数
公正なマネジメント	上司は納得できる注意やしかり方をしている	0.74
	上司から、他のメンバーと平等に接してもらえている	
	上司から、仕事ぶりに見合った評価を受けている	
業務フォロー	ミスが発生したときは、上司から十分なフォローがある	0.70
	上司が仕事がスムーズに進捗するように支援してくれる	
権限委譲	上司から、責任のある役割を任せてもらっている	0.76
	上司からスキルや能力が身につくような仕事を任されている	
	上司が自分の意見を仕事に取り入れてくれる	
部下の話の傾聴	上司に仕事上の悩みや不満を聞いてもらっている	0.66
	上司にプライベートな話も聞いてもらっている	
目標の設定と共有	上司から職場全体の目標がしっかり伝えられている	0.77
	上司がビジョンや方向性を示してくれる	
	上司と一緒に個人的な仕事の目標を設定できている	
肯定的なフィードバック	上司から日常的に感謝やねぎらいの言葉をかけられている	0.77
	良い仕事をしたときは上司から褒められている	

※分類には、パーソル総合研究所の既存の調査研究によって算出した因子を使用（一部改変）